

特 116

563

漢文自
修叢書

文章軌範講義

正編

9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

始



47116
563

漢文自修叢書

文章軌範講義

正編

宋 謝枋得氏編次
大日本 成蹊三宅質講述

大正
2. 3. 24
丙交

東京
大阪

弘學館書店
金正堂書店

新文自新彙書

文章

大日本... 宋...

例言

- 一、本講述ハ本專中等程度及漢文ヲ學バントスル者ノ爲ニ講述シタルモノナレバ極テ平易ヲ主トシ、一讀其意義ヲ了解セシメンヲニ注意セリ。
- 一、本書ハ題意講義文法トニ區別シテ之ヲ解説シ且頭書ニ本文ヲ假名交リ文ニ譯シタレバ本書ヲ讀ム者先頭書ノ譯文ヲ一讀シ次ニ下欄ノ本文ト對照熟讀シ次ニ講義文法ヲ讀メバ自然ニ了悟スル所アルベシ。
- 一、講述ハ口語ヲ以テシ且成ルベク今日適用サル、新熟字ヲ以テ解釋シアレバ讀者ニ於テ少補ナシトナサズ。
- 一、文中難解ノ字句及出典等ハ必ず上欄ニ於テ○○ヲ付シ之ヲ解説シアレバ注意スベシ。

講述者識ス

漢文自
修叢書

文章軌範講義

(正編)

目次

卷之一

侯字集

放膽文

與于襄陽書	韓文公	(五)
後念九日復上宰相書	同	(三)
代張籍與李浙東書	同	(三五)
上張僕射書	同	(四)
與陳給事書	同	(五四)
後十九日復上宰相書	同	(六〇)
應科月時與人書	同	(六七)

答陳商書……………同……………(七一)

送石處士序……………同……………(七五)

送温處士赴河陽軍序……………同……………(八二)

送楊少尹序……………同……………(八六)

送高閑上人序……………同……………(九三)

送殷員外使回鵲序……………同……………(九六)

原毀……………同……………(一〇二)

卷之貳 王字集

放膽文

爭臣論……………韓文公……………(一一)

諱辨……………同……………(一七)

桐葉封弟辨……………柳柳州……………(二三)

與韓愈論史書……………同……………(一七)

晉文公問守原議……………同……………(四六)

朋黨論……………歐陽公……………(五五)

縱囚論……………同……………(六〇)

春秋論……………同……………(六六)

卷之三 將字集

小心文

管仲論……………蘇老泉……………(八一)

高祖論……………同……………(九〇)

春秋論……………同……………(九八)

范增論……………蘇東坡……………(一二)

晁錯論……………同……………(二〇)

留侯論	……同	四
始皇論	……同	(二三八)
王者不治夷狄論	……同	(二五二)
荀卿論	……同	(二五九)

卷之四 相字集

小心文

原道	……韓文公	(二六九)
與孟尚書書	……同	(二六八)
上高宗封事	……胡澹菴	(三〇一)
潮州韓文公廟碑	……蘇東坡	(三一四)
上田樞密書	……蘇老泉	(三二八)
上范司諫書	……歐陽公	(三四一)

卷之五 有字集

小心文

師說	……韓文公	(三五三)
獲麟解	……同	(三六〇)
雜說上	……同	(三六二)
雜說下	……同	(三六四)
送薛存義之任序	……柳柳州	(三六七)
送董邵南遊河北序	……韓文公	(三七〇)
送王秀才序	……同	(三七三)
答李秀才書	……同	(三七七)
送許鄧州序	……同	(三八一)
贈崔復州序	……同	(三八七)

讀李翱文……………歐陽公……………(三九一)
 讀孟嘗君傳……………王荊公……………(三九六)

卷之六 種字集

小心文

前出師表……………諸葛武侯……………(三九九)
 送浮屠文暢師序……………韓文公……………(四〇八)
 柳子厚墓誌銘……………同……………(四一四)
 大唐中興頌序……………元次山……………(四二七)
 箕子碑……………柳柳州……………(四二八)
 嚴先生祠堂記……………范文正公……………(四三五)
 跋紹興辛巳親征詔草……………辛稼軒……………(四三八)
 袁州學記……………李泰伯……………(四三九)

卷之七 乎字集

小心文

書洛陽名園記後……………李文叔……………(四四五)
 岳陽樓記……………范文正公……………(四四七)
 祭田橫墓文……………韓文公……………(四五三)
 上梅直講書……………蘇東坡……………(四五六)
 三槐堂銘……………同……………(四六三)
 表忠觀碑……………同……………(四七〇)
 送孟東野序……………韓文公……………(四七九)
 前赤壁賦……………蘇東坡……………(四八〇)
 後赤壁賦……………同……………(四九二)
 阿房宮賦……………杜牧……………(四九七)

送李愿歸盤谷序……………韓文公……………(五〇一)

歸去來辭……………陶淵明……………(五〇九)

八

目次(終)

漢文自脩叢書 文章軌範講義 正編

宋 謝枋得氏編次
大日本 成蹊三宅質講述

解題

凡ソ何ノ書ヲ讀マントスルニモ其書ハ著者ガ如何ナル主意何如ナル目的ヲ以テ編述シタルモノナルヤヲ知ラザルベカラズ否カラザレバ恰カモ暗夜ニ鐵砲ヲ放ツガ如ク到底得物ニ命中スルコトハ覺束ナイ是レ解題ノ必要ヲ感ズル所以デアアル本書ハ宋謝枋得氏ガ漢唐宋ニ於ケル古文尤モ古文ノ中ニテモ甚ダ初學者ニ解シ易スキ文章六十有餘篇ヲ編纂シタルモノニシテ何ノ故ニ編纂シタルカト問ハンニ支那ニハ科擧ト申シテ當今ノ官吏登用試験ノ如ク人ヲ試験シ合格シタルモノ官吏トナルノ資格ヲ得ルナリサテ何ヲ以テ試験スルカト言フニ先ツ文章ヲ以テ之ヲ試ムルナリ故ニ有爲ノ士ハ必ズ文章ヲ習練シテ其ノ熟達ヲ期セザルヘカラズ是ヲ以テ枋得氏編次ノ意ハ畢竟スルニ此等有爲ノ士ガ科擧ニ應ゼントスルノ準備トシテ文章ノ熟達ヲ期シ習練ヲナシムルノ手本ナリ法則ヲ示メシタニ過ギナイ故ニ軌範トハ言

文章軌範講義

科擧 文章ヲ以テ試験シ人ヲ引キ擧グルナリ。

有爲 ナスアルト言フコトニテ前途多望ナルモノナリ。

一

○正鶴 奥義ナリ。

○正鶴 マトナリ。

○侯王 將相 種アラシヤ

種ニハヨラヌ、力ラシクテ

誰レテモナレル。

○言ヒ破ル。

○人ナシテ成マシ

メ、且ツ成程ト感ゼシムル

語ナリ。

○出世スル。

○物覺エノ強キ

○オシアテガウノ意

○大ナ家。

○元ハ國名ナリ。

○アガルナリ。

○綱常ヲ扶植スレハ此ノ
行ニ在リ。天下久シク興
勝ノ深ナク、人間何ゾ伯
夷ノミ清カラン。義ハ高カ
シ便ハチ覺ユ生捨ツルニ堪
エタリ。禮ハ重シ方ニ知ル
死其タ輕シ、南八男兒終
ニ屈セズ。皇天上帝眼分明。
○三綱トハ、君臣、父子、
夫婦ヲ云フ。
○五常トハ、父子親アリ、
君臣義アリ、夫婦別アリ、長
幼序アリ、朋友信アリ。

ヘリ或ハ此書ヲ讀ミタランモノ此書ヲ以テ古文ノ奥義ニ盡キタリトナシ金科玉條
トナシ終身之ヲ誦スルガ如キハ大ニ過テルモノニシテ枋得氏編述ノ本意ニモ負ク
モノナルベシ併シナガラ何レモ名文ノミヲ集メタレバ之ニ由リテ進マバ文法修辭
ノ上ニ於テモ自然ニ得ル所アリ正鶴ヲ誤マザルコトヲ期スベシ故ニ枋得氏モ此書
ヲ編述スルニ當リ之ヲ七篇トナシ「侯王將相有種乎」ノ七字ヲ以テ之ヲ分テリ
コレハ昔時泰ノ時ソノ暴虐壓制ヲ憤リ陳勝ト言ヘル一兵卒ガ兵ヲ起スノ時嗚破
シ大勢ノモノヲ奮發セシメタル警語ニシテ枋得氏ガ特ニ此ノ七字ヲ取リタル所以
ノモノハ侯王將相トナルニ何ニモ侯王將相ノ子孫ニ限ギラレタル譯ノモノデナイ
文章ニ熟達シタル後科擧ニ應ジ合格シタル曉ニ於テ不屈不撓ノ精神ヲ以テ猛進シ
タランニハ侯王將相ハオロカナコト一躍青雲ノ上ニ昇ルコト何ノ造作モナキコト
ナリトテ有爲ノ士ノ奮勵一番センコトヲ望ムノ微意ヲ表シタルモノナリ讀者ヨク
留意スベキコトニコソ

サテ謝枋得氏ハ如何ナル來歴ノ人カト言ヘバ靖獻遺言ト言フ書物ニ其ノ傳ヲ載セ
テアルガ字ハ君直、疊山ト號セリ信州弋陽ノ人天資頗ル強記數行ノ書一讀過スレ
バ忘レズト言ヘル程ナレバ其ノ常人ニ超エタルコト知ラルベキナリ常ニ燕ノ樂毅
楚ノ申包胥漢ノ張良、蜀ノ諸葛亮、此等ノ人々ヲ慕ヒ窺カニ之ニ擬シタリト言ヘ
バ其ノ忠義ハ蓋シ天性ニ出デタルモノニシテ其ノ人格ノ一層高キコトモ知ラルベ
シ枋得氏惜ムベキコトニハ此人ニシテ大宋國家清明無事ノ時ニ生レズ國運日ニ非

ナルノ時ニ生レタルコトヨ宋ノ末世端宗皇帝ノ時大官ニ擢デラレ力ヲ軍國ノ事ニ
盡シタリト雖モ大厦ノ覆エル能ク一木ノ支フル所ニアラズ軍破レ國亡ビ身ハ元ニ
囚ハレタルモ一片忠義ノ心ハ故國ノ覆滅ヲ之レ憂ヒ其ノ操守ハ愈益堅シ元ノ參政
タル魏天祐ト言ヘルモノ枋得ヲ屈セシメントシ百方押問答シタレ枋得ノ意氣益
軒昂更ニ屈スルノ氣色ナカリケレバ天祐モ持テ餘マシタリ枋得北都ニ送ラル、時
左ノ長句ヲ賦シ妻子朋友ニ訣別セリ

雪中松柏愈青青。扶植綱常在此行。天下久無龔勝潔。人間何獨伯夷清。
義高便覺生堪捨。禮重方知死甚輕。南八男兒終不屈。皇天上帝眼分明。
此ノ長句ノ大意ヲ説クバ枋得忠義ノ至性人格ノ高尚ナルコトヲ推知スルニ於テ餘
リアリト謂フベシ雪中ノ松柏ハ雪折レモセズ雪ニ遇フテ其ノ勁節ヲ全フシ愈々青
々トシテ己レ時ノ艱難ニ逢フモ其ノ節操ノ益々堅ナルニ比シタルナリ綱常トハ三
綱五常ヲツメテ綱常ト言ヒタルナリ扶植トハ助ケ立ツルナリ綱常ヲ扶植スルハ此
行ニアリトハ身ハ今不幸ニシテ元ノ捕虜トナルトハ言ヘ君父ヲ思フノ心ハ敢テ渝
ラズ如何ニ迫マラル、ト雖モ決シテ元ニ臣タラズ死ヲ以テ誓ヒ節操ヲ全フスベシ
トナリ龔勝ハ前漢ノ人王莽ト言ヘル賊臣漢帝ヲ弑シ遂ニ漢ノ天下ヲ篡ヒ皇帝ト
僭号シ龔勝ノ高士ナルヲ聞キ人望ヲ收ムルノ手段トシテ之ヲ召シ抱エントシタレ
ト龔勝ハ遂ニ其意ニ從ハザリキ伯夷ハ周ノ武王ノ殷ヲ討チ天子トナリタルヲ耻ヂ
首陽山ニ餓死シ武王ニ臣タラザリキ二人共ニ清潔ノ高士ニシテ氣槩アル名士ナレ

關安祿山 人名

バ暗ニ二人ヲ以テ自ラ比シタルナリ次ノ二聯ニテハ義禮ノ重ク高ク生死ノ易ク輕キヲ言ヒ義禮ノ爲メニ一命ヲ捨ツルノ決心ヲ示メシ南八男兒トハ南霽雲ト言ヘル人ニシテ唐安祿山ノ亂張巡ト共ニ睢陽城ヲ守リ降ラズ遂ニ死セシ慷慨ノ士ナリ南八ヲ以テ比シ只一死以テ君國ニ報フルノ心ハ上天帝ノ知ルアルノミトテ眼分明トハ言ヒタルナリ此ノ五十六字ヲ讀ムモノ千載ノ下誰レカ感憤セザルモノゾ斯ル偉人ノ手ニヨリテ編次セラレタルモノナレバコソ其ノ文章ノ選擇モ世道人心ニ關係スルモノ多ク不知不識ノ中ニ於テ讀者ノ品性修養ニ資スルモノ多シ此書ノ不朽ニ傳ハル蓋シ亦偶然ニアラザルベシ

放膽文

侯字集

大凡學文初要膽大終要小心。由麤入細。由俗入雅。由繁入簡。由豪蕩入純粹。此集皆麤枝大葉之文。本於禮義。老於世事。合於人情。初學熟之。開廣其胸襟。發舒其志氣。但見文之易。不見文之難。必能放言高論。筆端不窘束矣。

之ハ枋得ガ此書ヲ讀ム人ノ爲メニ一ツノ注意ヲ與ヘタルニ外ナラヌノデ文章軌範ノ本文ニテハアラヌサテ侯王二集ノ文ヲ放膽文トナシ將字集以下ノ文ヲ小心文トナセリ放膽小心ノ語ハ唐孫思邈ト云ル學者ノ語ニ智欲圓行欲方

通關大凡ソ文ヲ學ブニハ、初ハ膽ノ大ナランコトヲ要シ終ハ心ノ小ナランコトヲ要ス。麤ヨリ細ニ入り、俗ヨリ雅ニ入り、繁ヨリ簡ニ入り、豪蕩ヨリ純粹ニ入り、此ノ集皆麤枝大葉ノ文、禮義ニ本ヅキ世事ニ老ケ人情ニ合ス、初學之ニ熟セバ、其ノ胸襟ヲ開廣シ、其志氣ヲ發舒ス、但ダ文ノ易キヲ見テ文ノ難キヲ見ズ、必ズ能ク放言高論、筆端窘束セズ。

粗ト同ジ、アラキナリ。

大ヒニ思ヒ切ルコト。

ハ風雅ナリ。

ハ豪蕩ノ反ナリト知ルベシ、純ハ至美、粹ハ雅ナルナリ。

キンソクト讀ム

容東トハ筆先ノ自由自在ナラザルコト。

膽欲大。心欲小。トアルニ本ツケリ放膽トハ讀デ字ノ如ク思ヒ放ツト云フコトニテ如何ニモ大膽ニ思ヒ切テ書クノ心得ヲ言フナリ先ヅ文章ヲ學バントスルニハ放膽ヨリ初ジメネバナラヌ故ニ大凡文ヲ學ブモノ初メハ膽ノ大ヲ要ストナリ終リトハ文章ニ已ニ熟練シタル後ノコトニテ熟練ノ後ニハ心小ヲ要スル心小トハ如何ニモ筆法ヲ慎ムノ謂ヒデアル麤トカ俗トカ繁トカ豪蕩トカ言ヘル文字ハ何レモ膽大ヲ意味シ細、雅、簡、純粹等ノ字ハ何レモ心小ヲ意味シ此集皆ナ麤枝大葉ノ文ト云フテ膽大ニ關スル文字ヲ總括セリ併シナガラ禮儀ヲ本トシ世事ニモ老練シ人情ノ微ヲ穿テ情ニ近ク合ヒタル文章ヲ集メタレバ初學ノ士反覆讀誦ノ結果ヨク之ニ熟練シタランニハ其ノ胸ノ中ヲ開ラキ廣メ其ノ志ナリ氣象ナリヲ發シ舒ルノミナラズ文章ヲ作ルニ於テ易々ト作クレル様ニナリ些ノ困難ヲ感ゼズ思フガ儘ニ論議シスラト筆先ガマワリテ自由ニナルトナリ。

與于襄陽書

韓昌黎

于ハ姓、名ハ頤、字ハ允元ト云フ、唐ノ德宗ノ時ノ人デ嘗テ襄州ノ刺史トナリ後ニ山南東道節度觀察使トナリ其ノ勢ヲ恃ミ政治ニモ橫暴ナル仕方多ク朝廷ニ對シ不順ナル傾向サヘアリタル程ナルガ叛逆ヲ企ツルト言フ迄ニハ至ラズ後ニ累遷シテ檢校尙書左僕射同中書門下平章事ニ進メリカ、ル榮職ニアル于公ノコトナル故韓公ガ上書シテ仕官ヲ求メタルナリ、

○オクリ名。

○ハ誰レ人モ知ル
トナリ。

韓文公姓ハ韓、文公ハ其ノ諡號、名ハ愈、字ハ退之、昌黎ハ公ノ出生地ナルユ
エニ一般ニ之ヲ稱シテ韓昌黎ト云フナリ孤獨ノ中ニ生長シ世ノアラユル辛酸ヲ
嘗メ盡シ更ニ屈スルナク博ク六經諸子ニ通シ其ノ學問ノ該博ナルヲハ前古比ナ
ク文章ノ大家鉅公タルヲハ今更ニ言フ迄モナシ而カシ其一生ハ通ジテ不遇感軻
ノ中ニ呻吟セリ憲宗皇帝ノ時佛骨表ヲ上リシタメ帝ノ怒リニ觸レ遠ク潮州ノ刺
史ニ貶セラレソノ道スガラ見送リニ來リタル姪孫姍ニ示シタルノ五十六字ハ人
口ニ膾炙シソノ之ヲ吟誦スル千載ノ下尙人ヲシテ感涙禁ズル能ハザルノ慨アラ
シムルナリ其詩ニ曰ク、

一封朝奏九重天、夕貶潮陽路八千。欲爲聖明除弊事、豈將衰朽惜殘
年。雲橫泰嶺家何在、雪擁藍關馬不前。知汝遠來應有意、好收我骨瘴
江邊。

カクテ潮州ニアルコト一年ニシテ袁州ニ移サレ後穆宗皇帝ノ時恩命ニ接シ京師
ニ召シ還サレハシダモノ、經學文章一代ノ鉅公タルニモ拘ラズ其地位ハ至テ低
ク天亦タ公ヲ奪フノ速カナル僅ニ五十六ニテ穆宗ノ長慶四年十二月ニ歿シタル
ハ誠ニ惜ムベキノ極ト謂ハンカ公ハ其ノ年壽ハ長カラズト云フモ公ガ此ノ生間
ニ於テ經學文章ノ上ニ及ボシタル大偉績ニ至リテハ實ニ千歲不朽ナリト謂ハザ
ルベカラズ彼ノ宋ノ蘇東坡ヲシテ潮州韓文公碑文中ニ「文起八代之衰、道救天
下之溺」ト贊美セシメタルガ如ク公ハ孔孟ヲ尊信シ道統ヲ以テ自ラ任ジ異端佛

○トハ世ヲ空フス
○トハ世ヲ隔テ世ヲ異ニス
○ト云フ。
○觀シクツキニ教
ヲ受ケルノ意。
○ソカラズヤ
○トハ世ヲ救フベ
キ大政策ト云ハンガ如シ。

老ヲ排斥シ世道ヲ維持シ人心ヲ正スヲ以テ其ノ天職トナセリ殊ニ文章界ニ貢獻
セシコトハ南北六朝ノ時ヨリ古文全ク地ニ墜テ四六駢麗ノ文體ハ天下ヲ風靡シ
浮華輕薄是レ競ヒ更ニ眞摯篤實ノ取ルベキナク當時ノ精神界思想界ハ恰モ白粉
俳優的ノ觀アラントセリ公獨リ慨然トシテ立チ此ノ濁浪風波ノ中ニ崛起シ古文
ヲ提唱シ再ビ其ノ頹勢ヲ挽回シタルノ勇氣ト抱負トニ至リテハ蓋シ孟子以後一
人ノミ名教ニ功アル獨リ公ヲ推スモ決シテ認罔ニアラザルベキヲ信ズカ、ル偉
大ナル人物ユヘ百世ノ師タルヲ失ハザルナリ今枋得氏載スル所ノ諸篇ニ接シ細
心之ヲ思ヒ反覆ニ之ヲ玩味セバ曠世韓文公ニ親炙スルノ思ヒアルベシ若シソノ
感ナシト謂ハバ無情ノ人ニシテ學問文章ノ趣味ヲ解セザル没分曉漢ト言フベキ
ナリ

サテ此ノ上書ノ題意ハ已ニ上來述べタル如ク公ガ于襄陽ニ與ヘテ仕官ヲ求メタ
ルノ書ナリ公ハ經學ニ於テ文章ニ於テ實ニ奇世ノ偉人ナリ而ルニ其ノ地位至テ
卑ク滿腹ノ經綸施スニ由ナシ故ニ如何ニモシテ其道ヲ天下ニ行ヒ民ヲ救ハント
スルノ心切ナリ其道ヲ天下ニ行ハントスルニハソレ相當ノ地位ヲ得ザル可ラズ
諺ニモ泣ク子ト地頭ニハ勝タレヌト言ヘルガ如ク于襄陽ハ韓公ニ比シテ學問文
章ハ劣等ナレトモ身ハ大官ニ居ルモノナレバ勢セ其道ヲ行ハントスルニハ遺憾ナ
ガラ于公ニ對シ引立ヲ願ハザルヲ得ズ公ノ身ヲ于公ニ屈スルハ他日大ニ伸ビン
トスレバナリ而シテ引立ヲ願フトハ言ヘ決シテ自己ノ榮進ヲノミ期スルニアラ

ズ期スル所ハ其ノ學問ヲ實地ニ施行シテ世ヲ救ハントスルニアルナリ枋得氏ノ殊ニ開卷第一ノ劈頭ニ此篇ヲ置キタルモ微意ノ存スルモノナクンバアラズ夫レ人如何ニ學問文章ニ富ミタリト雖モ之ヲ實地ニ施行シテ世ヲ益スルモノナキ所謂ル實ノ持腐同様更ニ貴フベキモノナシ之ヲ實地ニ施行セント欲セバ飽ク迄仕進ノ途ヲ求メザル可ラズ之レ決シテ丈夫ノ耻ツベキコトナラズ故ニ丈夫タルモノ何處迄モ仕官ノ途ヲ求ムベシ已ニ仕官スルコトヲ得タランニハ最モ其職ニ忠實ニシテ終始一日ノ如ク其官職ニ斃ル、ノ覺悟ナカル可ラズ故ニ中間之ニ次グニ諍臣論、或ハ諸葛孔明出師表等ノ文ヲ以テシ一意君國ニ盡スベキヲ示メシサテ又人已ニ功名富貴ヲ取リタル已上ハ最モ其終リヲ善クセザル可ラズ老子ニモ功成リ身退クハ天ノ道ナリト言ヘリシ如ク若シ然カラザランニハ千仞ノ功一簣ニ欠クト一般笑ヲ千載ニ貽スヲ免カレザルベシ故ニ其ノ終尾ニ於テ「送李愿歸盤谷序」ヤ陶淵明歸去來辭ヲ以テシ決シテ嚙付主義ヲ以テ富貴ニ戀々スル如キサモシキ根性ヲ持ツナク、潔ク勇退シテ其ノ清節ヲ全フスベキヲ諷シ暗々冥々ノ中其首尾ヲ通ジ丈夫ノ進退出處ニツキテ其義ヲ微露セリ枋得氏ガ清節自ラ持スルノ高士デアアル丈ケンレ丈ケ此邊ニモ深ク思ヲ致スモノアリ其ノ用意ノ周到ナル寔ニ賞讃スルニ堪エタリ故ニ此書ヲ讀ムモノヨク之等ノ點ニ留意セバ單ニ文章ノ軌範タルノミナラズ人生行路ノ關門ニ於テ其終始ヲ全スル好軌範トモ謂フベシ。

開闢七月三日、將仕郎守國子四門博士韓愈、謹ミ書テ尙書閣下ニ奉ズ。

七月三日將仕郎守國子四門博士韓愈謹奉書尙書閣下。

開闢閣下トハ、閣ハ小門ノ出入口ナリ、ソノ出入口マテ伺候スルノ意ニテ、尊敬ノ意ヲ表スルナリ。

開闢士ノ能ク大名ヲ亨ケ當世ニ顯ハル者、先達ノ士、天下ノ望ヲ負フモノ、之カ前ヲ爲ス有ラザルハ莫キ焉。

開闢大名ハ大ナル名譽ナリ、亨ハ受クルニ同シ、其

先ヅ月日ヲ記スルハ上書文ノ定則ニシテ次ニ自分ノ身分ト御先方ノ身分トヲ記スルハ同ク上書文ノ禮式作法ナル故ニ七月三日ト書セシナリ將仕郎トハ位記ニシテ正九品トアリ故ニ初位ナリト知ルベシ日本ノ九位ニアタルナリ國子四門博士トハ韓愈ノ官名ニシテ今ノ大學教授ノ如キモノニ相當スルソノ韓愈ガ書ヲ尙書ノ官ヲシテ居ラル、于襄陽閣下ニ差シ上グ奉ルトナリ此處ニ守トアルハ其位ハ卑ク、トモ割合ニ其官職ノ高キ場合ニ限リ守ノ一字ヲ用フルヲ例トスレバ當時韓愈ハ其位ニ比シテ其官職ノ高カリシコト知ラルベシ尙書トハ于公ノ官名ニシテ尙ハ主ドルノ義アリテ凡テ朝廷ヨリ下付スル公ノ書類一切ヲ主ドルノ役柄ナリ是迄ハ敘事トテ事ヲ叙シ記シタルモノニシテ已下議論ニ入ル

士ノ能ク亨大名顯當世者莫不有先達之士負天下之望者、爲之前焉。

士トハ古訓ニヨルト事ニ任フルノ稱トアルヲ以テ推スニ凡ソ一人前ノ仕事ニ任スベク且ツ其ノ品性モ高ク人ノ風上ニ立ツコトノ出來得ルモノハ士ト稱スルノ價値アリサテ士ノ能ク大名ヲ亨ケ當時ニ名ヲ顯ハスモノ評判ノ高キモノ

身ニ有スルヲ云フナリ。
○**先達**トハ論語ニ先達後進トアル如ク尙先輩ト言ハシガ如ク、前ニ先ヅ立身出世ヲナシ居ルモノヲ云フナリ。

●**双關法**

○**左關**、**左扇**、**左扇ノ扇**、**左扇ノ扇**トビラナリ。

○**士ノ能ク休光ヲ垂レ後世ヲ照ス者**、亦後進ノ士、天下ノ望ヲ負フ者之ガ後ヲ爲ス有ラザルハ莫キ也。

○**開書**、**經**

○**後進**亦ハ先達ニ對シテ言フナリ。
○**後進**ノ字ハ論語ニ出ヅ

(之ハ韓公自身ヲ指シテ言フナリ)ハ先達ノ士ニシテ天下ノ人望ヲ其ノ一身ニ背負ヒ非常ナル地位名望アル人ガ(之ハ于襄陽ヲ指シテ言フナリ)之ガ前ヲナサナイト言フコトハナイ必ズ之ガ前ヲナシテ引立テ進メテ吳レベキデアルトナリ

○**文法** 凡テ韓公ノ文法ニハ**雙關法**ト云フノガ澤山アルガコレモ其法デアルサテ雙關トハ關ハ關門ノ關デ大ナル左右ノ關門ヲ設ケソレヨリ此ノ兩關門ヲ受ケテ説クノデアアル「士之能云々」ヨリ「爲之前焉」マデ之ヲ**左關**或ハ**左扇**トナスナリ、

○**文法**

士ノ能ク休光ヲ垂レ後世ヲ照ラスモノ、サテ休光ノ休ノ字ハ美ナル意ニシテ美ニシテ善キ光榮ヲ垂ルノ義トナルコレハ書經ニモ**紹我周王見休**トアリテ註ニ休ハ美ナリトアリ垂ルトハ後世ニ貽スヲ言フ光ト云フヨリシテ照ラスト言フタルモノニシテ古人文ヲ作ルニ於テ文字ヲ輕卒ニ下サバルヲ知ルベシ一口ニ言ヘバ大ナル名譽ヲ後代ニ貽スモノトテ(之ハ于襄陽ヲ指シタルナリ)カ、ル人ノ爲メニハ亦後進ノ士ニシテ天下ノ人望ヲ其一身ニ背負フモノ(之ハ韓公自身ヲ指スナリ)大人望アル所ノモノガ之ガ後ヲナス乃チ前輩子公ノ如キモノ

○**後輩**ノ意ナリ。
○**右關**、**右扇**

○**關**之ガ前ヲ爲ス莫ケレバ美ト雖モ彰レズ。

●**左扇**ヲ受ク、

●**文ノ曲折**

○**關**之ガ後ヲ爲ス莫ケレバ盛ナリト雖モ傳ハラズ。

●**右扇**ヲ受ク。

、後ヲ繼ガザルト言フコトハナイ筈デ必ず繼クベキデアアル、

○**文法** 「士之能垂休光云々」ヨリ「爲之後」マデ之ヲ**右關**或ハ**右扇**トナス兩焉ノ字ハ主意ヲ一層重カラシムルノ一法也

○**莫爲之前雖美而不彰**

○**文法** 之ガ前ヲ爲スヘキ、之レトハ後進ノ士ヲ指シタルナリ如何ニ後進ノ士ガ大名ヲ受ケ當世ニ顯ハル、トハ言ヘ前達ノ士ガ後進ノ士ノ前ヲナシ之ヲ引立テ進メザルニ於テハ後進ノ士ガドレ程立派ナル材能ヲ持テ居ルトモ決シテ其美ハ外ニ彰レズ人ニ知ラレズ世ニ用ラル、コナキナリ、

○**文法** 之ハ左扇ヲ受ケタルナリ彰ルベキ筈ノモノガ前達ノ士ノ無頓着ナルガ爲メニ彰ハレズ故ニ而不彰ト云フ此ノ而ノ字ハ容易ニ下シタルニアラズ左様アルベキ筈ノモノガ左様アラヌ此等ノ處ヲ文ノ曲折ト云フ、

○**莫爲之後雖盛而不傳**

○**文法** 之ガ後ヲ爲スナキ、之ハ先達ノ士ヲ指スナリ如何ニ先達ノ士ガ休光ヲ垂レ後世ヲ照ラサントシタ所デ後進ノ士ガ前達ノ士ノ後ヲナスナキ後繼ヲナサザルハ一時其名ハ盛ニシテ全盛ヲ極メタリト雖モ一代傳テ決シテ其名ハ後代ニ傳ハルヘキモノニ非ラズ、

○**文法** 之ハ右扇ヲ受ケテ説キタルナリ之レ又傳ハルベキ筈ノモノガ後進ノ士ガ後

爾爾是ノ二人ノ者、未ダ始ヨリ相須ズンバアラザル也。

爾爾相須 須ハ待ツナリ、相待フテ用テナスノ意。
左右扇ヲ結ブ。

爾爾然リ而シテ千百歳ニシテ乃チ一タビ相遇フ焉、豈上ノ人援ク可キ無ク、下ノ人推スヘキ無キカ何ゾ其レ相須ツノ殷ニシテ相遇フノ疎ナルヤ。

爾爾堂 ノ字ハ普通反語デアアルガ、此處ハ反語デアアラ

繼ヲナサバルガ爲メニ傳ハラヌ故ニ而不傳ト云フ而ノ字ノ用法前ニ同シ文章ニ志アルノ士ハ之等ノ點ニ注意セザル可ラズ
是ノ二人者未始不相須也。

其處デ此二人ノモノ先達後進ノ士ナルモノハ甚ダ密接ナル關係ヲ有シ一日モ相離レテ居ルコトハ出来ヌ互ニ相助ケ合フテ行クベキ性質ノモノデアアル故ニ始ヨリ相須タズンバアラズ相須ツベキデアアル、

是ニ於テ左扇ト右扇トヲ合シテ一結シタルナリ凡テ物ニハシメク、リト言ヘルコトアリシメク、リナクテハ散亂シテ纏メハ付カヌナリ文章ニモシメク、リノ結目ガ肝要ナリ、

然而千百載乃一相遇焉。豈上之人無可援下之人無可推歟。何其相須之殷而相遇之疎也。

然リ而シテ、ソレデアアルニモ拘ラズ先達ノ士ト後進ノ士ガ相遇テ互ニ助ケ合フト言フコトハ減多ニナイ千年百年ノ中ニハヒヨイト相遇フコトモアローヨ真ニタマノ逢瀬デアアル千百年トハ相遇フコトノ非常ニ六ツケ敷ヲ言ヒ顯ハシタノデアアル豈上ノ人、コノ豈ノ字ハ其用法反語ニナラス「ナント」ノ意味ニ取ルヲヨシトス疑ノ意ヲ含ムナリナント上ノ人ガ即チ先達ノ士ガ後進ノ士ヲ引キ

ス、公ノ文章此ノ用法多シ、注意スベシ。

爾爾無可推、無可推、援クハ騎車ノ前ヲ援クノ援クナリ、推スハ車ノ後ヲ推スノ推スナリ、援クハ、上ノ人が下ノ人ヲ援キ上ケルナリ推スハ、下ノ人が自ら推シ進ムナリ、推シ進ムテ仕官ヲ求ムルヲ言フナリ、舊説非ナリ。

- 然而二字注意スベシ。
- 大曲折
- 左扇ヲ受ク。
- 右扇ヲ受ク。
- 兩大扇ヲ收ム。

爾爾其ノ故ニ下ニ在ルノ人其能一負ミ肯テ其上ニ認ラハズ、上之人其位ヲ負ミ肯テ其下ヲ顧ミズ故ニ高材ニ威々ノ窮多ク、盛位ニ赫々ノ光ナシ、是二人ノ者ノ爲ス所、皆過テリ、未ダ嘗テ之

上ゲナイノカ但シハ後進ノ士ガ自ら推シ上ゲ進ムコトヲシナイノカ何ゾ其レドウシテカ其レ相須ツコトハ殷(殷ハ盛ナル意ニテ一日モ相離ル、一能ハザルノ意)ナルニモ拘ラズ相遇フコトノ疎遠ニシテウトシキコトデアアルカトテ先達ノ士ト後進ノ士ト其ノ遇合ノ難キヲ嘆息シタルナリ、
此處然而ノ二字ニ尤モ注意スベキデアアル、上ニ是二人者、未始不相須也ト言フテ先達後進ノ士ハ互ニ助ケ合フテ行カネバナラス至密ノ關係ヲ以テ居ルサスレバ相遇フテ居ルカト言ヘバ實際ノ有様ハ疎遠デアアル遇フベキモノガ遇ハナイ故ニ然而ノ二字ヲ以テ大曲折ヲナシタルデアアル上文章ニ而不彰、而不傳ト云フテ而ノ一字ノミヲ用キタル處トハ大ニ其主意重シ豈上之人無可援ノ句ハ左扇ヲ受ケ、豈下之人無可推ノ句ハ右扇ヲ受ケタルモノニテ何其相須之殷而相遇之疎也ナルヤノ句ヲ以テ上ノ兩大扇ヲ收メタル所筆法前ト同様ノ手段ナリ讀者ヨク玩味スベシ、

其故在下之人負其能不肯認其上上之人負其位不肯顧其下故高材多戚戚之窮盛位無赫赫之光是一人者之所爲皆過也未嘗干之不可謂上無其人未嘗求之不謂下無其人愈之誦此言久矣未嘗敢以聞於人

千^{モト}メズシテ上ミ其人ナシト謂フ可ラズ未ダ嘗テ之ヲ求メズシテ下モ其人ナシト謂フ可ラズ愈ノ此言ヲ誦スル久シ、矣未ダ嘗テ敢テ人ニ以聞セズ。

●地歩ヲ占ム。

高材^{ワカ} 史記淮陰侯ノ傳ニ高材疾足ノモノトアルニ本クナリ。

威^カ 孟子、ニ齊宣王ノ曰ヘル中ニ吾心ニ於テ威々焉タルアリトアルニ本ケルナリ、此處ノ意味ハ孟子ト其意味ナ異ニス。

赫々^{カク} 詩經ニ赫々タル師尹トアルニ本ケルナリ。

未嘗^ミ干^カ之^ノ 此處ノ干ノ字ハ、オカスノ義アリ、下ヨリオカシモトムルナ云フ求ノ求ムルトハ意味異ナル求ノ字ハ尋子求ムルナリ。

ソウ言フ譯デアアル故ニ殆ンドヤブレカブレト言フ有様デ下ニ在ルノ人即チ後進ノ士ハ其身自身ノ材能ヲ負ミ(負ミトハ自負スルノ意ニテ自滿スルナリ)オレハ立派ナル材能ガアルカラ無理ニ上先達ノ士ノ氣嫌氣褻ヲ取リテ依頼スル必要ナシトテ敢テ其上ノ人先達ノ士ノ御氣嫌ヲ伺フ様ナルヲヲナサヌ「不肯諂其上」此ノ諂ヲハスト云フ字其身ヲ高クトマリタル所ニシテ其人格ノ高キヲ示メシタルモノ此等ノ處ヲ指シテ文章高ク地歩ヲ占ムルトハ言フナリ文章ヲ作ルモノハ此ノ用意肝要ナリ上之人即チ先達ノ士ハ其位ヲ鼻ニカケ如何ニモ高慢ナル風ヲナシ如何ニ後進ノ士ニ才能ノアルモノガアルトモ知ラヌ顔ノ半兵衛ヲ極メ込ミ敢テ其下ヲ頓著セヌ此處ノ顧ミズハ捨テ置クノ義ニトルベシ、カクノ如ク相方ノ意思互ニ相隔離シテ疎通セヌ故高材即後進ノ士ハ立派ナル材能ヲ有シナガラ之ヲ用キルコト能ハズ常ニ貧乏ニシテ感々(憂イ心配スルノ意)トシテ困窮スルモノ多ク、盛位(盛ナル位)ヲ有シ居ル先達ノ士モ敢テ自分ノ後繼者ヲ引揚ゲルコトヲナサヌヨリ赫々(明ニ盛ナルノ意)ノ光リ名譽モナイ、是ノ如ク兩者ノ間互ニ相隔離シ意思ノ疎通ヲ欠ゲルハ先進後進兩者ノ所爲皆過テルモノト謂フベキナリ、サテ未ダマダ嘗テ一度モ之ヲ即先達ノ士ニ付テ言フ我ヲ引揚ゲテ呉レル先達ノ士ガ愈々アルカナイカハ後進ノ士ヨリ之ヲ干メタル上ナラデハ上ニ其人即先達ノ士ガ無ヒト斷定スルコトハ出來ヌ、先達ノ士モ之ヲ(後進ノ士ヲ指シテ云フ)尋ネ求メズシテ下ニ自ラ推舉シテ來ル後進ノ士ガナイト

固^コ論^ロスル久シ矣 孟子ニ王ノ爲メニ之ヲ誦ストアルニ本ケリ。

固^コ以^リ聞^クノ字 漢書李斯ノ傳ニ臣昧死以聞トアルニ本ケリ。

- 獨^ド特^トノ長^チ技^キ。
- 逆^{ギャク}ニ右^ウ扇^{セン}ヲ受^ケク。
- 逆^{ギャク}ニ左^サ扇^{セン}ヲ受^ケク。
- 順^{ジュン}ニ左^サ扇^{セン}ヲ受^ケク。
- 順^{ジュン}ニ右^ウ扇^{セン}ヲ受^ケク。

側^{ソバ}聞^ク閣^{カク}下^カ抱^ク、閣^{カク}下^カ不^レ世^セ出^スノ才^{サイ}ヲ抱^クキ、特^{トク}豆^{トウ}シテ獨^{ドク}行^{コウ}、道^{ダウ}方^{ホウ}ニシテ事^ジ實^{ジツ}ナリ卷^{クワン}舒^{シュ}時^ジニ隨^ズハズ、文^{ブン}武^ブ惟^テダ其^ノ用^{ヨウ}

速^ス了^リスルコトハ出來ヌ双方宜シク干^{モト}メ求^ムムベキデアアル愈^ニハ韓愈^ノナリ)ノ此言(前ノ論旨ヲ總括シタル也)ヲ誦スル(誦スルトハ誦シ述ルト言フ意ニシテ終始之ヲ口ニスルトナリ)コトハ一朝一夕ノコトニアラズ長キ間之ヲ誦述シ居ル故ニ久矣ト言ヒシナリ、サテ未ダ敢テ人(此ノ人ハ先達ノ士ヲ指スナリ)ニ以聞(申シ上グルト言フ意)セヌ、シタコトガナイ、ソレハ何故デアアルカト言ヘバ今日先達ノ士ナルモノハ理窟ノ分ルモノガ少ケナイ没分曉漢ニ言フタ所デ何ノ功能モナイ、故ニ申サスト言ヒ放チ其ノ裏面ニ理窟ノ分ル先達ノ士ヲ搜索シテ居ルトノ意ヲ暗々ノ中ニホノメカシタル筆法ニシテ且ツ下ノ主人公タル于襄陽ヲ引キ起シ本題ニ入ルノ餘地ヲ作りタルナリ此等ノ處韓公獨特ノ長技ナリ

又^{マタ}法^{ホウ}「其^ノ故^ノ在^リ下^ノ之^ノ人^ノ」之^ノハ逆^ニ右^ノ扇^ヲ受^ケタルナリ、「上^ノ之^ノ人^ノ負^ク其^ノ位^ヲ」デハ逆^ニ左^ノ扇^ヲ受^ケタルナリ、又高材威々之窮ノ句ハ逆^ニ右^ノ扇^ヲ受^ケケ、盛位赫々之光ノ句ハ逆^ニ左^ノ扇^ヲ受^ケケ、是二人者之所爲皆過也」デハ左右兩扇ヲ疊ミ收メ、更ニ「未嘗干之」ハ順^ニ左^ノ扇^ヲ受^ケケ、「未嘗求之」ハ順^ニ右^ノ扇^ヲ受^ケケ、「愈之誦此言久矣」ハ左右兩扇及ビ全論ヲ總收シ、「未嘗敢以聞人」デハ容易ニ人ニ許ルサバルノ意ヲ示メシ高ク地歩ヲ占メ以テ次ノ一段ヲ迫リ出スナリ、以上ヲ一段トナス、

側^{ソバ}聞^ク閣^{カク}下^カ抱^ク不^レ出^ス世^セ之^ノ才^{サイ}特^{トク}立^ツ而^{シテ}獨^{ドク}行^{コウ}道^{ダウ}方^{ホウ}而^{シテ}事^ジ實^{ジツ}卷^{クワン}舒^{シュ}不^レ隨^ズ乎^ニ時^ニ文^{ブン}武^ブ惟^テ其^ノ所^ノ用^{ヨウ}豈^ハ愈^ニ所^ノ謂^フ其^ノ人^ト哉

井ル所ノマ、ナリト豈ニ愈
ガ調ハユル其人ナルカナ
賢誼治安策ニ仄聞ニ作レリ
之ニ本ケリ。
傳ニ略不世出ナルモノナリ
トアルニ本ケリ。
准南子ニ在リ、凡テ進退出
處ノコトニ付テ言フ。

○オトスナリ。
○文章ノ抑揚
○累層法

之レヨリ本題ニ入り主人公タル公ノ相手ヲ迫リ出スナリ、側（陰ナガラ
嚮ニ聞クノ意ニシテ謙遜ノ辭ナリ、ニ聞キマスルニ尙書閣下ハ不世出（再ビ世
ニ出デサルノオト云フコトニテ希世ノ大才ヲ云フナリ、ノオヲ抱キ持チ、特立
シテ獨行（特立獨行トハ獨立ノ意見ヲ持シ自分ノ見慮一杯ノコトヲ行フ云フ）
少シモ他人ヘ遠慮スルト云フコトナク、道方（方ハ正ナリ）行ハル、所ノ道ハ如
何ニモ公明正大ニシテ正道ヲ行ハレ、事實（實行スルヲ言フナリ）事々皆實行
サレ、卷舒（人ヲ進退スルノ所置ニ付テ言フ）人ヲ進退サル、政治向ノ所置ニ於
テハ自分ノ意見通リニズン、ヤツテノケ、少シモ時ノ如何ニ連レテ人氣ニ投
ズルト言フ如キお上手主義ヲ行フコトナク自分ノ自信スル所ヲ斷行シ時流ニ隨
ヒ其ノ意見ヲ狂ゲルト言フコトナク文アルモノ武アルモノ文武ノ才アルモノハ
御賢慮一ツテ御採用ニナルトノコトデアル、サレバコレ迄ハ誰レニモ愈ノ意中、
我ノ持論ヲ以聞スル底ノ相當ナル人物ヲ見出シ得ナカッタガ、今閣下ノ如キ
大偉人ニ見付カツタハコレモ何カノ因縁デアル私ノ意中ヲ申シ上グル人ハ閣下
ノ外ニナイト言フテ十分ニ賞賛シタノデアル、

○此處ハ下ニ於テ于公ヲ貶セントスル故ニ先ヅ之ヲ賞賛シ置クナリ之ヲ文章
ノ抑揚ト云フ、文章抑ヘントスレバ先ヅ之ヲ揚ゲ、揚ゲントスレバ先ヅ之ヲ抑
サヘテ置ク、之レ其ノ常法ナリ、而シテ此處ハ累層法ヲ以テ之ヲ十分ニ揚ゲシ
ナリ、累層法トハ幾重ニモ之ヲ累ネルコトニテ、「抱不世出之才」ト曰ヒ、「特立

獨行」ト曰ヒ、「道方而事實」ト曰ヒ、「卷舒不隨乎時」ト曰ヒ、「文武惟其所用」
ト曰ヒ恰モ樓閣ヲ累ル如ク五層マデ之ヲ揚ゲタルナリ、カク于公ヲ九天ノ上ニ
揚ゲ置クハ忽チ之ヲ九地ノ下ニ落スノ手段ナリ。

抑未聞後進之士有遇知於左右獲禮於門下者豈求之
而未得邪將志存乎立功而事專乎報主雖遇其人未暇
禮邪何其宜聞而久不聞也

○抑未聞後進ノ士、左
右ニ遇知セラレ門下ニ獲
禮セラレ、モノアルヲ聞カ
ズ、豈之ヲ求メテ、未ダ得
ザルカ、將タ志功ヲ立ツル
ニ存シ、事主ニ報ズルニ專
ナレバ、其人ニ遇フト雖モ、
未ダ禮スルニ暇アラサル
カ、何ソ其レ宜シク聞クマ
クシテ、久シク聞カサルヤ

○而字注意スベシ。
○而字注意スベシ。

抑ノ字ハ發語ノ辭ニシテ、サテマタト言ヘルガ如シ、サテ未ダ後進有爲ノ
士ニシテ、左右（お側）閣下ノお側ニ遇知（遇知トハ、遇ハ待遇、知ハ才氣ヲ知
ラル、ナリ）セラレ、十分ニ其ノ才氣ヲ知ラレ、相當ナル待遇ヲ受ケ、ソノ御
門下ニ於テ獲禮（獲禮トハ相當ナル禮遇ヲ受ケ引キ揚ケラル、ヲ云フ）即チ禮
ニヨリテ引キ揚ゲ獲ラレタルモノガアリタト云フコトヲ聞キマセヌ、豈ナント
之（後進ノ士）ヲお求メニナリテモ、而カモ未ダソレ相應ナル賢人ヲ得ナイノデ
アリマスルカ、將タ（將タハタバシハノ意）タバシハ閣下ノ志ハ朝廷ニ對シ功
ヲ立テ自分ノ榮進ヲ計リ、閣下ノナサル、仕事ハ其ノ主君ニ報ゼントスルノ念
專一ニシテ、他ヲ顧ミルノ餘地ナケレバ時ニ賢者ニ見付カツテモ、禮ヲ以テ引
キ揚ケルト云フ御寸暇モナイノデアリマスカ、ドウシテカ、モハヤ後進ノ士ヲ

お引キ揚ゲニナリタリト言フウハサト疾ニモ聞クベキ筈ナルニ久シク今ニ於テ聞カザルコトナルカト言フテ于公ヲ反省セシムルナリ、此ノ處ノ字面ハ如何ニモ美シク言フタルモノ、其ノ裏面ハ大ニ于公ヲ譴責セシナリ、之ヲ露骨ロコウ(アラソ)ニ言ヘバ、閣下ハ只自身ノ榮進ヲ希圖スルノ外、他人ノコトハドウデモヨイト言フ所存ナルカ、誠ニサモシキ根性デアルトノ意ナルガ、其處ハ文章ノ鉅公タルニヨリテ、毫シモ其ノ鋒銳ヲ見ラハサズ婉曲ニ言ヒ廻ハシ、俗ニ所謂ル味噌ニ骨アルガ如クニ言ヒコナシタル筆法、老手ナラデハ能ハスコトナリ、

文法 上文累層ノ所ニテ十分ニ于公ヲ揚ゲタル故此ノ一節モ同ジク同様筆法ニテ之ヲ抑フルナリ、此處ニ於テ注意スベキ點ハ而未得邪、未暇禮邪ノ兩邪ノ字ニアリ、此ノ兩邪ノ字ハ何レモ言ヒ破ラズシテ含蓄ノ妙アリ、凡テ文章ハ言ヒ破リテハ味ナシ、諺ニモ言ハスハ言フニ勝サルトアルガ如ク、此ノ旨ヲ心スルコト文章ノ秘訣ナリ、イマダ得ナイノデアリマスカ、禮スルニ暇ガナイノデアリマスカ、兩邪ノ字ハ(カ)ト讀ミテ疑ヒノ意ヲ含ミ自然ニ餘韻アリモシ、求メザルナリ、得ザルナリ、禮セザルナリト喝破シタランニハ些ノ趣味モナシ、

愈雖不才其自處不敢後於恒人閣下將求之而未得歟。

古人有言請自隗始

訓義 此ノ以下自分ヲ説クナリ愈自分ハ誠ニ不才(才能ナシ)ナルモノデハアル

●注意スベキ邪ノ字

●愈不才ト雖モ、其ノ自ラ處ル、敢テ恒人ニ後ケレズ、閣下將タ之ヲ求メテ、未ダ得ザルカ、古人言フアリ、請フ隗ヨリ始メヨ。

ト雖モ其自ラ處ル(自ラ處ルハ、自ラ居ルナリ、自分ノ居ル所ノ意ニテ自ラカマエルコト)、自分ノ抱負スル所ト言ハンガ如シ)自身デ此レ位ナモノデアルト負ミ居ル所ノモノ敢テ恒人(恒人ハ常人ト同ジ)一人前ノ人間ニハヒケヲ取ラヌ一人前ノ人間丈ケノ仕事ハ屹度スル、閣下ニ於テハ、將タ、タシハ之ヲ求メテマタ見當リ得ナイカ、古人ガ言ツテ居ル、請フ隗ヨリ始メテ下ダサイト、コレハ昔時燕ノ昭王ト言ヘル王ガ、其國ノ日ニ弱クナルヲ心配シ、其臣郭隗ナルモノヲ召シ賢者ヲ進ムベキコトヲ以テシタルニ、隗ノ答ヘケルニハ、昔シ或ル王ガ人ヲシテ千金ヲ以テ千里ヲ走ル名馬ヲ求メシメシニ、其者ガ死馬ノ骨ヲ五百金ニ買ツテヒヨコノ尻ツテ來ルト、王ガ大變ニ怒ラレタ、スルト其者ノ言フニ、死馬スラ五百金ニ買フト聞クナラバ、生キタル馬ヲバ定メテ高價ニ買ツテ吳レルデアロトト必ズ良馬ガ至ルニ相違ナシト言ヘリ、果シテ一年立タヌ中ニ千里ノ馬ガ二匹來タトノコトアリ、王モ亦必ズ賢ナル士ヲ招キ致サントナレバ隗ヲ第一番ニ任用セラレヨ、サスレバ隗ヨリ賢ナルモノハ、千里ヲ遠シトセズ、燕國ニ來リテ仕官スルト言ヒケレバ、昭王成ル程ト感心シ、隗ノ爲メニ立派ナル宮室ヲ作りテ師トシテ事ヘタルニ之ヲ聞キ傳ヘテ樂毅ヲ始メトシ多クノ賢者ガ來リテ昭王ヲ佐ケ其國ヲ強クセリ、ソコデ韓文公ガ此ノ故事ヲ引用シ來リ、于公ヲ以テ昭王ニ比シ、隗ヲ以テ自身ニ比シ、于公ニシテ眞成ニ賢ヲ求ムルノ心アレバ先ヅ第一ニ韓愈ヨリ始メヨトナリ、

全文の主意

愈、今者惟朝夕芻米
僕賃ノ資是レ急ナリ、閣下
一朝ノ享ヲ廢スルニ過ギズ
シテ是ルナリ、如シ吾ガ志
功ヲ立ルニ存シ事主ニ報ズ
ルニ專ナレバ其人ニ遇フト
雖モ未ダ禮スルニ暇アラズ
ト曰ハハ則チ愈ノ敢テ知ル
所ニ非ラザルナリ。

世ノ觀々たる者、既ニ
以テ之ヲ語ルニ足ラズ、磊
落奇偉ノ人又タ聽ク能ハズ
焉、則チ信ナルカ、命之窮ス
ルナリ、謹テ舊爲ル所ノ文
一十八首ヲ獻ズ、如シ覽觀
ヲ賜ハハ亦タ以テ其志ノ存
スル所ヲ知ルニ足ルナリ、
愈恐懼再拜。

文章軌範講義

此文ノ主意ハ全ク請自隗始ノ四字ニアリ、上來説キ來リタルハ此ノ四字ヲ
發露センガ爲メナリ、此處公精神ノ集注スル所ト知ルベシ、一矢惜テ發タズ、
作者用意ノ所ヲ知ラサル可ラズ、

愈今者惟朝夕芻米僕賃之資是急不過廢閣下一朝之
享而足也如曰吾志存乎立功而事專乎報主雖遇其人
未暇禮焉則非愈之所敢知也

愈ハ目下ノ境遇タル惟朝夕芻米(マダサ)ナリ、米代ナリ、下僕ナド凡
テノ皆銀ノ資(費用)ニ之レ不自由ヲ感ジテ居ル哀ハレワビシキ有様ナルガ、
コレ丈ケノコトヲ支辨スルニハ、閣下ハ大臣ノコト故、一朝(朝飯ナリ)ノ享
(フレマイ、馳走ト言ハンガ如シ)トテモ大ソ一ナモノデアアルカラ、ソレヲ一
度おヨシナサレテ、ソレ丈ケノ料ヲ愈ニ賜ハルナレバ優ニ私ノ活計ハ立チ行ク
トテ、愈ヲ御採用下サルトナラバ決シテ大祿ヲ望ム譯デナイ、而ルニ尙前言ヲ
繰リ返ヘシ、自分ノミノ榮進ヲ計リ、他人ノコト迄ハ世話ハ届カストノ思召デ
アレバ愈ハ強ヒテハお願ヒ申サス、則チ敢テ知ル所ニ非ラザル也トテ、ツント
スネタル筆法ナリ、

世之觀々者。既不足
以語之。磊落奇偉之人
又不能聽焉。則信乎
命之窮也。謹獻舊所爲
文一十八首。如賜覽觀
亦足以知其志之所存
愈恐懼再拜。

世ノ觀々(一ハコセヅクノ意、局量ノ狭小ナルモノハタルモノハ理屈ハ分
ラズ之ヲ語ルモ駄目ナレバ以テ之ヲ語ルニ足ラヌ、磊落奇偉(磊落ハ度量ノ廣
キコト、奇偉ハ大人物ナリ、于公ヲ指ス)ナル于公ノ如キ大人物ガ此レ丈ケ申
シ上ゲテモ、又タお聽キ入レナイトスレバ則チ信ナル乎(コレハ是非ガナイノ
意)コレモ運命ノ窮スル所、コレ丈ケノ天命デアアル、以下ハ書牘ノ體デアリテ
謹テ舊クカラ作りテ居タ所ノ文章一十八文ヲ併セテ献上スル、モシモお序ニ御
覽ヲ下サレバ、亦タ以テ韓愈ハ如何ナル志ヲ持チテ居ルカ、如何ナル人物デア
ルカノ點モ、自然ニ分リマセウトテ一篇ヲ終ハレリ、恐懼再拜ハコレ書牘ノ體
デ、日本デ終リニ書ク所ノ恐惶謹言ノ類ト同ジ。

「此處世之觀々者、既不足以語之、」ノ句ハ上文「未敢以聞人」ノ一段ニ照應
シテ、之ヲ結ビ「磊落奇偉之人」ノ句ハ、「豈愈所謂其人哉」ノ一段ニ照應シテ之
ヲ結ビ「信乎命之窮也」ナリト言フテ自身ヲ收メソレノシメタ、リヲナシ、
且ツ命ノ窮スルナリトテ、之ヲ天命ニ歸シタル所、コレ韓愈ノ人格ノ高キ所ニ
シテ、地步ヲ占メタル所ナリ、謹舊以下ハ文ノ餘波ニシテ別段意味アルナシ、

文章軌範講義

後念九日復上宰相書

韓昌黎

題圖三月十六日、前ノ郷貢進士、韓愈、謹ミ再拜言ス相公閣下、愈聞ク周公ノ輔相タル其ノ賢ヲ見ルニ急ナルヤ、一食ニ方リ、三タビ其嘔ヲ吐キ、一沐ニ方リ三タビ其髮ヲ握ル。

三月十六日。前郷貢進士韓愈謹再拜言。相公閣下。愈聞周公之爲輔相。其急於見賢也。方一食三吐其嘔。方一沐三握其髮。

此書ハ韓愈ガ時ノ宰相ニ上リ仕官ヲ求メタルナリ、而シテ此書ハ第三ノ書ナリ、第一ノ書ハ正月廿七日、第二ノ書ハ二月十六日、第三ノ書ハ三月十六日已ニ二度マデ上書シテ推選ヲ求メタルモ、宰相ヨリ何ノ返事モナイ、故ニソレヨリ第二十九日目ニ第三ノ書、即此書ヲ上リシナリ、一本ニハ「後二十九日復上宰相書」ニ作ル、二十ヲ何故ニ念ト書スルカト言フニ、廿ノ字ハ、念ノ訛リヨリ、イットモナク習慣トナリ、遂ニ後世念ト書クヨウニナリタノデアアル、何レニシテモ同ジコトナリ、此書ノ大體ノ意味ハ昔時周公ノヨク天下ノ賢才ニ下ダリタルコトヲ以テ引例トナシ宰相タルモノハ、宜シク周公ノ如ク賢才ヲ引キ揚グルコトニ注意スベシトナリ、

郷貢進士 下文ノ解ナ見ヨ。

周公ノコト 下解ナ見

三月十六日ニ、前ノ郷貢進士、(郷貢進士トハ已ニ試験ニ及第シ、未ダ何ノ官職ニモ就カザルモノ、郷貢トハ、州縣ヨリ撰舉セラレタルモノナリ)ノ韓愈ガ謹ミ再拜シテ、相公(宰相ナリ)閣下ニ申シ上グル、以上ハコレ上書文ノ禮式ナリ、此ノ以下議論ニ入ルノデ、サテ愈ガ兼テヨリ聞テ居リマスルニ、周公(周

○ 輔相 ○ ハ宰相ナリ。

○ 一篇ノ骨子。

○ 當是時ニ當リ、天下ノ賢才、皆已ニ舉用シ、姦邪ノ讒佞欺負ノ徒、皆已ニ除去シ、四海皆已ニ虞ナク、九夷八蠻ノ荒服ノ外ニアルモノ、

公ハ成王ニ宰相トシテ天下泰平ヲ致シタル聖人ナリ、)ノ成王ニ宰相トナルヤ其(其ノ字ハ周公ヲ指ス)ノ周公ガ賢才ヲ引上ゲン爲メニ賢者ヲ引見スルコトノ急ナルヤ、一食即一度飯ヲ食スル時ト雖モ、ソレ賢者ガ來タト見ル時ハ、三邊マデ其嘔(嘔トハ口ニク、ミ居ル食物ナリ)ヲ吐キ出シ、飯ヲ中途ニシテ止メ、一沐(沐トハ髮ヲ洗フナリ)髮ヲ洗フ時ト雖モ賢者ノ來ルト聞ケバ、三邊迄其髮ヲ握リタマ、髮ヲ洗ラヒサシニシテ賢者ニ引見セリトナリ、サテ三タビ嘔ヲ吐キ、三タビ髮ヲ握ルト言ヒシハ、如何ニモ周公ノ賢才ヲ見ントスルニ熱心ニシテ急切ナリシヲ見ハシタルナリ、コレハ史記ノ文ヲ引用シテカク言ヒタルナリ、

此文ハ今日ノ宰相ガ、如何ニモ賢才ヲ疎略ニスルヨリ、大ニ其ノ不心得ヲ責メントシ周公ノ賢才ヲ厚遇セシコトヲ以テ案トナシ、下文攻撃ノ餘地ヲ作りシナリ「急於見賢」ノ四字ハ一篇ノ骨子トモナルベキ文字ニシテ、下ノ大議論ハ皆是ノ四字ヨリ生ズルナレバ、決シテ輕々ニ見テハナラヌ、孟子ノ文章ニ尤モ比類多シ

當是時。天下之賢材皆已舉用。姦邪讒佞欺負之徒皆已除去。四海皆已無虞。九夷八蠻之在荒服之外者皆已賓貢。天災時變昆虫草木之妖皆已銷息。天下之所謂禮樂

刑政教化之具皆已脩理。風俗皆已敦厚。動植之物、風雨霜露之所沾被者、皆已得宜。休徵嘉瑞、麟鳳龜龍之屬、皆已備至。

皆已ニ實貢シ天災時變昆
虫草木ノ妖、皆已ニ銷息
シ、天下ノ謂ハユル禮樂刑
政教化ノ具皆已ニ修理シ
風俗皆已ニ敦厚、動植ノ物
風雨霜露ノ沾被スル所ノモ
皆已ニ宜シキヲ得、休徵
嘉瑞麟鳳龜龍ノ屬皆已ニ備
至ル。

爾雅 下解 見ヨ。

サテ周公ハ是ノ如ク賢才ヲ引キ上グルコトニ急ニシタルノ結果、其ノ政治モ自然ト善クナリ、天下ノ賢才ハ皆已ニ舉用(引キ舉ゲ用キシ)シ、姦邪ナル惡人、讒(人ノ惡口ヲツクモノ)佞(口サキバカリウマイモノ)欺(詐僞)負(ソムクトテ信ナキモノ)此等ノ惡黨ハ除キ去リテ用キズ、四海ハ泰平ニシテ無事、九夷八蠻(東ニアルヲ夷ト云ヒ、南ニアルヲ蠻ト曰フ)共ニ夷狄ナリ、(九夷八蠻ノ文字ハ書經ヨリ出ヅ)荒服(荒服トハ京師ヲ去ルコト甚ダ遠ク王化ノ及バザル所ニシテ、其土地モ荒レタレバカク云フナリ)ノ外ニアルモノ迄モ皆已ニ賓貢(賓ハ賓服ノ賓デ服從ノ意ナリ)皆其ノ王化ニ服從シ、天災時變(天災トハ洪水、旱天疾疫等皆天災ナリ)(時變トハ氣候ノ順ヲ失ヒ冬雷鳴リ夏雪フル等ノコトヲ云フ)草木昆虫(草木トハ、アヤシナ草木ヲ生ズルコト、昆虫ハ蝗トテ稻ヲ食フ虫等ノ出デ、作物ヲ害スルコト妖ハ怪シムベキコトナリ)モスツカリ銷息(キエヤムナリ)シテ更ニカ、ル天變地異ナク、其他不思議ナル諸災異モナク、天下ノ稱シ謂フ所ノ禮ナリ音樂ナリ刑法ナリ政治ナリ人ヲ教育シ善化スル所ノ學校等ノ諸器械モ皆已ニ修理(完全ニ具備スルコト)シテ何一ツ不足スルト

爾雅 下解 見ヨ。

云フコトナク、風俗(風トハ上ヨリ下ニ及ボスヲ曰ヒ、俗トハ下ノ之ニ習フヲ曰フ)モ皆已ニ敦厚(厚クナリテ輕薄ノコトナシ)ニナリ、凡テノ動植物モ風雨霜露ノ沾被(ウルオシ、カウムルナリ)スル所ノモノ皆其ノ順氣ヲ得テ被害ナク宜シキヲ得テ生長シ、休徵(休ハ美ナリヨキシルシナリ)嘉瑞(嘉ハ善キナリ瑞ハ祥ナリ、メデタキコト)麟鳳龜龍(是ハ四靈トテ天下祥瑞ノモノナリ)コレ等ノモノモ盡ク備ハリ至レリトテ、周公賢才ヲ任用シ、政治ヲ改善シタレバ、天下泰平無事ニナリシコトヲ仰山ニ言ヒ立テタルナリ、

踏足法。

此處ハ恰モ空中ニ樓閣ヲ構ヘタルガ如ク、層ヲ累ネ、天下泰平ノ模様ヲ大ソトニ言ヒ立テタルナリ、而シテ累層ノ中、九字ノ句アリ、十二字ノ句アリ、六字ノ句アリ、十五字ノ句アリ、十四字ノ句アリ、或ハ長キ十七字ノ句アリ、カク殊更ニ不揃ノ句ヲ聯ネタルハコレガ所謂ル韓公ノ踏足法ナリ、踏足法トハ踏足ノ如ク、一步ハ長ク、一步ハ短ク、トンチンカンノ様デハアルガ、却テ不揃ノ處ニ一種ノ妙味アルナリ、何故ニ韓公ガ斯様ナル文法ヲ用フルカト言フニ、已ニ前ニモ述ベタルガ如ク、六朝ニ於テ四六駢麗體ノ文章ガ流行シタレバ、其ノ流行ヲ防ギカ、ル浮薄ナル文體ヲ破壞センガ爲メニ此種ノ文體ヲ用ヒタルナリ。

而周公以聖人之才憑叔父之親其所輔理承化之功又

爾雅 下解 見ヨ。

ノ輔理承化スル所ノ功、又
如シ、其進見ヲ求ムル所ノ
士、豈ニ復々周公ヨリ賢ナ
ルモノアラシヤ、惟ダ周公
ヨリ賢ナラザルノミナラズ
豈復々時ノ百執事ヨリ賢ナ
ルモノアラシヤ、豈復々計
議スル所、能ク周公ノ化テ
補フ者アラシヤ。

盡。文章如是。其所求進見之士。豈復有賢於周公者哉。不
惟不賢於周公而已。豈復有賢於時百執事者哉。豈復有
所計議能補於周公之化者哉。

天下ハ已ニ大半ナル上ニ、ソ一シテ周公ハ聖人ノ才アルヲ以テシ、成王ト
ハ現在ノ叔父タル懿親身内ニヨリ、ソノ周公ガ成王ヲ輔ケ佐ケテ政治ヲナシヨ
ク（理ハ治ト同ジ）天下ヲ治メ天下ノ人民ガ、ヨクソノ教化ヲ受ケテ善良ニナ
リタルノ功、又々章々（アキラカナルヲ）タルヲ是ノ如ク以上ノ如クデア
其ノ周公ノ所ヘ進ミお見ヘヲ求ムル所ノ士トテモ豈（ナントシテノ意）復々周
公ヨリ賢ナルモノアラシヤ、アリハセヌ、惟ダニ周公ヨリ賢ナラザルノミデナ
ク、時ノ百執事（周公ノ用キテ居ル諸有司、諸役人ナリ）ノモノヨリ賢ナルモ
ノハアリハセヌ、豈復々ナントシテ、ソレ等周公ニ遇ヒニ來ル所ノ士ニシテソ
ノ計カリ議スル所ノ獻策ガヨク周公ノ教化ヲ補ヒ佐ケルモノアラシヤ、ナイ、
逆モ、周公ノ手助ケニナル程ノモノハ滅多ニナイトナリ。

屬然リ而シテ周公之ヲ、
求ムコト此ノ如ク其レ急ナ

然。而周公求之如此。其急惟恐耳目有所不聞見。思慮有

リ、惟ダ恐ラケハ耳目聞見
セザル所アリ、思慮未ダ及
バザル所アリ、以テ成王周
公ニ託スルノ意ニ貢ムキ、
天下ノ心、周公ノ心ノ如ク
ナルヲ得ザランコトヲ、設シ
其時、輔理承化ノ功ニ、未
ダ盡ク章々タルコト是ノ如
クナラズ、而シテ聖人ノ才ニ
非ラズ、而シテ叔父ノ親ナカ
ラシメバ、則チ將ニ食ト沐
トニ暇アラザラントス、
豈特ニ吐哺握髮ノ勤ニシテ
止シヤ、惟ダ其レ是ノ如シ、
故ニ今ニ于テ成王ノ徳ヲ頌
シ、周公ノ功ヲ稱シテ衰ヘ
ズ。

所未及。以負成王託周公之意。不得於天下之心。如周公
之心。設使其時輔理承化之功。未盡。文章如是。而非聖人
之才。而無叔父之親。則將不暇食與沐矣。豈特吐哺握髮
之勤而止哉。惟其如是。故于今頌成王之德。而稱周公之
功不衰。

上文天下ハ太平デアアル故ニ吐哺握髮ノ必要ガナイ様デアアル、然リ而シテ（ソ
レデアアルニモ拘ラズ）周公ハ之（賢者ヲ指ス）ヲ求ムルコトガ、如此（ノ二字上文
ヲ總括シテ言フ）ソレ急切デアアル、ソレハ何故デアアルカト言ヘバ、周公如何ニ聖
人ナルモ、自分丈ケノ耳目ヲ用フルノミニテハ、猶未ダ聞キヲトシ、見ヲトス
所アリ、自分一人ノ思慮ノミニテハ、未ダ事足ラザル所アリ、モシ萬一ニモ天
下ノ治マラザル等ノコトアリテハ、折角成王ガ天下政治ノ事ヲ以テ依托サレタ
ル意ニソムキ、天下ノ人心ガ一致セズ、ソレノニナリテ周公ノ方ヘ歸服セズ、
周公自身ノ思フ心ノ如クナラザランコト朝夕ニ心配サル、ニ由リテデアアル、設
（假設ノ辭）萬一ニモ輔理承化ノ功ヲシテ未ダ章々タルコト如上ノ通りデナク、
聖人ノ才モナク、叔父ノ親ミモナク、アカノ他人ナラシメバ、則チ將サニ飯食
フ際モ髮ヲ梳ケズル寸間モナキガ如ク尙一層賢才ヲ求ムルコトガ急切デアロー

頌、稱、自、ヲ、輕、重、ア、ル、ヲ、知、ル、ベ、シ、。

惟ダ其レ周公ガ是ノ如クニ心ヲ勞シ政事ニ勤メラレシニ由リ、其ノ功績モ著シ
ルシク、今日ニ至ルモ成王ノ德ヲ頌（賞シ祝スル意）シ、周公ノ功ヲ稱シテ哀
ヘヌ、王ニハ頌ト曰ヒ、周公ニハ稱ト曰フコレ作者用意ノ所ニシテ字ヲ容易ニ
下サザル所ナリ。

文法 此處、然而ノ二字ヲ以テ大曲折ヲナシ、周公何故ニ吐哺握髮ノ勞ヲナスカ
ヲ疑ヒ、惟恐以下テ之ヲ解シ、更ニ設使以下ヲ以テ反面ヨリ説キ起シ、惟其如
是ヲ以テ周公成王ヲ收結シ、下文本題ニ入ルノ餘地ヲ十分ニ作リシナリ。

今閣下爲輔相亦近耳。天下之賢才、豈盡舉用。姦邪讒佞
欺負之徒、豈盡除去。四海豈盡無虞。九夷八蠻之在荒服
之外者、豈盡賓貢。天災時變、昆蟲草木之妖、豈盡銷息。天
下之所謂禮樂刑政教化之具、豈盡脩理。風俗豈盡敦厚。
動植之物、風雨霜露之所沾被者、豈盡得宜。休徵嘉瑞、麟
鳳龜龍之屬、豈盡備至。

講義 コレヨリ當時ノ宰相ニ付キテ曰フ、現今閣下ノ輔相トナル周公ノ成王ニ宰
相トナリタルト、其地位責任ニ付キテ考フルニ殆ド相近キナリ相同ジト曰フテ
宜シク賢才ヲ引上ゲ天下太平ヲ期スベシトナリ、而ルニ當時ノ有様如何ヲ見ル

爾今閣下ノ輔相タル亦近
キノミ、天下ノ賢才、豈ニ盡
ク舉用セシヤ。
以下、皆己ノ二字ヲ豈盡ノ
二字ト易エ、其意味ヲ反シ
タルモノナレバ推知スベシ

子○重○復○ カサナルナリ。

爾其ノ進見ヲ求ムル所ノ
士、以テ盛德ヲ希望スルニ
足ラズト雖モ、百執事ニ比
スルニ至テハ、豈盡ク其ノ
下ニ出テンヤ、其ノ稱説ス
ル所、豈ニ盡ク補フ所ナカ
ランヤ、今周公ノ吐哺握髮
ノ如クナル能ハズト雖モ、
亦タ宜シク引テ之ヲ進メ、
其ノ以テスル所ヲ察シ、之
ヲ進退スベシ、宜シク默々
ニシテ己ムヘカラザルナリ

ニ天下ノ賢材ハ決シテ舉用シテナイ、上文ノ處ハ、皆己ノ二字ヲ用ヒ舉用スル
ヲ曰ヒ、此處ハ、豈盡ノ二字ニ易ヘ、上文ノ意ヲ變化シタルモノナレバ、別ニ
説明スルノ要ナシ、ナカノニ天下太平ドコロデハナイ、宰相タルモノ一ト奮
發ヲ要スベシトノ意ナリ、
文法 是ニ於テ本題ニ入り、大ニ宰相ヲ攻撃スルナリ、而シテ豈盡ノ二字ヲ以テ
上文皆己ノ二字ニ代ヘ、全ク其意ヲ變化シ、少シモ他ノ字面ヲ改メズ、讀者ヲ
シテ重複ヲ厭ハシメズ、醉ヘルガ如キノ想アラシム、誠ニ奇代ノ大手筆ト云フ
ベキナリ、此等ノ筆法、公獨リ擅ニスル所ニシテ、他ノ作家ニ於テ、決シテ
之ヲ見ザル所ナリ、

其所求進見之士。雖不足以希望盛德。至比於百執事。豈
盡出其下哉。其所稱說。豈盡無所補哉。今雖不能如周公
之吐哺握髮。亦宜引而進之。察其所以而進退之。不宜默
默而已也。

講義 其ノ宰相ノ處エ進ミお見エヲ求ムル處ノ士ニシテ、固ヨリ以テ盛德（盛德
ノ字ハ宰相ニアテ、云フ、宰相ハ盛德ナル方デアルトノ意）ヲ希望（ノゾムナ
リ）シ希ヒ望ミ宰相ノ眞似ヲナシ宰相ノ盛德ニ企及シヨトシタ處デ、ソレハ

開察其所以ノ字ハ論語ニアリ

逆モ及バヌコトナレド、宰相ノ任用サレテ居ル所ノ下有司百官ノモノマデ、盡ク賢才ノモノ斗リデアルトハ言ヘスカラ、百執事ニ比スルトキハ、ナントシテ、盡ク其下ニハ出デマセヌ、百執事ノモノヨリ、賢リテ居ルトノ意ナリ、マタ其ノ稱説シ申シ上グル計議々論モ、ナントシテ、宰相ノ高論ヲ補ヒ佐ケルコトガナクトモ限ギラレヌ、時ニハ宰相ノ佐ケニナルコトモ申シ上ゲマス、ソレ故ニ今一步ヲ譲リマシテ、ヨシンバ周公ノ吐哺握髮ノ如ク急切ニナサルコトガ出来ヌニシテモ、賢才ニシテ進見スル者ノアリタル場合ニハ、亦タ宜シク引キ進メテ之ニ面會モ許シタ上、更ニヨクハ吟味ノ上ニテ、其ノ所以、(以テスル所、以テハ爲スノ意、コレハ如何程ノオアルカヲ察シミルナリ)如何ナルオカヲ有スルカ役ニ立ツカ、立ヌカ、位ノコトヲバヨク、察シ見テ、進ムベキモノナレバ之ヲ進メ、退クベキモノナレバ之ヲ退ケ、進退ノ所置ヲナサルベキデアアル、宜シク黙々(ダマリ込ムナリ)ト何ニモ言フコトナク、知ラヌ顔デ、打チャツテ居クトハ、以テノ外ノコトデアルトノ意ナリ、

文法 上ニ於テ周公ト宰相トヲ對照シテ、周公ニ如カザルコトヲ十分ニ攻撃セシニヨリ、宰相ハ殆ド顔色ナシデアアル、ソレデハ宰相ガ屹度怒ルニ相違ナイ、モトト此文ハ公ガ宰相ノ引立ヲ願ヒ仕官ヲ求ムルノ書ナレバ、怒カラシテハ、折角ノ苦心モ水泡トナリテ仕舞フ、怒ラセナイ様、ソラセナイ様ニセネバナラス、ソコデ、此處ニ於テ、盛徳ヲ希望スルニ足ラズト言フテ、大ニ宰相ヲ賞賛

回護法

通鑑愈ノ命ヲ待ツ四十餘日矣、書再ビ上リ、志通ズルナ得ズ、是三タビ門ニ及ビ閣人辭ス焉、惟其レ昏愚ニシテ逃遁スルヲ知ラズ故ニ復タ周公ノ説アリ焉、閣下其レ亦タ之ヲ察セヨ。

開古ノ人、三月仕ヘザレバ則チ弔ス、故ニ強チ出

シ、宰相ヲ立テゴカシニシ、自分仕進ノ路ノ開ケル様ニナシタルナリ、是等ノ筆法ヲサシテ、文章ノ回護ト曰フ、回護トハ俗ニカボートノ意ナリ、

愈之待命四十餘日矣。書再上而志不得通。足三及門而閣人辭焉。惟其昏愚不知逃遁。故復有周公之說焉。閣下其亦察之。

是ニ至リ、三度マデ上書スルノ止ムヲ得ザルヲ云フ、已ニ二度マデ、上書ヲシタレバ、宰相ヨリ何トカ御沙汰ノアル筈ナリ、今日ヤ御沙汰ガアルデアロカ、明日ヤ御返事ガアルデアローカト指折リ數ヘテ待テ居ルヲ已ニ四十餘日ノ久シキニ及ブト雖モ何ノ使リモナイ、ソコデ上書ゲハ手スルイ、イツソノコ、直々ニ參上シテ御願ヒ申サント足ヲハコンデ、三度マデ御門ニ行キマスルト、閣人(門番ナリ)ガ辭(コトハルナリ)シテ容易ニ取次ヲシテ吳レマセヌ、唯タ其レ天性愚昧馬鹿ナル自分デアアルカラ、逃ゲ遁ル、コトモナシ得ヌ、ソレ故厚顔マシクモ復ビ重ネテ周公ノコトヲ申シ上ゲ、幾重ニモ引立ヲ願フ次第デアアル。文法 是ニ於テ是非ニモ進見ヲ願フノ意ヲ曰ヒ、復有周公之說ノ句ヲ以テ周公ノ一節ト照應シ收結ヲナシタルナリ。

古之人三月不仕則弔。故出彊必載質。然所以重於自進。

ブルニ必ズ質ヲ載ス、然レハ自進ニ重ナル所以ノモノハ其ノ周ニ於テ不可ナレバ、則チ去テ魯ニ之キ、魯ニ於テ不可ナレバ、則チ去テ齊ニ之キ、齊ニ於テ不可ナレバ、則チ去テ宋ニ之キ、鄭ニ之キ、秦ニ之キ、楚ニ之クナリテナリ、今天下一君、四海一國、此ヲ舍テバ則チ夷狄ナリ、父母ノ邦ヲ去ルナリ、故ニ士之道ナリ行フモノ、朝ニ得ザレハ則チ山林ノミ、山林ハ士ノ獨リ善クシ自ラ養フ所ニシテ、天下ヲ愛ヘザルモノ、能ク安ズル所ナリ、如シ天下ヲ愛フルノ心アレバ、則チ能ハズ矣、故ニ愈々、毎ニ自ラ進テ愧ルチ知ラズ焉。

質ノ解 下ニ委シクアリ。

者、以其於周不可則去之魯、於魯不可則去之齊、於齊不可則去之宋、之鄭之秦之楚也。今天下一君、四海一國、舍乎此則夷狄矣。去父母之邦矣。故士之行道者、不得於朝則山林而已矣。山林者、士之所獨善、自養而不憂天下者、之所能安也。如有憂天下之心、則不能矣。故愈々自進而不知愧焉。

是ノ以下、仕官スルモノ我ノミニアラザルヲ言フナリ、古之人（コレハ孟子ニアル）ニテ公明儀ト云ヘル人ノ言ヒシ辭ナリ。昔ノ人モ三月ノ間、君ナク仕官ヲナサズ、浪人シテ居ルト、他ノ朋輩ノモノヨリ品（トムラー）ラート云フコトデアアル、「故出疆云々」（コレモ公明儀ノ言ナリ）故ニ官職ヲ辭シ他ノ諸侯ノ國ニ行ツテ仕官ヲ求メントスルモノハ必ズ質（質ト讀ム、コレハ士ガ初メテ君ニお見ヲナシ仕官ヲ求ムル時、替ト稱ヘテ君ニ土產物ヲ差シ出スヲ禮トナス、太夫ハ羊ヲ以テシ、士ハ雁ヲ以テシ、庶人（平人）ハ雉ヲ以テストアリ、質替音通ニテ同ジコトナリ）ソレ故ニ國ヲ去リ又々他國ニ行ク時ハ早クモ仕官ヲ求メントスル故ニ土產物ヲ車ニ載ストナリ、是ノ如ク仕官ヲ求ムルコトノ急切デア

關○論○語○ニ○何○ゾ○必○ズ○父○母○ノ○邦○ヲ○去○ラ○ン○ト○ア○リ○、○之○ニ○本○ヲ○ケ○ル○ナ○リ○。

ルガ、然シナガラ、其ノ自進（自ラ進ンデ仕官ヲ求ムル）ニ重（重ルトハ遠慮スルノ意）自ラ進ムコトニ遠慮シテ差シヒカエル様ニスルハ何故ナルカト言フト、當今トハ全ク時勢ヲ異ニシ、其ノ周ニ於テ仕官スルコトガ出來ヌ時、不可ナル時ハ魯ニ之キ、コレモ不可デアレバ齊ニ之キ、コレモ思ハシカラテ則チ宋ニ之キ或ハ鄭ナリトモ秦ナリトモ楚ナリトモ勝手次第ニ天下諸侯ニ仕官ヲ求ムルコトガ出來テ周一國ノミ日ハ照ラヌト言フ有様デアリタカラデアアル、今ハ昔時ノ封建時代トハ其ノ時勢モ一變シ、天下ハ唐ノ天子一人アルノミニテ、四海ヲ統一サレ、唐ノ國一國デアアル、故ニ此國ヲ舍テ去リタナラバ、何レノ國ニ行カンカ、行クベキ所ハナイ、則チ遠キ夷狄ノ國デアアル、我が生レ故郷ノ懐カシキ父母ノ邦ヲ去ラネバナラス、ソレ故、士タル者ガ道（道トハ我レノ本領ヲ行フヲ云フナリ）ヲ行ヒ大ニ世ヲ利セントスルモノ、朝廷ニ仕官シテ其道ヲ行フコトヲ得ナイ時ハ如何スベキカト言フト、イツソノコト、思ヒ切テ山林ニデモ隠レ込テ世事ヲ打チヤリ仙人ヲ極メ込ムヨリ外ハナイ、コレハ容易ナルコトデアアルガ、併ナガラ、山林ニ隠レ込ムト云フコトハ、士タルモノガ、世ノ事ヲ見限り、世ガドウナラウガ、我ノ知リタルコトデナイトテ、獨リ其身ヲ善クシ潔クシ自身丈ケテ安心ニ養フ所ニシテ天下ノ治亂盛衰ヲ憂ヘズ頓着セザルモノ、能ク安心シテ居ル所デ、サテノ不親切ノ至デアアル、如シ萬一ニモ天下ヲ憂フルノ心アル時ハ則チ決シテ出來ナイ、ソレ故自分ハ敢テ山林引込ノコトヲ

ナスニ忍ビズ飽ク迄モ仕官ヲ求メテ止マズ、少シモ愧ヅルコトヲ知ラヌノデア
ルコレハ韓公ガ我ノ仕官ヲ求ムルハ、單ニ自分一人ノ榮進ヲ求ムルノデハナク、
一片天下ヲ憂フルノ赤誠ヨリ出ツルノデアルトノ抱負ヲ述ベ、高ク地歩ヲ占メ
タル所、其人格ヲ想見セシムルニ足ル。

文法 此處ハ古人皆仕官スルヲ曰ヒ、自身仕官ヲ求ムルヲ曰フノ案トナシ、更ニ
之ヲ翻案シテ、古人ノ自身ニ重ルヲ曰ヒ、之ヲ時勢ノ變遷ニ歸シ、更ニ一片君
父ヲ思フ衷情ヲ披瀝シ、尙一層進デ志天下ヲ濟フニ在ルノ本領ヲ發揮シタルナ
リ。

書亟上足數及門而不知止焉寧獨如此而已惴惴焉惟
不得出大賢之門下是懼亦惟少垂察焉瀆冒威尊惶懼
無已愈再拜。

訓讀 已ニ三度目ノ書デアアルカラシバ、ト上リタルナリ、三ビ門ニ及ビシ故、
數ト云フナリ、(數シバ)ト讀ム時ハ、音サクトナル、物ノ數ノ時ハスウナ
リ心得ベシ)ソシテ止マルト云フコトヲ知ラヌ、寧ゾ、ドウシテカ、タマコ
レ斗リデアリマセウヤ、コレ斗リデナイ、惴々(ソソル、ノ意)ソソレ心配ヲス
ルニハ宰相ノ如キ大賢人ノ門下ニ出仕テ仕官スルコトガ出來マイカト言フコトヲ
是レ懼レテ居ル、亦(此處ノ亦ハ斟酌ノ意ヲ含ム)少シハ私ノ意中ヲクミハカ

翻案 トハ、案ナヒツ
クリカヘシテ、最初ノ意ト
反對ノコトヲ云フナリ。

訓讀 書亟上リ、足數
門ニ及ブ、而止マルヲ知
ラズ焉、寧ゾ獨此ノ如キ
ノミナラン、惴々焉トシテ
惟大賢ノ門下ニ出ルヲ得
ザルヲ是レ懼ル、亦タ惟ダ
少シク察ヲ垂レヨ焉、威尊
ヲ瀆冒シ、惶懼己ムナシ
愈再拜。

一篇ノ主意

張籍 張籍ニ代リ李漸東ニ與
フル書。

高足 トハ第一ノ弟子
ナリ。

著想 思ヒ付キ。

リテ憐レト思召シお察ヲ願ヒマス、思フ儘ノコトヲ申シ上ゲ、宰相ノ御威光ナリ
尊嚴ヲ瀆冒(オカシケガスナリ)オカシケカシ、オソレ多キコト何ントモ申
シ譯ノナキ次第デアルトテ、所謂ル禮儀ニ本ヅキ一篇ヲ收メタルナリ。
文法 「書亟上」ト云ヒ、「足數及門」ト云ヒ、上文ノ「書再上」ト「足三及門」トノ處
ニ照應シ、「不得出大賢之門下是懼」ト云フテ、此文章ニ於ケル一篇ノ主意ヲ露
ハシタルナリ、公ノ抱負ト、公ノ大手筆トヲ以テシ、加フルニ赤誠熱血ヲ以テ
シタルニ拘ラズ、仕進ノ路ノ開ケザリシハ、コレ亦命之窮スル乎、サテ、是
非モナキ次第ナリ。

代張籍與李漸東書

注意 コレハ韓公ガ張籍ノ爲メニ代筆ヲシタル文章デアアル、張籍ハ、韓公ノ門下
ニシテ詩文ニ長シ、殊ニ古詩ニ於テハ最モ其ノ長ズル所デアアル、惜ムベキコト
ニハ晩年ニ及ビ眼病ノ爲メニ盲目トナリタリ、盲目トナリタル張籍ヲ、漸東ノ
節度觀察使ト云ヘル役ヲ致シテ居ル李巽ト云フモノニ推選シ、幕下ニ任用シテ
吳レトノ注文デアアル、如何ニ韓公ノ高足ニシテ詩文ニ長シ、學問ガアレバト
テ隨分無理ナル申方デアアル、ソコヲ文章ノ大家丈ケニ、盲目者ニモ、目盲ト心
盲トノ二者ガアリテ、籍ノ如キハ目盲デ心盲デナイト喝破シ、之ヲ推舉セシノ
著想、何時ニ始メヌコトナガラ、老巧トヤ申サン。

○方伯連帥ノ解ヲ見ヨ○
 月日前某官某謹東向再拜寓書浙東觀察使中丞李公
 閣下籍聞議論者皆云方今居古方伯連帥之職坐一方
 得專制於其境內者惟閣下心事犖犖與俗輩不同籍固
 以藏之胸中矣
 コレハ韓愈ガ、張籍ニ代リ、代筆セシ文章故ニ月日身分ヲ書セズ、惟月日
 某官某トノミ書キタノデアル、謹ミ東向(東向トハ張籍ハ京師ニアリ、浙東ハ東
 ニアルユヘニ云ヒシナリ)東向ノ字、已ニ敬仰ノ意ヲ含メリ)再拜シ手紙ヲ寓
 (寄ルナリ)セマス、浙東觀察使李公閣下ニ、コレハ書牘文ノ儀式ナリ、サテ、
 籍ガ聞キマスルニ、今日ノ人物評論ヲナス者ガ、皆左様ニ申シマス、方今(今
 日ニ方タルナリ)今時ニ於テ古代ノ方伯連帥(方伯連帥トハ、コレハ周代王制
 ニ五國ヲ以テ屬トナシ、十國ヲ以テ連トナシ、連ニ帥アリテ之ヲ統括セシナリ
 今ノ節度使ガ之ニ相當スルナリ)ノ職位ニ居リ、一地方ニ坐シカマヘテ居テ、
 其ノ境ノ内自分ノ管轄内ヲ自分ノ見慮一杯ニ治メテ行クコトノ出來得ル節度觀
 察使ノ職ニ居ル者ニ付キテ見ルニ、皆論ニカ、ル者ガナイガ、惟(限ルノ辭)其
 中デ閣下一人ノミハ、心事犖犖(犖犖ハ公明ナリ)心ナリ、ナサル、事業ガ、誠
 ニ公明正大デアリテ、世俗一般ノツマラヌ俗物トハ大ニ其ノ趣ヲ異ニシテ居

方伯連帥ノ解ヲ見ヨ

月日前某官某謹東向再拜寓書浙東觀察使中丞李公
 閣下籍聞議論者皆云方今居古方伯連帥之職坐一方
 得專制於其境內者惟閣下心事犖犖與俗輩不同籍固
 以藏之胸中矣
 コレハ韓愈ガ、張籍ニ代リ、代筆セシ文章故ニ月日身分ヲ書セズ、惟月日
 某官某トノミ書キタノデアル、謹ミ東向(東向トハ張籍ハ京師ニアリ、浙東ハ東
 ニアルユヘニ云ヒシナリ)東向ノ字、已ニ敬仰ノ意ヲ含メリ)再拜シ手紙ヲ寓
 (寄ルナリ)セマス、浙東觀察使李公閣下ニ、コレハ書牘文ノ儀式ナリ、サテ、
 籍ガ聞キマスルニ、今日ノ人物評論ヲナス者ガ、皆左様ニ申シマス、方今(今
 日ニ方タルナリ)今時ニ於テ古代ノ方伯連帥(方伯連帥トハ、コレハ周代王制
 ニ五國ヲ以テ屬トナシ、十國ヲ以テ連トナシ、連ニ帥アリテ之ヲ統括セシナリ
 今ノ節度使ガ之ニ相當スルナリ)ノ職位ニ居リ、一地方ニ坐シカマヘテ居テ、
 其ノ境ノ内自分ノ管轄内ヲ自分ノ見慮一杯ニ治メテ行クコトノ出來得ル節度觀
 察使ノ職ニ居ル者ニ付キテ見ルニ、皆論ニカ、ル者ガナイガ、惟(限ルノ辭)其
 中デ閣下一人ノミハ、心事犖犖(犖犖ハ公明ナリ)心ナリ、ナサル、事業ガ、誠
 ニ公明正大デアリテ、世俗一般ノツマラヌ俗物トハ大ニ其ノ趣ヲ異ニシテ居

伏線 フクセン

○伏線 フクセン○

○伏線 フクセン○
 閣下ノ從事李協律朝京師ニ到ル、籍
 李君ト友タル也、見ザル
 六七年、其ノ至ルヲ聞キ、
 馳セ行キ之ヲ省ス、悉ナキ
 カチ問フノ外、一言ヲ出ス
 ニ暇アラズ、且ツ先ヅ其
 ノ賢主人ヲ得ルヲ賀ス、
 李君曰ク、子豈盡ク之ヲ知
 ランヤ、吾將ニ盡ク之ヲ言
 ハントス、數日ニシテ籍益
 聞カザル所ヲ聞ク、籍私
 ニ獨喜ア常テ以爲ラク今
 ヨリ以後、復々古人ノ如キ

ルト云ヒマス、籍ハソコデ、誠ニ慕ハシキ御方ナリ、一度ハ近付ニナリタイト
 ノ一心ヨリ、固(固ヨリトハ平素ヨリ體ニノ意ナリ)ヨリ以テ之(議論スル者ノ
 言ナリ)ヲ胸中ニ藏(收ムルナリ)メテ、ヨク之ヲ記憶スルトナリ。
 此處ハ、先ヅ李公ノ人物ヲ寫シ、非常ナル人ニシテ、獨リ他ノ俗物ニ傑出
 スルヲ曰ヒ、暗ニ敬慕ノ意ヲ寓セタルナリ、ソレシテ茲ニ俗輩ト同ジカラズト
 ノ提案ヲナシ置ケルハ、下文ニ於テ、俗輩ニ廢テラルベシ云々ノ字面ヲ言ハン
 ガ爲メノ下拵、ニシテ、伏線ナリ。

近者閣下從事李協律到京師籍與李君友也不見六
 七年聞其至馳往省之問無恙外不暇出一言且先賀其
 得賢主人李君曰子豈盡知之乎吾將盡言之數日籍益
 聞所不聞籍私獨喜常以爲自今以後不復有如古人者
 於今忽有之

此頃ニナリテ、閣下ノ從事(屬僚ナリ)ノ李協律朝(李ハ姓、協律ハ官名、
 翺ハ名ナリ)ガ偶然京師ニ來ラレタ、籍ハ李君トハ昔カラノ親友デアアル、相遇
 ヒ見ザルヲガ六七年ノ久シキ間デアッタ、ソコデ其ノ舊來ノ親友ガ來タノデ、
 久振テハアルシ、遇ヒタサ、見タサノ念ヤミ難ク、取ルモノモ取リ敢ヘズ、馳

モノアラズ、今ニ於テ忽之有リ。

セ往テ之ヲ見舞フタ、李君恙(恙ナキハ無事ナルコト)ナク御無事デアリタカト問フノ外ハ、何事ヲ言フ暇モナク、且ツ先ヅ第一ニ其(其ノ字ハ李君ヲ指ス)ノ李君ガ、李中丞ノ如キ賢明ナル主取ヲナサレテ結構デアルトノコトヲ賀シお祝ヲシタ、處ガ李君ノ曰ヘルニ、子(子ハ敬稱ニシテ李君ヨリ籍ヲ指シテ言フナリ)お前サンハナントシテカ、盡ク李中丞ノ賢ナルコトヲ知ランヤ知ルマイ、吾將ニ盡クお前ノ爲メニ一々其ノ賢ナルコトヲ話サウトテ話サレタガ、數日二三日ノ中其ノ話ヲ聞キテ、愈々益々コレ迄未タ嘗テ聞カザル所ノ李中丞ノ賢ナルコトヲ聞キ一層敬慕ノ念ヲ高メタコトデアアル、當(コレハ嘗テノ意)テ或ル時思フニ今ヨリ以後、昔時ノ如キ賢者ハ復ビト此世ニ出ナイ、到底見ルコトハ出來スト覺悟シテ居タニ、今ニ於テ中丞ノ如キ賢者ガ忽チ偶然ニ出テタリトテ、飛ビ立ツ様ナ思フナシタ。

退自悲 不幸 兩目不見物

此處ハ、其友タル李君ヲ出ダシ、李君ノ口ヲ借リ、中丞ノ賢ナルコトヲ語リ出ス、是レ傍寫ノ法トテ、傍ヨリ之ヲ寫スナリ、馳往省之ノ四字、友情ヲ寫シ得テ宛然(恰モノ意)見ルガ如シ、此處句々、皆活動シテ生キルガ如シ、自喜ノ字ハ、下文退悲ノ字ヲ呼ビ起サンガ爲メナリ。

胸中雖有知識 家無錢財 寸步不能自致

退自悲 不幸 兩目不見物 無用於天下 胸中雖有知識 家無錢財 寸步不能自致 今去李中丞五千里 何由致其身

於其人之側開口一吐其胸中之奇乎。因飲泣不能語。

雖モ、家ニ錢財ナシ、寸歩モ自ラ致ス能ハズ、今李中丞チ去ルコト五千里、何ニ由リテカ、其ノ身チ其人ノ側ニ致シ口チ開テ一吐其ノ胸中ノ奇チ吐ンヤト、因リテ飲泣語ル能ハズ。

退イテ思フト、自ラ悲ムベキデアアル、如何トナレバ、不幸ナルコトニハ、晩年眼病ノ爲メニ兩目トモ物ヲ見ルコト叶ハズ、天下ノ不用物デアアル、胸中ニハ智惠見識ヲ具ヘ有シテ居ルモ、家貧乏ニシテ金錢財寶トハナク唯ノ一寸モ外ニ踏ミ出シ自分ノ力デ、ドウスルコトモ出來カネル、ソレニ今李中丞ヲ去ルコトハ、五千里ノ遠キヲ隔テ、居ル、ドーイタシテ、其身自分ヲ其人(中丞ヲ指ス)ノ側ニ致タシ(中丞ノ所ヘ往クヲ云フナリ)口ヲ開ラキテ、一吐胸中ノ奇ナル才ヲ吐キ出サウヤ、其ノ道トテハナイ、トツオヒツノ思案ノ末、先ツモノハ泣斗リデ、飲泣(ムセブナリ)シテ物モ言ヘストナリ。

卒讀 讀ミ卒ルナリ、(ソツ讀トヨムハ惡シ)。

此節ハ上ノ喜ヨリ悲ノ字ヲ呼ビ起シ、俯仰感慨、盲目ノ悲シサヲ訴ヘ、人ヲシテ卒讀ニ堪エザラシム、其ノ事ヲ序スル所、寸歩ニ對スルニ五千里ノ字ヲ以テスルカラ、十分ニヒビク所アリ、又致其身ト曰ヒ、開口等ノ字面、盲目ノ狀ヲ寫シテ目ニ見ルガ如シ、文中、智識ノ字ヲ胸中ノ奇ト變化シ、脈理離レザル點ナド、初學者ノ心スベキ所ナリ。

既數日復自奮曰無所能人乃宜以盲廢有所能人雖盲當廢於俗輩不當廢於行古人之道者浙水東七州戶不

既ニ數日、復タ自ラ奮テ曰ク、能スル所ナキ人ハ宜ク盲ナ以テ廢セラレベシ能クスル所有ル人ハ

下數十萬。不盲者何限。李中丞取人。固當問其賢不賢。不當計其盲與不盲也。

盲スト雖モ、當ニ俗輩ニ廢セラルベシ、古人ノ道ヲ行フモノニ廢セラレ可カラズ。浙水ノ東七州、戶數十萬ニ下ラズ、不盲者何ゾ限ラシ。李中丞人ヲ取ル、固ヨリ當ニ其賢ト不賢トヲ問フベシ、其盲ト不盲トヲ計ル可ラザルナリ。

既ニシテ數日ヲ經テ、又タ思ヒ直シ、自ラ奮發シテ曰ヘルコトニ、能クスル所ナク、何ノ才能モナキ所ノ人ハ、盲目ナレバ仕方ガナイ、スグト世ニ廢テラレルガ、能クスル所アル人、材能ノアル我輩ノ如キモノハ、假令盲目トハ曰ヘ世ノ俗輩ノ奴原ニハ廢テラル、ケレモ、當ニ古人ノ道ヲ行ハル、古人大賢ノ資格アル心事榮々ナル李中丞如キ偉大ナル人物ニハ決シテ廢テラレヌ、必ズ採用サル、サテ浙水ノ東(浙東ナリ)州ハ七州ニ分レ、戶數モ數十萬已上アリテ、眼ノバチノトアイテ居ルモノハ限ギラレヌ程デ随分澤山アル、眼斗リバチノトシテ居タ處デ材能ノナキモノハ無用ノシレモノデアル、李中丞ハ一角ノ見識アル御方ユヘ、ソノ人ヲ取ラル、ニモ、ソノ當ニ賢デアルカ、不賢デアルカヲ問ハルベク、ソノ盲ト不盲トハ吟味スルトコロデハナイト言フテ、必ズ我ヲ採用セヨトノ意ナリ。

自悲ノ字ヨリ、自奮ノ字ヲ呼ビ起シ、古人ヲ以テ中丞ニ期シ、浙東有眼ノ俗物ヲ罵倒シ、以テ自身ノ大ニ用フベキヲ曰ヒ、下文ノ心盲ト目盲トヲ呼ビ起スナリ。

當今盲於心者皆是。若籍自謂獨盲於目。爾其心則能別是非。若賜之坐而問之。其口固能言也。幸未死。實欲一吐。出心中平生所知見。閣下能信而致之於門耶。

當今盲於心ニ盲スルモノ皆是レ、籍ガ如キハ自ラ謂フ獨目ニ盲スルノミ、其ノ心ハ則チ能ク是非ヲ別ツトモシ之ニ坐ヲ賜ヒ、之ニ問ハハ、其ノ口固ヨリ能言ハシ、幸ニシテ未ダ死セズ、實ニ一ビ心中平生ノ知見ハル所チ吐出セントス、閣下能ク信シテ、之ヲ門ニ致サシカ。

當今眼ハ開イテ居ルガ、材能見識ナク、マルデ心ノ盲ト云フモノ皆是レデアル、籍ガ如キハ自ラ思ヒマスニ獨リ目ガ見エヌト言フ計リデ、其心ハ能ク物ノ道理ヲ辨ヘ善惡是非ヲ分別スルノ能力ヲ有シテ居リマス、論ヨリ證據疑アルナレバ、若シ一口お膝下ニお呼寄ニナリ之ニ坐ヲ下ダシ賜ハリタル上ニテ、試ニ之ニ問ハレタナラバ、ソレハ其ノ口、固ヨリ達者デ能ク言ヒマスル幸ニモ未ダ死セズ餘命ノアリマスルハ不幸中ノ幸デアルカラ、實ニ一度中丞ノ所ヘ伺侯シ我が心中平生ノ知見スル所ノ意見ヲ吐出シ大氣船ヲ吐カント思フテ居ル矢先デアルカラ、李閣下ニ於テハ、能ク我が言ヲ信用シ、之ヲ門下ニ招キ致シテハ下タサラスカ。

此節ハ、此文章ノ斷案タル心盲ノ字ヲ掲出シ、自分ノ心盲ニアラザルヲ辯ジ、推舉ヲ願フナリ、賜之坐ト曰ヒ、其口固能言ト曰ヒ、吐出等ノ字面、終始一貫シテ盲目ノ形容ノ離レザル用意、殊ニ妙ナリ、平生所知見ヲ知見ノ字ハ、上文奇ノ字ヨリ變化シ來リタルナリ。

爾爾籍又太古詩ニ善シ、其ノ心ニ衣食ヲ憂フルヲ以テ亂レザラシメ、閣下無事ノ時、一ビ之ヲ坐側ニ致シ、跪イテ其ノ有スル所ヲ進メシメ、閣下凡ニ憑リテ之ヲ聽カバ未ダ必ズシモ吹竹彈絲敲金擊石ヲ聽クガ如クナラズンバアラザル也、夫レ盲者ハ業ヲ專ニ藝ニ於テ必ズ精、故ニ樂工ハ皆盲籍、倘バ此輩ト比並スベケンヤ。

籍又善於古詩使其心不以憂衣食亂閣下無事時一致之座側使跪進其所有閣下憑几而聽之未必不如聽吹竹彈絲敲金擊石也夫盲者業專於藝必精故樂工皆盲籍倘可與此輩比並乎

籍ハ又太古詩ヲ善ク作りマス、其心ヲシテ衣食ノコトヲ憂フルヲ以テ亂レシムルコトナク、衣食ノ心配ヲ免レシメ安心ニ衣食スルヲ得サセシ後、閣下ガ御閑暇ノ砌、一遍ドーカ、籍ヲお膝下ニ御召シニナリ、其所有(古詩ヲ云フナリ)籍ガ持前ナル得意ノ古詩ヲ歌ハシメ、閣下ハ凡(凡トハ、オシマヅキト稱シ、肘ヲ付クモノ)ニ憑リモタレテ、之ヲお聴キニナリタルコトナレバ、未ダ必ズシモ吹竹(笛ナリ)彈絲(琴ナリ)敲金(金ヲタ、ク)擊石(石ノ樂器ヲ擊ツナリ)此等ノ音樂ヲ聞カル、ガ如クニ面白味ヲ感ゼスト云フコトハナク、必ズ感ズル、ソレ盲目者ハ、業ハ専門ニヤル、故ニ藝術ニ於テ必ズ精シキヲデアルカラ、ソレユヘ樂工(音樂師ナリ)ハ總體皆盲目者デアアル、而カシ、倘(モシモノ意ナリ)ヒヨツト此等専門ノ音樂師ト同一ニ視ラレテハ、迷惑千萬デアアル故、此輩ト比並(シラベル)スベケンヤ、クラベモノニハナリマセスト曰ヒテ、地歩ヲ占メタルナリ。

又法 古詩ハコレ籍ノ本領ナル故ニ、最後ニ於テ特ニ之ヲ提出セリ、坐側、跪、憑几ノ字面、皆盲目者ノ形容ヲ離レザル妙ナリ、吹竹、彈絲、敲金、擊石等ノ字皆盲ニ縁アリ、用意周到ト謂フベシ。

使籍誠不以畜妻子憂饑寒亂心有錢以濟醫藥其盲未甚庶幾復見天地日月因得不廢則自今至死之年皆閣下之賜閣下濟之以已絕之年賜之以既盲之視其恩輕重大小籍宜如何報也閣下裁之度之籍慙視再拜。

爾爾籍ニ誠ニ妻子ヲ畜シテ饑寒ヲ憂フルヲ以テ心ヲ亂レザラシメ、錢アリテ以テ醫藥ニ濟ハバ、其ノ盲未ダ甚シカラズ、庶幾クバ復ビ天地日月ヲ見テ、因リテ廢セラレザルヲ得バ、則チ今ヨリ死ニ至ルマデノ年、皆閣下ノ賜ナリ、閣下之ヲ濟フニ已絶ノ年ヲ以テシ、之ニ賜フニ既盲ノ視ヲ以テセバ、其恩ノ輕重大小、籍宜シク如何カ報ズベケンヤ、閣下之ヲ裁シ、之ヲ度レヨ、籍慙視再拜。

籍ニ誠ニ妻子ヲ養育シ、衣食ニ心配スルコトヲ以テ其心ヲ亂レザラシメカ、ル繁累(ワヅライナリ)ヲ免レシメ、錢アリテ以テ醫藥ニヨリ療治ヲシタナラバ其ノ盲目モ未ダ甚シクナラヌデアロー、庶幾(庶幾ハチカキノ意)ハ復ビ天地日月ヲ見ルヲ得、コレニ因リテ世ニ廢テラレルヲ免ヌカレタナラバ、則チ今ヨリ死ニ至ル迄、一生ノ間、皆李中丞閣下ノお蔭デアアル、閣下ニ於カレテハドーカ、之ヲお救ヒ下サルニ已絶(已絶トハ自分ハ盲目デアアル故、已ニ此世ニ絶望スルノ意)最早此世ニ望ミノ絶エタル籍ヲシテ、今一度世ニ立タシメ、之ニ賜ハルニ既盲(既盲トハ既ニ盲目トナルナリ)ノ我レニ今一度目ノ見エル様ニシテ下ダサレタナラバ、其ノ恩ノ輕重大小(輕小ノ字ハ添字ナリ)其御恩ノ

韓愈の詩經ニ觀タル面目アリトアリ、是レ二本ゾク。

重大無邊ナルヲ、籍ニ於テ、宜シク如何様ニシテ報ジ奉ルベキカ、實ニ御恩ノ報ジ方ガナイ、閣下ニ於テ憐レ不慙ト思召サレ、之ヲ裁判シ、ヨキ様ニ之ヲ度リ所置ヲナサレテ下ダサレヨ、籍愆視(愆ハ愧ヅルナリ、視モハヅルナリ)耻ヲ入り再拜シテ申シ上グル、
【又法】 此節、コレ李公ニ書ヲ寓スルノ本意ナリ、文中、有錢ノ字ハ、上文無錢財ニ應ジ「復見天地日月」ハ不幸兩目不見物ニ應ジ「因得不廢」ハ、無用於天下ニ應ジ、更ニ輕重大小ト曰ヒタルハ、重大ハ其身ヲ任用スルニ付テ之ヲ言ヒ、輕小ハ一時ノ急ヲ救フニ付テ之ヲ言フナリ、本書ノ主意トスル所ハ、一時ノ急ヲ救ハントニハアラズ、其身ヲ任用センコトヲ切望シタルナリ。

上張僕射書

韓昌黎

九月一日、愈再拜、受牒之明日、在使院中、有小吏持院中故事節目十餘事、來示愈、其中不可者有、自九月至明年二月之終、皆晨入夜歸、非有疾病事故、輒不許出、當時以初受命、不敢言。

【題意】 張ハ姓、僕射ハ官名ナリ、名ハ建封ト曰フ、張僕射ハ韓愈トハ本朋友ノ縁故アルナリ、ソノ縁故ヨリシテ一時ソノ幕僚トナリ仕ルコトニナリタ、所ガ屬

張僕射ニ上ルノ書。

九月一日、愈再拜、牒ヲ受クルノ明日、使院中ニアリ小吏有リ、院中ノ故事節目十餘事ヲ持シ、來リ愈ニ示ス、其ノ中不可ナル者有リ、九月ヨリ明年二月ノ終リニ至ルマテ、皆晨入夜歸、疾病事故アルニ非ラザレバ、輒ク出ルヲ許サズト、當時初テ命ヲ受クルヲ以テ敢

テ言ハズ。

【又法】 官ト云フモノハ、誠ニ窮屈デ、其上五月蠅モノデアアルカラ、韓愈モナカクニ辛抱ガ仕切スヨリ此書ヲ上リシナリ、

【講義】 九月一日ニ韓愈ガ再拜シテ申シ上グル、牒(牒トハ今ノ辭令書ノ如キモノ)辭令書ヲ受取リ拜命シタルソノ明日、使院中(官廳ナリ)ニアリタルニ小役人アリテ、官廳中ノ從來施行シ來リシ故事(從來ノ故例ナリ)節目(節目トハ一節ナリ、及ビ條目、今テ言ヘバ内規細則様ノモノナリ)十餘條斗リヲ持チ來リ愈ニ示セリ、因リテ之ヲ見ダレバ、其中イカナイモノガアル、ソレハ何デアアルカト曰ヘバ本年ノ九月ヨリ明年二月ノ末ツ方迄事務ノ都合ニヨリ、皆晨入夜歸(晨入夜歸トハ晨ニ役所ニ入り夜ニナリテ退クナリ)セネバナラス、病氣トカ、萬止ムナキ事故アルノ外、容易ニ退出スルコトヲ許サナイト云フ箇條ノ一節ガアリタ、誠ニ無理ナルコトヲ述モ不可能ノコトハ考ヘタガ、當時初テ命ヲ受ケ、拜命セシ當初ノコトデ、新參ノ身デアアルカラ、差控テ何事モ申サナカッタ。

【又法】 先ツ晨入夜歸ノ四字ヲ掲出シ、下文ノ案ヲ立テシナリ、此處ノ不敢言ノ三字下文ニ於テ大ニ言ハント欲スルガ故ニ差控フルナリ、コレ小曲折ノ所ナリ。

古人有言曰、人各有能有不能、若此者、非愈之所能也、抑而行之、必發狂疾、上無以承事於公、忘其將所以報德者。

【題意】 古人言ヘルアリ曰ク、人各々能アリ不能アリト此ノ如キハ愈ノ敢テ能スル所ニ非ラザルナリ、抑テ之ヲ

行ハバ、必ズ、狂疾ヲ發セシ、上ハ以テ公ニ承事スルナク、其ノ將ニ德ニ報ユル所以ノモノヲ忘レ、下ハ以テ自立スルナク、其心ト爲ス所以ヲ喪失セシ、夫レ是ノ如クハ、則チ安ゾ得テ言ハザラン。

下無以自立、喪失其所以爲心。夫如是、則安得而不言。

古人（古人ハ左傳ニ楚ノ王孫由于ト言ヘルモノ）ノ言ヘルコトニ人ト云フモノニハ、各々出來能フコト、出來能ハヌコトガアル。誠ニ其ノ通デアツテ、此ノ如キ晨入夜歸ト云フ様ナ勤務ハ、迪テモ韓愈ニハ能ハヌコトデアアル。抑（抑フルハ無理ニヤルコト）ヘテ無理ニ押シ通シテ、ヤラントスレバ、ソレコソ狂氣ニナリテ仕舞フ、ソノナルト大變デ、上アナタニ對シテハ公（コノ公ハ公事ノ公デ公事ヲ務ムルナリ）ニ承事（ウケツカヘル）スルコトナク、公ノ事務ヲ務ムルコト出來ズ、ソノ將ニ折角我ヲ引立テ下ダサレシ恩德ニモ報フル所以ノ道ヲ忘レ、御恩報ジモ出來ヌ仕義トナル、ソレ是ノ如クナル時ハ、安ゾドウシテ、默シテ居ラリヨウゾ、言フモ言フモ大ニ言ハネバナラス。

此節ハ、傳ヲ引キ、能不能ノ字ヲ以テ提案トナシ、大ニ晨入夜歸ノ不可能ナルヲ云フ、上ニ不敢言ト小曲折シタルハ、マサニ此處ノ安得而不言ヲ呼ビ起サンガ爲メナリ、コレヨリ大ニ言ヒマクラントスルナリ、

凡執事之擇於愈者、非謂其能晨入夜歸也。必將有以取之。苟有以取之、雖不晨入夜歸、其所取者猶在也。

凡ソスベテ、執事（張僕射ヲ指シテ云フ）ノ愈ニ擇ビ、愈ニ擇ミテ引揚ゲ

凡ソ執事ノ愈ニ擇メル者、其ノ能ク晨入夜歸スルヲ謂ニ非ラザルナリ、必ズ將ニ以テ之ヲ取ルアラントス、苟モ以テ之ヲ取ルアレ

晨入夜歸セズト雖モ、其取ル所ノモノ、猶在ル也。

ラレタルモノハ何モ其ノ能ク晨入夜歸スルヲ謂フノデハナク、必ズ將ニ別ニ取リ所ガアルトテ、引揚ゲラレタルモノデアアル、苟モ別ニ取リ處ガアルトシテ、引揚ゲラレタルモノデアレバ、無理ニ晨入夜歸ハイタサズトモ、ソノ取リ所、韓愈ノ本領ト云フモノガアリマスレバ、ドトゾ其ノ本領トスル所ヲ取リ上ゲ、用キテ下ダサレトナリ、

上文能不能ノ字面ヨリ縁ヲ引キ、自分ハ他ノ徒輩ト同様ニ晨入夜歸セズト雖モ、大ニ本領ノトルベキモノアルヲ言ヒ、高ク地步ヲ占メタルナリ。

下之事、上不一其事。上之使、下不一其事。量力而任之、度才而處之。其所不能、不彊使爲。是故爲下者、不獲罪於上。爲上者、不得怨於下矣。

下ノ人ガ上長官ニ事ヘテ行クニ、ソレノ所能所長ト云フモノガアルカラ必ズソノ其ノ取ル所ノ仕事ヲ一樣ニスルト云フコトハセヌ、上長官ガ下僚ヲ任使テ行クニモ、必ズ同様ナル仕事ヲサセルト云フコトハナイ、下ノモノハ自分ニ自身ノ才力ヲ量リ、自分ノ能フ丈ノ仕事ヲスル、又タ上長官ハ下僚ヲ任使スルニ、下僚其者ノ才力ヲ度リ、ソノ任ヘ得ベキ地位ニ處キ、仕事ヲサセル、ソノシテ其ノ迪モ能クシナイ所ノ事ハ、無理ニサセルコトハセヌ、カ、ル安排ニヤ

下ノ上ニ事ル、其ノ事チ一ニセズ、上ノ下チ使フ其ノ事チ一ニセズ、力チ量リテ之ニ任シ、才チ度リテ之ニ處キ、其ノ能クセザル所ハ、彊テ爲サシメズ、是ノ故ニ下タルモノ、罪チ上ニ獲ズ、上タルモノ、怨チ下ニ得ズ矣。

●雙關法。

リテ行クカラ、下僚ノモノハ過失モナク、罪ヲ上長官ニ得ルコトナク、上長官モ無理ナルコトヲ下僚ニ命ゼヌエハ、下僚カラ怨ヲ買フヨリナクハナイ

文法 能不能ノ字ニ根シ、雙關ニテ説ク、「下之事上」是左關ナリ、「上之使下」是右關ナリ、「量力任之」左ヲ受ク、「度才處之」右ヲ受ク、「爲下者云々」左ヲ受ク、「爲上者云々」右ヲ受ク。其ノ書法如何ニモ整然タレバ、初學ノモノ、誦讀ノ際ヨク「反覆シテ、公ノ文法、多ク此類アルヲ悟ルベシ、而カレバ大ニ作文ノ一助トナルベシ。

孟子云ルアリ、今ノ諸侯大ニ相過モノナシ、其ノ皆其ノ教フル所チ臣トスルチ好ミ、其ノ教チ受クル所チ臣トスルチ好マザルチ以テナリ、今ノ時、孟子ノ時ト又加遠シ矣、皆其ノ命チ聞テ奔走スル者チ好ミ、其ノ己チ直クシテ道チ行フ者チ好マズ、命チ聞テ奔走スルモノハ、利チ好ムモノナリ、己チ直クシテ道チ行フモノハ、義チ好ムモノナリ、未ダ利チ好ミ、其

孟子有云、今之諸侯無大相過者。以其皆好臣其所教而不好臣其所受教。今之時與孟子之時又加遠矣。皆好其聞命而奔走者。不好其直己而行道者。好義者也。未有好利而愛其君者。未有好義而忘其君者。今之王公大人。惟執事可以聞此言。惟愈於執事也可以此言進。

孟子 孟子ハ支那戰國時代ノ大賢ナリ、是ニ於テ孟子ノ語ヲ引用シ曰ク、今日(孟子ノ當時)ノ諸國諸代名ガ、コレト云フ大ニ相過ギ、スグレタルモノガナイ。

君子愛スルモノハアラズ、未ダ義チ好ミ其君チ忘ルモノハアラズ、今ノ王公大人、惟執事ノミ、此言チ以テ聞スベシ、惟愈ノミ執事ニ於ケルヤ、此言チ以テ進ム

マルテ鈍栗ノ脊並テアル、ソレハ何故デアルカト云フニ、其(二ノ其字何レモ諸侯ヲ指シテ曰フ)諸侯其者ガ自分ガ教フル程ナリ自分ヨリ目下ノモノヲ臣トシ用キルコト好ミ自分ガ教ヲ受クル程ナル目上ノ賢者ヲ臣トシ用キルコト好マヌカラデアルト、サテ今日ノコトニ付テ考ヘテ見ルト、今日ハ孟子ノ時ヨリ、人情モ愈々浮薄トナリ、進モ「孟子ノ時ニ及バザル」ト遠シデ及バヌコトデアルソレハ何故ナルカト問ヘバ、當時上長官タルモノガマルデ、其(此處ノ二ノ其字ハ下ノ人ヲ指シテ曰フ)下ノモノ、ソノ其ノ下ノモノガ上長官ノ命ヲ聞テ、アチコチト奔走シ、理ガ非デモ、ナンデモ上官ノ命ニ逆ハズ奔走シテカケヅリ廻ルト言フ利慾一偏ナル意氣地ナシヲ任用スルコト好ミ、自分ノ道ヲ正直ニシ、自分ノ本領ヲ行ハントスルガ如キ、有爲奇傑ノ士ヲ任用スルコト好マヌ、命令ヲ聞テカケヅリ廻ル者ハ眼中氣概ナク、節操ナク、唯ダ其身ヲ利セント欲スルノ外、何ノ抱負モナキモノデアアル、自分ノ道ヲ正直ニシ、自分ノ本領ヲ行ハント欲スル者ハ、義理ト云フコト好ムモノデアアル、未ダ單ニ利益ノミヲ好ミ、正義公道ノ何タルヲ知ラザルモノニシテ、其ノ主君上長官ヲ愛スルモノハナイ、未ダ義理ヲ好ミ、正道ヲ行フモノニシテ、其君上長官ヲ後(後ニスルトハ君ヲ急ニセザルノ意ニシテ其君ヲ疎略ニスル也)ニスルモノハナイ、故ニ上長官タルモノハ、カ、ル徒輩ヲバ飽ク迄モ排斥シテ正義ノ士ヲ任用スベキデアアル、今日カ、ル理屈ヲ申シタ所デ、當時ノ王公大人(有位ノ人ヲ指シテ云フ)ハ多クハ

●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○

●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○

●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○

正義ニ與ミセヌ人物デアルカラ、カ、ル説ニ耳ヲ傾ケル人物ガナイガ、惟執事ノミハ、實ニ濁世中ノ君子正義黨デアルカラ、コノ言ヲ申上ゲテ宜シイ、マタ今日下ニ在ルノ輩ハ、皆利ヲ好ムノ奴原デアレバ、逆モカ、ル説ヲ遠慮ナク申上グルモノハナイガ、惟自分ノミハ今日世間ニ於ケル利欲ノ徒トチガヒマヌルカラ此言ヲ以テ進メ申上グルトナリ。

是ニ於テ孟子ノ言ヲ引用シ、大ニ自己ノ本領ヲ發揮セリ、矢張雙開法、(聞命而奔走者、直已行道者ノ句、左右ノ關ヲ設ク、已下同ジ、今之王公大人云々ノ句、大ニ張僕射ヲ回護シ、且ツ惟愈可以此言進ノ結處、高ク己ノ地歩ヲ占メタル所、韓公特獨ノ長所ナリ。

愈蒙幸於執事其所從舊矣若寬假之使不失其性加待之使足以爲名寅而入盡辰而退申而入終酉而退率以爲常亦不廢事

●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○
●○○○○○

ヲ蒙リ、ナラウコナラ、モシ萬一ニモ之ヲ寬假(寬假ハ寬大ニ大目ニアツカフ也)シ、其本性ヲ失ヒ狂疾ヲ發スル様ナルコトナク、之ヲ加待(加待トハ禮ヲ加ヘ優遇スル也)シテ一番大事ニシテ下ダサレ、以テヨク自立スル所アリ、名譽ヲ揚ゲルコトヲナサシメ、寅(今ノ午前四時)ニシテ役所ニ入り、辰(今ノ午前八時)ヲ盡クシテ退出シ、更ニ休息ノ上ニテ、申(今ノ午後四時)ニシテ入り、酉(今ノ午後六時)ヲ終ヘテ退出シ、事務ヲ取ル様ニナシ下ダサル、ナラバ、亦タ事ヲ廢セズシテ十分私ノ仕事丈ハヤツテノケ、手間ハカケ申サストナリ。

天下之人聞執事之於愈如是也必皆曰執事之好士也如此執事之待士以禮如此執事之使人不枉其性而能有容如此執事之欲成人之名如此執事之厚於故舊如此又將曰韓愈之識其所依歸也如此韓愈之不諂屈於富貴之人如此韓愈之賢能使其主待之以禮如此則死

於執事之門無悔也。

如ク、執事ノ故舊ニ厚キヲ此ノ如シ、又將曰ハン、韓愈ノ其ノ依歸スル所ヲ識ルヤ此ノ如ク、韓愈ノ賢能ク其主ニ之ヲ待ツニ禮ヲ以テセシムル此ノ如シト、則執事ノ門ニ死ストモ、悔フルナキナリ。

天下ノ人共ガ、執事ノ韓愈ヲ待遇セラル、此ノ如クデアルト云フヲ聞キマシタルナレバ、必ズ皆ソノ申スヲデアル、執事ノ賢ナル士ヲ好マセラル、此ノ如クデアアル、執事ノ士ヲ待遇セラル、ニ相當ナル禮ヲ以テセラル、此ノ如クデアアル、執事ノ下僚ノ人ヲ任使スルニ、其ノ本性ヲ任ゲズ無事ナル仕事ヲサセヌヲヤ此ノ如クデアアル、執事ノ人ヲシテ名譽ヲナサシメントセラル、ヤ此ノ如クデアアル、執事ノ舊來ノ朋友ニ厚キヲ此ノ如クデアアルト、ソレノミデナク、又將私ヲモ賞メテ吳レマスル、韓愈ノ其ノ依歸(タヨル也)ル所ヲ知ルヤ此ノ如ク、韓愈ノヨク道ヲ直クシ、富貴ノ人ニテモ、ソノ思フ儘ヲ曰ヒ、決シテヘツラヒ屈服セヌコト此ノ如クデアアル、韓愈ノ賢ナルコトハ能ク其主人ヲシテ之ヲ待遇スルニ禮法ヲ以テセシムルヲヤ此ノ如シト相方トモ表判ノヨキヲデアアル、簡様ノ安排ニナリマスレバ御恩ノ程ハ決シテ忘レマセヌ、一生執事ノ門ニ於テ往生ヲ遂ゲマシテモ、後悔スルコトハナイ。

此文法 此處如此ノ二字ヲ以テ層ヲ累テ之ヲ曰フ、上宰相書ニ於ケル皆己ノ字ヲ以テ累層シタル所ト同一ノ筆法ナリ、待士以禮コレハ加待スルナリ、能有容コレハ寛假スルナリ、厚於故舊、コレハ其從ル所舊キナリ、不諂屈於富貴之人コレハ自立スルナリ、無悔コレハ德ニ報フル所以ナリ、文章一糸亂レズト謂フベシ。

若使隨行而入。遂隊而趨。言不敢盡其誠。道有所屈於己。天下之人聞執事之於愈如此。皆曰。執事之用韓愈。哀其窮。收之而已耳。韓愈之事執事。不以道利之而已耳。苟如是。雖日受千金之賜。一歲九遷其官。感恩則有之矣。將以稱天下曰。知己則未也。

若シモ晨入夜歸ノ行列ニ隨ヒテ役所ニ入り、晨入夜歸ノ隊伍ヲ逐テ役所ニ趨リ言フベキヲモ遠慮シテ敢テ其誠ヲ盡クスコトモ出來ズ、正シキ道ヲモ行ハズシテ、其身ヲ屈シ、所謂ル盲從主義デアアルナレバ、天下ノ人共ガ、執事ノ愈ヲ待遇ナサル、コト此ノ如シト聞キシナレバ、以前ノ表判トハ打テ變リ、皆ソノ申スヲデアアル、執事ノ韓愈ヲ任用サレタルハ、韓愈ヲシテ十分其才力ヲ發揮セシメントニハアラズ、唯一時ノ困窮ヲ哀レミ、コレヲ收用シタニ過ギナイ、又韓愈モ自己ノ本領ヲ行ハントスルニハアラデ、一時利益ノ爲ニ張僕射ノ幕下ニ身ヲ寄セタニ過ギナイト、苟モ簡様ニ噉ノ立チタル時ハ、ヨシンバ日ニ千金ノ富ヲ以テ愈ヲ富マシテ下サレ洪大ナル俸祿ヲ頂戴シ、一歲ニ九ビモ其官ヲ上サレ、貴クシテ下サレタニシテモ、ソノ御恩ニ感ズルコトハ或ハコレアルナラン

爾若シ行ニ隨フテ入り、隊ヲ逐フテ趨リ、言敢テ其誠ヲ盡サズ、道己ニ屈スル所アラシメバ、天下ノ人、執事ノ愈ニ於ケル、此ノ如キヲ聞クヤ、皆曰ハン、執事ノ韓愈ヲ用サル、其窮ヲ哀レミ之ヲ收ムル而已耳、韓愈ノ執事ニ事フル道ヲ以テセズ之ヲ利スル而已耳、苟モ是ノ如クナレバ、日ニ千金ノ賜ヲ受ケ、一歲ニ九ビ其官ヲ遷サルト雖モ恩ニ感ズルハ、則之レ有ラシ、將以テ天下ニ稱セラレ、知己ト曰ハレンハ未ナリ

九遷 漢書田千秋ノ傳 一日九遷ノ字アリ、一日ノ字ナ此處テハ一歲ト改メ易ヘタルナリ、

○**聞** 知己。史記、管晏傳ニ
士、己ヲ知ル者ノ爲ニ信ビ
己ヲ知ラザル者ノ爲ニ屈ス
トアリ。

○**聞** 伏シテ惟ルニ其足ヲ
ザル所ヲ察シ、其愚ヲ矜
ミ其罪ヲ錄セズ、其詞ヲ察
シ、仁ヲ垂ン採納セヨ、愈
恐懼再拜。

○**聞** 陳給事ニ與ル書。

愈再拜、愈ノ閣下ニ見ルヲ
獲レ年有リ矣、始ハ亦嘗テ
一言ノ譽ヲ辱フス、貧賤ナ
ルヤ、奔走ニ衣食シ、朝夕
繼ギ見ルヲ得ズ。

モ、將以テ天下ノ者ニ吹聴セラレテ、張僕射殿ハ韓愈ノ才力ヲ知リテムル知己
ノ御方ナリト曰レハマダアルソレデハ、ナカク、知己トハ申サレヌトナリ。
○**文法** 此節ハ、コレ書中ノ大指(主意ナリ)知己ノ字ヲ提出シ、丈夫ヲ以テ自ラ
持シ、丈夫ヲ以テ張僕射ヲ待ツ、ソノ意氣多トスベシ、思ヒ切タル筆法ナリ。
伏惟哀其所不足矜其愚不錄其罪察其詞而垂仁採納
焉。愈恐懼再拜。

○**講義** 伏シテ惟(ハ思フニ同ジ)フニ其才力ノ足ラザル所ヲ哀レミ、其愚昧ナルヲ
矜(憐ニ同ジ)レミ其罪ヲ錄(録ハ記録ナリ、問ハザルナリ)セズシテ、一層ノ仁
心ヲ垂レサセラレお取り上ゲ下サレトナリ、

與陳給事書

韓昌黎

愈再拜。愈之獲見於閣下有年矣。始者亦嘗辱一言之譽。貧賤也。衣食於奔走。不得朝夕繼見。

○**題意** 陳ハ姓、名ハ京、字ハ景復、給事ハ官名、ナカクノ勢力家デアハ、人物
ハ左程テナイカ、何分ニモ時メイテ居ル人デアアルカラ、ソラセヌ様ニセネバナ
ラヌ、韓愈ノ如キ鉅公ニシテ、時ニハ心ニモナキ箇様ナル文章ヲモ書ネバナラ

ヌ、今モ昔モ世ハナカク、ニ五月蠅モノナリ、此文ハ時侯ノ挨拶ヤラ氣嫌伺
ノ爲ナリ、公ノ本色ニハアラザルナリ。

○**講義** 愈ガ再拜シテ申上グル、サテ愈ノ閣下ニ見ユルヲ得テお近付ニナリタルコ
ハ今ニ始メヌコトデ、ハヤ何年モ昔ノコデアリマス、始ハ亦一言ノ御賞譽ヲ賜リ
テ、實ニ有難コデアリマス、貧乏デ身分モ賤ク且ツ衣食ノ計ニアチコトカ
ケヅリ廻リ奔走スル爲實ノ處貧乏忙シク朝ナ夕ナニ引繼お伺申ス際ナカリシ、
○**文法** 此一節デハ、先自身ノ有様ヲ曰ヒタルナリ、衣食於奔走ハ倒句ナリ、當前
ニ書ケバ奔走於衣食ト書ク、コレハ倒句トモ倒裝トモ曰ヒ、孟子ノ文中、尤此
法多シトス。

其後閣下位益尊。伺候於門牆者日益進。夫位益尊則賤
者日隔。伺候於門牆者日益進則愛博而情不專。

○**講義** 其後閣下ハ位益々尊ク日ノ出ノ勢デ御出生ナサレ、門ヤ牆ナリ閣下ノ門牆
ニ御伺候申シ御氣嫌伺ニ出掛ル者ガ日ニ益多ク進マシタ、ソレ位ガ尊クナルト、
身分ノ賤キ我輩ノ如キモノハ日ニ隔リ、ソノ交情モ疎遠ニナリ、門牆ニ伺候シ、
御氣嫌伺ニ出掛ル者ガ、日ニ益々多ク進ム時ハ、多クノモノニ應對スルヨリ、
愛スルモノモ、一人テナイカラ愛博シテ、專ニ一人ヲ愛スルコトハ到底出來ナイ。
○**文法** 此節ハ陳京ノ身上ヲ説ク、ソーシテ雙關法ヲ用ルナリ、別ニ説明ヲ要セズ、

○**講義** 其後閣下位益尊、
門牆ニ伺候スルモノ日ニ
益進ム、夫位益尊ケレバ、
則賤者日ニ隔リ、門牆ニ
伺候スルモノ日ニ益進メバ
則愛博メ情專ナラズ。

類ヲ以テ推知スベシ。

愈也道不加脩而文日益有名。夫道不加脩則賢者不與文日益有名則同進者忌。

サテ愈ヤ道（道トハ聖賢ノ道ニ付テ言フナリ）ヲ其身ニ脩ムルヲ加ヘズ別

ニ道ノ脩養ト云フモノヲシナイガ、而シテ文章ハ日ニ見ルベキモノガアリテ、益々表判ヲ得ル様ニナリタ、ソレ道ノ脩養ヲ積マナイ時ニハ、賢者ハ相手ニシテ呉レマセヌ、文章日ニ益々表判ガヨクナルト、人ノ表判ノヨイノヲ聞クト、同ジク進ンデ居ル所ノ同輩共ガ忌ミ嫌フ様ニナルノハ是非モナキ次第デアル。

此節 自分ヲ説ク、同ク雙關法ヲ用フ。

始之以日隔之疎加之以不專之望以不與者之心而聽忌者之說由是閣下之庭無愈之跡矣。

之ヲ始ムルニ、閣下ハ位尊ク、愈ハ身分ガ賤シク、恰モ月ト鼈トノ相違デアルカラ、日ニ其間ハ疎遠ニナリ、又其上ニ門牆ニ伺侯スルモノガ多イカラ愛博クシテ情專ナラザルノ望ヲ以テシ、一人ヲ愛スルト云フ譯デナク、道ノ脩養ヲ積ム愈ノ如キモノニハ、相手ニナラヌト云フ心ニナリテ、ムル所ヘ、愈ノ文章ニ表判アルヲ忌ム同進ノ者ガ尾ニ尾ヲ付テ閣下ノ所ヘ、悪キ様ニ申上ル、

類ヲ以テ推知スベシ。而シテ文章ハ日ニ見ルベキモノガアリテ、益々表判ヲ得ル様ニナリタ、ソレ道ノ脩養ヲ積マナイ時ニハ、賢者ハ相手ニシテ呉レマセヌ、文章日ニ益々表判ガヨクナルト、人ノ表判ノヨイノヲ聞クト、同ジク進ンデ居ル所ノ同輩共ガ忌ミ嫌フ様ニナルノハ是非モナキ次第デアル。

類ヲ以テ推知スベシ。而シテ文章ハ日ニ見ルベキモノガアリテ、益々表判ヲ得ル様ニナリタ、ソレ道ノ脩養ヲ積マナイ時ニハ、賢者ハ相手ニシテ呉レマセヌ、文章日ニ益々表判ガヨクナルト、人ノ表判ノヨイノヲ聞クト、同ジク進ンデ居ル所ノ同輩共ガ忌ミ嫌フ様ニナルノハ是非モナキ次第デアル。

錯綜注。

類ヲ以テ推知スベシ。而シテ文章ハ日ニ見ルベキモノガアリテ、益々表判ヲ得ル様ニナリタ、ソレ道ノ脩養ヲ積マナイ時ニハ、賢者ハ相手ニシテ呉レマセヌ、文章日ニ益々表判ガヨクナルト、人ノ表判ノヨイノヲ聞クト、同ジク進ンデ居ル所ノ同輩共ガ忌ミ嫌フ様ニナルノハ是非モナキ次第デアル。

類ヲ以テ推知スベシ。而シテ文章ハ日ニ見ルベキモノガアリテ、益々表判ヲ得ル様ニナリタ、ソレ道ノ脩養ヲ積マナイ時ニハ、賢者ハ相手ニシテ呉レマセヌ、文章日ニ益々表判ガヨクナルト、人ノ表判ノヨイノヲ聞クト、同ジク進ンデ居ル所ノ同輩共ガ忌ミ嫌フ様ニナルノハ是非モナキ次第デアル。

ソレ等忌ム者ノ説ヲ聞カル、彼是綜合ノ末ガ、閣下ト愈ノ間柄ハ猶更遠クナリユク斗デ、閣下ノ庭ニ愈ノ足跡ナク、殆縁切トナリタヲデアル、

去年春亦嘗一進調於左右矣温乎其容若加其新也屬乎其言若閱其窮也退而喜也以告于人。

去年ノ春方ニ亦氣嫌伺ノ爲一度左右お側ニ進ミ謁見ヲ遂マシタ、其時御氣嫌殊ニ美シク、ヤサシキ其容貌ハ、其新（新ノ字ハ親ト通ズルナリ）ヲ加ヘテ下サリ一層親ミテ下サル様ニアリシ、隔乎（絶エズ談話ヲツケルナリ）トシテ談シカケ、サモ打解テムリタルハ其ノ韓愈ヲ不使ト思召スガ如キ様デアツタ、ソノ御親切ナルお言葉ガ有難テタマリマセヌ所カラ、アナタノ所ヲ退クト、直ニ人ニ告タト言フ次第デアリマシタ。

此節、先其喜ヲ言ヒ、下ノ懼ノ字ヲ起スナリ。

其後如東京取妻子又不得朝夕繼見及其還也亦嘗一進調於左右矣。邈乎其容若不察其愚也。惰乎其言若不接其情也。退而懼也。不敢復進。

乎タル其言、其情ヲ接セザルガ如キナリ、退テ懼ルヤ、敢テ復進マズ。

其後東京(洛陽)ニ妻子ヲ取り殘シ置キタレバ、引取ノ爲出京イタセシ故、何カト忙ガシク、又朝夕繼見ルヲ得ナカツタ、先妻子ノ引取モ首尾ヨクスミ、其還ルニ及ビ、久々御不沙汰セシお詫ヲイタサントテ、お側ニ拜謁スルト、誠ニ御様子モ以前トハ打テ變リ遷乎(遷ハ遠クルナリ相手ニセス、俗ニツントスルノ意)タルソノ容貌氣色ハ、我ノ思ニシテイタラヌヲお察シ下サラヌ様デアリ、悄乎(悄ハ俗ニスゲナクスルトノ意)トシテ如何ニモ無愛想ナルソノ言葉付ハ其情ヲ接セラレズ早ク去レガシニイタサレタ、ソコテ退テ懼ルヤ、此ハアナタノ感情ノヤハラグ迄、少シ差扣タ方宜シカコトノ考ヨリ、敢テ復進見スルコトヲ見合シタ。

此節、忽接遇ノ相反スルヲ云フ、喜ノ字ヨリ懼ノ字ヲ出ス、些ノ感情ノ行違ヨリ忽其接遇ヲ異ニス、陳給事ノ局量知ルベシ、見下ケ果タル人ニゾアル、此處巧ニ人情ノ微ヲ穿テリ。

今則釋然悟翻然悔曰其邈也乃所以怒其來之不繼也其悄也乃所以示其意也不敏之誅無所逃避不敢遂進

翻然今則釋然ト悟リ、翻然トシテ悔曰ク、其邈タルヤ、乃其來ルノ繼ズルヲ怒ル所以ナリ、其ノ悄タルヤ乃其意ヲ示ス所以ナリ、不敏ノ誅、逃避スル所ナシ、敢テ遂ニ進マズ。

キテ氣嫌伺ニ來ラザルヲ御立腹ナサレ、ソノスゲナク致サレタハ、ソノ意ヲサトレヨガシニお示シニナリタノデアルト言フニ思付イタ、コレモ愈ノイタラス所、不調法ノ誅(罪ノ意ナリ)逃レ避ル所ガアリマセヌ、穴ニデモ這入タキ心地デアリマヌル、ソコテ、ナンボーニモ遠慮スルヨリ詮術ナキニヨリ、遂ニ復進ムコトヲセズ、差扣ルコトニセリ。

此節、コレ謝辭ナリ、如何ニモ勿體ラシキ字面、暗ニ愚弄ノ意ヲ含ム所ヲ見ルベシ、

輒自疏其所以并獻近所爲復志賦已下十首爲一卷卷有標軸送孟郊序一首生紙寫不加裝飾皆有楷字注字處急於自解而謝不能竣更寫閣下取其意而畧其禮可也愈恐懼再拜。

外ニ詮術モナキ故、輒(タヤスクノ意ニテ差急グ故ニカク言フナリ)自ラ其繼見ヲ得ザルノ譯ヲ述ベ(疏ハ疏述ノ意ナリ)并テ近頃更ニ作タル復思ノ賦(コレハ賦ノ名ナリ)ヨリ已下十首ヲ献上シマス、コレハ一卷トナシ、卷ニハソレノ標裝ヲ付テアリマス、又孟郊東野ヲ送ル所ノ序文一首ハ生紙(唐ニ生紙熟紙アリ、生紙ハ喪中凶事ノ時ニ用フ)ニ寫シ、カザリ付モ加エ施コシテナイ、

輒自疏其所以并獻近所爲復志賦已下十首爲一卷卷有標軸送孟郊序一首生紙寫不加裝飾皆有楷字注字處急於自解而謝不能竣更寫閣下取其意而畧其禮可也愈恐懼再拜。

又皆字ヲ楷(楷ハスリ消スナリ)シ字ヲ注(注ハ注入ノ注デ書キ入レルナリ)スル所ガアリテ、草稿ノ儘ヲ差上ゲル、コレモ早ク自ラ言譯ヲシテコレ迄ノ不調法ヲ謝スルニ急ニシテイソグ故ニ、更メ寫シ、淨書シテ差上ル暇サヘナイ、閣下ニ於カレテハ、韓愈ガカク迄モ心配シテ居ルカト、ドウカ其意中ヲ察セラレ、生紙ニ寫シ、草稿ノ儘ヲ差上ルハ禮ニ於テ欠テ居レド、幾重ニモ、其禮ヲ略シテ問ハズ、許ルサレテ宜シカロトノ意ナリ。

文法 「略其禮可也」コレハ已ニ此ノ欠禮ヲ許ストナレバ、維見ザルノ禮ハ大目ニ見テ下サレテ可ナリノ意ヲ言外ニ含ミテ一篇ヲ終リシナリ。

後十九日復上宰相書

韓昌黎

二月十六日、前ノ鄉貢進士韓愈、謹再拜言。相公閣下、向ニ書及ビ著ス所ノ文ナ、上ル、後命ヲ待ツ凡ソ十有九日、命ヲ得ズ、恐懼敢テ逃遁セズ、爲ス所ヲ知ゾ、乃復敢テ不測ノ誅ニ納レ、以テ其說ヲ畢ンテナボメ、命ヲ左右ニ請フ。

題意 コレハ第二ノ上書デアル、第三ノ上書ハ已ニ前ニ於テ説明セリ、此書ハ宰相ニ上リ、是非ニ其身ノ推選ヲ願フナリ、ソレシテ水火ノ難ヲ踏ムヲ以テ、自喻ヘ、之ヲ救フヲ以テ宰相ニ喻ルナリ、通篇コレ比喩ナリトス。

題後十九日復上宰相書

二月十六日、前ノ鄉貢進士韓愈、謹再拜言。相公閣下、向ニ書及ビ著ス所ノ文ナ、上ル、後命ヲ待ツ凡ソ十有九日、命ヲ得ズ、恐懼敢テ逃遁セズ、爲ス所ヲ知ゾ、乃復敢テ不測ノ誅ニ納レ、以テ其說ヲ畢ンテナボメ、命ヲ左右ニ請フ。

不測ノ誅

納ノ字ハ身ヲ納ルナリ。

關愈之ヲ聞ク、水火ヲ踏ムノ、免ル、人ニ求メ、惟ニ其ノ父兄子弟ノ慈愛ニシテ然ル後呼テ之ヲ望ムノミニアラザルナリ、將其側ニ介スル者アラバ、其憎怨スレト雖モ、苟モ其死ヲ欲スレニ至ラザルモノニハ、則將ニ其ノ聲ヲ大ニ疾呼テ其之ニ仁ナランヲ望ムトスルナリ。

文法 已ニ第二ノ上書デアル故向ニト云フナリ、上書ナリ、及著ス所ノ文章ヲ上リシ、ソレヨリ、何トカ御返事ガアルダロト、命令ヲ待ツコト、十有九日ノ久シキニ及ビマシタケレド、ナントモお指圖ガナイ、ソコデ、恐懼テ敢テ逃遁ル、コトヲ致サズ、如何ニシテ宜キカ、殆途方ニ暮マシタ、乃復思切テ自ら不測ノ誅(不測ノ誅トハ、ハカラレザル罪ト云フ意、如何ナル罪ヲモ覺悟シテトノ意)ヲバ覺悟ノ上デ、第二ノ上書ヲナシ、ソノ言說セントスルノ主意ヲ了ラント考ヘ、復モお指圖ヲ宰相ノ側ノ者ニ願フトナリ。

文法 此節、復上書スルノ止ヲ得ザルヲ云フ、向ノ字ハ、後ノ字ヲ呼ビ起セリ。愈聞之踏水火者之求免于人也。不惟其父兄子弟之慈愛、然後呼而望之也。將有介於其側者、雖其所憎怨、苟不至乎欲其死者、則將大其聲疾呼而望其仁之也。

文法 愈ガ之ヲ聞キマスルニ、今水ニ溺レ、火ニ燒レ、阿鼻焦熱此世カラナル地獄ノ苦ヲ受ケテ居ルモノ、コノ苦ヲ免レントシ、救フ人ニ求メントスルニハ、惟ニ、ソノ父兄デアル、子弟デアルト云フ、慈親愛ノアルヲ待テ、ソレシテ後ニ大ニ呼ハツテ之ニ救ヲ求ムルノミデハナイ、將マンヨク、其側ニ介(介ハハサマルノ意ニシテ、出クハスノ意ナリ)スルモノ、アリタル節ニハ、平生タトヒ憎ミ怨テ居ル所ノモノデアローガ、苟モ其者ノ死スルコトヲ欲スルト云フ

聞欲其死 論語ニ已ニ其
生ヲ欲シ、又其死ヲ欲スル
ハ惑ヘルナリトアリ。

爾爾彼ノ其側ニ介スルモノ
其聲ヲ聞キ而ノ其事ヲ見バ
惟ニ其父兄子弟ノ慈愛ニシ
テ然後往テ之ヲ全スルノミ
ナラザルナリ、憎怨スル所
アリト雖モ、苟モ其死テ欲
スルニ至ラザル者ニハ、則
將ニ狂奔ノ氣ヲ盡シ、手足
ヲ濡シ、毛髮ヲ焦シ、之ヲ
救テ辭セザラントスルナリ
是、如キモノハ何ゾヤ、其
勢誠ニ急ニシテ、其情誠ニ
悲シムベケレバナリ。

爾爾愈ノ學ヲ疆メテ行ニ立
レハ有リ、愚ニシテ道ノ險夷
ヲ惟ハズ行ク且息ズ、以テ
窮餓ノ水火ヲ踏ム、其レ既
ニ危ク且亟ナリ、其聲
ヲ大ニ疾ク呼喚、閣下其
亦聞テ之ヲ見、突ソレ將
往テ之ヲ全センカ、抑
安テ救ザランカ。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

迄ニ憎怨シテ居ナイモノデアリタナラバ、則將ニ其聲ヲ大ニシ、疾ニモ呼ビテ
シテ其者ガ早モ之ヲ救テ吳ンコヨ望マントスルナリ、コレハ人情ノ自然デアアル。
仁ナランコト云ヒ、殊ニ仁ト云フ字ヲ提出シタルハ、下文仁人ノ字ヲ出サント
スルノ手段ナリ。

彼介于其側者聞其聲而見其事。不惟其父兄子弟之慈
愛然後往而全之也。雖有所憎怨。苟不至於欲其死者。則
將狂奔盡氣。濡手足。焦毛髮。救之而不辭也。若是者何
哉。其勢誠急。而其情誠可悲也。

ソノ側ニ介スルモノモ、實際ニ眼前ニソノ悲惨ナル現狀ヲ目撃シタナレバ
父兄子弟ノ親愛ニ限リタルコトハナイ、ヨシンバ憎怨スル所ト雖モ、ソノ者ノ
死ヲ欲スル迄ニ至ラザルモノデアレバ、則將ニ狂奔ノ如クカケツケ、手足ノ濡
ル、ハオロカナリ、毛髮ヲヤケコガスノ更ニ厭フコトナク、コレヲ救フテ、
少シモ辭退スル様ナルコトハセズ、是ノ如ク迄スルト言フハ、ソハ何故デアアルカ
ト言ヘバ、ソノ救命ヲ乞フノ情狀ガ如何ニモ勢急デ、誠ニ悲ムベク、悲慘デア
ルカラデアアル。

又法

此ハ之ヲ救フニ付テ言フ、宰相ニ喩ヘタルナリ、水デアアルカラ、手足ヲ濡
ラスト日ヒ、火デアアルカラ、毛髮ヲ焦スト云フ、文字用意ノ處ヲ知ルベキナリ。

愈之疆學立行有年矣。愚不惟道之險夷行且不息。以蹈
於窮餓之水火。其既危且亟矣。大其聲而疾呼矣。閣下其
亦聞而見之矣。其將往而全之歟。抑將安而不救歟。

又法

韓愈ノ學問ヲ疆(強ト同ジ)メ、行ヲ立ツル、行ヲ立ルトハ行ヲ正クシ惑
ハザルノ意。最早イト長ク、此義ニ於テハ餘程ノ修養ヲ積ミタルコトデアアルガ
愚昧ニシテ、此處ノ道ハ通行ノ道ノ意ニシテ世渡リノ道ナリ)ノ險易サテ世渡
リト云フ者ハ難シキモノヤラ、易イモノヤラ、ソノナリニハトント無頓着デヤ
リトシテ來タガ、今デハ窮餓困窮饑餓ト日ヘル水火ノ苦モ曾ナラザル哀レ
至極ノ境界ニ立到リタ、ソコデソノ聲ヲ大ニシ、疾ク呼ハツテ居ル、乃上書シ
テ居ル次第デアアル。閣下ソレ亦聞テ之ヲ見ラレ、已ニ先刻御存ノコデアアル、ソ
レ將往テ之ヲ全シ救テ下サルカ、サテ又將安心シ平氣デ以テ打捨居ル、カト
テ宰相ヲ詰問セリ。

又法

仁人ノ字ヲ出サントスルノ手段ナリ、宰相心ヲ動かサザルヲ得ズ。

有來言於閣下者曰有觀溺於水而熱於火者有可救之道而終莫之救也閣下且以爲仁人乎哉不然若愈者亦君子之所宜動心者也

閣下ニ言フ者アリ曰ク水ニ溺レ火ニ熱ル者ヲ觀ルアリ救ヲ可キノ道アレドモ而モ終ニ之ヲ救フナキ也ト閣下且ニ以テ仁人トナサントスニカク然ラズンバ愈ノ如キモノ亦君子ノ宜シク心ヲ動メヤ所ノ者ナリ

來リ閣下ニ申上ルモノガアリトスル、今途中ニ水火ノ難ニ遇フテ居ルモノガアリタ、之ヲ救ヘバ、容易ニ救フベキノ法方ハアツタナレド、面倒デアルカラ、而カモ之ヲ救ハナカツタトナレバ、閣下ハ、カ、ル不人情不親切極ルモノヲ以テ仁者ナリトナサル、カ、ヨモヤ仁者トハナサレマイ、果シテ仁者トナサレヌトナレバ、愈ノ如キモノコソ、今現ニ窮餓ト云ヘル水火ノ難儀ヲ踏ンデ居ルモノデアレバ、閣下タルモノ、宜シク心ヲ感ジ動カシ、早速ニ救フテ下サルベキ所ノモノデアアル、

上文之ヲ全フセン乎、安ンジテ救ハザルカノ一問ヲ發シタレバ宰相タルモノ何トカ返答ヲセネバナラス、而ルニ忽チ此一問ヲ發シ、仁人トナスカノ反問ヲ試ミ、更ニ不然ノ二字ヲ以テ緊ク反振シ、若愈者、亦君子之所宜動心者、兩句ヲ迫出シ全文ノ主意ヲ見ハシタル手段、巧妙トヤ言ハン、眞ニ化工ノ筆ト云フベシ

或謂愈子言則然矣宰相則知子矣如時不可何愈竊謂

○反振法○

爾或愈ニ謂ノ、子ノ言ハ則然矣、宰相ハ則子ヲ知

矣、時ノ不可ヲ如何セント、愈竊ニ之ヲ言ヲ知ラザレモノト謂フ、誠ニ其材能以テ吾賢相ノ擧ニ當ルニ足ラザルノミ所謂時ノ若キハ固ヨリ上位ニ在ル者ノ爲ノミ、天ノナス所ニアラザルナリ

爾不知言 孟子ニ我言ヲ知ルトアルニ本ヅク

之不知言者誠其材能不足以當吾賢相之擧耳若所謂時者固在上位者之爲爾非天之所爲也

或人ガ愈ニ申スニハ、お前サンノ言フコトハ尤千萬デアアルガ、ソノ上、宰相モ、お前ノ才能ノアルコトハ、ヨクモ承知シテ居ラル、クレドモ、今日時節ガ悪ク、費用ガ足りナイトカ、缺員ガナイトカデ、早速ニお前ヲ任用スルノ時機ガナイノデアアル、コレハドウスルコトモ出來スト、愈ハ斯様ナルコトヲ申スモノハ、誠ニ事ノ道理ヲ知ラザルモノ、議論ナリト云フ、ソレデナクテ、宰相ガ我ヲ任用サレヌハ、誠ニ我ノ材能ガ不足デアルカラ、宰相ガ任用サル、ノお目鏡ニ稱ハスノデアアル、コレハ少シアテコスリニスネテ見セタル筆意デアアル、所謂時ノ如キノコトハ、上位ニ在ル者ノ自由デ、考一ツデ、ドウデモナル、天ノ爲ス所ノモノデナイ、天意ニヨルト云フ譯デナイカラ、ドウトモナル

此節、世ノ俗論ヲ掲ゲ來リ、宰相ガ時ノ不可ニ托シ口實ヲ設ケテ、甘ク逃ゲントスルカラ、ドツコイ、ソレハサセヌト、表門ヨリ其ノ逃路ヲ塞ギタル筆法ナリ

前五六年時宰相薦聞尙有自布衣裳抽擢者與今豈異時哉且今節度觀察使及防禦營田諸小使等尙得自擧

爾前五六年ノ時、宰相薦聞、尙布衣ヨリ抽擢テ蒙ルモノアリ、今ト豈時ヲ異ニセシヤ、且今節度觀察使、

判官無間於己仕未仕者。况在宰相。吾君所尊敬者。而曰不可乎。

及防禦營田ノ諸小使等
尙自ヲ判官ヲ擧ルヲ得
已ニ仕フルト、未ダ仕ヘザ
ルトニ間ナシ、況宰相
ニアリ、吾君ノ尊敬スル所
ニシテ、而シテ不可ト曰
ヤ。

古ノ人ヲ進ルモノ、
或ハ盜ヨリ取り、或ハ管
庫ヨリ擧ゲ、今布衣雖
モ、猶以テ此ニ方アルニ

前五六年ノ時ニ、宰相ヨリ天子ニ薦聞(推選シ申上ルナリ)シテ布衣(無位ニノ身分賤キモノ)ヨリニワハカニ抽擢(トハ抽デ擢ズルトテ、俄ノ出世ヲスルトノ意)ヲ蒙リ實ニ異數ナル官職ヲ得タルモノガアル、今ト決シテ時ヲ異ニスルト云フ譯デナイ、宰相ノ決心一トツデ、今ニテモ出來ル、且其上節度觀察使、防禦、(盜賊等ヲ防禦スル役)營田(地方ノ出納ヲ主ドル役)此等ノ小役人デスラ、自分ノ勝手デ、ソノ幕下ノ判官(副官ナリ)ヲ引上ゲ得ル、已ニ仕官スルト、仕官セザルトノ分ケ隔ハナイ、マシテ宰相ハソノ地位モ尊ク、且我君天子ノ尊敬スル所ノ方樣デアアルニ時ノ不可ト曰フコトハサラ々ナリ。

古之進人者。或取於盜。或擧於管庫。今布衣雖賤。猶足以方於此。情隘辭蹙。不知所裁。亦惟少垂憐焉。愈再拜。

古之人ガ、人ヲ引上ゲルノハ、惟賢才ヲ取ルノデアアルカラ、少シモンノ門

足レ、情隘、辭蹙、裁ス
ル所ヲ知ラズ、亦惟少
憐ヲ垂レヨ焉、愈再拜。

國語方ハ比較ナリ、タグラ
アト讀ム、論語ニ子貢好テ
人ヲ方アトアリ。

應科日ニ應ズル時、人ニ
與ル書。
月日、愈再拜、天池ノ濱大
江ノ濱曰ク、怪物有リ焉、
蓋常鱗、凡介ノ品彙匹
儔ニ非ラザルナリ、其水ヲ
得レ、風雨ヲ變化シ、天ニ
上下スル難カラザルナリ、
其水ニ及バザル蓋尋常
尺寸ノ間、高山大
陵曠塗絶險之ヲ隔チナ
ス無キ也。

地等ヲ問フノ必要ハナイ、ソノ證據ニハ、昔齊ノ桓公ノ臣管仲ハ盜賊ノ中ヨリ二人ノ賢才ヲ引上ゲ、以テ公ノ臣トナシ、晋ノ趙文子ハ倉番ヨリ七十餘人ヲ引上ゲシ異數ノコサヘアリ、今韓愈ハ無位ニノ身分モ賤シケレド此等ノモノトハ比較スルニハ足リマスル、情セマリ、辭セマリ、胸一杯ニナリテ、思フコト十分ニ申上兼スル、實ニ我身ナガラ、我身ノ所置ヲドウ付ケヤカ、途方ニ吳レテ居ル次第デアアル、亦惟少ク御憐察ヲ下サレトナリ。

應科自時與人書

韓昌黎

月日、愈再拜。天池之濱。大江之濱。曰。有怪物焉。盖非常鳞。凡介之品彙匹儔也。其得水。變化風雨。上下於天。不難也。其不及水。盖尋常尺寸之間耳。無高山大陵曠塗絶險。爲之間隔也。

唐ニ博學宏詞ト(ハクガクコトシ)言ヘル試験ノ科目アリ、コレハ進士ニ及

第セシ資格ノアルモノガ、コノ試験ニ應ズルコトヲ得ル、コノ科目ニ及第セシモノハ非常ナル名譽デアアル、公コトニ應ズル前ニ試験官ニ與ヘタル文章ナリ、

○月○日トハ某方某日ト同
○怪○物トハ龍ヲ云フ、自
分ヲ指スナリ。

コレ亦上文ト同様譬喩格ナリ。
月日韓愈ガ再拜シテ申上ル、天池(トハ海ヲ云フ、莊子南冥ハ天池ナリト
云フニ本ク)ノ濱(ホトリ)大江、大ナル川)ノ濱(濱モ、ホトリナリ)ニ怪物不
思議ナルモノガ往ンデ居ル、サテ如何ナルモノデアアルカト云フト、サテ、常ノ
鱗アル魚類ヤ、ナミノ甲アル龜ノ類ヤ、其種類ノ品、種類、匹儔(タグイ)デナ
イ實ニ、非凡ナルモノデアリテ、其怪物ガ、一ビ水ヲ得ルト、大風大雨ヲ起シ、
天地ニ上下スルコトモ難クナク、出沒自在ノ神通力ヲ持テ居ル、其怪物ガ、今
デハ水ヲ得テ居ナイガ、ソノ水ニ及バザルモ、サテ、尋(八尺ナリ)常(一丈六
尺ナリ)一尺一寸程ノ間デ、今ニモ水ヲ得ル、高山ヤ、大陵(ヲカナリ)ヤ曠塗
(廣キ途ナリ)ヤ絶險(險阻ナル山谷ナリ)等ノモノガ、之ガ間隔(ヘダテ、邪
間)ヲナスト云フデハナイ。

此節、ミナ譬喩ノ文字ナリ、怪物ハ龍ヲ云フ、自分ニ喩ヘタルナリ、水ヲ
得ルハ地位ヲ得ルニ喩ヘ、風雨ヲ變化スルハ大抱負、大經綸ノ施行スベキヲ云
ヒ、今ニモ相當ナル地位ヲ得ルヲ云ヒタルナリ。

然其窮涸不能自致乎水。爲猿獼之笑者。盖十八九矣。如
有力者哀其窮而運轉之。盖一舉手一投足之勞也。

シカハアレド、今デハ困窮シ、水ニ涸テ居テ、自分自身ニ其身ヲ水ニ致シ、

○然○然レ其ノ窮涸シテ自
○水ニ致ス能ハズ、猿獼ノ
○笑トナルモノ、盖十八八
○九トナリ、如シ有力者、其窮
○ヲ哀ミ、而シ之ヲ運轉セ
○テ、盖一舉手一投足ノ
○勞ナリ。

○然○然レ其ノ窮涸シテ自
○水ニ致ス能ハズ、猿獼ノ
○笑トナルモノ、盖十八八
○九トナリ、如シ有力者、其窮
○ヲ哀ミ、而シ之ヲ運轉セ
○テ、盖一舉手一投足ノ
○勞ナリ。

水ヲ得ルコトガ出来ス、ソコデ神通力ヲ施スニ道ガナイカラ、殆無能ノ如ク、輕
蔑サレ、獼(カソオンナリ)等ノ如キモノニ笑レテ居ルコトガ、イツモノコトデア
ル、モシ有力者(位ニアル者、此處ハ試驗官ヲ指シテ言フ)ガ其困窮ニ同情ヲ
寄セ、之ヲ水ノ上ニ運轉シ、其身ヲ水ニ致サシムルモ、大變ナ骨折ヲ要スルト
云フデハナク、一度手足ヲ働スノ骨折デナシ得ル。

然一文字ヲ以テ一轉シ、自分困窮ノ狀ヲ曰ヒ、猿獼ヲ以テ他ノ時ヲ得顔ナ
ル小人輩ニ喩ヘ更ニ、有力者ノ薦引(引立ナリ)ヲ待ツヲ曰ヒ、ソノ薦引ノ決シ
テ難ラザルヲ説明セリ。

然是物也。負其異於衆也。且曰。爛死於沙泥。吾寧樂之。若
俛首帖耳。搖尾而乞憐者。非我之志也。是以有力者遇之。
熟視之。若無觀也。其死其生。固不可知也。

○然○然レ其ノ窮涸シテ自
○水ニ致ス能ハズ、猿獼ノ
○笑トナルモノ、盖十八八
○九トナリ、如シ有力者、其窮
○ヲ哀ミ、而シ之ヲ運轉セ
○テ、盖一舉手一投足ノ
○勞ナリ。

ハ決シテセスト、カ、ル剛情我慢ヲ張ルカラ、有力者ガ、コノ怪物ニ遇ヒ、怪物ノ水ヲ得ズシテ難儀シテ居ルヲ、ヨク／＼視テモ、視ヌフリヲナシ、通り過ギテ仕舞フ、是ヲ以テソノ生死ノ程ハ我ナガラ分ラヌ。

又法 此節 然ノ一字ヲ以テ 更ニ一轉シテ、怪物ノ本性ヲ見ハス、タトヒ如何ナル難儀ニ遇フモ、ソレハ覺悟ノ前デアルカラ、其志ハ斷ジテ變ヘス、沙泥ニ爛死スルモ天命ナレバ、寧之ヲ樂ムト云フテ暗ニ此處、命ノ一字ヲ言外ニ含ミ、下文命ノ字ヲ云フノ地ヲナス、用意到レリト謂ツベシ。

今又有有力者當其前矣。聊試仰首一鳴號焉。庸詎知有力者不哀其窮而忘一舉手一投足之勞而轉之清波乎。其哀之命也。其不哀之命也。知其命而且鳴號之者亦命也。

講義 今又有有力者ガ其前ニ當ルトハ、自分ガ試驗ニ應ズル前デアルカラ曰フノデアル、聊物モタメシト曰フコトガアルカラ、鳴號(ナキサケブノ意)シテ試驗ニ應ズベシ、庸詎(ハニ二字ニテ、ナンゾト讀ムナリ)ゾドウシテカ、有力者ガ、ソノ困窮ヲ哀レミ、一舉手、一投足ノ骨折ヲ忘スレ、之ヲ清波ノ上ニ轉ジ、水ヲ得サシテ吳レナイト云フコトヲ知ランヤ、吳ルカモ知レヌ、ソノ有力者ガ怪物

聊試今又有有力者、其前ニ當ルアリ矣、聊試ニ首ヲ仰ギ一鳴號ス焉、庸詎知有力者其窮ヲ哀レミ、一舉手、一投足ノ勞ヲ忘レ、而之ヲ清波ニ轉セザルヲ知ンヤ其ノ之ヲ哀ムモ命ナリ、其ノ之ヲ哀マザルモ命ナリ、其ノ命ニアルヲ知リテ、而シ且之ニ鳴號スルモ亦命ナリ。

聊試愈今、者實ニ是ニ類スニア、リ是ヲ以テ其ノ疎愚ノ罪ヲ忘レ、而シ是說アリ焉、閣下其亦之ヲ憐察セヨ

聊試陳商ニ答ル者、愈白ス、惠書ヲ辱フス、語高シテ旨深シ、三四讀尚通曉スル能ハズ、茫然愧赧ヲ増ス、又其淺弊人ニ過ルノ智識ナキヲ以テセズ、且論スニ守ル所ヲ以テス、幸甚、愈敢テ情實ヲ

ヲ哀ムモ天命ナリ、哀マザルモ命ナリ、一カハカ、ドチラモ天命デアルト云フコトヲ知リツ、且有力者ニ鳴號スルト云フコトモ天命デアアル。

又法 此節、應試ノコトヲ曰フ、水ノ字ヲ清波ノ字ト變ゼリ、四ノ命字ノ用法ニ注意スルヲ要ス、作文ノ活機妙法茲ニ存ス。

愈今者實有類於是。是以忘其疎愚之罪。而有是說焉。閣下其亦憐察之。

講義 愈ハ今ニ於テ實ニ是ノ怪物ニ似テ居ル、是ヲ以テ、ソノ事情ニウトク愚ナル罪ヲ忘レ、豫是ノ怪物ノ說ヲ申上テ居ク、閣下ニ於テハ、ソレコレヲ憐ミお察シ下サレトナリ。

又法 愈今者實有類於是、此文通篇皆コレ譬喩ノ文字ニシテ、此一句コレ正意、而ノ全篇飛動、コレ公文章ノ妙處ナリ、憐察ノ字ハ、哀ノ字ニ照應ス。

答陳商書

韓昌黎

愈白。辱惠書。語高而旨深。三四讀尚不能通曉。茫然增愧赧。又不以其淺弊無過人智識。且諭以所守。幸甚。愈敢不吐露情實。然自識其不足補吾子之所須也。

題意 コノ陳商ト云フ人物ハ一種流儀ノアル人物デ、六暗八鱈ニ讀ミ難キ文章ヲ

吐露セザランヤ、然氏自
其吾子ノ須ル所ヲ補フ
ニ足ラザルヲ知ルナリ。

草シ、自ラ得意ガリテ居ル、一日公ニ一書ヲ寄セ、公ガ文章ニ對スルノ意見ヲ
徴シタ、ソコデ公ガソノ返事ヲ與ヘタノデアアル、ソモノノ公ノ如キ大家へ、意
見ヲ徴スルナド、誠ニヲコノシレモノデアアル、故ニ公モ愚弄の半分ニ、コノ返
書ヲ與ヘシナリ、コレハ公ガ國子監ノ職ニアリタル時、寄セタルノデアアル。

愈ガ申上ル、親切ナル手紙ヲ頂戴シテ有難コトデアアル、大文章家ノ寄セタ
ル手紙デアアルカラ、ナカクニソノ語ノ意味ガ高尚デアツテ、且ソノ旨趣（旨
ハムネナリ）ガ深く、三四遍モクリ返ヘシテ讀テ見タレド、五里霧中ノ感デ、
トントソノ意味ヲ通ジ曉ルコトガ出来ナイ、ボンヤリトシテ、惟愧テ報ルノ外
ハナイ、而シ又ソノ韓愈ガ、誠ニ見識淺墓ニシテ何ニモ知ルコトナク人ニ過ギ超
ルノ智識ナキヲモ、お見捨ナク、且ソノ上、平生アナタノ守リテムル所ノ御持
論ヲ以テ寄セラレタルハ、實ニ韓愈ニ取リテハ、大慶至極デ、幸甚ナルコトデア
ル、カ、ル親切ヲ無ニシテハ、折角ノ好意ニ負クノ恐ガアルカラ、愈モソノ情
實心中ヲ吐キ露サズニ居ラレマセヌ、十分ニ申上ル、併ナガラ、淺學ナル愈ノ
コト故、逆モアナタヨリ私ニ對シテお求ニナリタル所ヲ補ヒ助ケテ、アナタノ
益ニナル様ナクハ申上ゲ得ヌト謙遜シタルナリ。

又法 此節ハ全ク書牘ノ體デアアル、先方ノ寄セタル書ニ對シテ、アタラズ、サハ
ラズ、如何ニモ大人シク出テ、脈味ヲ云フ處、陳商ヲシテ類ニ泚スルノ思アラ
シム、眞ニ考巧ノ妙筆ト云フベシ。

齊王好竿。有求仕於齊者操瑟而往。立王之門。三年不得
入。叱曰。吾瑟鼓之。能使鬼神上下。吾鼓瑟。合軒轅氏之律。
呂。客罵之曰。王好竿。而子鼓瑟。瑟雖工。如王之不好。何是
所謂工於瑟。而不工於求齊也。

齊王好竿ヲ好ム、仕テ齊
ニ求ムルモノアリ、瑟ヲ操
リテ往キ、王ノ門ニ立ツ
三年、入ルヲ得ズ、叱リ曰
ク、吾瑟之ヲ鼓ス、能鬼神
ニ上下セシメ、吾瑟ヲ鼓ス
ル、軒轅氏ノ律呂ニ合ヘリ、
客之ヲ罵リ曰ク、王、竿
ヲ好ム、而ルニ子瑟ヲ鼓ス、
瑟工ト雖モ、王ノ好ザル
ヲ如何セント、是所謂ル瑟
ニ工ニシテ齊ニ求ルニ工ナ
ラザル也。

コレハ韓非子ト云ヘル書物ニアルコト引キタルナリ、昔齊王ガ竿（フヘ）ヲ
好メルニ、仕官ヲ齊國ニ求ルモノガアリテ、琴ヲ持テ行キ、王ノ門ニ立ツコト、
三年モ辛抱シタガ、取次ギクレルモノモナク、入ルコト出来ナイ、ソコデ辛抱
仕切レズ、門番ノ者ドモヲ、叱リ飛シテ曰ヘルニ、吾ガ琴ヲ彈ズルコトノ巧妙
ナルコトハ、鬼神モ感通シテ上下セシムルコトヲ得、吾ガ琴ヲ彈ズル、ヨク支那
音樂ノ本家本尊タル黄帝軒轅氏ノ律呂（陽律ヲ律ト云ヒ、陰律ヲ呂ト云フ）陰
陽ノ律、調子ニモ合フノデアアル、ソレニ取次モセヌト云フハ、齊國ニハ音樂ノ
何タルノ解スルモノガナイト、所ガ客トナリテ居ルモノガ、アベコベニ、之ヲ
罵倒シテ曰フニ、我王ハ竿ヲ好ム、ニ、ソレニお前サンハ琴ヲ彈ズルト曰フテ、
自慢ヲナサル、琴ガ如何ニ巧妙デアロトモ、王ガ好デナイコトヲ、如何ス
ルコト出来スト、以上韓非子書中ノ語、コレ所謂ル琴ニハ妙ヲ得タルモ、齊ニ求
ルコトニ工者デナイト云フベキデアアル。

又法 コレ、韓非子ノ語ヲ引用シ、時好ニ投ゼザルノ馬鹿氣ヲ居ルヲ云フ、陳商如何ニ文章自慢ヲナスモ、六暗八鱗ニ難文字ヲ陳ネ、時好ニ投ゼサレバ、コノ琴自慢ト同様ナリトテ、下文ノ本意ニ入ルノ地ヲナシタリ。

今舉進士於此世求祿利行道於此世而爲文必使一世、人不好得無與操瑟立齊門者比歟文誠工不利於求求不得則怒且怨不知君子必爾爲不也。

今、進士ニ此世ニ舉ラレ、祿利ヲ求メ、道ヲ此世ニ行ヒ、而シテ文ヲ爲シ、必ス一世ノ人ニ好ザラシム、瑟ヲ操テ齊門ニ立ツ者ト比スルナキヲ得ンヤ、文誠ニ工ナレバ、求ルニ利ナラズ、求テ得ザレバ、則怒リ且怨ム知ラズ、君子必ズ爾爲ンヤ、不ヤ。

又法 今時代ニ於テ、進士ニ此世ニ舉ゲラレ、俸祿利益ヲ求メ、我本領ヲ此世ニ行ヒ、世用トナランガ爲ニ文章ヲ作ル者ガ、無法ニ難文字ヲ書シ時勢不向ノコトヲナシ、一世ノ人ガ好カナイ様ナコトヲヤル先生ハ、琴自慢ヲナシ三年モ齊門ニ立往生ヲナシタル馬鹿者ト同一デハナイガ、文章ガ如何ニ工妙デアアルニセヨ、祿利ヲ求ムルニ便利デナク、サテ求メテ祿利ヲ得ラレザル時ニハ、ソレコソ、愚痴ヲ起シテ、怒リモシ、怨ムデアロー、而シ陳商ノ如キハ、君子(成徳ノ名ナリ)ノ人デアアルカラ、左様ナル愚痴ナルコトハセヌデアローカ、セヌニ云フ譯ニハ行クマイ、必ズ愚痴ガ出ルデアロート痛罵セリ。

又法 此節ハ喻ヨリ本意ニ入り、陳商ノナス所、時好ニ反スルヲ曰ヒ、之ヲ諷シタルナリ、君子必爾後不也、ノ句ヲ提出シ、君子ノ字ハ陳商ニ當テタルモノニ

テ、此文一篇ノ主意ハ此句ニアルナリ、痛罵スト雖モ、言ヒコナシノ上手ナルヨリ耳障ニナラザル所、文字ノ妙ナリ、凡テ文章ハ含蓄ノ妙アルヲ貴ブナリ。

故區區之心。每有來訪者。皆有意於不肖者也。略不辭讓。遂盡言。惟吾子諒察。愈白。

區區故ニ區々ノ心、來訪者アル毎ニ不肖ニ念アル者ナリ、略辭讓セズ、遂ニ盡言ス、惟吾子諒察セヨ、愈白ス。

又法 ソレ故ニ區々(小ナル心ナリトテ自ラ謙スルナリ)ノ愈ノ心ニ於テハ、來リ訪問スルモノアル毎ニ、不肖(愚ナルノ意)ナル愈ノ意見ニテモ聞タイトテ試ルモノデアアルナラバ、大抵辭讓(辭退ナリ)セズ遠慮用捨スルコトナク、思フ一杯ノコトヲ申上クルト云フ愈ノ持前デアアルカラ、お前サンノ寄セタル返事ニモ、斯ハ遠慮ナク云フトナリ。

送石洪處士序

韓昌黎

河陽軍節度御史太夫烏公爲節度之三月。求士於從事之賢者。有薦石先生者。公曰。先生何如。曰。先生居嵩邱。澗穀之間。冬一裘。夏一葛。食朝夕飯一盂。蔬一盤。人與之錢。則辭。請與出遊。未嘗以事免勸之仕。則不應。坐一室。左右

石洪處士送序。河陽軍ノ節度御使太夫烏公。節度タルノ三月、士ヲ從事ノ賢者ニ求ム、石先生ヲ薦ムルモノアリ、公曰、先生如何、曰、先生嵩邱澗穀ノ間ニ居リ、冬ハ一裘、夏ハ一葛、食ハ朝夕飯一

孟、蔬一飯、人之レニ錢ヲ
 與、レバ則辭ス、與ニ出テ
 遊バント請ハ、未ダ嘗テ事
 ナリテ免セズ、之ニ仕テ勤
 レバ則應ゼズ、一室ニ坐シ、
 圖書ヲ左右ニス、之ト道理
 ナリ、古今事ノ當否ヲ辨
 シ、事ノ後ニ成敗スベキト
 ナリ、河下流ヲ決シ、
 東ニ注クガ如ク、驪馬輕車
 ニ駕シ、熱路ニ就キ、王良
 造父ノ先後ヲ爲スガ如キ
 ナリ、燭照ヲシ、數計ヘテ
 龜トスルガ如キナリ。

圖書與之語道理辯古今事當否論人高下事後當成敗
 若河決下流而東注若驪馬駕輕車就熱路而王良造父
 爲之先後也若燭照數計而龜ト也。

石處士名ハ洪ト云ヒ、公ノ朋友ナリ、處士ハ史記ニ伊尹ハ殷ノ處士ナリト
 アルガ、經綸ノ大才ヲ抱キ未ダ官途ニ就カザルモノ、稱ナリ、コノ石洪ガ今度
 河陽ノ節度使鳥公ノ許ヘ召抱ヘラレ、出發赴任スルニ付キ、之ニ送リタル送別
 ノ文ナリ、序トハ、モト記事ノ體デアリテ、ソノ來歴由緒ヲ順序ヲ追ヒ之ヲ記
 述スルナリ、故ニ之ヲ序ト曰フ、サテ此文ニ付キ、一言シ置ネバナラスト言フ
 ハ、唐ニハ天下ヲ十五道ニ分チ、一道毎ニ節度使ヲ置キタリ、其所以ハ地方ノ
 叛亂ヲ克平シ皇室ノ藩蔽タラシメ皇室ヲ防禦セシムルニアリ、之ヲ藩鎮ト曰フ
 初ノ程ハ、朝廷ニ歸順シ、左程ノ弊害モナカッタガ、段々其勢ノヨクナルニツ
 レ、其勢ヲ待テ朝廷ヲ輕ジ、其政治モ我意非道ノ事多シ、天寶以後ハ殆ソノ
 極ニ達セリ、經世ニ志アル韓公ハ、早モ其勢力ヲ殺ギ、以テ皇室ヲ強セントセ
 リ、故ニソノ朋友タル石處士ガ、節度鳥公ノ幕下ニ召サレ、赴任スルノ機會ヲ
 利用シ、名ヲ送序ノ文ニ托シ鳥公ノ橫暴ヲ諷シタルモノナリ、コノ文ハ叙事格
 トス。

河陽軍(河陽ハ土地ノ名ナリ、茲ニ軍ノ一字ヲ特ニ言フハ下文軍事ヲ言フ)

ガ爲ナリ)ノ節度御史大夫(官名)鳥公(名ハ重胤)ガ節度使ヲ拜命サレテヨリ
 三ヶ月目ニ、賢才ヲ引上ントテ、賢ナル士ニ付テノ周旋方ヲ、ソノ幕下ニ屬ス
 ル從事(屬官)ノ某ナル賢者ニ求メラレシニ、從事ハ石先生ヲ推選シタルニ、公
 ノ更ニ問ル、ニ先生ノ人品、人格如何ヲ以テセラレシ、從事ノ答ヘマスルニ、
 先生ハ嵩邱(二山ノ名)濯穀(二水ノ名、洛陽ニ居ルナリ)ノ間ニ住居サレ、ヨク
 其分ヲ守リ、冬ハ一枚ノカワゾロモ、夏ハ一枚ノカタビヲ以テ押通シ、衣ハ
 寒熱ヲ防ゲハ足ルトナシ、敢テソノ美ヲ求メズ、平生ノ飲食ハ朝晩ニ飯ハ一ト
 鉢ト、野菜物ガ一ト皿ト云フ次第デ、饑渴ヲ凌ハ足ルトナシ、敢テソノ豐ヲ望
 ムト云フコトナク、又ソノ廉潔ナルコトハ、人ヨリ金錢ヲ惠ムヤウナコトアルモ、
 押戻シテ受ケズ、人ト交際スルニハ、圓滿主義ヲ以テシ、散步デモスルカラ、
 付合ト云フモノアレバ、未ダ事故ニ託シテ逃ル、ト云フコトナク、之ニ仕官ヲ勸
 ルモノガアルト、如何ニモ其進退ヲ嚴ニシ、容易ニ應ズルコトナク、先生平生
 ノ嗜好ハ、一室ニ立籠リ、書物ヲ左右ニ控ヘ、終日讀書ニ餘念ナシト言フ有様
 デアル、ソノ讀書ノ効力ハ偉大ナルモノデ、先生ト事物ノ道理ヲ語り、古往今
 來出來事ノ處置ニ付キ當否(宜シキヲ得ルカ、得ザルカノ意ナリ)ヲ辯論シタ
 リ、人物品性ノ高キカ、下キカヲ論議シタリ、事ノ後ニ於テ、成ルカ、成ラヌカ
 等ノコトニ付テ言ハル、コトガ、ソノ道理ヲ語リテ、盡ザルコトハ、河ノ下流
 ヲ押切り、ソノ水ヲ東ニ注クガ如ク、少シノヨドミナク、驪馬(四匹ノ馬ナリ)

○先後ノ字ハ書經ヨリ出ズ、經ニ迷民ヲ先後ストアリ、註ニ先後トハ教訓ノ意トアリ、故ニソノ馬ヲ指導スル丁ニ用井シナリ。

●傍寫法 已ニ上ニ説明セリ。

○顯謂大夫曰ク、先生以テ自ラ老スルアリ、人ニ求レナシ、其肯ニ某ガ爲ニ來ランヤ、從事曰ク、大夫文武忠孝、士ヲ求ル國ノ爲ニシテ、家ニ私セズ、方今寇恒ニ聚リ、師其疆ヲ環レ、農耕收セズ、財粟殫亡、吾處ル所ノ地、歸輸ノ塗、治法征謀宜ク出ス所有ルマシ、先生仁且勇、若義ヲ以テ請ヒ、強テ重ヲ委ス焉、其何ノ説カテ辭セン。

ノ輕ロキ車ニ駕(駕ハ馬ヲ車ニ付ケ引キ出スヲ云フナリ)シ王良造父(古ノ馬ヲヨク御スルモノナリ)ノ如キ御者ノ名人ガ其馬ノ指圖ヲナスガ如ク、少シモ過ツコトガナク燭テ照シ、五十本ノ筮ノ數ニテ計ヘ、龜ヲ焚テトシ吉凶ヲ判スルガ如クニ、成敗ノ見當ノ間違ヌヲ云ヒシナリ。

○コレハ、從事ノ口ヲ借り、先石洪ノ人品學問、履歷ヲ記セシナリ、恰モ石洪ノ小傳ノ如シ、凡テ序文ハ其人ノ傳記ヲ書セザル可カラズ、コレ他ノ口ヲカリテ記述ス傍寫ノ法ナリ。

大夫曰、先生有以自老。無求於人。其肯爲某來耶。從事曰、大夫文武忠孝。求士爲國。不私於家。方今寇聚於恒。師環其疆。農不耕收。財粟殫亡。吾所處地。歸輸之塗。治法征謀。宜有所出。先生仁且勇。若以義請。而強委重焉。其何説之辭。

○太夫更ニ曰ク、先生ハ已ニ自ラ隱居氣ニナリ、餘年ヲ送ラントスルノ考テアローカラ、人ニ求メ仕官ヲスル心ハナカローカラ、某ノ爲ニ來リ仕ルコトハ決シテ、イタサヌデアローヨ、從事ノ曰フニ、太夫ハ文アリ武アリ且忠孝ナル御方テアツテ、今日賢才ヲ求メラル、コトモ國家ヲ思フノ衷心ヨリ出デ、我家

ヲ利セントスルヨ一ナ私心ハナイ、現今ノ有様ヲ見ルニ、盜賊ハ我が治下ナル恒州ノ邊ニ集合シ、之ヲ征伐ヲスル爲ニ軍勢ハ其境界ヲトリマキ、農民共ハ耕作シ、收穫ヲスル暇モナク、ソレ故、財産モ穀類モ殫亡(盡クルナリ)シテ不足ヲ告ゲ、上下共ニ疲弊ノ有様デアアル、吾ガ處ル所ノ地河陽ハ、實ニ肝要ナル地デアツテ糧食等ヲ送り出シテ行クニ尤樞要ノ地デアアル、故ニ早モ善後ノ策ヲ講シ、政治ノ方針ナリ、盜賊ヲ征スルノ計策ナリ、出シテ行カネバナラス大責任ガアル、先生ハ仁且勇ナル義俠ニ富タル人デアアルカラ、若シ公義ヲ以テ仕官ヲ願ヒ、無理ニ治法征謀ノ重大ナル任務ヲ以テ委任シナラバ、何ヲ言ヒ立テ、辭退ヲナサリヨイヤ、ナサレヌトナリ。

○上文、勸仕不應ノ句アリ、故ニ太夫ハ其ノ來任セザルヲ疑フナリ、更ニ從事ノ口ヲ借り忠孝ノ二字ヲ出シ、烏公ヲ警醒一番シ、公義ノ爲ニハ先生ノ義俠ナル、必ズ仕官スベキヲ以テ、其疑ヲ解ク、仁勇ノ字ハ忠孝ノ二字ト相對照ス烏公ハ元來忠孝ノ人ニアラズ、故ニ忠孝ノ字ヲ殊更ニ特筆大書シテ之ヲ諷スルナリ、烏公タルモノ、針ノ席ニ生スルノ感アルベシ。

於是撰書詞。具馬幣。下日以授使者。求先生之廬。而請焉。先生不告於妻子。不謀於朋友。冠帶出見客。拜受書禮於門內。宵則沐浴。戒行李。載書冊。問道所由。告行於常所來。

○編是ニ於テ、書詞ヲ撰シ馬幣ヲ具シ、日ヲトシ、以テ使者ニ授ケ、先生ノ廬ヲ求メテ請フ焉、先生妻子ニ告ケズ、朋友ニ謀ラズ、冠

帶シ出テ客ヲ見、書禮ヲ門
内ニ拜受ス、宵ハ則沐浴行
李ヲ戒シメ、書册ヲ載セ、
道ノ由ル所ヲ問ヒ、行ヲ常
ウテ來往セシ所ニ告ケ。

往。

鳥公ソ疑モ解ケタカラ、是ニ於テ先生ヲ招聘スル所ノ書狀ヲ撰文シ、馬ナ
リ弊帛ヲ具ヘ先生ガ寓スル所ノイホリヲ求テ、先生ニ仕官センコトヲ願ヒシ、先
生ハ辭退スル所デナク、妻子ニモ告ゲズ、朋友ニモ相談ナク、直グ決心シ衣冠
束帶シ出テ、使者ヲ見タ上、書詞及禮物ヲ門内ニ於テ、難有、拜シテ受ケ仕
官スルコトニナリタ、ソレヨリ出立ノ用意ニ忙シク、宵ヨリ髪ヲ洗ヒ、身ヲ清メ、
荷物ノ用意ヲナシ、書物ヲ車ニ載セ、河陽ニ至ル道ノ順路ナドヲ問ヒ、愈仕官
シテ河陽ニ出立スルコトヲ、コレ迄兼テヨリ往來シテ交際セシ知己朋友ノモノ
迄ヘ、披露ニ及ビマシタ。

此節、鳥公ヨク貴ヲ以テ賤ニ下ル、義ヲ以テ人ヲ取ル處ナリ、石洪先生、
先ニハ人ニ求ムルナシト曰ヒ、此處妻子ニ告ゲズシテ決心シタトアリテハ、前
ノ處ト相反スルニ似タリ、コレ然ラズ、上文義ヲ以テ請フノ文字アリ、鳥公義
ヲ以テ乞ヒ、先生義ヲ以テ決スルナリ。

晨則畢至、張上東門外。酒三行。且起有執爵而言者曰。大
夫眞能以義取人。先生眞能以道自任。決去就。爲先生別。
又酌而祝曰。凡去就出處何常。惟義之歸。遂以爲先生壽。

臨罷晨ニ畢ク至リ、上東
門外ニ張ル、酒三行、且ニ
起ントス、爵ヲ執リ、言フ
者有リ、曰ク、大夫眞ニ能ク
義ヲ以テ人ヲ取ル、先生眞

ニ能ク道ヲ以テ自任シ、去
就ヲ決ス、先生ノ別ヲナス
ト、又酌テ祝シテ曰ク、
凡去就出處何ノ常カ
アラン、惟義ニ之歸ス、遂
ニ以テ先生ノ壽ヲナスト。
猶緩急ノ緩ノ字ノ如シ、就
ノ字重シ、就ハ、官ニ就クナ
リ。

去就出處、去ハ官ヲ去
ル、出ハ仕フルナリ、處ハ、
居ルナリ、家ニ居テ仕ヘザ
ルナリ。

又酌而祝曰。使大夫恒無變其初。無務富其家。而飢其師。
無甘受佞人。而外敬正士。無味於詔言。惟先生是聽。以能
有成。功保天子之寵命。又祝曰。使先生無圖利於大夫。而
私便其身圖。先生起拜祝辭曰。敢不蚤夜以求從祝規。

宵カラ披露ラシテアルコトデアアルカラ、晨ニナルト、知己朋友ノモノガ、
先ヲ爭フテ詰メ掛ケ洛陽ノ城門デ送別ノ宴ヲ張リタ、酒ガ三邊廻リテ、今ニモ
出立セントスル時ニ、杯ヲ執リ、祝シテ言フモノガアリタ、大夫鳥公ハ眞ニヨク
義ヲ以テ人物ヲ引上ゲラレ、先生ハ利ノ爲デナク、我本領ヲ行フコトヲ自任シ、
仕官ヲサレタ、實ニ目度出キコデアアルカラ一言先生ノ別ヲナスト、又祝スルモ
ノガアツタ、スベテ去就出處、進退ト云フモノハ、何モ常ト云フコトハナイ、惟
義ニ合フヤウニスルノデアアル、先生ノ仕官ハ義ニヨルノデアアル、先生ノ祝ヲス
ルコトデアアル。

此節ハ別筵ヲ叙述スルナリ、コレハ兩節共、祝スル辭ニノ輕シ。

又酌而祝曰。使大夫恒無變其初。無務富其家。而飢其師。
無甘受佞人。而外敬正士。無味於詔言。惟先生是聽。以能
有成。功保天子之寵命。又祝曰。使先生無圖利於大夫。而
私便其身圖。先生起拜祝辭曰。敢不蚤夜以求從祝規。

又酌テ祝シテ曰ヘルニ、大夫ヲシテ恒ニ其初心忠孝ノ志ヲ變ズルコトナク、
惟私ニ其家ノミヲ富シ其帥（軍兵ナリヲ）飢スヲ務ムルナク、口先上手ナル
モノヲ甘ジ受ケテ、正直ナルヲ士ヲ外面デ敬シ、真心ニ敬セザル如キコトナク、

便スル無ラシメン、先生起テ祝辭ヲ拜シテ曰ク、敢テ蚤夜以テ祝規ニ從フヲ求メザラン。

○**祝規** 一身ノ計ヲナス

○**蚤夜** 蚤ハ朝早クナリ、夜ハ夜半ナリ。

○**祝規** 規ノ字重シ、規トハ過チ正ステ云フ。

○**祝規** 是ニ於テ東都ノ士、咸大夫先生ト、果シテ能ク相與ニ以テ成スアルヲ知ルナリ、遂ニ各歌詩六韻ヲ爲リテ退ク、愈之ガ序ヲ爲ルト云フ。

○**六韻** 六韻トハ韻字チ六句踏ミタルナリ。

○**温處士河陽軍二赴** 温處士河陽軍ニ赴ク

○**伯樂一過冀北ノ野** 伯樂一ヒ冀北ノ野ヲ過ギテ

馬群遂ニ空シ、夫冀北ノ馬ハ天下ニ多シ、伯樂善ク馬ヲ知ルト雖モ、安ソ能ク其群ヲ空クセンヤ、之ヲ解スルモノ曰ク、吾所謂空シキトハ馬ナキニ非サルナリ、其馬ナキ也、伯樂馬ヲ知ル、其良ニ過バ、輒ク之ヲ取ル群、良チ留ムルナシ、苟モ良ナキ、馬無シト謂フト雖モ、虚語ト爲ス矣。

○**伯樂** 伯樂ハ、天ノ星ノ名ナリ、天馬ヲ主トル星ナリ、昔孫陽ト云ヘルモノ、ヨク馬ヲ相スルヨリ、遂ニ伯樂ヲ以テ孫陽ヲ呼ブニ至レリ。

○**物三已上集** 物三已上集ルヲ群ト云フ。

追從ヲ言フモノ、辭ニ從フナク、惟石先生ノ言フコトノミヲ是レ聽キ、ヨク成功シテ、永久ニ天子恩寵ノ命ヲ保持セラレンコトヲ、又祝シテ曰ヘルニ、石先生ヲシテ、惟鳥公ノ利益ノミヲ計リ、ツレヲ緣故トシテ、其身ノ立身出世ヲノミコレ圖ル等ノコトノナイ様ニ願ヒマス、先生起テ祝辭ヲ拜受シ申サレケルニハ、敢テ朝ハ早クヨリ、夜ハ夜半マデ勉強シテ、祝詞ト戒メトニ從フヲ求メザルマイヤ從フヤウニスル。

○**又法** 此節ハコレ規戒ナリ、鳥公ヲ諷スル主意此ノ一節ニ在リ、忠孝ノ意ヲ離レザルナリ、天子ノ寵命ヲ保セシメント曰ヘル處、コレ韓公精神ノ注ク處ナリトス。

於是東都之士咸知大夫與先生果能相與以有成也。遂各爲歌詩六韻退。愈爲之序云。

○**又法** 是ニ於テ洛陽ノ士ガ、皆大夫ト先生トガ意氣投合シテ、果シテ能ク相與ニ成功アルヲ知リタ、遂ニ列席ノモノガ送序ノ歌詞六韻ヲ作りテ退タニヨリ、自分ガ其歌詩ノ序文ヲ作りシトナリ。

於東都之士咸知云々ト曰フテ一篇ヲ收メ終ル、筆勢大ニ振ヘリ、

○**送温處士赴河陽軍序** 韓昌黎

伯樂一過冀北之野而馬群遂空。夫冀北馬多於天下。伯

樂雖善知馬。安能空其群耶。解之者曰。吾所謂空非無馬也。無良馬也。伯樂知馬。遇其良輒取之。群無留良焉。苟無良。雖謂無馬。不爲虚語矣。

○**題意** 温處士、名ハ造ト云ヒ、石處士ノ友ナリ、ソレガ今度同ク鳥公ノ幕下ニ仕官スルヲ送ル序文ナリ、コレモ前ノ送序ト同様、鳥公ヲ諷スルナリ、人コソ變レ、同様ナル人ガ同様ノ所ヘ赴任スルヲ送ルノ文デアルカラ、下手ガ書クト同筆法ニナリ易イガ、ソノ體裁ヲ一變シタル所、公タル所以ナリ。

○**又法** 伯樂ト云ヘル昔時ノヨク馬ヲ見抜クコトニ妙ヲ得タル名人ガ一度冀北(左傳ニ冀北ハ馬ヲ生スル所トアリ、古來産馬ニ有名ノ地ナリ)ノ野ヲ過ギ通ルト多クノ馬ノ群ガ遂ニ空クナル、サテ不思議ノコトデアアル、ソレ冀北ハ馬ノ名産地デアアルカラ、冀北程馬ノ多イ所ハ天下ニナイ、伯樂如何ニ馬ヲ相ルコトノ名人デアアルカラト云ツテ、ドウシテカヨク、其群ヲナクシヤウヤ、ソレハ不可能ノコトデアアル、之ヲ解釋スルモノ、曰ヘルニ、吾所謂空シトハ、何ニモ馬ノナイト曰フ譯デナク良キ馬ノナイノデアアル、伯樂ハ馬ヲ相ルノ名人デアアルカラ、コレハ善馬ト相タレバ、直ニ之ヲ取りテ仕舞フ、ソコデ群ニ良馬ヲ留メ置ナイ、カリソメニモ、良馬ガナケレバ、馬カナイト言ツテモ、虚言トハセヌ。

○**又法** コレ譬喩ヲ以テ呼起ス、先馬群空シト曰ヒ、夫レ冀北ノ馬云々ヲ以テ一難

爾爾自難自解 自ヲ難問シ
自ヲ解釋スルヲ云フナリ。

東都固ヨリ士大夫ノ冀
北ナリ、才能ヲ特ニ深ク藏
メテ市ザルモノ、洛ノ北涯
ニ石生ト曰ヒ、其南涯ニ温
生ト曰フ、太夫烏公鉄鉞ヲ
以テ河陽ニ鎮タルノ三月、
石生ヲ以テオトナシ、禮ヲ
以テ羅トナシ、羅シテ之ヲ
幕下ニ致ス、未タ數月ナラ
ザルヤ、温生ヲ以テオトナ
シ、是ニ於テ石生ヲ以テ媒
トナシ、禮ヲ以テ羅トナシ、
ヲ羅シテ之ヲ幕下ニ致ス。

爾禮ヲ以テ羅トナスト
ハ羅ハアミナリ、禮ヲ以テ

羅トナストハ、厚ク贈物ナ
ナシ、禮テカラメ、逃引ナ
ラヌヨリニスルナリ。

爾東都信ニ才多シト雖
モ朝ニ一人ヲ取ル焉、其尤
ヲ拔キ、暮ニ一人ヲ取ル焉、
其尤ヲ拔ク、居守河南ノ尹
ヨリ以テ百司ノ執事ニ及
ビ、政通セザル所アリ、
事疑フベキ所有レ、奚ニ
證テ處スル所ナラン焉、士
大夫ノ位ヲ去テ巷處スル者
誰ト與ニ嬉遊セン焉、小子
後生何ニ於テ德ヲ考ヘ業
ヲ問ハシ焉、縉紳ノ東西ニ
行キ、是都ヲ過ル者、其廬
ニ禮スル所ナシ、是ノ如ク
ニシテ稱シ、大夫烏公一
ビ河陽ニ鎮タリ、而シテ東都
處士ノ廬ニ人ナシト曰フモ
豈不可ナランヤ。

ヲ起シ、更ニ之ヲ解シ、自難自解ノ筆法ヲ用フ、前文送石處士序ハ叙事格ヲ以
テシ、コレハ譬喻格ヲ以テス、コレ文章變化ノ所ニシテ、屋上更ニ屋ヲ架スル
ガ如キ重復ヲ避ケシナリ。

東都固士大夫之冀北也。特才能深藏而不市者。洛之北
涯曰石生。其南涯曰温生。大夫烏公以鉄鉞鎮河陽之三
月。以石生爲才。以禮爲羅。羅而致之幕下。未數月也。以温
生爲才。於是石生爲媒。以禮爲羅。又羅而致之幕下。

東都ノ地、洛陽ノ地ハ、冀北ニ馬ガ集リテ居ル如ク、天下ノアルトアラユ
ル士ナリ大夫ノモノガ、集合シテ居ル故ニ士大夫ノ冀北デアアル、ソノ中ニ、ソ
ノ才氣藝能ヲ自ラ持ミ、深ク之ヲ藏メ見ハスコヲナサズ、市ルコトモセズ、更
ニ仕官ノ志ヲモ持タザリシモノ、洛陽市ノ北ガハニ居ルモノヲ石生ト申シ、ソ
ノ南ガハニ居ルモノヲ温生ト言ヒシ、御史太夫ノ烏公ガ鉄鉞（鉄鉞トハ斧ナリ
コレハ天子ヨリ賜ハル、節度使トナリタル印ノ爲ナリ）ヲ以テ河陽ニ鎮（鎮ハ
藩鎮ナリ、節度使トナルヲ云フ）トナルノ三ヶ月目ニ、石生ヲ見拔キ才氣アル
トナシ、禮ヲ以テ羅トナシ辭退スルコト出来ナイ様ニシテ、コレヲソノ旗下ニ
召抱ラレシ、未ダ二三月モ立ヌ中ニ、温生ヲ以テ才氣アリトナシ、此度ハ石生

ヲ以テ煤灼人周旋人トナシ、石生ヲ拔上ル通リニナシ、之ヲ旗下ニ召抱ラレシ。
此處、東都固士大夫之冀北也、コノ一句ヲ以テ上文ノ譬喻ヨリ正意ニ入ル、
筆力尤勇健ナリト謂ツベシ、コレ温生ヲ送ル序ナル故、石生ハ客ナリ、以鉄鉞
鎮鎮河陽之三月ノ字面、如何ニモ新奇ナルヲ覺ユ、別ニ一生面ヲ開クモノト謂
ツベシ。

東都雖信多才士。朝取一人焉。拔其尤。暮取一人焉。拔其
尤。自居守河南尹。以及百司之執事。與吾輩二縣之大夫。
政有所不通。事有所可疑。奚所諮而處焉。大夫之去位而
巷處者。誰與嬉遊。小子後生。於何考德而問業焉。縉紳之
東西行過是都者。無所禮於其廬。若是而稱曰。大夫烏公
一鎮河陽。而東都處士之廬無人焉。豈不可也。

東都ノ地ハ、マコトニ才士ハ澤山アレド、朝ニ一人ヲトリ、石生ノ如キ、
尤物ヲ拔取リ、暮ニ一人ヲトリ、温生ノ如キ尤物ヲ拔取リタ、居守（居守ハ留
守代理ナリ）河南ノ尹（尹ハ縣令ナリ）ヨリ以テ下百官諸有司ノモノ、及吾輩
二縣ノ大夫共ニ於テ、政治ノ甘ク疎通セザルアリ、事務上ニ付キ疑ハシキ所ノ
モノアルモ、誰ヲ相談相手ト致ソーゾ、士大夫ドモノ官位ヲ辭シ洛陽ノ巷ニ隱

二縣ハ洛陽ト河南ナリ、此時韓公河南ノ縣令トナル、故ニ曰フ。小子後生、論語ニ小子トアリ、書生後進ノ義ト見レマシ。縉紳、縉ハ、ハサムナリ、紳ハ大帶ノ垂ルモノ、士大夫皆笏ヲ帶ニサシハサム、故ニ曰フ。

夫レ南面シテ天下ニ聽ク、其ノ重ヲ託シテ而シテ、特ム所ノ者ハ、惟相トシト耳、相ハ天子ノ爲ニ人ヲ朝廷ニ得、將ハ天子ノ爲ニ文武ノ士ヲ幕下ニ得、内外治ナキヲ求ム、得カラザルナリ。

居スルモノ、誰ト共ニ嬉ビ遊ブベキゾ、門人後進ノ書生ノモノドモ、誰ヲ師ト仰ギ、德行ヲ考ヘ、學業ヲ問フベキゾ、縉紳(歷々ノ人ト云フ如シ)ノ東西ニ往來スル途スガラ、コノ洛陽ヲ過ルモノ、誰ノ家ニ立寄り、待遇ヲ受クベキゾト以上十分怨ヲ述ベタルナリ、サテ是ノ如クデアレバ稱シテ大夫ノ烏公ガ一ビ河陽ノ節度使トナリ洛陽ノ人物ヲ拔キ取リタルニ由リ、東都處士ノ慮ニ人物ガ拂底シタト申シテモ、ナントシテ不可ナルコトハナカロー。

此節ハ屑ヲ累テ十分ニ怨ヲ陳ベタリナリ、十分ニ怨ヲ陳ベタル上、若是稱曰云々ノ一大長句ヲ以テ上文ヲ結ブ、故ニ其怨モ一層響キテ聞フルナリ、豈不可也ハ上文不爲虚語ト相照應ス。

夫南面而聽天下其所託重而恃力者惟相與將耳相爲天子得人於朝廷將爲天子得文武士於幕下求内外無治不可得也。

夫レ南面(南面トハ君ノ位ニアルヲ云フ)シテ君トナリ、天下ノ政事ヲ聞ク所ノモノガ、ソノ國家ノ重キヲ以テ委託シ、ワレノ肱股片腕力ト頼ム所ノモノハ、惟宰相ト大將トデアル、今宰相ハ上天子ノ爲ニ相當ナル人物ヲ朝廷ノ上ニ引上ゲテ居リ、大將ハ天子ノ爲ニ文武兼備ノ石温ニ士ノ如キ立派ナル人物ヲ自

分ノ旗下ニ引上タ、コレデハ内宰相モ外大將モ何レモヨク治マル、内外治ルコトナカラシムヲ欲シテモ得ラレス。

此節相ト將トヲ對照シテ曰フ、宰相ハコレ客ニシ、大將ハ主ナリ、大將ノ方ヲ主トスル故、殊ニ文武ノ士ト曰ヘリ、公ノ意ハ、朝廷ニ人ナク、却テ藩鎮ニ人アリ、藩鎮ノ横暴ハ固ヨリ其ノ害ナリト云フニ在リ、然モ顯ニ言ハズ、全篇ノ主意此節ニ在ルナリ。

愈縻於茲不能自引去資二生以待老今皆爲有力者奪之其何能無介然於懷耶生既至拜公於軍門其爲吾以前所稱爲天下賀以後所稱爲吾致私怨於盡取也。

愈ハ今茲ニ河南ノ縣全ニ身ヲ束縛セラレ、或ル事情ノ爲ニ、未ダ引退スルコトガ出來ヌ、石温ニ生ニヨリテ、我ノ老フルヲ待テ、實ハ二生ヲ柱トモ杖トモ思フテ便トシテ居タニ、今有力者烏公ノ爲ニ之ヲ奪ヒ取レタ、コレデハナントテ、ワガ懷中ニムシクシスル所ノモノガナカローヤ、アル、温生ヨ、既ニ河陽ニ至リ、烏公ニ軍門ニ拜謁スル時、ソレ前ニ稱シタル所ノモノヲ以テ天下ノ爲ニ賀シ、後ニ稱シタル所ノモノヲ以テワガ怨ヲ盡ク取レタルコトニ致シテ十分言ツテ吳レロ。

愈縻於茲不能自引去レ能ハズ、二生ニ資リ以テ老ヲ待ツ、今皆有力者ニ之ヲ奪ハル、其レ何ゾ能クシヤ、介然タルナカラシム生既ニ至リ、公ヲ軍門ニ拜スルトキ、其吾爲二前ニ稱スル所ヲ以テ天下ノ爲ニ賀シ、後ニ稱スル所ヲ以テ、吾爲ニ私怨ヲ盡ク取ルニ致セ。

介然 介ハ耿介ノ介ニテ、安ンゼサルノ意ナリ。前ニ稱スル所 内外治ナカラシムヲ求ムトモ得ベカラザルヲ指ス。

後二稱スル所 懷ニ介
然タルナカラシヤチ指ス。

留守相公、首トシテ四
韻ノ詩ヲ爲リ、其事ヲ歌フ、
愈因リテ其意ヲ推シテ之ヲ
序ス。

少尹ヲ送ル序
昔疏廣受ノ二子、年老
タルヲ以テ、一朝位ヲ辭シ
テ去ル、時ニ公卿供張
ヲ設ケ都門外ニ祖道ス、
車數百兩、道路觀者、
多ク歎息泣下リ、共ニ其
賢ヲ言フ、漢史既ニ其事ヲ
傳ヘ、後世畫ニ工ナルモ
ノ、又其迹ヲ圖シ今ニ至
レマデ、人ノ耳目ヲ照ス、
赫赫タル前日ノ事ノ如シ。

疏廣疏受ハ、叔姪ナリ、
漢ノ宣帝ノ時、廣ハ大子ノ
大傅トナリ、受ハ小傅トナ
リ、共ニ漢ノ名臣ナリ。
供張 供ハ馳走ノ用意
張ハ宴ヲ張ルナリ。
祖道 祖ハ祭ルナリ、
旅行スルモノ、道路ノ神ヲ
祭リ、安全ヲ祈ル、故ニ別
ノトチ祖道ト云フ。
赫赫 明ニ盛ナル意。

國子司業、楊君巨源、
方ニ詩ヲ能スルヲ以テ、後
進ニ訓フ、一旦年七十二滿
ツルヲ以テ亦宰相ニ自シ
去テ其郷ニ歸ル、世常ニ
説ク、古今ノ人相及ハズト、

馬ヲツナグラ塵ト云フ、此文モト馬ノ喻ヨリ起ス、故ニ塵ノ字ヲ下シ、其
意離レズ妙、初ニ於テ賀怨ノ二字ヲ言ハズ、千轉萬折ノ後、之ヲ出ス更ニ妙ナ
リ、奪ノ字、取ノ字ヲ變換シ、更ニ生意アリ。

留守相公首爲四韻詩歌其事愈因推其意而序之。

留守相公(鄭余慶ト云ヘル人ナリ)ガ非常ニ之ヲ殘念ニ思ハレ、一番ニ四韻
ノ詩ヲ作ラレ之ヲ歌ハレタ、愈ガ因リテ相公ノ意ヲ推量シテ序文ヲ作レリトナ
リ。

送楊少尹序

韓昌黎

昔疏廣受二子以年老一朝辭位而去于時公卿設供張
祖道都門外車數百兩道路觀者多歎息泣下共言其賢
漢史既傳其事而後世工畫者又圖其迹至今照人耳目
赫赫若前日事

楊ハ姓、名ハ巨源、詩作ニ妙ヲ得タル人デアアル、少尹ハ其官ナリ、己上ニ
文ハ何モ任官シテ任地ヘ行クヲ送ルノ文デアツタガ、コレハ、ソレトハ其趣
ヲ異ニシ、官職ヲ辭シテ故郷ニ歸ルヲ送ルノ文デアアル、サテ楊巨源ハ如何ナル
人物デアアルカト問ヘバ、惟詩作ニ妙ヲ得テ居ルト云フ丈ガ能デ、別ニコレト云

フ勳功ノ記スルニ足ルモノガナイ、ソコデ、前漢ノ大偉人タル疎廣疎受ノ二人
ヲ借り來リ、巨源ト對照シ、連モ比較ニナラヌモノヲ比較シテ、ソノ釣合ヲ取
リ、巨源ニ一段ノ花ヲ持タシタル筆法コソ面白キナリ。

昔時疏廣受(コレハ疏廣疎受ヲ略シタルナリ)ノ二子ガ漢宣帝ノ朝ニ仕ヘ、
時メイテ居リタガ、自分モ己ニ年老タルヲ以テ一朝(ニハカノ意)位ヲ辭シテ
朝廷ヲ去リタ、サテ名望ノアル二人ノトデアアルカラ、朝廷ノ公卿共ガ、大ニ騒
ギ出シ供張、馳走ノ用意ヲナシ、盛大ナル酒宴ヲ張リ、都門外ニ於テ別ヲシタ
見送リノ車ハ數百兩ノ多キニ及ビ、道路ニ於テ、二人ノ去ルヲ見ル者ガ、皆之
ヲ惜ミ、歎息シ相共ニ其賢ナルヲ稱シ、泣ヲ流シ居ツタモノモアル、父漢書ト
云フ本ニ二人ノ傳ヲ載セテアリ、後世畫ヲヨクスルモノガ、ソノ事跡ヲ畫キ、
今日ニ至ルマデ、人ノ耳目ヲ照ラシ、ヨク知レ渡テ居ル、ソノ明ニ盛ナルトハ
恰モ前日ノ事ノ如ク、多クノ年月モ立チタル如クデナイ。

此節先疏廣受ヲ引キ、下文ノ揚巨源ヲ呼起ス。

國子司業楊君巨源方以能詩訓後進一旦以年滿七十
亦白宰相去歸其郷世常說古今人不相及今楊與二疏
其意豈異也予忝在公卿後遇病不能出不知楊侯去時
城門外送者幾人車幾兩馬幾匹道路觀者亦有歎息知

其爲賢與否。而太史氏又能張大其事。爲傳繼二疏踪跡。否。不落莫否。見今世。無工畫者。而畫與不畫。固不論也。

今楊二疏ト其意立異ナラシム
予悉ナク公卿ノ後ニ
アリ、病ニ過テ出ル能ハ
ズ、知ラズ楊侯去ル時、城
門外送ル者幾人、車幾兩、馬
幾匹、道路觀ル者、亦歎息
シ其賢タルヲ知ニアリヤ、
否ヤ、而大史氏又能其事
ヲ張大ニシ、傳テ爲リ二疏
ノ踪跡ニ繼グヤ否ヤ、落莫
タラザルヤ、否ヤ、現今ノ
世、畫ニ工ナルモノナシ、
而ノ畫クト畫カザルト固ヨ
リ論ゼザルナリ。
○公卿ノ後ニアリ。時ニ
公ハ吏部侍郎トナレリ、故
ニ云フ。
○大史氏。トハ國史ヲ主
スル史官ナリ。
○落莫。トハアトナリ、
二疏ノアトニウギテ、傳テ
書イタカ、ドーカ。

國子司業ノ官職ニ居レシ楊巨源君ハ、詩作ガ得意デアルヲ以テ、後進ノ書
生ニ教テ居レシガ、一旦(一朝ト同ジ)年モ已ニ七十ニナリタルカラ、亦(二子
ニ對シテ曰フ)宰相ニ申上ゲ、ソノ故郷ニ歸ラル、トデアアル、世ノ者ガ常ニ説
クニ、今ノ人ハ逆モ古ノ人ニ及バヌト。今楊君ノ進退ハ疏廣受ノ二子ト同様デ
アルカラ、優劣ハナイ、愈不肖ナガラ公卿ノ末位ヲケガシ、矢張り朝廷ニ出
仕シテ居ル一人デアアル故ニ、固ヨリ見送リニ出掛ル筈ナリシニ、フト當日不幸
ニモ病氣ノ爲外出スルヲ出来ズ、御無沙汰ヲイタシタルニヨリテ、當日ノ模様
ハスツカリ分リマセヌ、シカト知リマセンガ、見送リノ者幾人アリシカ、馬ガ
何匹居タカ、道路ノ光景ハドーデアツタカ、大史氏ハ二疏ヲ記述スル様ニシタ
カ、ドーカ、落莫(サビシキノ意)ハナカツタカ、ドーカ、一向ニ知ルヲ出来
申サヌ、現今ノ世ニ上手ナル畫師ガナイ、サテ畫フガ畫クマイカ、ソレ等ノ
ハドウデモイート云フテ楊ト疎ヲ對照シ、優劣ナキヲ説ク。
○楊ト疎トハ人物ガ、月ト鼈。程遠ヒガアルカラ、楊ガ去ル當日ノ光景ハ、
落莫タルヲ無論ノコナリ、ソレヲソノ云ツテ仕マツタラ、トント文章ニ何ノ趣
味モナイ、茲處ハ何處迄モ、楊ニ花ヲ持タセテバナラヌカラ、「遇病不能出」ノ

五字ヲ提出シ、當日ノ光景ヲ全ク知ラザルニ託シ、見劣リセヌ様、對照シタル、
公苦心ノ處見ルベキナリ。

然吾聞揚侯之去。丞相有愛而惜之者。白以爲其都少尹。不絕其祿。又爲歌詩以勸之。京師之長於詩者。亦屬而和之。又不知當時二疏之去。有是事否。古今人同不同。未可知也。

然モ吾聞ク、揚侯ノ去ル、丞相愛メ之ヲ惜ム
モノアリ、白以テ其都ノ少尹トナシ、其祿ヲ絶ズ、
又歌詩ヲ爲リ以テ之ヲ勸メ、
京師ノ詩ニ長ゼルモノ、
亦屬シテ之ヲ和スト、又
知ラズ當時二疏ノ去ル、此
事有リヤ否ヤ、古今ノ人同
不同未ダ知ル可ラザルナリ
○勸獎。獎勵スルナリ。

ソノデハアレド、吾ガ聞クニ、揚侯ノ京師ヲ去ルヤ、宰相ガ非常ニ之ヲ惜
ミ、天子ニ奏聞シ、揚侯ノ故郷ノ少尹トナシ、ソノ俸祿ヲ終身與ヘ、又歌詩ヲ
作り、之ヲ勸獎スル所アリ、京師ノ詩ニ長ジ、ヨク作ル者ガ、ソレノ宰相
ノ詩ニ和韻シテ之ニ送リタリト、シカト知ラヌガ、當時二疏ノ去リタル時、カ
、ルヲガアツタカ、ナカツタカ、古人ト今人トノナス所、必ズ一様ニ出ヅルト
云フ譯デナイ、揚モ疏モ甲乙スル所ガナイ。

此節、然ノ字、尤モ注意スベシ、此一轉語ヲ下シ、宰相ガ揚ヲ待遇スルノ
厚キヲ云フ、此處ニ詩ノコトヲ云フハ、コレ揚ガ先ニ詩ヲ後進ニ教ヘタルノ結果
ナリ、古人ノ文、必ズ照應スル所アルヲ知ルベシ。

中世士大夫以官爲家。罷則無所於歸。揚侯始冠。舉於其

○中世士大夫。官ヲ以テ
家ト爲ス、罷ラレバ歸ル

ニ所ナシ、揚侯始冠シ、其鄉ニ擧ラレ鹿鳴ヲ歌フテ來シヤ、今ノ歸ヘル其樹ヲ指シテ曰ク、某ノ樹ハ吾先生ノ種ル所ナリ、某ノ水某ノ丘、吾童子ノ時釣遊セシ所ナリ、鄉人敬、加ヘザルハナシ、子孫ヲ誡シメ揚侯其郷ヲ去ラザルヲ以テ法トナス、古ノ所謂郷先生没シテ社ニ祭ラルベシトハ、其レ斯人ニ在ルカ、其レ斯人ニ在ルカ、其レ斯人ニ在ルカ。

中頃カラノ士太夫ナル者ハ、官職ヲ以テ家ノ様ニ心得テ居ル、一ツノ官職ニ居ル間ハ、先安心デアアルガ、一旦罷免ノ沙汰ニ遇トソレコソ大變テ、故郷ニモ歸ラレズ、身ノ振り方ニ困ルト云フ見苦ルシキ有様デアアルガ、揚侯ノ如キハ、決シテサルコナク、侯ガ始メテ衣冠ヲツケ、其ノ故郷ニ擧ゲラレ、京師ニ赴任サル、ヤ、鹿鳴ノ詩ヲ歌フテ來タラレタ、今官ヲ辭シテ故郷ニ歸ヘラル、モ、誠ニ安心ナルモノデ、故郷ナル樹木ヲ指シテ曰ハル、ニ、某ノ樹ハ我父ノ種ラレシモノデアアル、某ノ河、某ノ丘ハ、我童子ノ時分ニ散步モシ、時ニ釣ヲ垂レタル所デ誠ニナツカシキデアアルト、カ、ル有様デアアルカラ、揚侯先人ノ樹木揚侯釣遊ノ舊跡ニ敬意ヲ表セザルモノハナイ、ソ一子孫ノ者共ヲ誡シメ、假令他處ニ任官シテモ、揚侯ノ如ク故郷ヲ去ラズ、辭シテ歸ルニ所アル様ニナスベキデ、揚侯ヲ以テヨキ法則模範トセバナラヌトシテ居ル、古ノ禮ニ學德高キ郷ニ於テノ先生ハ死シテ其社ノ神ニ祭ルベシトアルガ、ソレハ斯ノ揚侯ノ

郷歌鹿鳴而來也。今之歸。指其樹曰。某樹吾先人之所種也。某水某丘。吾童子時所釣遊也。鄉人莫不加敬。誡子孫以揚侯不去其鄉爲法。古之所謂鄉先生没而可祭於社者。其在斯人歟。其在斯人歟。

如キ人デアローカ、重復シテ深クコレヲ賞賛セリ。
 此節、題ヲ借ルノ法ニメ、揚侯ヲ借リ、當世ノ士太夫ヲ諷シタルナリ、誠子孫以揚侯不去其郷爲法コレ當世ノ士大夫ヲ誡ムルナリ、コレヲ全文ノ主意トナス、此一節ハ餘音盡キズ、頗ル史記贊文ノ風アリ、一誦ニ嘆ノ味アリトス。

送高閑上人序

韓昌黎

苟可以寓其巧智使機應於心不挫於氣則神完而守固。雖外物至不膠於心。

高閑上人ヲ送ル序
 荷クモ以テ其巧智ヲ寓シ機ニ心ニ應ジ、氣ニ挫カザラシム可クンバ則神完シテ守固シ、外物至ルト雖モ、心ニ膠セズ。

高閑ハ僧ナリ、上人トハ名僧ヲ云フ、サテ高閑上人ハ尤能書家ヲ以テ聞フ而シテ草聖ノ聞アリシ張旭ノ書風ヲ祖トセリ、韓公畢生ノ事業ハ佛法ヲ排スルニアレバ、此文モ題ヲ借リ、暗ニ佛ヲ攻撃セシモノナリ。

カリソメニモ、一ツノ技藝ニ精通シ、ソノ妙境ニ至ラントスルニ、其ノ巧ナル智恵ヲ技藝其者ニ寓(寄ト同ジ)セテ、甘ク仕遂ゲントスル者ハ、如何ナル機會ニ遇フモ、ソレガ心ニ應ジコタヘテ來ル度ニモ、自心ノ心ヲ堅固ニシテ其氣ヲ狂ハスヤウナク、氣分モシヤントシテ、氣狂亂ノ爲メニ心ヲ挫折スル如キコナクバ、精神イツモ完ク固ク、自分ノ自信モ強ク操リ守ル所ノ志ガ堅固デアアルカラ、如何ニ外物ノ誘惑ガ來ルトモ、ソレガ心ニクツツイテ、心ヲ動ス

カウ ツクナリ。

「ハナイ、此ノ如クニシテ初テ其技ニ精通スルヲ得ベシトナリ。心ノ字ハコレ此篇ノ主腦ナリ。佛ハ已ニ心ノ點ニ於テ、ソノ根本ヲ誤ルヲ云フガ爲ノ下擣ヲナセリ、此節、心宜シク專ナルベキヲ曰ヒタルナリ。」

堯舜禹湯治天下。養叔治射。庖丁治牛。師曠治音聲。扁鵲治病。僚之於丸。秋之於奕。伯倫之於酒。樂之終身不厭。奚暇外慕。夫外慕徒業者皆不造其堂。不嗜其戲者也。

堯舜禹湯ハ古ノ聖王ナリ。養叔ハ射ヲ治メタル者ナリ。庖丁ハ牛ヲ治メタル者ナリ。師曠ハ音聲ヲ治メタル者ナリ。扁鵲ハ病ヲ治メタル者ナリ。僚ハ丸ヲ以テ遊シ、秋ハ奕ヲ以テ遊シ、伯倫ハ酒ヲ以テ遊シ、樂ヲ以テ終身厭ム者ナリ。奚ハ外慕ニ暇アラン、夫レ外慕業ニ従スモノハ、皆ソノ堂ニ造ラズ、其戯ヲ嗜ム者也。堯舜禹湯ハ古ノ聖王ナリ。養叔ハ射ヲ治メタル者ナリ。庖丁ハ牛ヲ治メタル者ナリ。師曠ハ音聲ヲ治メタル者ナリ。扁鵲ハ病ヲ治メタル者ナリ。僚ハ丸ヲ以テ遊シ、秋ハ奕ヲ以テ遊シ、伯倫ハ酒ヲ以テ遊シ、樂ヲ以テ終身厭ム者ナリ。奚ハ外慕ニ暇アラン、夫レ外慕業ニ従スモノハ、皆ソノ堂ニ造ラズ、其戯ヲ嗜ム者也。

「堯ナリ、舜ナリ、禹ナリ、湯王ナリノ天下ヲ治メタル、養由基ト云ヘル人ノ弓射ルコトヲ治メタル、庖丁ト云ヘル人ノ牛ヲ解剖スルヲ治メタル、師曠ト云ヘル人ノ音聲ヲ治メタル、扁鵲ト云ヘル名醫ノ病ヲ治メタル、宜僚ト云ヘル人ノ丸ノ曲取ヲ治メタル、奕秋ト云ヘル人ノ圍碁ヲ治メタル、伯倫ト云ヘル酒好ノ酒ニ於ル、皆ソレソノ妙境ニ達シテ居テ、之ヲ愉快ニ樂ミ終身厭クト云フコトヲセス故、決シテ其外ヲ慕フト云フ暇ハナイ、ソレ直ニ其外ヲ慕ヒ、自分ガ從來ヤリ來リタル業ヲ從シ易フル様ナコトラスルモノハ、門前マデ行テソノ奥坐敷ニ升ラズ、美ナル肉ノ味ヲ知ラザルモノデ、皆中途ニシテ廢スルモノデアアル。」

テアル、カ、ル解剖ノ名人ナリ。

「トスルナリ、堯舜禹湯ト曰ヒ、伯倫ノ酒ト曰フ、引例、不擣ノ處却テ妙味アリ。」

往時旭張善草書。不治他伎。喜怒窘窮。憂悲愉佚。怨恨思慕。酣醉無聊不平。有動於心。必於草書焉發之。觀於物。見山水崖谷。鳥獸蟲魚。草木之花實。日月列星。風雨水火。雷霆霹靂。歌舞戰鬥。天地事物之變。可喜可愕。一寓於書。故旭之書變動猶鬼神。不可端倪。以此終其身而名後世。

善草書ノ名手。齊桓公ノ病ヲ診察セシ名醫ナリ。コレ又莊子ニ出ヅ。玉ヲ投ケルニ、ナカクノ名手、今ノアヤトリナリ。孟子ニ出ヅ。圍碁ノ名手。劉伯倫ト云ヘル酒好ニテ、晋ノ人ナリ、カウテ酒德頌ヲ爲レリ。張旭草書ヲ善シ、他ノ技ヲ治メズ、喜怒窘窮。憂悲愉佚。怨恨思慕。酣醉無聊不平。心ニ動クアレバ、必ズ草書ニ於テ之ヲ發ス、モノニ觀テ山水崖谷。鳥獸蟲魚。草木ノ花實。日月列星。風雨水火。雷霆霹靂。歌舞戰鬥。天地事物ノ變、喜ア可ク、愕ク可キヲ見ル

「往時ニ張旭ト云フル人ハ、草書ヲ上手ニ書キ、ソレヲ專門トシ、他ノ技藝ヲ治メナカツタ、喜ベルコト、怒レルコト、窘ミ窮スルコト、憂ヒ悲ムコト、愉快ニ樂シキコト、怨ミ恨ムコト、思ヒ慕フコト、酒ニ酔ヒ一杯氣嫌ノ時、樂ミナク心ニ不平アル時、隨所ノニ於テ此等ノコトガ、其心ニ感ジ動クコトガアルト、必ズ草書ノ上ニ於テ之ヲ見ハスノデアアル、天地ノ物ヲ觀察シテハ、山水ナリ、崖谷ナリ、鳥獸蟲魚ナリ、草木ノ花ナリ實ナリ、日月ナリ、列星ナリ、風雨ナリ、水火ナリ、ゴロノト鳴ル雷公ナリ、歌舞ナリ、戰鬥ナリ、凡テ天地ノ間ニ於ケル物事ノ變化ニツキテ、喜フベキコト、愕クベキコト、何ニテモ、一ニ書ニ寓セテ居ルソレ故ニ張旭ノ書ハ、一見活動飛舞變化シテ、猶鬼神ノ端倪ルベカラザルガ如

一ニ書ニ寓ス、故ニ旭ノ書、猶鬼神ノ端倪ス可ラサルガ如シ、此ヲ以テ其身ヲ終ルマテ後世ニ名アリ。

開闢端倪 莊子ニ出ツ、ハカリ知ル、不可端倪測知スル能ハザルナリ。

開闢今閑ノ草書ニ於ル、旭ノ心アルヤ、其心ヲ得ズシテ其跡ヲ逐フ、未ダ其ノ能旭ナルヲ見ザルナリ。

開闢旭爲ルニ道アリ、利害必ス明ニ鑑録ヲ遺スナク情中ニ炎シ、利欲闘進得ルアリ、裏フアリ、勃然釋ス然後一ニ書ニ決ス、

開闢今閑、浮屠氏ヲ師トシ死生ヲ一ニシ、外膠ヲ解ク、是其心タル、必ズ泊然起ル所ナク、其世ニ於ル、必ス淡然嗜ム所ナシ、泊ト淡ト相遭フ、頽墮委靡潰敗收拾ス可ラズ、則其書ニ於ル、之ニ象ルノ然ルナキヲ得ンヤ。

クデアアル、コレヲ以テソノ一生、草書ノ妙手ヲ以テ後世マデ名ヲ殘シタ。

張旭ハコレ主中ノ客ナリ、下文ノ主タル高閑ヲ起スナリ、一寓於書ノ寓ノ字ハ、寓巧智ノ寓ニ根シ來ル、變動ノ字尤注意スベシ、喜怒哀窮ヨリ歌舞戰闘迄ノ文字、コレ變動ノ字ヲ形容セシニ過キズ。

今閑之於草書有旭之心哉。不得其心而逐其跡。未見其能旭也。

今高閑ノ書風ヲ祖トシ、草書ヲ書キ、書家氣取リテ居ルソノダガ、旭ノ心カラ習フテ居ルガ、張旭ノ心ヲ習ヒ得ズシテ、惟ソノ草書ノ字形、形跡ノミヲ真似タ處デ、逆モ真成ノ張旭ニハナレナイ。

此ニ於テ本題ニ入ル、高閑ハコレ此文ノ主人公ナリ、佛者ハ其心ニ於テ、已ニ張旭ノ如ク、事物ニ於テ感動ノ事ナシ、書ノ極意ハ、ソノ心法ヲ得ルニアルナリ、形跡ハ猿ノ人真似ニ同ジ、真ノ張旭タラント欲セバ、還俗シテ、張旭ノ心ヨリ學ブベシト、暗ニ佛ヲ攻撃セシナリ。

爲旭有道。利害必明。無遺鑑録。情炎於中。利欲闘進。有得有喪。勃然不釋。然後一決於書。而後旭可幾也。

真ニ張旭ノ如クナラントスルニハ、ソノ方法ガアル、先利害ノ點ヲヨク明

ニシ鑑録(少シノ利ヲ云フ)ノ利ヲモ遺スト云フコトナク、利害ノ念ニ驅ラル、ノ情ガ十分、ソノ胸中ニ炎(盛ニ起ルヲ云フ)スルト云フ様ニナリ、得ルト喪フト互ニソノ前ニ衝突スル、ソコデ胸中ノ不平ハ、ムラノト起リ、上文ノ喜怒哀憂悲ト云フ境遇ヲ迫リ出シテ來ル結果、ムツトシテ、ソノ不平ハ釋ケナイ、然ル後一ニソノ情ガ書ノ上ニ出現スル、ソシテ後ニ真ノ旭タルヲ願フベキデアアル。

此節、旭タルノ心傳ヲ教フ、佛ニハ旭ノ如キ熱血ナシ、先顔ヲ洗ツテムレトナリ。

今閑師浮屠氏一死生。解外膠。是其爲心。必泊然無所起。其於世。必淡然無所嗜。泊與淡相遭。頽墮委靡潰敗。不可收拾。則其於書。得無象之然乎。

ソレニ今高閑ハ浮屠氏(佛ヲ云フナリ)ヲ師トナシ、死生ト云フ様ナ問題ハ之ヲ度外ニ置キ、之ヲ同一ニ心得、外カラクツイテ來ル處ノ一切ノ誘惑的ノモノヲ解脫ス、コレデ見ルト、其心ハ張旭ノ如ク、物ニ觸レテ感發スルト云フコトナク、泊然(アツサリトスル)トシテ興起スルト云フコトナク、ソノ世事ニ於ルモ、如何ニモ冷淡ニシテ、何ノ嗜好モナキ筈ナリ、泊ト淡ト相遇フノ結果ハ、其心

ハ類敗シ墮落シ、潰亂シ、メチャク／＼トナリテ、收メマトメルト云フハ出来
ナイ、スルト書ハ、ソノ人ノ心ヲ寫スモノデアルカラ、張旭ニ似ルハ、オロカ
ナリ、高閑自身ノ心ニ象リ似ルコトナキヲ得ヤ、自分ノ心ニ似ルベキデ、
張旭ナドトハ思ヒモソメヌコトデアル。

爾餘蘊 (餘スノ意)

爾然モ吾聞ク浮屠人、幻
ヲ善クシ技能多シト、閑如
シ其術ニ通ゼバ、吾知ル
能ハズ矣。

【文法】 心ノ字ヲ以テ、緊シク張旭ト相反スルヲ曰ヒ、形跡ヲ真似ルノ愚ヲ笑ヒ、
大ニソノ非ヲ攻メ、復餘蘊ナシ。

然吾聞浮屠人善幻多技能閑如通其術則吾不能知矣。

【講義】 サレド、吾ガ聞クニ佛者ハ、色々ナ魔術ヲツカイ、且ツ技能ガ多イトノコ
トナレバ、閑モ亦如シモ、魔術ニ通ジテ書ヲ書クトノコトナレバ、ワレノ得テ
知ル所デナイ。

【文法】 然ノ一字ヲ以テ反振シ、高閑ヲ冷罵シテ一篇ヲ收メタルナリ、幻術ニ通ジ
テ書ヲ書クカ、我之ヲ知ラズ、ヨモヤ幻術デハ書ケマイノ意言外ニ在リ。

送殷員外使回鶻序

韓昌黎

唐受天命爲天子凡四方萬國不問海內外無小大咸臣
順於朝時節貢水土百物大者特來小者附集。

【題意】 殷ハ姓、名ハ侑、員外ハソノ官、回鶻ハ狄ノ一種ニシテ國名ナリ、唐ノ憲

殷員外使回鶻序
唐天命天子トナル
凡四方萬國、海ノ内外チ
問ハズ、小大ト無ク咸朝
臣順シ、時節ニ水土ノ
百物ヲ貢ス、大ナルモノ

ハ持來シ、小ナレモノハ附
集ス。

宗ノ十二年、回鶻ハ非常ニ強大ニシテ、屢々中國ヲ侵セリ、ソレ故和親ヲ結バ
レ、ソノ條件トシテ莫大ナル償金ヲ送ルコトニナリタガ、當時國費多端ノ折柄、
容易ニ其ノ請求ニ應スルコトガ出来ヌ、回鶻カラハ、矢ノ如キ催促ヲスル、故
ニコレガ談判委員トシテ殷侑ヲ使スルナリ、殷侑ハヨク 其ノ使命ヲ全フシテ
歸朝ス、誠ニ偉丈夫ト云フベシ。

【講義】 唐ガ天命ヲ受ケ、天命ニ應ジテ天子トナリ、凡テノ四方萬國ノ者マデ、海
内外外、小國大國ニ論ナク、悉皆唐朝ニ臣トナリ、順ヒ服シ、時節ノ／＼ニソノ
水土ニ産スル色々ノ物産ヲ貢獻シ、大國ハ特立シテ來献シ、小國ハ大國ニ附屬
シテ來献スル、天子威光ノ及ブ所是ノ如キモノガアル。

【文法】 唐天命ヲ受クルノ字、唐室ヲ尊ビタル筆法ナリ、此篇ノ他ノ送序トハ異ナ
ルユヘ、字々皆莊重ニシテ、筆々中國ヲ尊ブノ體ヲ得タリ。

元和睿聖文武皇帝既嗣位悉治方内就法度十二年詔
曰四方萬國惟回鶻於唐最親奉職尤謹丞相其選宗室
四品一人持節往賜君長告之朕意又選學有經法通三知
時事者一人與之爲貳。

【講義】 元和(憲宗ノ年號ナリ)睿聖(睿ハ智ナルナリ、聖ハ聖德アルナリ)ニシテ文武

爾然モ吾聞ク浮屠人、幻
ヲ善クシ技能多シト、閑如
シ其術ニ通ゼバ、吾知ル
能ハズ矣。

ヨ、又學經法アリ、時事ニ通知スル者一人ヲ選ビ、之ガ與ニ貳ト爲セヨ。

爾是ニ由テ殷侯、太常博士ヨリ、尙書虞部員外郎ニ遷リ、侍御史ヲ兼テ、朱衣象笏命ヲ承ケ以テ行ク。

文章軌範講義

兼備ヘラル、憲宗皇帝ガ已ニ位ヲ嗣レ、悉ク四海ノ内ヲ統治サレ、ソレノ法度ニ就カシメ、規律モ立テ來タ、元和十二年ニ更ニ詔ヲ下サレ、今ヤ四方萬國ガ、悉皆臣順シテ居ル中ニ、惟回鶻ノミ、唐室ニ於テ、最親密ニ交際シ、職分ヲ奉スルコトモ、實ニ謹慎ノ意ヲ表シテ居ル、宰相ニ於テハ、ソレ天子ノ宗室ニツテ、四品ノ位ノモノ一人ヲ選ビ、之ヲ正使トナシ、節(符信)シルシナリ)ヲ持テ回鶻ニ使シ、節ヲソノ君長ニ賜ヒ與ヘ、君長ニ朕モ満足ニ思フテ居ルトノ意ヲ告ゲヨ、又學問アリ、經義ニ通ジ、且ツ外交ノ禮ニアカルキモノ一人ヲ選ビ、之ガ爲ニ副使トナシ之ヲ補佐セヨ。

此節、詔ヲ下タサレシコトヲ叙シ、殷侯使スル由來ヲ言ハントス、句々皆謹嚴ナリ、經法ノ字ハ、下文ノ伏線ナレバ輕々ニ看過スベカラズ。

由是殷侯、自太常博士遷尙書虞部員外郎兼侍御史、朱衣象笏承命以行。

コレニヨリ、殷侯、大常博士ノ官ヨリ、尙書虞部員外郎ニ遷リ、侍御史ノ役ヲ兼ネ、朱衣ヲ着、象牙ノ笏ヲ身ニ帶ビ、天子ノ命ヲ受ケ以テ行イタ。

殷侯、副使トナルヲ説ク、文字皆莊重ナリ、殊ニ朱衣象笏ノ字、精采アリト云フベシ。

爾朝ノ大夫、出テ饒酒半、右庶子韓愈執蓋言曰、殷大夫、今人適數百里、出門惘惘有離別可憐之色、持被入直三省、丁寧願婢子、語刺刺不能休。

ソコデ朝廷ノ大夫共ガ、今回ノ使節コソ、尤名譽アル、大責任ヲ有スルモノナリトノ意ヨリ、申合シタル如ク、出テ、饒別ヲナサスモノハナイ、酒ガ半分廻リタル時ヲ見計ヒ、右庶子ノ官ヲシテ居ル韓愈ガ、蓋ヲ取リテ、言ヘルニ

殷大夫殿ヨ、今ノ人ハ誠ニ意氣地ナシデ、僅ニ數百里ノ土地ニ行クニ、我家ノ門ヲ出ツル時、自ラ氣拔ノシタル調子ニテ、ナンダカ、離別ヲ悲ムガ如ク、實ニ憫ムベキノ顔色ガ見ヘテ居ル、今一ツ見苦シキコトハ、夜具ヲ持シ、入テ三省ニ當直スル、唯ノ一夜ノコトデアルガ、ソレデモ、丁寧ニ下女共ヲ願ミ見テ、色々ナ餘計ナコトヲ言ヒ、休ム能ハザル有様デアル、カ、ル腰拔ノミデアル。

此節ハ反襯法トテ、下ニ殷侯ガ眞ノ大丈夫ナルコトヲ言ハンガ爲、世上一般ノ腰拔ヲ曰ヒ、如何ニモ世態ノ見苦シキ有様ヲ寫シタルナリ。

今子使萬里、外國獨無幾微出於言面、豈不眞知輕重大丈夫哉、丞相以子應詔、眞誠知人矣、士不通經、果不足用。

文章軌範講義

爾朝ノ大夫、出テ饒酒半、右庶子韓愈執蓋言曰、殷大夫、今人適數百里、出門惘惘有離別可憐之色、持被入直三省、丁寧願婢子、語刺刺不能休。

ソコデ朝廷ノ大夫共ガ、今回ノ使節コソ、尤名譽アル、大責任ヲ有スルモノナリトノ意ヨリ、申合シタル如ク、出テ、饒別ヲナサスモノハナイ、酒ガ半分廻リタル時ヲ見計ヒ、右庶子ノ官ヲシテ居ル韓愈ガ、蓋ヲ取リテ、言ヘルニ殷大夫殿ヨ、今ノ人ハ誠ニ意氣地ナシデ、僅ニ數百里ノ土地ニ行クニ、我家ノ門ヲ出ツル時、自ラ氣拔ノシタル調子ニテ、ナンダカ、離別ヲ悲ムガ如ク、實ニ憫ムベキノ顔色ガ見ヘテ居ル、今一ツ見苦シキコトハ、夜具ヲ持シ、入テ三省ニ當直スル、唯ノ一夜ノコトデアルガ、ソレデモ、丁寧ニ下女共ヲ願ミ見テ、色々ナ餘計ナコトヲ言ヒ、休ム能ハザル有様デアル、カ、ル腰拔ノミデアル。

此節ハ反襯法トテ、下ニ殷侯ガ眞ノ大丈夫ナルコトヲ言ハンガ爲、世上一般ノ腰拔ヲ曰ヒ、如何ニモ世態ノ見苦シキ有様ヲ寫シタルナリ。

大丈夫ナラズヤ、亟相子ヲ以テ詔ニ應ズ、眞ニ誠ニ人ヲ知ル矣、士經ニ通ゼザレバ果シテ用ルニ足ラズ、是ニ於テ相屬シ詩ヲ爲リ以テ其行ヲ道クト云フ。

於是相屬爲詩以道其行云。

ソレトハ大遠ニテ、今お前ハ萬里モアル外國ニ使シ、獨スコシモ憐ムベキ色ヲ見ハサズ、口ニモ出サズ、ナント眞ニ國家重大ナル事件デアルト云フコトヲ知リテ居ル所ノ、天晴見上ゲタル誠ノ大丈夫デハナイカ、宰相ガ子ヲ以テ詔ニ應ジ、推選シタルハ、ナカ／＼ニ其見識ガ高クシテ眞ニ人ヲ知ルノ明ガアル士タルモノハ、經義ニ通ジテ居ナケレバ果シテ役ニハ立タズ、子ガ此度ノ役目ニ應ズルモ、全ク經義ニ通シテ居レハコソ、コノ大責任ヲ盡スノデアアル、是ニ於テ相ツバキテ詩ヲ作り、以テ其行ヲ道ビキ案内スルヤウニ其ノ前程ヲ祝スルトナリ。

此節、殷侑ノ眞ノ大丈夫タルコトヲ叙ス、上節ニ於テ、如何ニモ意氣地ナキモノヲ以テ反觀シタルバ、殷侯ノ眞丈夫タルコトガ、一層引立ツナリ、「士經ニ通ゼザレバ果シテ用フルニ足ラズ」コレ此文ノ主意ナリ、通經ノ二字ハ、上文學經法ノ字ヨリ來タル、古人ノ文章脈路ノ處ヲ知ルベキナリ。

原 毀

韓 昌 黎

古之君子其責己也重以周其待人也輕以約重以周故不怠輕以約故人樂爲善。

原毀 古之君子其己ヲ責ムレヤ重以テ周、其人ヲ待ツヤ輕以テ約、重以テ周、故ニ怠ラズ、輕以テ約、故ニ人善ナ爲スヲ樂ム。

韓愈ノ文ニ五原ト云フガアルガ、コレハ其一デ原毀ト曰フ、人情ト云フモノハ、東西古今同一デ凡人ノ材藝ノアルノヤ、表判ヨキヲ忌ム、ソレユヘ、毀ト云フ者ガ起ル、此文ハ毀ノ起ル因ヲ原ルト云フ義ニ本ヅキ原毀ト曰ヒ、世道ヲ維持セント試ミタルナリ。

古ノ君子ノ人ハ、其己ノ身ヲ責メ、己ニ德ヲ積マントスルコトヤ、重クシテ且周ク萬事拔目ノナキヤウニスル、其人ヲ待チアシラウトハ、ソノ反對デアリテ、如何ニモ輕クシテ且簡約ニシテ、萬事拔目ナキヤウニスルヲ以テ望ムコトヲナサヌ、重クシテ周クスルカラ、勉強シテ怠ルヲセヌ、輕クシテ簡約必ズ萬全ヲ以テ人ニ望マナイカラ、人ガ兢フテ善ヲナシ、樂ムヤウニナルトナリ。

此處双關法ヲ用フ、別ニ説明ヲ要セズ、推知スベシ。

聞古之人有舜者其爲人也仁義人也以其所以爲舜者責於己曰彼人也予人也彼能是而我乃不能是蚤夜以思去其不如舜者就其如舜者。

聞クニ古ノ人ニ舜ナルモノガアリシ、ソノ人トナリヤ、誠ニ仁義ノ性格ヲ具ヘテ居ル、ソコデ如何ニシタレバ、舜ノ如キ人トナレルカト、ソノ如クナル

聞ク古ノ人、舜ナル者アリ、其人ト爲ヤ仁義ノ人ナリ、其舜タル所以ノ者ヲ以テ、己ニ責テ曰ク、彼モ人ナリ、予モ人ナリ、彼能シ、而シテ我乃不能シ、蚤夜以テ思ヒ、其舜ノ如クナラザル者ヲ去テ其舜ノ如クナル者ニ就ク。

譯ノモノヲ、己ノ身ニ責メテ云ヘルニ、彼ノ舜モ人デアアル、我モ人デアアル、而ルニ彼舜ハ仁義ヲ能シ、我ハ之ヲ能セズ、ソコデ發奮シ、早朝夜半ニ思ヒ、ソノ舜ノ如クナラザル不仁不義ノ行爲ヲ去リ、ソノ舜ノ如クナル仁義ノ行爲ニ就ク

文法 此節、君子己ヲ責ル重以周ナル實ヲ説ク、茲ニ仁義ト曰フ、コレ下文ノ徳ヲ伏スルナリ

聞古之人有周公者其爲人也多材與藝人也求其所以爲周公者責於己曰彼人也予人也彼能是而我乃不能是蚤夜以思去其不如周公者就其如周公者

講義 聞クニ古ノ人ニ周公ト云ヘル、人ガアル、其ノ性格ハ材モアリ、多藝ノ人デアアル、如何ニ周公ノ如クナリウルカト己ノ身ヲ責メテ曰ヘルニ、彼周公ハ材アリ藝アルニ拘ラズ、我ハ不材デアアル、無藝デアアル、ソコデ早朝夜半ニ之ヲ思ヒ、周公ノ如クナラント期スルトナリ

文法 此節、君子己ヲ責ムルノ實ヲ説ク、材藝ノ字ハ、下文ノ事修ノ事ヲ伏ス。舜大聖人也後世無及焉周公大聖人也後世無及焉是人也乃曰不如舜不如周公吾之病也是不亦責於身者

講義 聞ク、古ノ人、周公ナル者アリ、其人ト爲ヤ、材ト藝ト多キ人ナリ、其周公タル所以ノモノヲ求メ、己ニ責テ曰ク、彼モ人ナリ、予モ人ナリ、彼、是ヲ能シ而シテ我、乃、是ヲ能セズ、蚤夜以テ思ヒ、其周公ノ如クナラザル者ヲ去テ、其周公ノ如クナル者ニ就ク

講義 舜ハ大聖人ナリ、後世及ブ無キ焉、周公ハ大聖人ナリ、後世及ブ無キ焉、是

人ヤ、乃曰ク、舜ノ如クナラズ、周公ノ如クナラザル、吾ノ病ナリ、是亦身ニ責ムルモノ、重以テ周ナラズヤ

講義 其ノ人ニ於ルヤ、曰ク、彼ノ人ヤ、能是アリ、是良士ト爲ニ足ル矣、能是善善、是善人トナスニ足ル矣、其一ヲ取リ、其二ヲ責メズ、其新ニ即キ、其舊ヲ究メズ、恐々然トシテ惟其人ノ善ヲ爲ノ利ヲ得ザラント懼ル

講義 一善ハ脩メ易キナリ、一藝ハ能シ易スキナリ、ソノ人ニ於ルヤ、乃曰ク、能

重以周乎

講義 舜ハ大聖人デアアル、後世及ブモノガナイ、周公モ大聖人デアアル、後世及ブモノガナイ、ソレデアアルニ、古ノ君子ノ人ハ、舜ナリ周ナリヲ以テ、之ヲ期シ、舜周ノ如クナラザルヲ以テ、己ノ病トナシテ居ル、コレニヨリテ見ルト、己ノ身ヲ責ムルコトガ、重且周デアアル

文法 以上、古ノ君子、己ヲ責ムルノ重且周ヲ説ク、コレハ左關ヲ受クルナリ

其於人也曰彼人也能有是是足爲良士矣能善是是足爲善人矣取其一二不責其二即其新不究其舊恐恐然惟懼其人之不得爲善之利

講義 ソノ人ヲ待ツニ於ルヤ、曰ヘルニ、彼人ヤ能是徳ガアル、是レテ良善ナル人トナスニ足リテ居ル、ヨク此藝ヲ上手ニヤル、コレテ善人トナスニ足リテ居ル、ソノ一ツノ藝ニ達シテ居レバ、ソノ二ツノコトヲ責メナイ、ソノ更ニ改メテ善事ヲナシタレバ、ソノ舊時ノ惡ヲ究問ト云フコトハセズ、恐レテ、惟ソノ人ガ善ヲナスノ便利ヲ得マイカト云フコト、コレ心配スルナリ

一善易脩也一藝易能也其於人也乃曰能有是是亦足矣曰能善是是亦足矣是不亦待於人者輕以約乎

是アリ、是亦足ル矣、曰ク能是ヲ善ス是亦足ル矣。

【講義】一ノ善ナル徳ハ脩養シ易イ、一ノ藝ハ熟達シ易イ、而ルニ古ノ君子ガ人ヲ待ツニ於ケル、乃曰ヘルニ、能ク此ノ善ガアルニ由テ、コレデ十分デアアル、ヨク此ノ藝ヲ善クスルデ、コレデ十分デアアル、コレハ亦人ニ待ツコトガ、輕クシテ、簡約デハナイカ。

【文法】此節ハ、君子、人ヲ待ツノ道ヲ曰フ、コレハ右關ヲ受ケテ説ク。

今之君子則不然。其責人也詳。其待己也廉。詳故人難於爲善。廉故自取也少。己未有善。曰我善。是是亦足矣。己未有能。曰我能。是是亦足矣。外以欺於人。內以欺於心。未少有得而止矣。是不亦待其身者已廉乎。

【翻譯】今ノ君子ハ則然ラズ、其ノ人ヲ責ムルヤ、其ノ己ヲ待ツ廉、詳故二人善ヲ爲ニ難ル、廉故ニ自ラ取ルヤ少シ、己未ダ善クスルアラズ、曰ク、我是ヲ善ス、是亦足ル矣、己未ダ能スルアラズ、曰ク、我是ヲ能ス、是亦足ル矣、外以テ人ヲ欺キ、内以テ心ヲ欺キ、未ダ少シモ得ルアラズシテ止ム矣、是亦其身ヲ待ツ者、己ダ廉ナラズヤ。

【講義】今ノ君子ハ、決シテソーデナイ、ソノ人ヲ責ムルコトハ、如何ニモ詳密デアアルカラ、如何ニモ廉デアアル、人ヲ責ムルコトハ詳密デアアルカラ、人ガ容易ニ善ヲナシ難ク、己ヲ責ムル廉デアアルカラ、自進取シテ、己ヲ益スルコトガ少ナイ、己ハ何ノ藝ヲモ善クセズ、我是ヲ善スト曰ヒ、己ハ何ノ善事ヲモ能セズ、我是ヲ能スト曰ヒ、外ニ對シテハ人ヲ欺キ、内心ニ省ミテハ、其心ヲ欺キ、結局何ノ得ル所ナクシテ止ムト云フ次第デアアル、亦其身ヲ待ツコトノ已廉ナルモノデハナイカ。

【文法】此節ハ今ノ君子ヲ説ク、全ク雙關ナリ、善クスノ善ハ、藝ニ付テ曰ヒ、能クスノ能ハ徳ニ付テ曰フナリ、注意スベシ。

其於人也曰彼雖能是其人不足稱也彼雖善是其用不足稱也。舉其一不計其十。究其舊不圖其新。恐恐然惟懼其人之有聞也。是不亦責於人者已詳乎。夫是之謂不以衆人待其身而以聖人望於人。吾未見其尊己也。

【翻譯】其ノ人ニ於ルヤ、曰ク、彼是ヲ能スト雖モ、其人稱スルニ足ラザルナリ、彼是ヲ善スト雖モ、其用稱スルニ足ラザルナリ、其一ヲ舉ゲ其十ヲ計ラズ、其舊ヲ究メ、其新ヲ圖ラズ、恐々然トテ惟其人ノ聞フルアラントテ懼ル、是亦人ニ責ルモノハナシ、詳ナラズヤ、夫是之ヲ衆人ヲ以テ其身ヲ待タズ而シテ聖人ヲ以テ人ニ望ムト謂フ、吾未ダ其ノ己ヲ尊グスルチ見ザルナリ。

【講義】ソノ人ヲ待ニ於ルヤ、曰フニ、彼ガ是ノ善ヲ能スト云フテモソノ人物ガ如何ニモ粗末デアアル、彼ガ此藝ヲ善スルモ、ソノ功用ハ稱スルニ足ラス、ソノ一ツノ不得手ノ藝ヲ舉ゲ、十ノ得手ナル藝能ヲ云ハズ、イツマデモ、ソノ舊時ノ惡ヲ究問シテ、ソノ新善ヲ圖ルコトヲナサズ、恐々然トシテ、惟ソノ人ガ表判ヲ得ヤウカト云フコトヲ懼ル、コレハ亦人ニ責ルコトガ已詳密デハナイカ、カ、ルコトヲナシテ居ルガ、ソレコレヲ、衆人ヲ以テソノ身ヲ待ツコトヲセズ、自分ハ世間普通ノ一人前タル人間タルコトガ出来ヌ辨ニ、ソレヲ以テ満足シ、人ニハ、ヨリ多クノコトヲ責メ、聖人舜ナリ周ナリノ如クスルヲ望ムト云フモノデアアル、吾ニ於テマダ、カ、ルモノニシテ、ソノ人格ヲ尊クシ高メタルモノヲ見ヌナリ。

文法 此節ハ今ノ君子、人ヲ待ツニ就キ言フ、矢張雙關法ヲ用フ、「夫是謂不以衆人待其身而以聖人望於人」ノ一結、筆力尤勇健ナリト謂フベシ。

雖然爲是者有本有原。怠與忌之謂也。怠者不能修。而忌者畏人修。

ソ一デハアルケレハ、カ、ルコトヲナスト云フコトハ、ソノ本原ト云フモノガアル、自ラ怠リナマケルト、人ノ修養スルヲ忌ミ嫌フト云フコトガ、最大ノ原因デアアル、怠ルモノハ自ラ修養ヲ積ム能ハズ、忌ム者ハ、人ガ修養ヲ積ムノヲ畏ル、ノデアアル、

文法 此節毀ノ來ル本原ヲ探リ出ス、怠忌ノ二字ハ、此文ノ眼目ナリ。

吾嘗試之矣。嘗試語於衆曰。某良士某良士。其應者必其人之與也。不然則其所疎遠不與同其利者也。不然則其畏也。不若是。強者必怒於言。懦者必怒於色矣。

講義 吾ガ一日之ヲ試験セシコトガアル、アル日、タメシニ衆人ニ語リテ曰ヒケルニ、某ハ良善ノ士デアルト、ソノ吾ノ聲ニ應ジテ賞賛シタルモノハ、ソノ人ノ黨與ノモノデアアル、サモナクバ、ソノ者ト交情疎遠ニシテ、與ニ利益ノ關係

ヲ同クセザルモノデアアル、サモナクバ、後日ノ禍ヲ畏レテ居ルノデアアル、已上ノ三者ノモノデナイモノハ、賞賛ト云フコトヲ忌ムノ根性ヨリ、元氣強キモノハ、直ニ辭ニ見ハレテ怒リ、憶病者ハ、口ニハ出サヌガ、怒ヲ顔色ニ見ハシテ居ル。

文法 此節、賞賛ヲ以テ、人ヲ試ミタルノ應ヲ曰ヒ、巧ニ人情ヲ觸破セルナリ。

又嘗語於衆曰。某非良士。某非良士。其不應者必其人之與也。不然則其所疎遠不與同其利者也。不然則其畏也。不若是。強者必說於言。懦者必說於色矣。

講義 上節ハ賞賛コレハ毀ナリ、解ハ宜ク對照シテ推知スベシ。

文法 此節、賞賛ヲ以テ、人ヲ試ミタルノ應也。

是故事修而謗興。德高而毀來。

講義 事、技藝ヲ益々修メ、上達スルト、謗ガ興リ、仁義ヲ修メ、身ニ德ヲ積ムト、毀ガ來ルナリ。

文法 事ノ字ヲ以テ、上ノ材藝ヲ收メ、德ノ字ヲ以テ、上ノ仁義ノ字ヲ收メタルナリ、一篇ノ主意、全ク茲ニアリ。

爾然リト雖モ、是ナ爲スモノ、本アリ、原アリ、怠ルト、忌トノ謂ナリ、怠ル者ハ、修ル能ハズ、而シテ忌者ハ人ノ修ルヲ畏ル

爾爾吾嘗テ之ヲ試ム矣、嘗テ試ニ衆ニ語テ曰、某ハ良士、某ハ良士ト、其應ズル者ハ、必ズ其人ノ與ナリ、然ラザレバ、則其疎遠ニシテ與ニ其利ヲ同クセザル所ノ者ナリ、然ラザレバ其レ畏ル、ナリ、是ノ如クナラザレバ、強者必ズ言ニ怒リ、懦者必ズ色ニ怒ル矣。

●此處ハ譯文ヲ用ヰズ、推讀スベシ。

爾爾又嘗テ衆ニ語テ曰ク某ハ良士ニ非ズ、其應セザル者ハ必ズ其人ノ與ナリ、然ラザレバ則チ其疎遠ニシテ與ニ其利ヲ同クセザル所ノ者ナリ、然ラザレバ則チ其レ畏ル、也、是ノ如クナラズ、強者ハ必ズ言ニ説ビ、懦者ハ必ズ色ニ説ブ。爾爾是故ニ事修リテ謗興リ、德高クン毀來ル。

嗚呼士ノ此世ニ處シ、而名譽ノ光、道德ノ行ヲ望ム難シ矣、將ニ上ニ作スアラントスルモノ、吾説ヲ得テ、而之ヲ存セバ、其國家モ幾シテ理ム可シ矣。

爾後 期、同ジ。

嗚呼。士之處。此世。而望名譽之光。道德之行。難矣。將有作於上者。得吾説而存之。其國家可幾而理矣。

サテモノ、士タルモノガ、當世ニ處シ(處スルハ此世ヲ渡ルトノ意)テ行クニツケ、今日ノ如キ有様デアアルカラ、名譽ヲカマヤカシ名ヲ揚ゲ、道德ヲ行ヒ、大ニ此世ヲ裨益セントスルモ、迨モ出來ナイコトデアルト嘆息シ、更ニ一步ヲ進メ、上位ニ居リ、治國平天下ノ基礎ヲ立テント欲スルモノ、吾コノ原毀ノ説ヲ得テ、之ヲ心ニ存シ、記憶シテ、萬事ヲ處置スルモノナレバ、單ニソノ一身ガ修マルト云フノミデナク、國家ノ大ト雖モ、期シテ治ムルコトガ出來ルトナリ。

侯字集(畢)

王字集

放膽文

辯難攻撃之文雖厲聲色。雖露鋒銳。然氣力雄健。光燄長遠。讀之令人意強而神爽。初學熟此。必雄於文。千萬人場屋中。有司亦當刮目。

辯論シ、難問シ、人ヲ攻撃スル文ハ、音聲顔色ヲハゲシクシ、ホコサキヲ見ハストハ云フモノ、シカレドモ、其ノ氣力ハ如何ニモ雄大ニ、健全デアアル、ソ一シテ文章ノ光、氣焰ト云フモノガ、長ク遠クアリテ、之ヲ讀ムト、自然ト人ニ意モ強ク、精神モ清々トスルノ感アラシムルモノデアアル、初學ノ士ガ、此等ノ文ニ熟練スルナラバ、必ズ文章ニ達者ニナリ、千萬人モ群集セル試験場ニテモ、試験ノ掛官ガ、目ヲ刮テ見ルガ如キ勇健ナル文章ガカケル。

諍臣論

或問諫議大夫陽城於愈。可以爲有道之士乎哉。

諍臣トハ、孝經ニ天子ニ爭臣七人アリトアルニ本ケリ、諫諍ノ臣ニモ、天

放膽文

辯難攻撃ノ文ハ、音聲顔色ニ厲シ、鋒銳ニ露シ、然モ氣力雄健、光燄長遠、之ヲ讀ム、人ニ意強ク、而ソノ神爽ナラシム、初學此ニ熟セバ、必ズ文ニ雄ニ、千萬人ノ場屋中、有司モ亦當ニ目ヲ刮ベシ。

試驗場ナリ。

諍臣論

或諫議大夫陽城於愈ニ問フ以テ有道ノ士ト爲スベキカ。

子ニ過失アレバ、遠慮用捨ナク諫メ争フ役ナリ、陽城ハ韓愈ノ朋友デ、ナカクニ知名ノ士デアル故ニ、イツシカ上聞ニ觸レ、一躍シテ諫議大夫トナツタ、所ガ真ノ表判ノミデアツテ、更ニグーノ音モ出サス、其故ニ諍臣論ヲ作り、之ニ與ヘテ之ヲ諷シタ、後ニ陽城ハ大ニ諫諍シテ名ヲ著ハシタリ。

有道 ノ字ハ論語ニ有道ニ就キ正ストアリ、道徳堅固ナル士ト云フガ如シ。

或ガ諫議大夫陽城ノコトヲ韓愈ニ問フテ曰ヘルニ、彼ハ古ノ有道ノ士トナシテヨキモノデアルカ。

文法 コレ或ノ言ヲ借リテ曰フ、有道ノ字ハ、一篇ノ骨子ニモ、首尾ヲ貫通シタレバ、ヨクノ注意スベシ、乎哉ノ二字ハ、疑詞ニシテ疑フタル詞ナリ、コレヨリ下文無數ノ詰問ヲ起ス。

學廣而聞多不求聞於人也。行古人之道。居於晋之鄙。晋之鄙人薰其德而善良者幾千人。大臣聞而薦之。天子以爲諫議大夫。人皆以爲華陽子不色喜。居於位五年矣。視其德如在草野。彼豈以富貴移易其心哉。

學問 學問ハ廣ク、聞見ハ多シ、古聖人ノ道ヲ行ヒ、晋ト曰ヘル邑ノ片田舎ニ引籠居ルガ、晋ノ田舎ノ者共ガ、陽城ノ道徳ニ薰化セラレ、善良ナル人物トナリタルモノガ、何千人ト云フ程アル、大臣宰相ガ聞傳ヘ、之ヲ天子ニ推選シ、一

草野 ハ田舎ヲ云フナリ。

躍シテ諫議大夫トナシタ、人ハ皆非常ナル光榮トシタナレド、陽城ハ、ソノ顔色ニ更ニ喜ベル風モナク、實ニ平氣ナモノデ、ソノ官位ニ居ルコトガ、已ニ五年ノ久キニ及ビタレド、陽城ノ行フ徳ヲ見ルニ、晋ノ片田舎ニ居リタル時ト同様デアアル、彼ハナントシテ一時ノ富貴ヲ以テ、ソノ平生ノ心ヲ移シ易フルモノデアローヤ、モノデナイ。

文法 或ノ言ヲ借リ、有道ノ士タルヲ説キ、以テ下文反駁ノ地ヲナス。

愈應之曰。是易所謂恒其德貞。而夫子凶者也。惡得爲有道之士乎哉。

愈 愈、之ニ應ヘ曰ク、是易ニ所謂ル、其徳ヲ恒ニス貞而夫子凶ナル者ナリ、イツクシヤ、有道ノ士タルヲ得ンヤ。

愈ガ之ニ應フルニ、コレハ易ニ云ヘル處ノ其徳ヲ恒ニシテ移リ易ハラザルモノハ、婦人ニシテハ、貞吉デアアルガ、男子ハ、自分ノ居場地位ニヨリテ、ソノ行動ヲ變ズルノ必要ガアルニヨリ、男子ニシテハ凶ニモ、凶クアル、コレハドウシテモ、有道ノ士トハセラレヌ。

文法 直ニ之ヲ駁撃シ有道ノ士ニアラザルヲ説破セリ、コ、ノ乎哉ノ二字ハ、決詞ナリ。

在易蠱之上九云。不事王侯。高尚其事。蹇之六二。則曰。王臣蹇蹇。匪躬之故。夫不以所居之時不一。而所踏之德不

易蠱 易蠱ノ上九ニ在リ、云フ、王侯ニ事ヘズ、其事ヲ高尚ニス、蹇ノ六二ニ

則曰ク、王臣蹇々躬ノ故ニ
匪ズ、夫レ居ル所ノ時、一
ナラズ、而シテ踏ム所ノ徳、
同シカラザルヲ以テナラズ
ヤ、若シ蹇ノ上九無用ノ地
ニ居リ、而シテ匪躬ノ節ヲ致
シ、蹇ノ六二ヲ以テ、王臣
ノ位ニアリ、而シテ事ヘザル
ノ心ヲ高クスルトキハ、則
テ冒進ノ患生ジ、曠官ノ
弊興ル、志則ル可ラズ、
尤ノ終ニ無ラザルナリ。

蹇ノ上九 蹇トハ易ノ
卦ノ名ナリ、上九トハ、陽
爻ニシテ、一番上ノ爻ヲ云フ
ナリ。

高尙 高カクスルナリ
敢テ其身ヲ屈シテ仕官セザ
ルヲ云フ。

蹇ノ六二 蹇モ卦ノ名
六トハ陰爻ニシテ、二トハ下
ヨリ二番目ノ爻ヲ云フナリ
蹇々 險難ナリ、難儀
スルノ意。

今陽子位ニ在ル、久シ
カラズトナサズ矣、天下ノ
得失ヲ聞ク、然セズトナサ
ズ矣、天子之ヲ待ツ、加ヘ
ズトナサズ矣、而シテ未ダ嘗
テ一言モ政ニ及バズ、政
ノ得失ヲ視ル、越人ノ秦
人ノ肥瘠ヲ視ルガ如シ、忽
焉トシテ喜戚ナキ心ニ加エ
ズ、其官ヲ問ヘバ、則曰ク、
諫議ナリ、其辭ヲ問ヘバ、
則曰ク、下大夫ノ秩ナリ、
其政ヲ問ヘバ、則曰ク、我
知ラザルナリト、有道ノ士
固ヨリ是ノ如キカヤ。

同也若蹇之上九居無用之地而致匪躬之節以蹇之六
二在王臣之位而高不事之心則冒進之患生曠官之刺
興志不可則而尤不終無也

易蹇ノ上九ノ文ニ云ヘルニ、王侯ニ事フルニ堪エタル、立派ナル才能ヲ有
シ居ルモ、敢テ王侯ニ事フルコトヲナサズ、自分ノナス事ヲ高尙ニシテ高ク止
マルト、又蹇ノ六二ノ文ニ云ヘルニ、王臣トナリ、君ニ事ヘタルモノハ、如何
ナル艱難ニ遇フモ、更ニ屈スルコトナク、飽マデ君國ノ爲ニ盡スベキデア
ル、コレハ一身ノ爲ニアラズ君主ノ爲デアルト、ソレ一ハ、ソノ事ヲ高尙ニシ、一
ハ匪躬ノ節ヲ致スト曰ヒ、相反スルガ如キハ何故ナルカ、ソレハ、一ハ君主ニ
事フルモノ、一ハ事ヘザルモノニテ、ソノ居ル所ノ地位場所ガ一樣デナイカラ
踏ミ行フ所ノ徳ハ自然ニ同クナイデアアル、モシモ、蹇ノ上九ノ如キ無官ノモ
ノニテ、コレト云フ仕事ノナキモノガ、却テ官位ニアルモノ、分限ヲ冒カシテ
匪躬ノ節、乃官職アルモノノ仕事ヲナシ、蹇ノ六二現ニ王臣ノ位ニアリ、官職
ニアルモノガ、事ヘザルノ心ヲ高シ、其事ヲ高尙ニスル如キコトアレバ、一方
分限ヲ冒シ進ムノ患生ジ、一方官職ヲ曠フシ、其職ヲ怠ルト云フ刺カ興ルハ當
然デアアル、カ、ルコトデアレバ、ソノ志ハ法則トスルヲ出来ズ、尤ノ遂ニナカ
ラザルマイヤアル。

此一段雙關ナリ、陽城ハ官職ニアルモノユヘ、上九ハ何等交渉ナシ、故ニ
客ナリ、六二コソ交渉アリ、故ニ主ナリ、冒進ノ患、コレ無用匪躬ニ對シテ曰フ、
曠官ノ刺、王臣ニシテ其事ヲ高尙ニスルニ對シテ曰フ、陽城曠官ノ責免ル可ラザル
ナリ。

今陽子在位不爲不久矣。聞天下之得失不爲不熟矣。天
子待之。不爲不加矣。而未嘗一言及於政。視政之得失。若
越人視秦人之肥瘠。忽焉不加喜戚於其心。問其官。則曰。
諫議也。問其祿。則曰。下大夫之秩也。問其政。則曰。我不知
也。有道之士。固如是乎哉。

今陽城ハ、已ニ五年トスレバ、在位ノ年數モ久シク、スレバ天下政治ノ得
失利害ノ關スル點モ熟知シテ居ルベキデアアル、天子ガ之ヲ待遇セラル、一モ、
一躍此位ニ置レタルハ、禮ヲ加ヘラレストハセヌ、カ、ル年功ナリ、經驗ナリ、
待遇ノ厚キ身ナレバ、政事ノ一ヲ論議スヘキデアアルニ、ソレニ一言モ政事ノ一
ニ論及シタルコトナク、政事ノ得失利害ヲ見ルコトハ、越ノ人ガ、秦ノ人ノ肥
瘠ト瘠ルトヲ見ル如ク、何ノ感ジモナク、忽焉ウツカリトメ、心ニ心勞スルト
云フコトガナイ、ソレデ、ソノ官職ハ諫議ノ要職デアアル、ソノ祿高ハ下大夫ノ祿

威ノ字重シ、憂フルナリ。開闢下太夫、ノ祿、漢書ニ、祿二百石ヲ受クルモノナ、下大夫トナストアリ。

爾且吾之ヲ聞ク、官守アルモノ、其職ヲ得ザレバ則去ル、言責アルモノ、其言ヲ得ザレバ則去ル、今陽子、以テ其言ヲ得ルトセンカ、其言ヲ得テ言ハザルト、其言ヲ得ズシテ去ラザルト、一ノ可ナルモノナキナク、陽子、將祿仕チナスカ。

爾爾古ノ人、云ヘルアリ、仕ル貧ノ爲ニセズ、而ノ

時アリテ貧ノ爲ニス、祿仕者ヲ謂ナリ、尊ヲ辭シテ卑ニ居リ富チ辭シテ、貧ニ居ルニ宜シ、抱關擊柝ノ如キモノ可ナリ。

抱關擊柝、抱關ハ城門ヲ守ル門番ナリ、擊柝ハ拍子木ナ撃チ夜警チナス役ナリ。

爾爾蓋シ孔子嘗テ委吏トナル矣、嘗テ乘田トナル矣、亦敢テ其職ヲ曠クセズ、必ズ曰ク、會計當ルノミ矣、必ス曰ク、牛羊遂ルノミ矣、陽子ノ秩祿ノ若キハ、卑且貧タラザル、章々トテ明ナリ矣、而ルニ此ノ如クニシ、ソレ可ナランヤ。爾爾委吏、收入チ掌ドル會計ノ官ナリ。

高デアアル、ソノ政事ハ一切關係セスト云フ、サテハ得手氣儘ナル話デハナイカ有道ノ士ハ、固ヨリ是ノ如キモノデアアルカ、ヨモヤ、是ナ者デハナカロー。

且吾聞之。有官守者。不得其職。則去。有言責者。不得其言。則去。今陽子以爲得其言乎哉。得其言而不言。與不得其言而不去。無一可者也。陽子將爲祿仕乎。

ソノ上、吾ガ之ヲ聞テ居ルニ、官職アルモノガ、自分ノ材力ガソノ官職ヲ行フニ堪エザル場合ニハ、潔ク其地位ヲ退キ、君前デ言論スベキ責任ノアルモノガ、言論シテ、ソノ言論ノ採用セラレザル場合ニハ、ソノ地位ヲ去ルト(以上孟子ノ語ナリ)今陽子ノ有様ヲ以テ考フルニ、ソノ言ニ採用セラレ、トセソカ、ソレナレバ、ナゼニ論議セヌカ、ソノ言ニ採用セラレザルカ、ナゼニ去ラスカ、言フベクシテ言ハズ、去ルベクシテ去ラズ、嚙付主義ハ、一モドレモ可クナイ、陽子ハ、欲ニ目ガクレ、惟祿ヲ得ルガ爲ニ仕官ヲナスノデアアルカ

此段孟子ノ語ヲ引キ、言ハズ、去ラザルノ不可ヲ攻撃ス、陽子將爲祿仕乎ノ一句更ニ一轉語ヲ下シ、下文ヲ開ク。

古之人有云。仕不爲貧。而有時乎爲貧。謂祿仕者也。宜乎辭尊而居卑。辭富而居貧。若抱關擊柝者可也。

古ノ人ノ云ヘルニ、仕官スルハ、ソノ身貧乏ナルガ爲デナク、自分ノ本領ヲ行ントスルガ爲デアアル、而シ時ニハ一時其身ノ貧窮ヲ救フ爲糊口凌ニ仕フルコモアル、ソレガ祿ヲ得テ貧ヲ免ル、ノガ目的デアアルカラ、コレヲ祿仕者ト云フノデアアル、サテソノ祿仕者ナルモノハ、尊位ヲ辭退シテ、卑キ職ニ居リ多クノ祿ヲ辭退シテ少祿ニ居ルヲ以テ適當トスル、例ヲ擧テ言ヘバ、抱關擊柝ノ如キ賤シキ職ニ居ルベキデアアル。

此節又孟子ノ語ヲ引用シ、祿仕者ノ取ルベキ道ヲ云ヒ、陽子ノ然ラザルヲ咎ムルナリ。

蓋孔子嘗爲委吏矣。嘗爲乘田矣。亦不敢曠其職。必曰會計當而已矣。必曰牛羊遂而已矣。若陽子之秩祿。不爲卑且貧。章章明矣。而如此其可乎哉。

サテ、孔子ノ如キ大聖デモ、時ヨ浮世ナラ仕方ガナイ、曾テ委吏トナラレタコトモアル、曾テ乘田トナラレタコトモアル、ソレデモ、敢テ其職分ヲ曠クシ、怠ルコトヲサレヌ、孔子ハ必ズ其職責ヲ盡クシ、曰ハル、ニ、ワレ委吏デアレバ、會計ノ收支決算ノ不都合ノナイヤウニ、ワレ牧畜ヲ掌ドルノ役デアレバ、牛

○陽子 牛羊ヲ畜フヲナ
掌ドル官ナリ。

○或曰ク、否、此ノ若
クナレニ非ラサルナリ、夫
ノ陽子上ヲ誦ル者ヲ惡ム、
人臣ト爲リ、其君ノ過ヲ
招ケ以テ名トナス者ナ惡ム
故ニ諫且議スト雖モ人ニ得
テ知ラザラシム、書ニ曰ク
爾ニ嘉謀嘉猷有ル、則入
爾ノ后ニ内ニ告ケ、爾
スナ、乃之ニ外ニ順ヒ、曰ク、
斯謀斯猷惟我后ノ德ト
夫陽子ノ心ヲ用井ル、亦此
ノ若キ者ナリ。

○嘉謀嘉猷 嘉ハ善ナリ
猷ハ孔氏ノ注ニ道ナリトア
リ、新註ニハ、猷モ謀ナリ
トアリ、トチラニシテモ害
ナシ、今茲ニハ孔氏ノ說ニ
從ヘリ。

○陽子 陽子心ヲ用井ル此ノ如ク
ナレバ、茲所謂ル惑ヘル者
ナリ矣、入りテハ則其君ナ
諫メ出テハ則人ニ知ラシメ
ザル者ハ、大臣宰相ノ事、
陽子ノ宜シク行フベキ所ニ
非ラザルナリ。

○陽子 夫レ陽子本布衣ヲ以テ
蓬蒿ノ下ニ隠ル、主上其
行誼ヲ嘉シ、擢テ、此位ニ

羊ノ生長ヲ遂ゲサセルヤウニスルト、是ノ如クソノ職分ニ忠實デアアル、今陽子
ノ如キハ、ソノ祿高ヨリモ推スモ、ソノ地位卑シクシテ、俸祿ハ少ナイトハ申
サレスコトハ、章々トシテ明白デアアル、而ルニ、是ノ如ク、政事ノ得失ハ吾關
セズトスマシ込居リテ、ヨカローゾ。

○此節 孔子ノ其職ヲ盡クサレタルヲ曰ヒ、陽子ノ曠職ヲ責ム、コノ一節モ
孟子ノ語ナルガ、之ヲ自分ノ語ノ如ク應用シタルナリ、古人ノ筆法、コノ類多
ケレバ注意スベシ。

或曰ク、非若此也。夫陽子惡誦上者、惡爲人臣、招其君之
過而以爲名者、故雖諫且議、使人不得而知焉。書曰、爾有
嘉謀嘉猷、則入告爾后于内、爾乃順之於外。曰、斯謀斯猷、
惟我后之德。夫陽子之用心、亦若此者。

○是ノ如ク、攻撃スルト、或ガ辯護シテ言フニ、否、是ノ如ク、陽城ハ敢テ
知ラヌ顔デ居ルト云フ譯デナク、夫陽子ノ考デハ、無暗矢鱗ニ上ノコトヲ誦
ルモノヲ惡ムノデ、人ノ臣タルモノガ、殊更ニ其君ノ過失ヲ招テ之ヲ發表シ諫
言立ヲナシ、自分コソ正直者ナリトシ、一時ノ名譽ヲ取リヨートスルモノヲ惡
ムノ眞意ヨリシテ、時ニ事ニ觸レ、諫モシ、且議論モスルナレド、之ヲ秘密ニ

シテ、ツトメテ人ニ知ラサナイヤウニスル、書經ニモ、爾臣タルモノニ、善キ
謀ナリ善キ道ガアルナレバ、則入りテ爾ノ君ニ内ニ於テ、ソノ善謀善道ヲ申
上ゲ、之ヲ行ハシメテ置テ、汝臣タルモノハ、之ヲ外ニ稱揚シテ、コノ善謀善
道ハ皆是レ我君ノ聰明ナル德ニ由ルノデアルト言フテ、君德ノ美ヲ發揚スルヤ
ウニセヨトアルガ、夫ノ陽子平生ノ注意ハ、此ニ存スルノデアアル。

○此節、或ノ語ニ託シ、之ヲ開放シ、下文直ニ之ヲ緊束スルナリ。
愈應之曰、若陽子之用心如此。茲所謂惑者矣。入則諫其
君、出則不使人知者、大臣宰相之事、非陽子之所宜行也。

○愈之ニ應ヘ曰フニ、モシ萬一ニモ、陽子ノ注意用心スル所ガ、此ノ如シト
スレバ、ソレコソ、大ニ考違ノコトデアアル、書經ニ曰ヘルコトノ如ク、内ニ
入りテハ、其君ヲ諫言シ、外ニ出テハ、諫言シタコトヲ秘密ニスルト云フコ
トハ、一國ノ大臣宰相ノナスベキコトデ、陽子ノ如キ身分ノモノ、行フベキ道
ハデハナイ。

○開展ノ處、直ニ之ヲ緊縛ス、筆勢漸ク激スルヲ覺ユ。
夫陽子本以布衣、隱於蓬蒿之下。主上嘉其行誼、擢在此
位。官以諫爲名、誠宜有以奉其職、使四方後代知朝廷有

在リ、官、諫ヲ以テ名トナ
ス、誠ニ宜シク其職ヲ奉ズ
ルアリ、四方後代ニ、朝廷
ニ直言骨鯁ノ臣アリ、天
子賞ヲ以テ之ヲ尊ニシテ
フ流ル、ガ如キノ美アルヲ
知ラシムベシ、庶ハクハ
巖穴ノ士、聞テ之ヲ慕ヒ
東帶結髮、闕下ニ進ミ、
其辭説ヲ伸ベ、吾君ヲ堯
舜ニ致シ、鴻號ヲ無窮ニ
照ントテ願ハンナリ、書
ニ所謂ル如キハ則大臣宰相
ノ事、陽子ノ宜シク行フベ
キ所ニ非ラザルナリ。

臣下諫言ヲ君ニ納ル、人君
之ヲ聞ク、恰モコノ堅キ骨
ノ喉中ニカ、ルガ如シ、ソ
ノ喉ヲ通下スレバ、快ナ覺
ユ、猶諫言ニ從フタル後、
善道ヲ行ヒ愉快ヲ覺フルガ
如シ故ニ曰フ。
骨鯁借賞 借ハ差ナリ。

直言骨鯁之臣。天子有不僭賞。從諫如流之美。庶巖穴之
士。聞而慕之。東帶結髮。願進於闕下。而伸其辭說。致吾君
於堯舜。熙鴻號於無窮也。若書所謂。則大臣宰相之事。非
陽子之所宜行也。

ソレ陽子ノ身分ニ付テ言フト、本無位無官卑賤ナル身ヲ以テ、蓬蒿（蓬モ
蒿モヨモギナリ、ヨモギノ生ヒ茂リ居ル中トテ片田舎ノ意ナリ）草ノ荒レスサ
ビタル片田舎ニ埋レ木トナリテ居タノデアアルガ、天子ニ於テ、ソノ行狀義ノ
高キヲ（誼ハ義ト同ジ）聞コシ召サレ、一躍拔擢サレテ、此ノ要職ニ在ル身ト
ナツタ、ソノ官ハ諫議ト曰フテ、諫ヲ以テ名トナス已上ハ、決シテソノ名ニ負
スヤウニ、ソノ實ヲカメ、誠心ニソノ職分ヲ奉ズルアリテ、四方ノモノ、後世
ノモノ共ニ、朝廷ニハ、直言シテ畏レズ、論議シテ屈セザル硬骨漢アルハ勿論
ノコト、天子ハ誠ニ聰明ニマシマシ、賞スベキモノハ之ヲ賞シ、更ニ恩賞ヲ借
リ差ルト云フコトナク、臣下ノ諫言ニ從ハル、コトハ、水ノ卑ニ就キテ流ル、
ガ如キノ美德アルヲ知ラシムベキデアアル、是ノ如クニシタナレバ、庶ハクハ、
山林ノ巖穴ニ隠レ込デ、世ヲ遁レテ居ル士モ、カ、ル昭代ノ有様ヲ聞テ、之
ヲ慕ヒ、今ハ隱遁スルト云フ様ナ時代デナイ、宜ク仕官スベキデアルト云フノ

デ、我モト衣冠ヲツケ、帶ヲモシメ、體服ニ改メ、ヲドロニフリ亂シタル
髮ヲモ結ヒ、宮門ノ下ニ進ミ來リ、ソノ言論辭説ヲ陳ベ、吾君ヲ古ノ堯舜
ノ如キ聖人ノ君トナシ、君ノ鴻大ナル名ヲ千年モ萬年モ天壤ト共ニ無窮ニ照ム
ルヤウニ願フノデアアル、カクシテコソ、陽城ノ責任モ盡セリト謂フベク、書經
ノ中ニ曰ヘル語ハ、一國ノ大臣宰相ノコトヲ言ヒタルモノデ、陽子風情ノ宜ク
行フベキノ道デハナイ。

此節、筆ヲ起首ニ回ヘシ、陽城宜ク天子ノ知遇ニ報フベキニ、更ニサルコ
トナキノ非ヲ攻メ、再ビ書經中ノ言ヲ舉ゲ、重複ノ筆ヲ用キ、緊シクソノ不可
ヲ攻撃セシナリ、ソノ議論モ餘程激シテ見ヘ、鋒鏑モ非常ニ見ハレタリ、痛切
淋漓一篇精采ノ處ナリ。

且陽子之心。將使君人者惡聞其過乎。是啓之也。

且陽子ノ心デハ、人ニ君タルモノヲシテ、自分ノ過失ヲ聞クコトヲ惡ミ、
厭ガルヤウニセントスルノデアアルガ、ソレハ以テノ外ノコトデ、人君タルモノ
ハ、自分ノ過失ヲ聞キ、之ヲ改ムルヤウニセバナラスニ、今陽子ノヤリ方ハ
コレ人君ヲシテ其過失ヲ聞クヲ惡ムノ道ヲ啓キ、カヘツテ、我ヨリ左様ニ仕向
ルト云フモノデアアル。

且ノ字ヲ以テ一步ヲ進メ、陽城ガ、人君ノ過失ヲ匡救スルノ進ヲ失スルヲ

且陽子ノ心、將二人
ニ君タル者ニ、其過
聞クヲ惡シメントスルカ
コレ之ヲ啓クナリ。

答メタルナリ。

或曰陽子不求聞而人聞之。不求用而君用之。不得已而仕。守其道而不變。何子過之深也。

陽子或曰ク、陽子聞ヲ求メズシテ人之ヲ聞キ、用ヲ求メズシテ君之ヲ用フ、已ムヲ得ズシテ仕フ、其道ヲ守リテ變ゼズ、何ゾ子之ヲ過ルノ深キヤ。

或曰、ハ責ムルナリ。

或ノ曰ヘルニ、陽子ハ、何モ我ヨリ表判ヲ求メタト云フデハナイニ、人ガ之ヲ聞テ、俄ニ表判ヲスルヤウニナリ、何モ世ニ用キラレヨト云フ考ハナカツタノデアアルガ、君ガ勝手ニ之ヲ用キタ、ソコデ無據仕官シタノデアアルサテ仕官スルコトハ、ソノ本意テナイカラ、ソノ自分ノ信ズル道ヲ固ク守リテ變ジナイノデアアル、何ゾお前サンハ、陽城ヲ過ルコトノ左様ニ深ク緊シキコトデアアルカ。

此節、陽子ノ爲ニ展開ヲナス、下文又更ニ緊束ス。

愈曰ク、古ヨリ聖人賢士、皆聞用ヲ求ルニ心アルニ非ラザルナリ、其時ノ不平、人ノ不父ナルヲ聞ミ、其道ヲ得テ、敢テ獨其身ヲ善セズ、必ズ以テ天下ヲ兼濟スルナリ、孜孜矻矻、死シテ後ニ已ム、故ニ

愈曰。自古聖人賢士。皆非有心求於聞用也。聞其時之不平。人之不父。得其道。不敢獨善其身。而必以兼濟天下也。孜孜矻矻。死而後已。故禹過家門不入。孔席不暇暖。而墨突不得黔。彼二聖一賢者。豈不知自安佚之爲樂哉。誠畏天命而悲人窮也。惡得以自暇逸乎哉。

禹ハ家門ヲ過レドモ入ラズ孔席ヲ暖ムルニ暇アラズ、而シテ墨突ヲ得ズ。彼二聖一賢ノモノ、豈自ラ安佚スルノ樂タルヲ知ザランヤ、誠ニ天命ヲ畏レ、而シテ人窮ヲ悲ムナリ。不父ヲ不父ト云フ。不義ヲ不義ト云フ。孜孜矻矻、死シテ後ニ已ム、故ニ

突ハ烟出ナリ。

愈ノ曰ヘルニ、昔時ヨリ、聖人ト尊バレ、賢士ト稱セラル、者、皆表判ヲ得ヨリノ、世ニ用キラレヨト云フコトニ心ガアルト云フ譯テナイ、ソノ時ノ平ニ治ラズシテ、亂レテ居リ、時ノ人ノ父ラズシテ不義非道ナル行動ヲナシツ、アルヲ見ルニ忍ビラレズ、之ヲ聞ミ、自分ハソノ正シキ道ヲ其身ニ得テ居リナガラ、敢テ自分獨其身ヲ善シ安心シ居ルト云フコトモ出來ズ、必ズ以テ天下ノ不平、人ノ不父ヲモ兼ネ濟ハントスルニ由リ、勤メ骨折リ、其身ノ死スルマデ勤勞スル、ソレ故ニ大禹ハ天下ヲ極フニ忙カハシキ爲ニ三遍マデ我家ノ門ヲ過通ルモ其門ニ這入際サヘナク、孔子ハ天下ヲ周遊シ、道ヲ説クコトニ多忙デアアルカラ、片時モ安坐シテ居ルコトガ出來ナイカラ、孔子ノ席ハ暖マル暇モナク、墨翟ト云フ人ハ、コレ亦自分ノ主義ヲ鼓吹スルコトニ忙シク一所ニ落付ト云フコト出來ズ、ソノ度毎ニ宅易ラスルカラ、墨子ノ竈ノケブリ出ハクスボル間ガナイ、是ノ如ク多忙デアアル、彼禹ナリ、孔子ナリ、墨翟ナリ、何モ自ラ安ジウチクツロイテ居ルコトノ快樂デアアルト云フコトヲ知ラザルマイヤ、ソレハ百モ承知ノコトデアアルガ、ソレヲソーセスト云フハ、誠ニ天ノ命令ヲ畏レ人ノ窮困ヲ憫ムニ由リデアアル。

聞用ヲ求メザルハ、古聖賢皆爾ルヲ曰ヒ、陽子ヲ責ム、二聖ト曰ヒ、一賢ト曰フ、文字苟モセザルヲ所ヲ見ルベシ。

夫天授人以賢聖才能豈使自有餘而已誠欲以補其不足者也。耳目之於身也。耳司聞而目司見聽其是非視其險易然後身得安焉。聖賢時人之耳目。時人聖賢之身也。且陽子之不賢則將役于賢以奉其上矣。若果賢則固畏天命而閔人窮也。惡得以自暇逸乎哉。

爾爾夫天、人ニ授クルニ賢聖才能ヲ以テスル、豈自ラ餘有ラシムルノミナラシヤ、誠ニ以テ其足ラザル者ヲ補ハントスルナリ、耳目ノ身ニ於ケルヤ、耳ハ聞クヲ司リ、目ハ見ルヲ司リ、其ノ是非ヲ聞キ、其ノ險易ヲ見、然ル後身安キヲ得ル焉、聖賢ハ時人ノ耳目、時人ハ聖賢ノ身ナリ、且陽子ノ不賢ナラバ、則將ニ賢ニ役セラレ、以テ其上ニ奉ゼントスル矣、若シ果シテ賢ナラバ、則固ヨリ天命ヲ畏レ、人窮ヲ閔ムナリ、惡シテ自ラ暇逸スルヲ得ンヤ。

ソレ天ガ人ニ授ケ與フルニ、聖人賢人ノ材氣藝能ヲ以テスルト云フモノハナントシテ、自ラ其身ニ餘アラシムルノミデハナイ、ソレハ誠ニ以テソノ不足シテ居ルモノヲ補ヒ助ケントノ意ニ出ツルノデアル、之ヲ喻フルニ、耳目ノ我身ニ於ケル、何ノ用ヲナスカト云ヘバ、耳ハ聞クガ役前デ、目ハ視ルガ役前デアル、耳デ事ノ是非ヲ聽キ、目デ途ノ險阻デアルカ、平坦デアルカヲ見、ソレシテ後ニ、ソノ身ノ安全ヲ得ル、人ハ聖賢ノ言ヘルコトヲ聞キ、聖賢ノ行フ所ヲ見テ、之ニ隨フテ行キ、ソノ身ノ安全ヲ得ルノデアルカラ、聖賢ハ當時ノ人ノ耳目當時ノ人ハ、聖賢ノ身ノ様ナル者デアル、ソノ上、陽子ハ不賢者デアレバ、則賢者ニ使役セラレ、以テ其上ニ奉仕シテ行クベキデアル、若果シテ或ノ言ノ如ク、賢者デアレバ、則固ヨリ天命ヲ畏レ、人ノ困窮ヲ憫ミ救フベキデアル、ドウシテカ自ラ安心シ暇デ居ラリヨゾ。

又法 コノ處、天命ヲ説キ、陽子ヲ責ム、果シ賢ト云ヒ、不賢ト云ヒ、左右ヨリ之ヲ攻撃ス、韓公本是獨其身ヲ善スル者ニ非ラズ、故ニソノ論、陽子ヲ責ムルコト深キナリ。

或曰吾聞君子不欲加諸人而惡訐以爲直者若吾子之論直則直矣無乃傷于德而費于辭乎好盡言以招人過國武子之所以見殺於齊也吾子其亦聞乎。

爾爾或曰、吾聞ク、君子諸人ニ加フルニ欲セズ、訐ヲ以テ直トナス者ヲ惡ム、吾子ノ論ノ如キハ、直ハ則直ナリ、乃德ニ傷ケ辭ヲ費ス無カラシカ、盡言ヲ好ミ、人過ヲ招ルハ國武子ノ齊ニ殺サル、所以ナリ、吾子其亦聞ルカ。

爾爾國武子ノコトハ國語ニアリ、齊ノ慶克ト云ヘルモノ齊侯ノ夫人ト不義シタルヲ極力攻撃シ、奇禍ヲ買ヒ遂ニ殺サル。

又法 此一節、コレ下文收結ノ手段。

愈曰君子居其位則思死其官未得位則思脩其辭以明

其官ニ死セシムナリ。則其辭未ダ位ヲ得ザレバ、則其辭ナリ。以テ其道ヲ明ニセシムコトヲ思フ、我ハ將ニ道ヲ明ニセントスルナリ、以テ直トナシテ、人ニ加フルニ非ラザルナリ、且國武子善人ヲ得ル能ハズ、盡言ヲ亂國ニ好ム、是ヲ以テ殺サル傳ニ曰ク、惟善人能ク盡言ヲ受ケト、其聞テ能ク之ヲ改ムルニ謂フナリ。

其道我將以明道也。非以為直而加人也。且國武子不能得善人而好盡言於亂國。是以見殺傳曰。惟善人能受盡言。謂其聞而能改之也。

愈ガ曰ヘルニ、君子タルモノガ、ソノ官位ニ居レバ、一意ソノ官職ノ為ニ死セシムコトヲ思ヒ、未ダ官位ヲ得サレバ、大ニソノ文章ヲ修メ以テソノ道理ヲ世ニ明ニセシムコトヲ思フ、コレガ君子ノ心掛デアル、ワレガ斯ク論ジ來ルモ、畢竟スルニ道理ヲ明ニセントスルニ外ナラナイ、以テ殊更ニ正直ノ名ヲ得ントシテ無理ナル注文ヲ以テ人ニ加フルモノデハナイ、且彼ノ國武子ハ、當時一國中惡人ガハビコソテ居ル時デアツテ、一人ノ善人ヲ得ル能ハザル場合ニ於テ、好デ思フ一杯ノ議論ヲ亂國ニ試ミシニ由リ、遂ニ其身ヲ殺スノ不幸ニ陥ルコトニナツタ、ソレ故ニ傳ニ言フテアル、惟善人ニ限り、能ク盡言ヲ受クルト、コレハ善人ガ能クソノ盡言ヲ受ケ、自分ノ不善ニ思ヒ當テ、能クソノ過失ヲ改ムルヲ言フノデアル。

其官ニ死スルハ、陽城ヲ收メ、其道ヲ明ニスルハ、自分ヲ收ム、善人ノ字ヲ出スハ、下ニ於テ陽城ノコトヲ言ハントスルノ手段ナリ。

子告我曰。陽子可以為有道士也。今雖不能及已。陽子

陽子、今及ア能ハズト雖モ陽子將善人タルヲ得ザラシヤ。

將不得為善人乎。

子、お前ガワレニ告ゲ問ヒケルニハ、陽子ハ以テ有道士ト謂フベキデアリマスルカト、ワレハ答ヘテ曰ハントス、今有道ノ士ト迄ニハ行カスガ、陽子將善人タルコトヲ得ザルマイヤ、善人トハ言フテヨカロー、善人ハ能ク盡言ヲ受クルト言フカラ、ワレノ忠告ヲ受ケテ今迄ノ非ヲ悔ヒ、改メ、其職ヲ盡スデアロートナリ。

攻撃ノ出來得ル丈、攻撃シ盡シ、殆餘力ヲ遺サズ、善人タルヲ得ザラン乎ト言フヲ以テ一條ノ活路ヲ與ヘ、陽城ヲシテ自新ノ途ヲ開カシメタルノ筆法尤巧妙、有道ノ二字首尾貫通初學ノ士、ヨクノ心シテ讀ムベシ。

諱 辨

韓 昌 黎

愈與李賀書勸賀舉進士賀舉進士有名與賀爭名者毀之曰賀父名晉肅賀不舉進士為是勸之舉者為非聽者不察和而倡之同然一辭皇甫湜曰子與賀且得罪愈曰然。

諱ムト云フコトハ、周ノ時代ニ始リタルコトデ、自分ノ名ガ、時ノ天子ヤ、官職ノ名ト普通デ衝突スルト、之ヲ避ケテバナラス、ソコデ李賀ノコトニ付キ、

文章軌範講義

一一七

愈、李賀ニ書テ與ヘ、賀ニ進士ニ舉ゲラル、ヲ勸ム、賀進士ニ舉ゲラレ名アリ、賀ト名ヲ爭フ者、之ヲ毀リ曰ク、賀ノ父ノ名ハ晉肅賀進士ニ舉ゲラレザルヲ是トナス、之ニ舉ゲラル、ヲ勸ムル者非トナス、聽者察セズ、和シテ之レヲ倡ヘ同然一辭、皇甫湜曰ク子ト賀ト且ニ罪ヲ得ント

愈、李賀ニ書テ與ヘ、賀ニ進士ニ舉ゲラル、ヲ勸ム、賀進士ニ舉ゲラレ名アリ、賀ト名ヲ爭フ者、之ヲ毀リ曰ク、賀ノ父ノ名ハ晉肅賀進士ニ舉ゲラレザルヲ是トナス、之ニ舉ゲラル、ヲ勸ムル者非トナス、聽者察セズ、和シテ之レヲ倡ヘ同然一辭、皇甫湜曰ク子ト賀ト且ニ罪ヲ得ント

ス、愈曰ク然也。

李賀ハ李長吉トテ唐ノ人、詩ニ妙ヲ得テ居リタルモノデアアル。

同然一辭 皆異日同音ニ一ツ事ヲ言フナリ。

律ニ曰ク、二名ハ偏諱セズ、之ヲ釋者曰ク、微チ音ヘバ在チ稱セズ、在チ音ヘバ、微チ稱セザルガ如キナ謂フ是ナリ、律ニ曰ク、

文章軌範講義

偶サルコトニ出クハシタ、故ニ韓愈ガ、之ガ辨ヲ作り、人ノ惑ヲ解タノデア
ル、此等ノコトタル誠ニ本氣ノ沙汰デナイカラ、韓愈モ滑稽半分ニ書イテ居ル
讀者モ其心シテ讀ムベシ。

愈ガ李賀ニ書状ヲ送り、進士ノ試験ヲ受クベキヲ勸告シタ、所ガ李賀ハ首
尾能及第シテ、非常ニ表判ガヨイ、賀ト表判ヲ争フ同輩ガ、之ヲ忌ミ、之ヲ毀
リテ曰ヘルニ、賀ノ父ノ名ハ、晉肅ト曰フカラ、進督衝突スルニヨリ、諱ノ筆
法ヨリシテ、進士ニ擧ラレヌコトコソ至當デアアル、元來之ニ擧ラレヨト勸メタ
ル者ガ、間違フテ居ルト、一人ガ言ヒ出スト、聞クモノ共ハ、ソノ是非ヲ察ス
ル見識モナク、ソノ尻馬ニ乗り、ヨルトサハルト、一同ニ之ヲ倡ヘ言ヒ罵リ、
皆同様ニソノ不可ナルヲ曰フヤウニナリタ、ソコデ愈ノ門人タル皇甫湜ガ心配
シテ、愈ニ申スニ、此儘ニ打チ置ル、ト、先生ト李賀ト罪ヲ得ルノ不幸ヲ見マ
スルゾト、愈ノ曰フニ、成程ソトデアアル。

有レ名ト云フ、名ノ字コレ禍根ナリ、以上輕々筆ヲ著ケ、辨ヲ作ルノ由來ヲ
記シタルナリ。

律曰、二名不偏諱、釋之者曰、謂若言微不稱、在言在不稱、
微是也。律曰、不諱嫌名、釋之者曰、謂若禹與兩丘與蓋之
類是也。

國家ノ律ヲ以テ之ヲ推スニ、禮ノ文ニ、二字通用ノ字ヲ、別々ニ言フコト
ハ差支ガナイ、コレハドウウカト言フト、コレヲ解釋スル者ノ言フニ、元來孔子
ノ母ノ名ハ微在ト云ヘルガ、孔子ガ單ニ微ノ一字ヲ稱シ、在ノ一字ヲ稱スルコ
トハ、決シテ差支ガナイ、又律ノ文ニ、嫌名普通ノ字ヲ同時ニ稱スルコトハ差
支ガナイ、之ヲ解スル者ノ言ニ、禹兩丘蓋ハ同音デアアルガ、コレハ決シテ差支
ナイ是等ノ類デアアル。

此節、禮ノ文ヲ引用シ、毀ヲ破ルノ地ヲナス。

今賀父名晉肅賀舉進士爲犯二名律乎。爲犯嫌名律乎。
父名晉子不得舉進士。若父名仁子不得爲人乎。

今賀ノ父ノ名ハ、晉肅デアリテ、賀進士ニ擧ラレタルニ於テ、二名ノ法律
ヲ犯シタリトスルカ、嫌名ノ法律ヲ犯シタリトスルカ、ドチラニモ觸レナイ、
モシ父ノ名ガ晉デソノ子ガ進士ニ擧ラレヌトスレバ、モシ父ノ名ガ仁ト云フナ
レバ、ソノ子ハ人トナルヲ得ザルカ、左リトハ奇怪千萬ナリ。

諸論ノ筆ヲ以テ之ヲ擲掄一番シ、人ヲシテ抱腹ニ堪エザラシム。
夫諱始於何時。作法制以教天下者。非周公孔子歟。周公
作詩不諱。孔子不偏諱。二名春秋不譏。不諱嫌名。康王釗

今、賀ノ父ノ名ハ晉肅、
賀進士ニ擧ラレ、二名ノ律
ヲ犯ストセンカ、嫌名ノ律
ヲ犯ストセンカ、父ノ名ハ
晉子進士、擧ゲラル、得
ザレバ若父ノ名仁ナレバ、
子人ナルヲ得ザルカ。
諸論ノ筆ヲ以テ之ヲ擲掄
一番シ、人ヲシテ抱腹ニ堪
エザラシム。
夫諱始於何時。作法制以教
天下者。非周公孔子歟。周公
作詩不諱。孔子不偏諱。二名
春秋不譏。不諱嫌名。康王釗

之孫實爲昭王。曾參之父名皙。曾子不諱。昔周之時有騏
期。漢之時有杜度。此其子宜如何。諱將諱其嫌。遂諱其姓
乎。將不諱其嫌者乎。

公孔子ニ非ラズヤ、周公詩
ヲ作リテ諱ズ、孔子ニ名ヲ
偏諱セズ、春秋嫌名ヲ諱マ
ザルヲ諱ラズ、康王釗ノ
孫ハ實ニ昭王タリ、曾參ノ
父ノ名ハ皙、曾子昔ヲ諱ズ
周ノ時ニ騏期アリ、漢ノ時
ニ杜度アリ、此其子宜シク
如何カ諱ムベキ、將其嫌
ヲ諱ンカ、遂ニ其姓ヲ諱ン
カ、將其嫌ヲ諱ザランカ
ハ昌、武王名ハ發、詩經ノ
文中、克昌駿發ノ字アリ。
曾參不諱昔、論語、曾子、昔
シ我友ノ字アリ。

漢武帝ノ名ヲ諱テ、徹
ヲ通トナス、又車轍ノ轍
ヲ諱テ某ノ字トナス。聞カ

夫諱ト云フコトハ、何ノ時代ニ始リタルコトナルカ、法律制度ヲ作り、天
下ニ教ヘタルモノハ、周公及孔子ニハ非ラザルカ、ソノ本家本尊デモ、諱ムコ
トヲシテ居ナイ、ソノ證據ニハ、周公詩ヲ作りテ諱ムコトヲセズ、孔子ハ二名
ヲ偏諱スルコトナク、微在ノ二字ヲ別々ニ稱シテ居ラル、又孔子ノ筆削ニ成
ル魯ノ春秋ニ於テハ、嫌名ヲ諱ザルヲ何トモ譏リテナイ、サテ、康王釗ノ孫ハ
實ニ昭王ト云フテ居リ、曾參ノ父ノ名ハ皙ト云フガ、曾參ハ決シテ昔ト云フ字
ヲ諱マズ、論語ニ稱シテ居ル、周ノ時ニハ、騏期ト云フノガアリ、漢ノ時ニハ、
杜度ト云フノガアル、モシ、諱トスレバ、此等ノ子ハドシナニ諱カ、タシハ
其嫌名ヲ諱トスルカ、遂ニ其姓ヲ諱トスルカ、タシハ其嫌名ヲ諱ヌコトニス
ルカ。

此節、例ヲ引キ之ヲ難ス、妙處、却テ說破セザル所ニアリ。

漢諱武帝名徹爲通。不聞又諱車轍之轍爲某字也。諱呂
后名雉爲野雞。不聞又諱治天下之治爲某字也。今上章

及詔不聞諱諱勢秉機也。惟宦官宮妾。乃不敢言詔及機。
以爲觸犯。

ザルナリ、呂后ノ名ヲ諱テ
雉ヲ野雞トナス、又天下ヲ
治ムルノ治ヲ諱テ某ノ字ト
ナスヲ聞カザルナリ、今上
章及詔諱勢秉機ト云フナリ
諱ムヲ聞カザルナリ、惟宦
官宮妾乃敢テ詔ト機ト
ヲ言ハズ、以テ觸犯トナ
ス。

漢ノ時ニ於テ、時ノ天子、武帝ノ名ヲ徹ト云フタルニヨリ、徹侯ヲ諱テ通
侯ニ易ヘタガ、又車轍ノ轍ト云フ字ヲモ諱テ某ノ字トナシタリト云フコトヲ聞
カヌ又呂后ノ名ガ雉ト云ヘル所カラ、雉ヲ云フヲ諱テ、野雞ト易ヘタガ、天下
ヲ治ルノ治ヲ諱テ、某ノ字トナシタリト云フコトヲ聞カヌ、今時代ニ於テ之ヲ
考フルモ、下ヨリ天子ニ上ル上奏體ノ文ナリ、及天子ノ御詔勅ナリ、諱勢秉
機ノ文字ヲ諱デアルコトヲ聞カヌ、惟宦官ナリ宮中ニ奉仕スル所ノ女中共ハ、
音相近キノ故ヲ以テ、嫌トナシ、敢テ論ト機トヲ申サヌ、モシ之ヲ云フ時ハ、
律ニ觸レ、不敬ニ涉ルトシテ遠慮シテ居ル、此等ハ身分ノ賤キモノデアルカラ
其等ノコトデアル。

此節、當時ノ人が、大ニソノ見解ヲ誤ルヲ罵リ盡ス、宦官宮妾ノ字ヲ出ス
ハ、下文ニ於テ、冷笑一番シテ、收結スルノ下擗ヲナスナリ。

士君子立言行事。宜何所法守也。今考之於經。實之於律。
稽之以國家典。賀舉進士爲可邪。爲不可邪。

今日士君子トテ、人ノ風上ニ立ツモノガ、自分ノ議論ヲ立テ、自分ノ所信

士君子立言行事、宜ク
何ノ法守スル所ナルモキヤ
今ノ子經ニ考ヘ、之ヲ律ニ
實シ、之ヲ稽フルニ、國
家ノ典ヲ以テスルニ、賀進

士ニ擧ラル、可トナスカ、不可トナスカ。

凡ソノ父母ニ事スル、曾參ノ如キヲ得バ、以テ譏ナカルベシ矣、人ト作ル、周公孔子ノ如キヲ得バ、亦以テ止ム可シ矣、今世ノ士周公孔子ノ行ヲ行フナ努メズ、而ノ親ノ名ヲ諱ム、則周公孔子ニ勝ルヲ務ム、亦其惑ヘルヲ見ルナリ。

周夫レ周公孔子曾參ニハ卒ニ勝ル可ラズ、周公孔子曾參ニ勝リ、乃宦官宮妾ニ比セバ則是宦官宮妾ノ其親ニ孝ナルコト、周公孔子曾參ヨリモ勝レルカ。

桐葉封弟辨
古ノ傳者言ヘルアリ、成王桐葉ヲ以テ小弱弟ニ與ヘテ戲レテ曰ク、以テ汝ヲ封ズト、周公入り賀ス、王曰ク戲ナリ、周公曰ク、天子戲ル可ラズト、乃小弱弟ヲ唐ニ封ズ。

文章軌範講義

ヲ行フニ於テ、宜ク何ヲ法則トシ守ルベキカ、周公孔子ヲ法則トシタナラバ不可ハナイ、今李賀ノニトニ付キテ、之ヲ經書ニ參考シ、之ヲ禮文ノ律ニ質シ、之ヲ今日國家ノ典例ニ引當テ、考ヘ見ルニ、賀ガ進士ニ擧ラレタリトテ可トナスカ、不可トナスカ、少モ不可ナル所ハナイテハナイカ。

此節、上文ヲ收拾シ、決シテソノ不可ナキヲ云フ、妙ハ同ク說破セザルニ在リ。

凡事父母得如曾參可以無譏矣。作人得如周公孔子亦可以止矣。今世之士不務行周公孔子之行而諱親之名。則務勝於周公孔子亦見其惑也。

スベテ父母ニ事ヘ、孝養ヲ盡スコト、曾參ノ如クナルコトヲ得タナラバ、以テ後世ノ人ニ彼是ト云ハル、コトモナルベク、人物トナルコト、周公孔子ノ如キ大偉人トナリタレバ、以テ満足シテヨイ、現代ノ人ハ、周公孔子ノ行フタルコトヲ行フヲ勉メズ、ソレシテ周公孔子ノ度外視シタル親ノ名ヲ諱ムコトヲナス、則却テ周公孔子ニ勝サルコトヲ求ムルト云フ次第デ、コレハ誠ニ見當テテ違フ話デアルワイ。

冷罵當世ノ士ヲ諷ス、諧謔ノ中、無極ノ真味アリ、至文タル所以。

夫周公孔子曾參卒不可勝。勝周公孔子曾參乃比於宦官宮妾。則是宦官宮妾之孝於其親。賢周公孔子曾參者邪。

ソレ周公孔子曾參ハ聖賢ナル故ニ、コレニ勝ラウトシタ處デ、ソレハ到底終生不可能ノコトデアアル、ヨシンバ、周公孔子曾參ニ勝リタ所デ、親ノ名ヲ諱ムト云フ如キ、宦官宮妾ノ真似ヲスルトナラバ、則是レ宦官宮妾ノ其親ニ孝養ヲ盡スコトガ、却テ周公孔子曾參ヨリモ勝リタリトシテ、ソノ真似ヲスルノデアルカ、サテ、心得違フコトデアアル。

文章迫マラズ、急ナラズ、俗ニ味噌ニ骨アリ、真綿ニ針アルガ如キノ言廻尤妙ナリト云フベシ。

桐葉封弟辨

柳河東

古之傳者有言成王以桐葉與小弱弟戲曰以封汝。周公入賀王曰戲也。周公曰天子不可戲。乃封小弱弟於唐。

柳宗元、字ハ子厚、河東ト曰ヒ、柳州ト曰フ、ソノ號ナリ、尤博覽強記、ヨク文ヲ屬ス、進士ニ及第シ、貞元十九年監察御史ニ拜セラレタルガ、後ニ貶

セラレ柳州ノ刺史トナル、韓公ト並ビ稱セラレ、韓柳ト曰フ、コノ篇ハ說苑ト云ヘル書物ニ成王ガ桐葉ヲ以テ叔虞ヲ封ジタルコトヲ以テ、周公ノ所爲トナシタレド、其說信ズ可ラズ、史記ニハ史佚ノ所爲トナシテアルガ、史記ノ載スル所信ズベキヲ辨ジタルナリ。

講義 古ノ傳ヲ書キタルモノ、言ヘルニ、或曰成王ガ桐葉ヲ以テ珪トナシ、マダ東西モ知ラス幼少ナル弟ノ虞ト云ヘル者ニ與ヘ、串戲ニ曰ハル、ニ、是ヲ以テ印トナシ、汝ニ封邑ヲ與ヘルゾ、周公ガソレハ目出度コトデアルト、入りテ祝フト、成王ノ曰ヘルニ、ソレハ串戲デアル、周公ノ曰ヘルニ、綸言汗ノ如シデ天子ニ戲ト云フコトハアリマセストテ、無理往生ニ小弱弟ヲ唐ト云フ地ニ封ジ、君トナシタ。

文法 以上、コレ說苑ノ記スル所ヲ引用シ、下ノ議論ヲ起ス、コレ叙事。

吾意不然。王之弟當封耶。周公宜以時言於王。不待其戲而賀以成之也。不當封耶。周公乃成其不中之戲。以地與人。與小弱弟者爲之主。其得爲聖乎。

講義 我が意フニ、決シテソレデナイ、王ノ弟ハ、當ニ封邑ヲ與フベキモノデアルカ、ソレナレバ、時ヲ待チ、周公ヨリ王ニ申上ベキデアル、其串戲ヲ待チ、

講義 古之傳者 說苑ノ說ヲサスナリ。

講義 珪ハ玉ニシテ、封邑ヲヤルトノ印ナリ。

講義 吾意ニ然ラズ、王ノ弟、當ニ封ズベキカ、周公宜ク時ヲ以テ王ニ言フベシ、其戲ヲ待テ、賀シテ以テ之ヲ成ササルナリ、當ニ封ズ可ラザルカ、周公ノ申ラザルノ戲ヲ成シ、地ヲ以テ、人ヲ以テ小弱弟ニ與ヘ、之ガ主トナス、其レ聖タルヲ得ンヤ。

祝シテ、之ヲ無理往生ニナスト云フコトハセヌ。封ズベカラザルモノトナスカ、周公ガ乃ソノ道理ニ中ラザルノ戲ヲナシ、人民ヲ以テ、土地ヲ以テ、小弱弟ニ與ヘ、ソノ君トナシタトスレバ、決シテ周公ヲ以テ聖人トナスコトハ出來ヌ。

文法 封ズベキカ、封ズベカラザルカ、左右ヨリ之ヲ攻撃シ、決シテ周公ノ成ス所ニアラザルヲ明ス。

且周公以王之言不可苟焉而已。必從而成之也。設有不幸王以桐葉戲婦寺。亦將舉而從之乎。

講義 且ツノ上、周公ニ於テハ、王ノ言ハ、カリソメニスルコトハ出來ヌト云フヲ楯ニ必ズ從フテ之ヲ遂行スルトナラバ、モシ萬一ニモ、王ガ不幸ニシテ、婦人トカ宦官トカニ戲レ以テ封邑ヲ與ヘ、君トナスト曰ハレタル節ニハ、亦將之ヲ贊成シソノ通りニナスカ、ドウデアル。

文法 且ノ字ヲ以テ更ニ一步ヲ進メ一難ヲ設ク。

凡王者之德。在行之何若。設未得其當。雖十易之。不爲病。要於其當。不可使易也。而況以其戲乎。若戲而必行之。是周公教王遂過也。

講義 凡王者ノ德、之ヲ行フノ何若ニアリ、設未ダ其當ヲ得ザレバ、十ビ之ヲ易フト雖モ、病トナサズ、而ルニ況其戲ヲ以テスルナヤ

講義 且周公王ノ言、苟モス可ラザルノミヲ以テ、必ズ從フテ之ヲ成サンカ、設不幸ニシテ、王桐葉ヲ以テ婦寺ニ戲ル、アレバ、亦將舉テ之ニ從ハントスルカ。

若シ戯レテ必ズ之ヲ行フ、
是周公王ニ過チ遂ルチ教
フルナリ。

凡ソ王者タルモノ、行フベキ徳ト曰フモノハ、之ヲ行フテ、宜シキヲ得ルカ、得ザルカトノ點ニ深く注意スルコトデアアル、モシマダ其ノ至當ヲ得ストナレバ、十邊之ヲ易ヘタリトスルモ、病心配スルコトハナイ、要スルニ、ソノ至當ヲ得ルニ於テハ、決シテ之ヲ易フルコトハ、出来ヌ、而ルニマシテ、ソノ串戯ニヨリテ必ズ之ヲ決行スルトハ、誠ニ言語同斷ノコトデアツテ、コレハ周公ガ過失ヲ遂行スルコトヲ教フルト云フモノデアアル。

果シテ説苑ノ説ノ如クバ、コレ周公成王ヲ補佐スルノ道ニアラザルヲ言ヒソノ妄ナルヲ明ス、凡王者之徳云々ト云フ處、ソノ論大ニ高シ。

吾意周公輔成王宜以道從容優樂。要之歸大中而已。必不逢其失而爲之辭。又不當束縛之馳驟之使若牛馬。然急則敗矣。且家人父子。尙不能以此自克。况號爲君臣者耶。是特小丈夫缺缺者之事。非周公所宜用。故不可信。

吾ガ意フニ、周公ガ成王ヲ補佐スル上ニ於テハ、宜ク正道ヲ以テ、ユツダリトシテ急切ナラザルヤウニシ、之ヲ樂マシメ之ヲ至極ナル、中庸ナル道ニ合ハシムルコトヲ要スベキデアツテ、必ズシモ、ソノ王ノ過失ヲ逢ヘ、無理ナル理窟ヲコジ付ケテ、ソノ過ヲ遂ゲサセルヤウナルコトハ致サヌ、又之ヲヒツク

吾意フニ周公成王ヲ補佐スルノ道ニアラザルヲ言ヒソノ妄ナルヲ明ス、凡王者之徳云々ト云フ處、ソノ論大ニ高シ。

氣長ク愉快ナル中ト曰フガ如シ。
コノ達ハ、ムカヘト讀ムベシ、孟子ニ本ヅケナリ。
小丈夫缺々者、缺々ハ小智ノ貌。

或曰ク、唐叔ヲ封ズルハ史佚之ヲ成スト。

リ、之ニ鞭撻ヲ加エテ追使ヒ、牛馬ヲ扱フ如クサルベキデナイ、餘リニ急切ニ緊クヤルト、却テ敗レ如何トモスルコトガ出来ヌヤウニナル、且一家内ノ中デモ、父子ノ間、餘リニ急切ニヤルト自ラ克チ、ヨクスルコトガ出来ナイ、マシテ君臣ト名ノ付ク關係ノアルモノハ、猶更ノコトデアアル、周公ガ果シテカ、ル所置ニ出デタトスレバ、コレ殊ニ小丈夫コセシタルモノ、所爲デアツテ聖人ト呼バル、周公ノナスベキコトデナイ、故ニ説苑ノ説ハドコマデモ信用ガ出来ヌ。

此節、周公輔導ノ要ヲ言ヒ、説苑ノ説、大ニソノ旨ニ反スルヲ説明シ、益々ソノ妄ナルヲ説破シ餘蘊ナシ。

或曰封唐叔史佚成之。

或ノ曰ヘルニ、唐叔ヲ封ジタルハ、周公ノナシタルコトデナク、史官ノ佚ト云ヘルモノガ、之ヲナシタト。

コレ全篇ノ主意ナリ、一句コレ史記ノ語、コ、ニ於テ史記ノ所説ヲ擧テ、結語ヲナス、文章餘音アリト云フベシ。此等妙絶ノ處、他ノ作家、多ク見ザル所、一誦三嘆ノ味アリト謂フベシ。

與韓愈論史書

柳河東

正月二十一日、某頓首。十八丈退之侍者。前獲書言史事。

彌爾韓愈ニ與ヘ史ヲ論ズル書、
正月二十一日、某頓首、十

云。具與劉秀才書。及今乃見書藁。私心甚不喜。與退之往年言史事甚大謬。

此文ハ韓愈ガ國史編修ノ官ヲ拜命シ、人ハ皆韓愈ノ該博ヲ以テスルコトデアルカラ、果シテソノ手腕ヲ揮テアロート思ツタラ、更ニ書クコトヲナサヌ、ソコデ柳子厚ガ此書ヲ與ヘタノデアアル。

正月二十一日某ガ頓首シテ申ス、十八丈退之ノ侍者、前ニ手紙ヲ獲タル中ニ史官ノ名ナリ。ニ付テ言ハレシニ、コノコトハ已ニ劉秀才（劉軻ト曰ヘル人、秀才ハ科ノ名ナリ）ニ與ヘタル書中ニ委シク言フテ置キタレバ、付キ見ヨ。今更ニ之ヲ言ハストノ文面デアリタ、ソコデ今劉ニ與ヘラレタル書ノ草稿ヲ拜見シタルニ、我ノ考ト大ニ相異スルデ、私ノ内心、誠ニ不滿デアアル、退之ト前年ヨリ史官ノコトニ付テ言フ、退之ノ議論ハ、大ニ見當ガ違テ居ル。

コレ書牘ノ體、以上コレ總駁ニシ、以下ハ逐條駁撃ナリ。
若書中言退之不宜一日在館下。安有探宰相意以爲苟以史筆榮一韓退之耶。若果爾退之豈宜虛受宰相榮已而冒居館下近密地。食奉養役使掌故。利紙筆爲私書。取以供子弟費。古之志於道者。不宜若是。

八丈退之ノ侍者、前ニ書ヲ獲レ、史事ヲ言フ、云ク、劉秀才ニ與フル書ニ具スト、今書藁ヲ見ルニ及私心甚ク喜ビズ、退之ト往年史事ヲ云フ、甚大ニ謬レリ。

韓愈ハ尊稱ナリ、十八トハ韓愈ガ同族兄弟中ノ行列十八番目ニアタル故ニ十八ト云フ。

侍者トハ執事ト稱スルト同シク、直ニソノ人ヲ指サズ、尊敬ノ意ヲ表スルナリ。

書中ニ言フガ若キ、退之一日モ宜ク館下ニ在ル可ラズ、安シ宰相ノ意ヲ探ルニ、以テ苟モ史筆ヲ以テ一韓退之ヲ榮ストナスヲアランヤ、若シ果爾ラバ退之豈宜ク虚ク宰相ノ已チ

榮トスルヲ受ケ館下近密ノ地ニ冒居シ、奉養ヲ食シ、掌故ヲ、役使シ、紙筆ヲ利シ、私書ヲ作り、取リテ以テ子弟ノ費ニ供ス可ケンヤ古ノ道ニ志ス者ハ、宜ク是ノ如クナル可ラズ。

書中ノ語ニ付キ、ソノ不心得チ駁スルナリ。

冒居。ソノ職ヲ務メザル故ニ冒居ト云フナリ。

掌故。史官ノ職ハ古事ヲ掌ル、故ニ云フ、自分輩下ノ書記生ト見テヨカラシ古ノ志於道。古ノ賢者ニシテ、ソノ道ヲ行ハントスル者トノ意ナリ。

且退之以爲紀錄者。且退之ヲ以テ爲テ紀錄スル者ハ利禍ナリ、避テ肯テ就ズ、尤非ナリ、史名ヲ以テ褒貶ヲ爲ス、猶且恐懼敢テ爲ズ、殿退之ニ御史中

講義

果シテ書中ニ言ヘルガ如クンバ、退之ハ唯一日モ史官ノ役宅ノ下ニ居ルコトハ出來ス、ドウシテカ、宰相ノ意ヲ探リ尋ヌルニ、以テカリニモ、一ツノ史官ノ職ヲ以テ一ツノ韓退之ヲ榮譽トスルノミノ爲ニ授ケタリト云フコトガアルベキ筈ノアローヤ、モシ果シテソノデアルトスレバ、退之タルモノ、ナントシテカ、ソノ職分ヲ勉メズ、空シク宰相ノ自分ヲ榮トシタル厚意ヲ受ケ、役宅ノ近傍ナル便利ナル所ニソノ分ヲ冒シテ居リ、俸給ヲ食シ、書記生ヲ使役シ、公ノ紙筆ヲ私シ、敢テ歴史ヲ書クコトヲナサズ、自分ノ著述ノミヲナシ、ソレヲ利益ヲ取リ以テ自分ノ子弟ヲ養フノ費用ニ充ルト云フ様ナルコトヲシテナロ一ゾ、古人ヲ以テ自ラ任ジ、道ヲ行ハントスルモノ、所爲デナイ。

不宜一日在館下。史ヲ作ラザレバ館下ニ居ル可ラズ、コレ此篇ノ主意此處道ノ字ヲ出ス、コレ誅心ノ法、韓愈常ニ道ヲ以テ自ラ任ズ、故ニ子厚特ニ之ノ字ヲ掲出シ之ヲ責ム。

且退之以爲紀錄者有刑禍。避不肯就。尤非也。史以名爲褒貶。猶且恐懼不敢爲。設使退之爲御史中丞大夫。其褒貶成敗人愈益顯。其宜恐懼尤大也。則又將揚揚入臺府。美食安坐。行呼唱於朝廷而已耶。在御史猶爾。設使退之

爲宰相。生殺出入升黜天下士。其敵益衆。則又將揚揚入政事堂。美食安坐。行呼唱於內庭外衢而已耶。則何以異不爲史而榮其號利其祿者也。

シヤウ 大夫ヲシム、其人ヲ褒貶成敗スル愈益顯ナリ、其宜ク恐懼スベキ尤大ナリ、則又將揚々トシテ臺府ニ入り、美食安坐呼唱テ朝廷ニ行フノミカ、御史ニアリテ猶爾リ、設退之ニ宰相タラシム、天下ノ士ヲ生殺出入升黜スル、其敵益衆カラシム、則又將揚々トシテ政事堂ニ入り美食安坐、呼唱テ內庭外衢ニ行フノミカ、則何チ以テカ史ヲ爲ラズ其號ヲ榮トシ、其祿ヲ利スル者ニ異ナランヤ。

且退之ノ思ヘルニ、歴史ヲ書シ紀錄スル者、天刑人禍アリ、ソレガ畏ルベキデアルカラ、肯テ就サナイト、尤ヨクナイ議論デアアル、史官タルモノハ、唯表面ノ名ノミヲ以テ、人ヲ褒メタリ、貶シタリスルノミデアアル、ソレデサヘ猶且恐レ懼レテ敢テ爲サナイトナレバ、モシ退之ヲシテ御史中丞大夫ノ役タラシメタル時ニハ、ソレコソ今度ハ實際ニソノ人ヲ褒貶賞罰スルコトガ、愈益顯著デアアル、スレバ其恐懼スルコトガ、尤大ナルベキデアアルガ、厚顔キ退之ノコトヘ、則又將意氣揚々トシテ得意然ト構テ御史臺ノ府ニ入り、美味ヲ食シ、安心シテ坐シ、呼唱ヲ朝廷ニ行ヒ叱々々ノ聲テ前驅ヲナシ、出入スルノミデアアルガ、御史ニアリテ猶ソトデアルトスレバ、若シ退之ヲシテ一國ノ大宰相トナラシメタル場合ニハ、宰相ハ其權力モ非常ナル者デアルカラ、自分ノ見慮一杯テ天下ノ士ヲ生シタリ、殺シタリ、出シテ退ケ、入レテ用キタリ、升シタリ、黜ケタリスルニヨリ、ソノ敵タルモノモ最多キコトナルガ、則又將揚々トシテ政事堂ニ入り、美食安坐制止ヲ朝廷内ト朝廷外ノ廣キ衢ニ於テカケ單ニ出入スルノミデアアルカ、カ、ル調子デアルトスレバ、則ドウシテカ、國史ハ書ズ惟史官

ト云ヘル官號ヲ榮譽トシ、ソノ俸祿ノミヲ貪ルモノト異ナローヤ、更ニ異ラナイ。

又法 以上コレ人禍ノ説ヲ破ル。

又言不有人禍。則有天刑。若以罪夫前古之爲史者。然亦甚惑。凡居其位。思直其道。苟直。雖死不可回也。如回之。莫若亟去其位。

圖説又言フ、人禍有ラサレバ、則天刑アリト、以テ夫前古ノ史ヲ爲ル者ヲ罪スルガ、若キハ然モ亦甚惑ヘリト、凡 其位ニ居レバ、其道ヲ直クセンコトヲ思フ、道苟モ直ケレバ、死スト雖モ、回ク可ラサルナリ、如シ之ヲ回ケハ、亟ニ其位ヲ去ルニ若クハナシ。

圖説 曲ゲルナリ。

又言フ、人禍ノナキ時ハ、天刑アリトナシ、以テカノ前古昔時ヨリ史ヲ爲ルモノ、歴史家ヲ罪スルガ如キニ至テハ、シカモ亦甚シキ惑デアアル、凡ソ其ノ官位ニ居ルナレバ、其官職ノ爲ニ生命ヲ賭スルノ覺悟ガナケネバナラス、コレハ其道ヲ直クセンコトヲ思フニ由リテノコトデアアル、道サヘ直クアレバ、ソノ身死スト雖モ、之ヲ曲ゲ、不正ノコトヲナシテハナラス、モシ之ヲ曲グルトナレバ、ソノ官位ヲ早速ニ去ルベキデアアル。

又法 以下人天刑ノ説ヲ破ル、再ビ道ノ字ヲ提出ス眞ニ誅心ノ法ナリ。

孔子之困於魯衛陳宋蔡齊楚。其時暗。諸侯不能以也。其不遇而死。不以作春秋。故也。當其時。雖不作春秋。孔子

圖説孔子ノ魯衛陳宋蔡齊楚ニ困ム者ハ、其時暗ク、諸侯以フレ能ハザレバナリ、其不遇ニ死スル

春秋ヲ作ルヲ以テノ故ナラザルナリ、其時ニ當リ、春秋ヲ作ラズト雖モ、孔子猶不遇ニシテ死スルナリ、周公史佚ノ若キハ、言ヲ紀シ事ヲ書スト雖モ、猶遇且顯ナリ、又春秋ヲ以テ孔子ノ累トナスヲ得ズ。

●以ハ用ト同ジ。

猶不遇而死也。若周公史佚。雖紀言書事。猶遇且顯也。又不得以春秋爲孔子累。

孔子ノ魯衛陳宋蔡齊楚是等ノ國々ノ諸侯ニ遊説セラレタレド、何レノ諸侯モ孔子ノ言ヲ採用シナカッタト云フモノハ、ソノ當時ノ社界ガ暗愚デアツテ、諸侯ニ孔子ノ徳ノ偉大ナルヲ知ルモノナク、用キルヲ能ハザルニ由ルノデアル其不仕合ニシテ死ナレシハ、何モ魯ノ史記ニ因リ春秋ヲ作ラレタニ由ルト云フ譯テハナイ、ソノ時ニ當リ、タトヒ春秋ヲ作ラズト雖モ、孔子ハ猶不遇ニノ死ナル、ノデアル、周公史佚ノ如キハ、言論ヲ記シ、當時ノ出來事ヲ記述シタモ、何ノ天刑モナク、仕合モヨク、ソノ地位名望モナカク、ニ顯レテ居ル、スレバ春秋ヲ作ラレタルト云フヲ以テ孔子ノ徳ヲ累ハストナシ、コレガ爲天刑ヲ受ケタリトノ書中ノ論ハ、至當トハ申サレヌ。

韓愈ノ書中、孔子ヲ引キ、天刑ノ説ヲナスヲ以テ、ソノ妄ヲ辨ズルナリ。周公史佚ノ反證ヲ擧ゲタル所尤善シ。

范曄、惇亂ハ、惇亂史ヲ爲ラズト雖モ、其族亦誅セラレ、司馬遷天子ノ喜怒ニ觸ル、班固檢下セズ、崔浩其直ヲ沽リ以テ暴虐ト聞フ、皆

范曄惇亂。雖不爲史。其族亦誅。司馬遷觸天子喜怒。班固不檢下。崔浩沽其直。以鬪暴虐。皆非中道。左丘明以疾盲。出於不幸。子夏不爲史。亦盲。不可以是爲戒。其餘皆不出

此是退之宜守中道。不忘其直。無以他事自恐退之之恐。惟在不直不得中道。刑禍非所恐也。

中道ニ非ラズ、左丘明疾ヲ以テ盲ス、不幸ニ出ヅ其餘皆此ニ出テズ、是退之宜シク中道ヲ守リ、其直ヲ忘レズ、他事ヲ以テ自ラ恐ル、無カルベシ、退之ノ恐ル、惟直ナラザルト中道ヲ得ザルトニアリ、刑禍恐ル、所ニ非ラザル也。

後漢書ヲ爲リタル宋人范曄ハ、分限ニモトリ叛逆ヲ企テタ、故ニ此者ハ後漢書ヲ爲ラザルモ、ソノ一族ハ誅セラル、管デアアル、史記ヲ爲リタル漢ノ史馬遷ハ李陵ノ一書シタルトガ、天子ノ御怒ニ觸レ宮刑ヲ受クルトナツタ、漢書ヲ爲リタル班固ハ少モ檢束シ取締リ控目ニスルトセズ、洛陽ノ令ヲ侮辱シタルニ由リ、獄ニ投ゼラレ、魏史ヲ爲リタル崔浩ハ自分ノ正直ナル名ヲ沽ラント欲シ、一步モ假借スルコトナク、魏國ノ一書キシニ、魏ノ人ガ大ニ怒リ國惡ヲ暴揚スルトナシ、遂ニ之ヲ殺スノ不幸ヲ招イタガ、コレハ身カラ出タサビデ亂暴ナル夷狄ニ喧嘩構ヲ仕タ故デアアル、コレ等ハ皆中庸ノ道ニ外レ、何モ極端ナルコトヲシタカラデアアル、傳ヲ書キタル左丘明ハ病氣ノ爲ニ盲目トナリタノデソノ身ノ不仕合デアアル、孔子ノ弟子ノ子夏ハ歴史ヲ書ザルモ、ソノ子ノ病死ヲ歎キ遂ニ目ヲ泣潰シタ、此等ノ一ヲ以テ、天刑アリトスルノ鑒戒トナスコトハ出來ヌ、ソノ餘皆此類ニ外ナラス、ソレ故ニ退之タルモノ、宜ク中道ヲ守リ、正直ヲ心掛ケ、天刑人禍ノ如キヲ以テ自ラ恐ル、ヤウナコトハ斷ジテセヌガヨイ退之ノ恐ル、ノハ、惟正直ナラザルト、中庸ノ道ヲ得ナイトニ由ルノデアツテ天刑人禍ノ如キハ愚ニモツカヌコトデ、決シテ恐ルベキデナイ。

文法 以上一々書中ノ引例ヲ擧ゲ、之ヲ反駁ス、子夏ヲ以テ反證トセシ筆法前ト
同一ナリ。

凡言二百年文武士多。有誠如此者。今退之曰。我一人也。何能明。則同職者又所云。若是。後來繼今者。又所云。若是。人人皆曰。我一人。則卒誰能紀傳之耶。

講義 又書中ニ言ヘルニ、唐天下ヲ有セシヨリ二百餘年デアル、ソノ間文武ノ士ハ誠ニ多キヲデアアル、ソレデアアルカラ、我一人ノ力デ之ヲ紀シ傳フルト云フハ到底能ハヌトダト、然リソレハ御尤ナルお説デアアル、誠ニ是ノ如クデアアルガ左リナガラ、今退之ノ言ヘルニ、我一人ノ力デアアルカラ、何ゾ明ニスルコトガ出來ヤウカト、コンナ意氣地ノナイコトデアアルト、同職ノモノモ又同ジク退之同様なコトヲ曰ヒ、後來今日ニ繼キテ、史官ノ職ニ居ル者マデガ、退之同様ナコトヲ言ヒ、俗ニ云ヘル押シマスカラ押シマスト云フ有様ニナリ、人々ガソレヲ口實ニシテ、我一人ノ力デアアルハ能ハヌト云フヤウニナルト、則卒ニ誰ガ責任ヲ帶ビテ之ヲ紀傳スルモノゾ、責任者ノナイコトナル。

文法 已ニ天刑人禍ノ妄ヲ辨シ、更ニ韓、劉ニ與フルノ書ニ、唐天下ヲ有チ已ニ二百年文武ノ士ノ業我一人能紀傳センヤノ語アルニ本キ、之ヲ辯駁シタルナリ。

圖凡ソ言フ、二百年文武ノ士多シト、誠ニ此ノ如キ者アリ、今退之曰ク、我一人ナリ、何ゾ能明ニセン、則同職ノ者又云フ所是ノ如シ、後來今ニ繼モノ、又云フ所是ノ如シ、人々皆我一人ト曰ハ、則卒ニ誰カ能之ヲ紀傳センヤ。

圖退之ガ如キ、但聞知スル所ヲ以テ夜々トシテ敢テ忘ラズ、同職ノモノ、及後來今ニ繼モノ、亦各聞知スル所ヲ以テ、夜々トシテ敢テ忘ラズ、則庶幾クハ墜ズ卒ニ明ナル有ナシムルナリ。

圖然ラザレバ、徒二人ノ口語ヲ信シ、毎々辭ナ異ニシ、日ニ以テ滋久シケレバ則云フ所、磊々天地ニ軒ル者、未ダ必シモ沉没セズンバアラズ、且亂雜考フベキナシ、志アルモノ、忍テ志ニスル所ニアラザルナリ、果シテ志アル、豈當二人ノ督責迫蹙ヲ待テ然後ニ官守ヲ爲ス可ケンヤ。

如退之但以所聞知。孜孜不敢怠。同職者。及後來繼今者。亦各以所聞知。孜孜不敢怠。則幾庶不墜。使卒有明也。

講義 退之ガ如キ、但自分ノ聞知レル所ノモノヲ以テ、夜々ト勉メ、敢テ怠ルコトヲナサザルニ於テハ、ソレニ他ノ者モ勵サレ、同職ノモノヨリ後來今ニ繼テ史官トナル者迄ガ勉メテ敢テ怠ラナイヤウニナル、則庶幾クハ唐ノ歴史モ墜チタルト云フコトナク、卒ニ明了ニナルヤウニナルダロー。

文法 韓愈、一人紀傳スルノ難キヲ云フ、故ニ一人之ヲ勉ム、衆皆其責ニ任スルヲ説キ、決シテ難事ニ非ラザルヲ云フ。

不然。徒信人口語。每每異辭。日以滋久。則所云磊磊軒天地者。未必不沉没。且亂雜無可考。非有志者。所忍恣也。果有志。豈當待人督責迫蹙。然後爲官守耶。

講義 モシ、ソーデナクテ、一國ニ正確ナル歴史ト云フモノガナク、徒二人ノ口ヅカラノ物語ヲ信用シ、人毎ニソノ言辭ヲ異ニシ、ソレガ日一日ト日ニ久シクナル、ト則書中ニ云ヘル磊々トシテ天地ノ間ニモ軒ル如キ文武ノ士ノ大業モ、未ダ必ズ沈没テ譯ノ分ラナクナラヌト云フコトハナイ、一向ニ見認ルコトモ

出来ヌヤウニナリ、ソノウヘ散亂ゾンザイニナリテ、何ヲ信トスベキカヲ考フベキモノガナクナル、カ、ルヲハ志アル者ノ忍デ此儘ニ棄テ置クノ出来ヌヲデアル、果シテ志アリトスレバ、人ノ催促シ責立ルヲ待テ、ソノ官職ヲ盡スベキデナイ、催促ノナキ前ニナサネバナラス。

又法 傳聞口語ノ持ム可ラザルヲ云ヒ、有志ノ字ヲ以テ之ヲ激ス、有志ノ字ハ、上文道ノ字ニ根シ來ル。

又凡鬼神事、渺茫荒惑無可准。明者所不道。退之之智而猶懼如此。今學如退之之辭如退之。好言論如退之。慷慨自謂正直行行焉如退之。猶所云若是。則唐之史述其卒無可託乎。

釋 又凡鬼神ノ事、渺茫荒惑無可准。明者ノ所不道。退之ノ智而猶懼如此。今學如退之ノ辭如退之。好言論如退之。慷慨自謂正直行行焉如退之。猶所云若是。則唐ノ史述其卒ニ託スベキナキカ。

又法 又凡ソ鬼神ノコタル、バツトシテ、アテドモナク、惑ヒ易ク、何ヲ標準トシテ云フト云フ譯ニ行カヌカラ、道理ニ明カナル者ハ遠クテ語ラス所デアル、ソレニ今韓退之ノ明智ニシテ、天刑人禍アリトシテ、猶恐ル、コトガ、是ノ如クデアルトハ奇デアアル、今學問アルコト退之ガ如ク、文章ノ達者ナルコト退之ガ如ク、議論ヲ好ムコト退之ガ如ク、慷慨時事ヲ談ジ氣骨アリ自ラ正直ニノ剛強ナリト思ヘルコト退之ガ如ク、ソレニ猶天刑人禍ヲ云ヒ、一人能ク紀傳センヤ等ノコ

ヲ云フ、シテ見レバ則唐ノ歴史ヲ述ルコトハ到底駄目デアツテ、誰レニモ託シ任スベキモノガナイカ。

又法 筆ヲ天刑人禍ノ説ニ廻エシ、道理ヲ以テ之ヲ斷ジ、且ツ反復咏嘆シテコレヲ獎勵シ、之ヲ勸ム、其辭沈痛ナリ。

明天子賢宰相得史才如此。而又不果。甚可痛哉。退之宜更思。可爲速爲果。卒以爲恐懼不敢。則一日可引去。又何以云行且謀也。

釋 明天子、賢宰相、史才ヲ得ル此ノ如ク、而シテ又不果。甚痛ム可キカナ、退之宜ク更ニ思フベシ、爲ス可クハ速ニ爲セ、果シテ卒ニ以テ恐懼敢テセズト爲セバ則一日ニ引去ルベシ、又何ヲ以テ行且謀ト云ハシヤ。

又法 行且謀 書中、行且引去ルヲ謀ルノ語アリ、故ニ云フナリ。

又法 上ニ聰明ナル天子アリ、而シテ賢ナル宰相ガ之ヲ輔佐シ、歴史作家ノ才能アル退之ノ如キモノヲ得テ居ルニ、又作ルコトヲ果タサナイト云フコトハ、甚痛ミ惜ムベキコトデアアル、退之タルモノ、宜ク更ニ思慮スベキデアアル、爲スベクトナレバ、早速ニ之ヲ爲セヨ、果シテ卒ニ天刑人禍ヲ恐懼シ、敢テ史ヲ爲ラズトナレバ、一日モ早ク其ノ官宅ヲ引拂フテ去ルベシダ、行ハ引去ルトノ言ヲ口實ニシテ、アンペンダラリトソノ職ニ居ルベキデハナイ。

又法 一日可引去、コレ此文ノ主意、史ヲ爲ラサレバ、館下ニ在ル可ラズ、章首ト相照應ス。

今當爲而不爲。又誘館中他人及後生者。此大惑已。不勉。

釋 今當ニ爲スベクン爲サズ、又館中他人及後生ノ者

テ誘ハントス、此大惑ノミ、己チ勉メズシテ人チ勉メントス難カナ。

已。而欲勉人難矣哉。

今マサニ、爲スベキノ職ニ居リテ、ソノ職ヲ盡スヲ爲サズ、又史館中同僚ノ者、及後生ノ者共ヲ誘ヒ此等ノ者ノミニ骨折ラセントス、此ハ大ナル惑デア、己ノ身ヲ勉ルコトヲナサズ、他人ノミヲシテ勉メシメントス、ソレハ亦難イコトデアルカナ。

コレ又、韓ノ書中後生畏ルベシノ語アリ、故ニ後生ノ字ヲ出シ、コレヲ後生ニ委シ、自分其責ヲ免レントスルノ非ヲ説破セシナリ。

晉文公問守原議

柳河東

晉文公既受原於王。難其守。問寺人勃鞞。以卑趙衰。

晉ノ文公ハ五霸ノ一人デア、周室ヲ輔ケ功勞ノアリシヲ以テ、襄王ヨリ其功ニ報フル爲原ト云フ邑ヲ賜レタ、文公ハ原ノ守ヲ選ブニ非常ニ苦心シタ末、宦官ノ勃鞞ナル者ニ問ヒ、之ヲ趙衰ニ與ヘタ、談寺人ニ及ビタルヲ以テ文公ヲ責ム、當時唐ノ天下、己ニ寺人漸ク權ヲ弄セントスルノ兆アリ、故ニ寺人ノ害ヲ云ヒ、文公ヲ痛責セシハ、暗ニ當時ヲ諷セシナランカ。

晉ノ文公ガ、功ニ由リ、己ニ原ト云フ邑ヲ周ノ襄王ニ受ケ、ソノ守ヲ選ブニ困難シタ、種々詮議ノ末、宦官ナル勃鞞ニ問テ之ヲ人選シ、趙衰ヲ以テ守タルニ適當ナル人物トシ、遂ニ之ニ卑タ。

晉ノ文公、原ヲ守ルチ問フノ議。

趙衰ニ與フ、原ヲ守ルト云フコトハ、誠ニ政治ノ大ナルモノデア、ナゼナレバ、忝ナクモ、之ヲ天子ニ受ケ、覇者ノ功ヲ立テ、命令ヲ諸侯ニ致シ告ケル所以ノ者デア、カ、ル至大ノ事件デア、而ルニ晉ノ文公ハ、コノ大任ヲ擇ビ、其守ヲ選舉スルニ、大ニ朝廷ニ公然ト評議スルコトヲナサズ、内々ト宮中ニ於テ議ヲ定メ、博ク卿ナリ宰相ニ謀リテ其意見ヲ聽クト云フコトナク、而メ獨寺人ノ勃鞞ト相談シテ事ヲ取極メタ、大方ハ衰ハ賢才デア、ルカラ、國ノ政治ヲ守リ、失敗ヲナサ、ルノ手腕ヲ有スルニセヨ、己ニ寺人ヲシテ一國ノ政治ニ容喙セシメタルノ害毒ハ必ズ後世ニ及ビ將來宦官ガ我儘横領ヲナシ、賢臣ヲ害シ、政治ヲ失フノ端緒ハ是ヨリ滋スヤウニナリ、後世ヲ誤ルヤウナコトハ全ク茲ニ兆シテ居ル。

趙衰ニ與フ、原ヲ守ルト云フコトハ、誠ニ政治ノ大ナルモノデア、ナゼナレバ、忝ナクモ、之ヲ天子ニ受ケ、覇者ノ功ヲ立テ、命令ヲ諸侯ニ致シ告ケル所以ノ者デア、カ、ル至大ノ事件デア、而ルニ晉ノ文公ハ、コノ大任ヲ擇ビ、其守ヲ選舉スルニ、大ニ朝廷ニ公然ト評議スルコトヲナサズ、内々ト宮中ニ於テ議ヲ定メ、博ク卿ナリ宰相ニ謀リテ其意見ヲ聽クト云フコトナク、而メ獨寺人ノ勃鞞ト相談シテ事ヲ取極メタ、大方ハ衰ハ賢才デア、ルカラ、國ノ政治ヲ守リ、失敗ヲナサ、ルノ手腕ヲ有スルニセヨ、己ニ寺人ヲシテ一國ノ政治ニ容喙セシメタルノ害毒ハ必ズ後世ニ及ビ將來宦官ガ我儘横領ヲナシ、賢臣ヲ害シ、政治ヲ失フノ端緒ハ是ヨリ滋スヤウニナリ、後世ヲ誤ルヤウナコトハ全ク茲ニ兆シテ居ル。

文法 原ヲ守ルノ大任タルヲ曰ヒ、文公寺人ニ謀リタルノ非ヲ詰責シ、或ノ字ヲ以テ少ク之ヲ假借シ、又直ニ而モノ轉ヲ以テ之ヲ攻撃シ、後世ノ人君ヲ誤ル者ハ文公ナリノ一段ヲ迫リ出スナリ。

况當其時不_レ乏_レ謀議之臣乎。狐偃爲_レ謀臣。先軫將_レ中軍。晉君疏而不_レ容。外而不_レ求。乃卒定於內豎。其可以爲_レ法乎。

國勢況ヤ其時ニ當リ、謀議ノ臣ニ乏シカラザルナリヤ、狐偃謀臣タリ先軫中軍ニ將タリ、晉君疏シテ容ハズ、外ニ求メズ、乃卒ニ内豎ニ定ム、其レ以テ法ト爲ス可ケンヤ。

内豎 トハ宦官チ云フナリ。

且晉君將_レ齊桓ノ業ヲ翼ギ以テ天子ヲ翼ケントスル、乃大志ナリ、然リ而シテ齊桓管仲ニ任シ以テ翼リ豎ヲ進メ以テ敗ル、則

文法 謀臣ヲ疎外シ、内豎ニ接近セシノ非ヲ說破シ、後世ノ訓トナス可ラザルヲ云フ、尤痛快ナリ。

且晉君將_レ襲齊桓之業。以_レ翼_レ天子。乃大志也。然而齊桓任_レ管仲以_レ興。進豎刁以_レ敗。則獲_レ原啓疆。適其始政。所以觀_レ視諸侯也。而乃背_レ其所以興_レ跡。其所以敗_レ然而能_レ霸_レ諸侯者。

以_レ土則大_レ以_レ力則彊。以_レ義則天子之冊也。烏能_レ得_レ其心服哉。

原ヲ獲テ彊チテ啓ク、適ニ其ノ始政諸侯ニ觀視スル所以ナリ、而シテ其與ル所以ニ背キ、其敗ル、所以ニ以テ、然リ而シテ諸侯ニ霸タル者ハ、土ヲ以テスレバ則大、力ヲ以テスレバ則彊義ヲ以テスレバ則天子ノ冊ナリ、烏シテ能ク其心服ヲ得ンヤ。

講義 ソノ上、晉君ハ將來ニ於テ、齊桓公ノ業ヲ襲ギ、以テ天子ヲ佐ケ、周室ヲ輔佐セントスルノ大志ヲ有シテ居ル、然リソシテ、齊ノ桓公ハ、管仲ヲ任用シテ興リ其國ヲ盛ニシ、豎刁ト云フ小人ヲ任用シテ失敗ヲ取リタルコトデアル、コレガ誠ニ善キ手本デアルニ、則原ノ邑ヲ襄王ヨリ受ケタニ付テハ、ソノ疆界ヲ啓キ版圖モ大ニナリタレバ適ニソノ始テノ政治ニシテ諸侯ニ其手際手腕ヲ觀シ視セル所以デアツテ、ソノ最初ノ遺方一ツデ、大ニ晉公ノ勢力ノ消長ニ關係スルノデアル、而ルニソノ遺方非常ニマヅク。桓公ノ起ル所以ニ負ムキテ狐偃先軫ヲ疎外シ、其ノ敗ル、所以ノ跡ヲ踏ミ、寺人ニ謀ルコトヲナセリ、然リソシテアルニモ拘ハラズ、能諸侯ニ覇トシ、勢力ノアリタハ何故ナルカト言フト、土地ノ上カラ言フト廣大ナル土地ヲ有シ、兵力ヲ以テスレバ、則十分強ク、大義名分ノ上ヨリ言ヘバ、天子ヨリ冊命サレタル諸侯デアル、此三者ガ具備シテ居ルカラ、當時ノ侯伯共ガ、一時ニ之ヲ畏レテ居タノデ、決シテ心服シテ居タト言ヘス。

文法 且ノ字一步ヲ進メ、文公敗亡ノ覆轍ヲ踏ムヲ云ヒ、容易ニ爾クナラザルハ畢竟一時ノ勢力ヲ恃ムモノナルヲ云ヒ、決シテ心服ヲ得ズ、一時之ヲ畏服スル

ナリトテ晋君内豎ニ定メタルノ非ヲ斷ズ。

其後景監得以相衛鞅弘石得以殺望之。誤之者晉文公也。

其後景監、以衛鞅相トスルヲ得、弘石以テ望之ヲ殺スヲ得、之ヲ誤ルモノハ晋ノ文公ナリ。

備ハ惡シキ仕來ト言フガ如シ。

其後ニ秦ノ孝公ノ時、宦官ノ景監ガ衛ノ公子商鞅ヲ宰相トスルヲ得ルヤウニナリ、漢ノ宣帝ノ時、弘恭石顯ト云フ二人ノ宦官ガ、當時ノ賢者肅望之ヲ殺シ、漢室ヲ亂ダスヤウナリヲ引起シタガ、サテ後世宦官横領ノ備ヲ作リタルモノハ晋文公ガ勃鞞ヲ信任シタルニ由ルナレバ、後世ノ人君ヲ誤リタルモノハ晋ノ文公デアアル。

コレ乃上文ノ賢ヲ賊ヒ、政ヲ害スルノ實際ナリ、誤之者ノ一句、痛絶銳利、筆法當ル可ラズ。

嗚呼得賢臣以守大邑。則問雖失。問舉非失。舉也。然猶羞。當時陷後代如此。況問與舉又兩失之者。其何以救之哉。余故著晉君之罪。以附春秋許世子止。晉趙盾之義。

嗚呼賢臣ヲ得テ以テ大邑ヲ守ル、則問、問ヲ失フト雖モ、舉々ヲ失フニ非ラザルナリ、然レドモ猶當時ヲ羞シメ、後代ヲ陷ル此ノ如シ、況ヤ問ト舉ト又之ヲ兩失スル者チヤ、其レ何チ以テ之ヲ救ハンヤ、余故ニ晋君ノ罪チ著ハシ、春秋許

サテモノ賢臣ヲ得テ以テ大邑ヲ守ルト云フハ、誠ニ重大ナルデアアルハ、晋君ノ一事ニテモ知ラル、ガ、晋君ノ如キ畢竟ソノ問フベキ人ヲ誤ツタノデ、趙衰ハ賢者デアアルカラ、決シテ擧グベキ人ヲ見損ツタト云フデハナイガ、

ノ世子止、晋趙盾ノ義ニ附ス。

許ノ世子止、晋ノ趙盾ノ下、下文春秋論ノ所ニ於テ之ヲ解クヘシ。

然レドモ、猶當時ヲ羞カシメ、不仕末ヲ演ジ累ヲ後代ニマデ及ボシ、政ヲ害シ、賢ヲ賊シタルト是ノ如シ、マシテ問ト舉ト兩ツナガラ之ヲ失シ、小人ニ問ヒ、小人ヲ任用スルモノ、如キ、殆之ヲ救済スベキノ道ガナイ、我故ニ孔子ノ春秋ノ筆意ニ倣、孔子ガ許ノ世子ノ止ト晋ノ趙盾トノヲ書イテムル義ニ由リ、茲ニ之ヲ記シ、晋ノ文公ヲ罪スルナリ。

差當時、晋文ヲ收メ、陷後代、景監及弘恭ヲ收ム、問舉兩失、諷意亦此處ニ存ス。

朋黨論

歐陽廬陵

朋黨論

歐陽公ハ宋人、名ハ脩、字ハ永叔、一六居士ト稱セリ、廬陵ノ人、梅堯臣ト莫逆ノ友タリ、唐書及五代史ヲ著作ス、宋ノ名臣ニノ諡シテ文忠ト云フ、サテ此論ハ何故ニ書キタルカト言フト、仁宗ノ慶歷三年諫院ニ出仕スルトナリタガ時ノ天子銳意治ヲ謀ラレ、杜衍、富弼、韓琦、范中淹等ヲ擧用シ、歐陽公ヲ始メ余靖、王素等ノ名士、諫官トナリ、大平期スベキノ風アリタルガ、一方小人ノ方デハ、陳執中、章得象、王拱辰等ノ黨ガ大ニ之ヲ害トシ、此等名士ヲ目スルニ黨人ト曰フヲ以テシ、陷隣セントセシニヨリ、陽公此論ヲ上リ仁宗ヲ感悟セシメ、君子黨ノ勝利トナリタ。

臣聞朋黨之說自古有之。惟幸人君辨君子小人而已。大

文章軌範講義

朋黨論ノ說、古ヨリ之レ有リ、惟人君ノ君子

凡君子與君子以同道爲朋。小人與小人以同利爲朋。此自然之理也。

小人ト辨ズルヲ幸トスルノミ、大凡君子ト君子トハ、道ヲ同クスルヲ以テ朋ト爲ス、小人ト小人トハ利ヲ同クスルヲ以テ朋ト爲ス此自然ノ理ナリ。

臣ガ聞キマスルニ、互ニ朋ヲナシ黨ヲナシテ相與スルト云フコトハ、今ニ始メヌコトデ、ズント古來ヨリアルコトデアリマスルガ、惟人君ガ君子ノ朋ト小人ノ朋トヲ辨別シテ下サルヲ幸福トスルノデアル、其故如何ト申セバ、スベテ君子ト君子トハ、道乃其本領ヲ同クスルヲ以テ朋ヲナシ、小人ト小人トハ、互ニ其利益ヲ同クスルヲ以テ朋ヲナス、コレハ自然ノ勢デ、固ヨリソニアリソナ等ノモノデアアル。

仁宗へ上ル論ナルユへ、臣聞ノ字ヲ以テ起ス、幸辨君子與小人而已、コレ此文章ノ主腦、君子ト小人トノ兩柱ヲ立テ、以下分應、之ヲ説ク頗ル韓愈雙關ノ體アリ。

然臣謂小人無朋。惟君子則有之。其故何哉。小人所好者利祿也。所貪者貨財也。當其同利之時。暫相黨引以爲朋者。僞也。及其見利則爭先。或利盡則交疎。甚者反相賊害。雖其兄弟親戚不能相保。故臣謂小人無朋。其暫爲朋者

顯然レドモ、臣謂フ小人朋ナシ、惟君子ハ則之レ有リ、其故何ゾヤ、小人好ム所ノ者ハ利祿ナリ、貪ル所ノ者ハ貨財ナリ、其利チ同スルノ時ニ當リ、暫ク相黨引ス、以テ朋チナス者ハ僞ナリ、其利チ見ルニ及ビ

僞也。

則先チ争フ、或ハ利盡クレバ則交疎、甚シキ者ハ反テ相賊害ス、其兄弟親戚ト雖モ、相保ツ能ハズ、故ニ臣謂フ、小人朋ナシ、其暫ク朋チナス者ハ僞ナリ。

ソ一デアアルケレドモ、臣ガ謂フニ、小人ハ決シテ朋ヲナサナイ、惟君子ハ則朋ヲナスモノナリト、ソノ故ハ如何デアアルカト云フニ、小人ノ好ム所ノモノハ、利益ト、秩祿トノ二者ニ外ナラズ、貪リ取ラントスルモノハ、金錢財寶ノミデアアル、故ニ此等ノ利益問題ニ付テ、ソノ分配ニ與ルコトノ出來ル場合ニハ暫時互ニ手ヲ引合テ黨スルコトラスルガ、コレハ皆一時ノ僞黨デアアル、ソノ利益ノ在ル所ニ於テハ、後レテハナラジト、先テ争テ黨スルガ、イザ利益ノ盡タル場合ニ於テハ、忽ソノ交情モ疎遠トナルノミナラズ、ヒドイコトニハ、反テ相互ニ賊ヒ害スルト云フ有様デ、ソノ兄弟親戚デアローガ、更ニ用捨ナク、相互ニ保ツコトガ出來ズ、撲合ヤラ、及物三昧デモ仕兼ルト云フ次第デアアル、臣ガソレ故ニ思フニ小人ハ朋ナシ、ソレ暫時之ヲナスハ僞黨デアアルト。

此節、小人ノ一柱ヲ受ケ、小人朋ナキヲ説ク、小人朋ナキノ一句、前人未ダ發セザルノ語、奇文ト云フベシ。

君子則不然。所守者道義。所行者忠信。所惜者名節。以之修身。則同道而相益。以之事國。則同心而共濟。終始如一。此君子之朋也。故爲人君者。但當退小人之僞朋。用君子

顯顯君子ハ則然ラズ、守ル所ノ者ハ道義、行フ所ノ者ハ忠信、惜ム所ノ者ハ名節、之ヲ以テ身ヲ修ムルトキハ則道ヲ同クシテ相益シ、之

ナ以テ國ニ事フルトキハ、則心ヲ同クシ共ニ濟ス、終始一ノ如シ、此君子ノ朋ナリ、故ニ人君タルモノ但當ニ小人ノ僞朋ヲ退ケ君子ノ眞朋ヲ用フベシ、則天下治ル矣。

之眞朋則天下治矣。

君子ハ、ソレデナイ、平生操リ守ル所ノモノハ、道德義理デアル、終始行フ所ノモノハ、忠實信義デアル、常ニ惜ム所ノモノハ、名譽ト節操デアル、道義忠信名節ノ三者ヲ以テ、ソノ一身ヲ修ル場合ニハ、道ヲ同クシ、互ニ相益スルコトヲナシ、此三者ヲ以テ、一國ニ事ル時ニハ、同心一致ノ行動ヲ取り、共ニ功ヲ濟ス、終始一貫シテ、ソノ主義主張ヲ易フルコトヲナサナイ、此ガ君子ノ朋デアル、故ニ人君タル者ハ、ヨク之ヲ鑑別シ、但當ニ小人ノ僞朋ヲ退ケ、君子ノ眞朋ヲ用フベキデアル、ソレナレバ、天下治平ナリ。

此節、君子有之ノ一柱ヲ受ケ、君子ノ眞朋ヲ説明シ、重ヲ人君ノ鑑別ニ歸シ、上文ノ「幸人君辨君與小人」ノ意ヲ説ク。

堯之時小人共工驩兜等四人爲一朋。君子八元八凱十六人爲一朋。舜佐堯。退四凶。小人之朋。而進元凱。君子之朋。堯之時天下大治。

堯ノ時小人共工驩兜等四人一朋トナリ、君子八元八凱十六人一朋トナル、舜堯ヲ佐ケ、四凶小人ノ朋ヲ退ケ、而シテ元凱君子ノ朋ヲ進ム堯ノ時、天下大ニ治ル。

堯ノ時ニ於テ、小人黨タル、共工驩兜等四人ノ者ガ一朋トナリ、一方ニハ君子黨タル、八元八凱十六人ノ賢才ガ一朋ヲナシタ、舜ハ聰明ナル聖人故ニ、ヨク君子小人ノ辨別ヲナシ、四凶小人ノ朋ヲ退ケ、元凱君子ノ眞朋ヲ採用シタ

故ニ堯ノ時、天下大ニ治リタ。此節、舜ヨク君子小人ヲ辨別スルヲ説ク。

舜自爲天子而皐夔稷契廿二人並列于朝更相稱美。更相推讓。凡二十二人爲一朋。而舜皆用之。天下亦大治。

舜ガ堯ノ禪ヲ受ケ、天子ト爲ルニ及ビ、皐陶、夔、稷、契、等二十二人ノモノガ、並ニ朝廷ニ列シ、更ニ互ニ相稱揚シテ、各其善ヲ進メ、更ニ互ニ相推シ讓リ功ヲ争フ等ノコトナク、凡二十二人ノ者ガ、一朋トナリ、ソレシテ舜ガ皆之ヲ用キタ、天下亦大ニ治リタ。

此節、前ニ同ジ。

書曰紂有臣億萬。惟億萬心。周有臣三千。惟一心。紂之時億萬人各異心。可謂不爲朋矣。然紂以此亡國。周武王之臣三千人。爲一大朋。而周用以興。

書曰、紂有臣億萬、惟億萬心、周有臣三千、惟一心ト、紂ノ時、億萬人各心ヲ異ニス、朋ヲナサズト謂フベシ矣、然レドモ、紂此ヲ以テ國ヲ亡ス、周武王ノ臣三千人、一大朋トナリ、周用井テ以テ興ル

書經ニ曰ヘルニ、殷ノ紂王ハ臣アルコト億萬ト云フ大多數デアルガ、惟億萬ノモノガ、ワレノニナリテ一致セズ、皆億萬心デアル、周ノ武王ニハ、臣アルコト僅ニ三千ノ小數ナレドモ、三千ノモノガ、ヨク一致シテ、コレ一心デアル

後漢ノ獻帝ノ時、盡ク

天下ノ名士ヲ收メ、之ヲ四
禁シ、目ノ黨人ト爲ス、黃
巾ノ賊起ルニ及ビ、漢室大
ニ亂ル、後方ニ悔悟ス、盡
ク黨人ヲ解キ而シニ之ヲ釋
ス、然レドモ已ニ救フナシ
矣。

○天下ノ名士 李膺、陳
蕃等ヲ收禁シ、ソノ終身ヲ
禁錮セリ、之ヲ東漢黨錮ノ
禍ト云フ。

○黃巾ノ賊 張角ト云
ヘルモノ、妖術ヲ以テ民
ヲ惑ハシ、頭ニ黃巾ヲ戴キ
所在ニ起レ。

○唐ノ晚年 漸ク朋黨ノ
論ヲ起ス、昭宗ノ時ニ及ビ
盡ク朝ノ名士ヲ殺シ、或ハ
之ヲ黃河ニ投ジテ曰ク、此

ト、サテ紂ノ時、億萬人ノモノガ、各皆其心ヲ異ニシ、一致ヲ欠居ルトスレバ
朋ヲ爲シテ居ナイト謂ツベシダガ、然レドモ、紂ハ人心ノ一致セヌ爲ニ其國ヲ
亡シタ、周ノ武王ノ臣ハ三千人、コノ三千人ノ者ガ、一大朋トナリ、周ハ此ノ
一大朋ヲ用キタニヨリ、以テ王業ヲ興シタコトデアル。

○此節、書經ヲ引用シ、紂ト周トノ兩柱ヲ設ケ、用捨興亡ノ由ル所ヲ説ク。
後漢獻帝時、盡收天下名士囚禁之。目爲黨人。及黃巾賊
起。漢室大亂。後方悔悟。盡解黨人而釋之。然已無救矣。

○後漢ノ獻帝ノ時ニ、盡ク天下ノ名譽アル士ヲ收捕シ、之ヲ禁錮シ、目シ名
ケ黨人トナシタガ、黃巾ト稱スル賊徒ノ起ルニ及ビ、漢ノ皇室ハ大ニ亂レタ、
後ニ之ヲ悔悟シ、前ニ收捕シタル所ノ黨人ヲ盡ク之ヲ解放シ、之ヲ釋シタケレ
ドモ、天下已ニ大亂ノ後デアレバ、之ヲ如何トモスルコトガ出來ナカッタ。

○此節、君子ノ朋ヲ辨別スル能ハズ、天下大亂トナリシヲ云フ。
唐之晚年。漸起朋黨之論。及昭宗時。盡殺朝之名士。或投
之黃河。曰。此輩清流。可投濁流。而唐遂亡矣。

○サテ唐ノ晚年即唐室ガ將ニ衰ヘントセシトキ、漸ク朋黨ノ論ヲ起シタ、昭
宗ト云フ天子ノ時ニ及ビ、小人共ガ横領シ、亂暴ニモ、盡ク朝廷ノ名士、君子

ノ人共ヲ殺シ、或ハ之ヲ黃河ノ濁流ニ投ゲ込デ言フニ、此輩ハ清流ノ君子デア
ルカラ、濁流ニ投込ムベシト、簡様ナル亂暴ヲナシタルニヨリ、アハレ唐ノ天
下ハ遂ニ亡ビタ。

○此節、上ト同ジ。

夫前世之主。能使入異心。不爲朋莫如紂。能禁絕善人之
朋。莫如漢獻帝。能誅戮清流之朋。莫如唐昭宗之世。然皆
亂亡其國。更相稱美。推讓而不自疑。莫如舜之二十二人。
舜亦不疑。而皆用之。然而後世不謂舜爲二十二人朋黨
所欺。而稱舜爲聰明之聖者。以其能辨君子與小人也。

○サテ前世ノ人君ニシテ、能人々ニ其心ヲ異ニシ、朋ヲナサシメザルヤウニ
ナシタルモノハ、殷ノ紂王ニ如ク者ハナイ、ヨク善人ノ朋ヲ禁ジ絶ヤスヤウニ
シタル者ハ、漢ノ獻帝ニ如クモノハナイ、ヨク清流君子ノ朋ヲ誅殺シタルモノ
ハ唐ノ昭宗ニ如クモノハナイ、然レドモ皆其國ヲ亂シ亡シタ、更ニ相稱美推讓
シテ自カラ疑フコトヲシナカッタモノハ舜ノ二十二人ニ如クモノハナイ、舜ニ於
テモ聰明ナル聖人ナル丈ニ、皆疑フコトヲナサズ、コノ二十二人ノモノヲ用キタ
ガ、ソレニ後世ノモノガ、舜ヲ誚メテ舜ガ二十二人朋黨ノ爲ニ欺カレタトハシ

輩清流濁流ニ投ズベシト
而唐遂ニ亡ア矣。

○唐ノ昭宗ノ時、李膺、陳
蕃等ヲ收禁シ、ソノ終身ヲ
禁錮セリ、之ヲ東漢黨錮ノ
禍ト云フ。

○黃巾ノ賊 張角ト云
ヘルモノ、妖術ヲ以テ民
ヲ惑ハシ、頭ニ黃巾ヲ戴キ
所在ニ起レ。

○唐ノ晚年 漸ク朋黨ノ
論ヲ起ス、昭宗ノ時ニ及ビ
盡ク朝ノ名士ヲ殺シ、或ハ
之ヲ黃河ニ投ジテ曰ク、此

○天下ノ名士 李膺、陳
蕃等ヲ收禁シ、ソノ終身ヲ
禁錮セリ、之ヲ東漢黨錮ノ
禍ト云フ。

○黃巾ノ賊 張角ト云
ヘルモノ、妖術ヲ以テ民
ヲ惑ハシ、頭ニ黃巾ヲ戴キ
所在ニ起レ。

國語 責ムルナリ。

國語周武ノ世、其國ノ臣三千人ヲ擧ゲ、共ニ一朋ト爲ス、古ヨリ朋ヲ爲スノ多ク且大ナル、周ニ如クハナシ然レドモ、周此ニ由リテ興ルモノハ、善人多シト雖モ而モ厭ハザルナリ、嗟呼ソレ治亂興亡ノ跡、人君タルモノ以テ鑒ム可シ矣。

點眼 トハ眼目ヲ入ルトナリ。

● 縱囚論

國語信義ハ君子ニ行ハレ、而シテ刑戮ハ小人ニ加フ、刑死ニ入ル者ハ、乃罪大ニ惡

極ル、此又小人ノ尤甚シキ者ナリ、寧義ヲ以テ死スルモ、苟モ幸生ゼズ、而シテ死ヲ視ルヲ歸ルガ如シ、此又君子ノ尤難キ者ナリ。

國語不荷幸生 コレハ戰國策ニ朝ニ幸位ナク、民ニ幸生ナシトアルニ由リ、幸生セズト讀ムガヨシ、生ヲ幸ハズト讀ムハ不可ナリ。

ナイデ、舜ヲ稱賛シテ、聰明ノ聖人ナリトシタルモノハ、舜ガヨク君子ト小人トノ辨別ヲナシ小人ノ僞朋ヲ退ケ、君子ノ眞朋ヲ採用シタカラデアアル。
【又法】 此節、一々上文ヲ收束スルナリ、「以辨君子與小人也」ノ一句呼應コレ此文ノ主意ナリ。

周武之世。擧其國之臣三千人。共爲一朋。自古爲朋之多。且大。莫如周。然周由此而興者。善人雖多而不厭也。嗟呼。夫治亂興亡之跡。爲人君者。可以鑒矣。

【國語】 周武王ノ世ニハ、其國ノ臣三千人ヲ引擧ゲ共ニ一ノ朋ヲナシタ、古昔ヨリ朋ヲナスノ多クシテ且大ナルヲハ、周ニ如クモノハナイ、然レドモ、周ガ此ノ朋ニ由リテ、ソノ國ヲ興シ盛ニシタルモノハ、如何ニ善人ガ多シトモ、厭フコトヲナサズ、コレヲ用キシニ由ルノデアアル、ア、サテモ、カノ治亂興亡ノ由ル所ノ跡ハ以上ノ如ク歷々ト明デアアルカラ、人君タルモノ以テ宜シク茲ニ鑒ムベキコトデアアル。

【又法】 此節、上文周武ノ一節ヲ收ム、治亂興亡ノ四字、コレ點眼。

縱囚論

歐陽廬陵

信義行於君子。而刑戮加於小人。刑入於死者。乃罪大惡極。此又小人之尤甚者也。寧以義死。不荷幸生。而視死如歸。此又君子之尤難者也。

【國語】 縱囚トハ讀デ字ノ如ク、囚人ヲ縱チ、赦免スルナリ、コレハ唐ノ太宗ノ貞觀六年ニ、太宗ガ自ラ死罪ニ行フベキ罪人ヲ調ベラレシニ、三百九十人ト云フ多人數デアツタ、ソコデ太宗ハコレヲ憐ミ、一旦放ツテ家ニ歸ラシメ、明年ノ九月ニナリタレバ、盡ク來リテソレノ處刑ヲ受クベキコトヲ堅ク約束シタルニ囚人共ハドウ考ヘタカ、九月ノ期限ニナルト、一人モ殘ラズ歸リテ來テ刑ニ就カントシタニ由リ、太宗モソノ心根ヲ殊勝ナリトシテ、之ヲ放免シタ、コレヲ以テ論者ガ、此事件ヲ以テ、太宗盛德ノコトナセドモ、ソレノ非常ニ間違テ居ル議論デアルト云フテ、太宗ノ所置ハ人君ノナスベキニ非ラザルヲ辯ゼリ、實ニ一讀快ヲ呼ブノ篇ナリ。

【國語】 信義ヲ守ルト云フコトハ、君子ノ間ニ行ハル、コトデ、刑罰誅戮ナルモノハ小人ノ惡人ニ加ハルモノデアアルガ、刑罰ノ中デモ、死罪ニマデ行ハルト云フ者ハ其罪モ大ニシ、惡事モ此上ナイ惡事ヲ働イタモノデアツテ、惡人ノ仲間デモ非常ナ大惡黨デアアル、寧義ノ爲ニ一命ヲ棄ツルモ、カリソメニモ、幸ニシテ生ルト云フコトヲセズ、義ノ爲ニハ、死スルヲ覺悟スルコト我家ニ歸ルガ如クスルト云フコトハ、此ハ又君子デモ尤難事トスル所ノモノデアアル。

文法 君子小人ヲ以テ提起シ、下文四人信義ヲ知ルナキヲ辨ズルノ地ヲナス。方唐太宗之六年。錄大辟囚三百餘人。縱使還家。約以自歸。以就死。是以君子之難能。責其小人之尤者。以必能也。其囚及期。而卒自歸。無後者。是君子之所難。而小人之所易也。豈近於人情哉。

唐太宗ノ六年ニ方リ、大辟囚三百餘人、錄シ、縱テ家ニ還ラシム、約スルニ自歸シ以テ死ニ就クヲ以テス、是レ君子ノ難シ難キヲ以テ、其小人ノ尤ナル者ニ責ムルニ必ズ能スルヲ以テスルナリ、其囚期ニ及ビ卒ニ自歸シ、後ル、モノナシ、是レ君子ノ難シトス所ニシテ、小人ノ易トスル所ナリ、豈ニ人情ニ近カラん哉

講義 唐ノ太宗ノ貞觀六年ニ方リ、大辟囚(死罪ニ行フベキ囚人ナリ)三百餘人ノ者ヲ記録シ、シラベテ、一旦縱放免シテ、ソノ家ニ歸ラシ約束ヲスルニ、明年ノ九月ニ及ビ、自ラ再ビ歸リテ死罪ニ就クベキヲ以テシタ、コレハ、君子ノ能シ難シトスル所ヲ以テ、ソノ惡人ノ尤ナル惡人ニ必ズ能スベキヲ以テシタト云フモノデ、ソノ囚人ガ期限ニ及ビ、卒ニ盡ク歸リ來リ一人ノ後レタルモノガナカツタトノナルガ、コレコソ、君子ノ難シトスル所デアツテ、小人ノ易シトスル所デアアル、コレハ人情ニ近キ所業トハ言ヘナイ。

文法 上節君子小人ヲ受ケテ對説ス、情ノ字ヲ出シ之ヲ斷ズ、此情字、コレ此文章中ノ命根。

或曰、罪大ニ惡極ル誠ニ小人ナリ矣、恩德ヲ施シテ君子ト爲サシムベシ、蓋恩德人ニ入ルノ深ク、而人ヲ移スノ速ナル、是ノ如キ者アリ矣、曰ク、太宗ノ此ヲ爲ス、此名ヲ、求ル所以ナリ。

或曰、罪大ニ惡極ル誠ニ小人ナリ矣、及施恩德以臨之、可使變而爲君子。蓋恩德入人之深、而移人之速、有如是者矣。曰、太宗之爲此、所以求此名也。

講義 或ノ曰ヘルニ、罪ハ大ニ、惡極ルモノハ、誠ニ大惡人ニ相違ナイガ、而シテ恩德ヲ施シテ、之ニ臨メバ、如何ニ惡人トハ云ヘ、ソノ恩德ニ感ジ、變ジテ君子トナサシムルコトガ出來ル、サテコレハ、恩德ガ人ニ入り、人ヲ感ゼシメ、人ノ性行ヲ移シ易フルコトノ出來得ル、コノ太宗ノ所爲ノ如キモノガアルト、コレハ取ルニ足ラヌ俗論デ、太宗ガカ、ルコトヲナシタルハ、是ノ如キノ一時ノ虛名ヲ博取セントシテナシタル業デアアル。

文法 俗論ヲ擧ゲ、之ヲ駁ス、名ノ字コレ太宗ノ罪狀、ヨク此字ニ注意スベシ。然安知夫縱之去也、不意其必來以冀免所以縱之乎。又安知夫被縱而去也、不意其自歸而必獲免所以復來乎。夫意其必來而縱之、是上賊下之情也。意其必免而復來、是下賊上之心也。吾見上下交相賊以成此名也。烏有所謂施恩德與夫知信義者哉。

圖雖然レドモ、安ソ夫ノ之ヲ縱ツテ去ラシムルヤ、其ノ必ズ來リ以テ免ル、ナカド、フナ意ヒ、之ヲ縱ツ所以ナラザルヲ知ランヤ、又圖ソ夫縱タレテ去ルヤ、ソノ自歸シ必ズ免ル、ナカド、フナ意ヒ、復來ル所以ナラザルヲ知ランヤ、夫其ノ必ズ來ルヲ意ヒ、而メ之ヲ縱ツ、

ソノダケレド、ドウシテカ、夫太宗ガ囚人ヲ縱ツテ去ラシメタルヤ、囚人

是レ上。下ノ情ヲ賊フナリ、其必ズ免ル、ナ思ヒ而シテ復タ來タル、是レ下、上ノ心ヲ賊フナリ、吾上下交々相賊ヒ以テ此名ヲ成スチ見ルナリ、烏ソ所謂恩德ヲ施スト、夫信義ヲ知ル者アラシヤ。

爾然ラザレバ、太宗德ヲ天下ニ施スト茲ニ六年小人ニ極惡大罪ヲ爲サマラシムル能ハズ、而シテ一日ノ恩、ヨク死ヲ視ルヲ歸ルガ如ク而シテ信義ヲ存セシムト、此又不通ノ論ナリ。

ガ必ズ來リ、命乞フスルヲ思ヒ、之ヲ縱シタル所以デナイト云フヲ知ラウヤソノデアアルカモ知レヌ、又囚人ニ於テモ、夫縱タレテ去ルヤ、其ノ自ラ歸リテ來レバ、ソノ必ズ赦免ノ沙汰ガアルデアロト意ヒ、復ビ歸來セシモノデアアルカモ知レヌ、ソレ其必ズ來ルヲ思ヒ、而シテ之ヲ縱ツタトシテ見レバ、コレ上太宗ガ下囚人ノ情ヲ賊フト云フモノデアアル、又囚人ニ於テモ、ソノ必ズ免ル、ヲ思ヒ、復タ來ルトスレバ、コレ下トシテ上太宗ノ心ヲ賊フト云フベキデアツテ吾ニ於テハ、上下共々ニ、陰險手段ヲ弄シ互ニ相賊ヒ、甘クモ當時ノ人ヲ欺キ恩德人ニ入ルノ深クト云フ一時ノ虛名ヲ博取シタルヲ見ル、何ゾ所謂恩德ヲ施シタト云フト、囚人ガ信義ヲ知り歸來セシト云フガアローヤ、アリハセヌ。

此節、太宗及囚人ノ心事ヲ説破シ、尤モ痛快ヲ覺フ。
不然。太宗施德於天下。於茲六年矣。不能使小人不爲極惡大罪。而一日之恩。能使視死如歸。而存信義。此又不通之論也。

サモナクテ、果シテ或ノ言ノ如シトスレバ、太宗位ニ即キ、恩德ヲ天下ニ施セルコト、已ニ茲ニ六年デアアル、ソレナラバ、小人共モ、其恩德ニ感ジ、惡事ヲ働クモノハナキ筈ナルニ、矢張り小人ニ極惡大罪ヲ犯サシメ、而シテ惟僅

ニ一日ノ思ニシテ、囚人共ヲシテ、死ヲ視ルコト我家ニ歸ルガ如ク、ソレシテ信義ヲ存セシメ全ク其性質ヲ移易ヘタト云フハ、此ハ世ニ通用セザルノ議論デア

然。然ラハ則、何ヲ爲シテ可ナル、縱チテ來歸シ、之ヲ殺シテ赦スナク、而シテ又之ヲ縱チテ而シテ又來タラバ則恩德ノ致セル爲ルチ知ル可キノミ、然レドモ、此必ズ無キノ事ナリ。

然則何爲而可。曰。縱而來歸。殺之無赦。而又縱之。而又來。則可知爲恩德之致爾。然此必無之事也。

此節、所置ナリ、必ズ無キノ事ナリト云ヒ斷案ヲ下ス。

夫縱而來歸而赦之。可偶一爲之爾。若屢爲之。則殺人者皆不死。是可爲天下常法乎。不可爲常者。其聖人之法乎。

爾然ラハ則、何ヲ爲シテ可ナル、縱チテ來歸シ、之ヲ殺シテ赦スナク、而シテ又之ヲ縱チテ而シテ又來タラバ則恩德ノ致セル爲ルチ知ル可キノミ、然レドモ、此必ズ無キノ事ナリ。

爾然ラハ則、何ヲ爲シテ可ナル、縱チテ來歸シ、而シテ又之ヲ殺シテ赦スナク、而シテ又之ヲ縱チテ而シテ又來タラバ則恩德ノ致セル爲ルチ知ル可キノミ、然レドモ、此必ズ無キノ事ナリ。

天下ノ常法トナスコトハ出來ヌ、常法トナスコトノ出來ヌモノハ、聖人ノ法デハナ
イ。

文法 是ニ於テ常ノ字ヲ出ス、コレ下文收結ノ手段ナリ。

是以堯舜三王之治。必本人情。不立異以爲高。不逆情以
干譽。

爾體是ヲ以テ堯舜三王ノ治
必ズ人情ニ本ツク、異ヲ立
テ以テ高シトナサズ、情ニ
逆ヒ以テ譽ヲ干メズ。

講義 是ヲ以テ古ノ堯舜ナリ禹湯文武(三王)ノ政治ト云フモノハ、誠ニ平易ニシ
テ人情ト云フコトヲ根本トシテアル、人ニ異リタル法ヲ立テ自ラ高シトナス、様
ナルコトナク、人情ニ逆ヒ、山師ノスル様ナルコトヲナシテ、一時ノ名譽ヲ求ムル
ト云フコトハ斷ジテナサス。

文法 コレ正論ナリ、異ノ字、高ノ字、上節常ノ字ニ對シテ曰フ、譽ノ字ハ、名
ノ字ヲ易タルナリ、本人情一句、コレ通篇ノ歸宿。

春秋論

歐陽盧陵

弑逆大惡也。其爲罪也莫贖。其於人也不容。其在法也無
赦。法施於人。雖小必謹。况舉大法而加大惡乎。既輒加之。
又輒赦之。則自侮其法。而人不畏。春秋用法。不知是之輕

シユンヅッ
春秋論
弑逆ハ大惡ナリ、其
罪タルヤ贖フ莫ク、其ノ
人ニ於ルヤ容サズ、其ノ法
ニ於ルヤ赦ス無シ、法、人
ニ施ス、小ト雖モ必ズ謹ム、
況ヤ大法ヲ舉ゲ、大惡ニ加

易也。

題意 春秋トハ魯ノ史記ノ名ニシテ、一國ノ歴史ナリ、孔子魯ノ記録ニ由リ、之ヲ筆
削シ、直ニ其名ヲ取り、春秋ト名ク、孔子晋趙盾 許ノ世子止、其君ヲ弑スル
ヲ書ス、春秋ニ三傳アリ、左丘明、公羊高、穀梁赤ナリ、三氏傳ヲ立テ、趙盾
及止ノ事ヲ書ス、大ニ春秋ノ旨ヲ失シ、傳聞皆虛妄信スル可ラザルヲ論ズルナ
リ。

講義 臣子タル者ガ、ソノ君父ヲ殺ス、コレヲ弑逆ト云フガ、コレハ非常ナル大
罪デアリテ、コノ弑逆ノ大罪ヲ犯シタルモノハ、如何ナルコトヲ以テスルモ、其
罪ヲ贖フコトハ出來ズ、之ヲ犯シタル人ハ天地容レザル所ノ大罪人ナルノミナラ
ズ、弑逆ノ大罪ヲ犯シタル人ハ、國法ノ上ヨリ言フモ、決シテ之ヲ赦スコトヲセ
ス、サテ法律ナルモノハ、至テ大切ナルモノデアルカラ、今之ヲ人ノ身ニ施シ、
之ヲ罪スルニ於テハ、如何ニ小罪ト雖モ、必ズ謹慎ヲ加ヘ、輕卒ナルコトハセヌ
マシテ、大法ヲ舉ゲ、弑逆ノ如キ大惡ニ加フルニ於テハ、尙更ニ謹慎ヲ加フベ
キコトデアアル、已ニヤスノコトニ加ヘ、又ヤスノコトヲ赦スヤウナコトヲナス
ト、則執法者ガ、大切ナル國法ヲ自ラ輕侮シ、人ガ更ニ畏レナイヤウニナル、
春秋ニ於テハ、國法ヲ用キルニ、簡様ナル輕卒ナラザルベキデアアル。
文法 輒加之、輒赦之、コレ三子ヲ辨駁セントスルノ地ヲナス。

フルナヤ、既ニ輒ク之ニ
加ヘ、又輒ク之ヲ赦ス、則
自ラ其法ヲ侮リ、而シテ人畏
レズ、春秋法ヲ用キル、是
ノ如キノ輕易ナラザルナリ

趙盾三子、春秋ヲ説ク、趙盾ヲ書ス、賊ヲ討セザルノ故ヲ以テ、之ニ大惡ヲ加フ而モ盾實弒ニ非ラザルヲ以テ、則又復經ニ見ヘ、以テ盾ノ罪ナキヲ明ニス、是輒ク之ニ加ヘ、而輒ク之ヲ赦スノミ。

又復見子經。君ヲ弒スルノ臣ハ、再ビ經文ニ見ヘズ、コレ三子ノ説ナリ、故ニ云フ。

趙盾ヲ以テ弒心ナシト爲スカ、其レ輕シク大惡ヲ以テ之ニ加フ可ケンヤ、盾賊ヲ討セザルヲ以テ、情實ムベク宜シク之ニ加フベキカ、則其後頑然未嘗テ賊ヲ討セズ、既ニ過ヲ改メ以テ白ラ贖ハズ、何爲ゾ違ニ救シテ、無罪ノ人ニ同シカラシメン、其ノ進退ニ於ル、皆不可ナリ、此レ春秋ノ意ニ非ラザルナリ。

趙盾進退。進メテ救シ、退ケテ罪スルナリ、所置スルナリ。

趙盾趙穿、君ヲ弒スル大惡ナリ、盾、賊ヲ討セズ、君ノ爲ニ讎ヲ復スル能ハズ、而シテ刑ヲ下ニ失フ、二者輕重較セズ知シ可シ、就七盾ニ責ム可シト爲スモ、然レドモ穿、爲免カル、人トナシ、無辜ノ者ニ大惡ヲ受ケシム、此レ決シテ其然ラザルヲ知ルナリ、春秋ノ法、惡ヲ爲ス者ニ幸免ヲ得ズ、疑似ノ者ニ辨明スル所アラシム、此レ所謂是非ノ公ナリ。

三子説春秋。書趙盾。以不討賊故。加之大惡。而以盾非實弒。則又復見乎經。以明盾之無罪。是輒加之。而輒赦之。爾。

三子ノ春秋ヲ説クヲ見ルニ、趙盾ノ一ヲ書スル、趙盾實ニ君ヲ弒シタルニアラザルモ、盾ガ君ヲ弒シタルノ賊ヲ討ツコトヲナサザルヲ以テ、其罪責ムベシトナシ、之ニ弒逆ノ大惡ヲ加ヘタルガ、而シテ盾ハ實ニ弒シタルニアラザルヲ以テ、又再ビ經文ニ趙盾ノ一ヲ書シ、以テ盾ノ無罪ヲ明白ニシタルナリト、コレ輒ク之ニ加ヘ、輒ク之ヲ赦スト云フモノデアアル。

此節、上文輕易ナラズト云フ、故ニ輕易ヲ以テ三子春秋ヲ説クノ妄ヲ辨ズ以盾爲無弒心乎。其可輕以大惡加之。以盾不討賊情可責。而宜加之乎。則其後頑然未嘗討賊。既不改過以自贖。何爲遽赦。使同無罪之人。其於進退皆不可。此非春秋意也。

三子ノ説ニ一歩ヲ譲リ、趙盾ヲ以テ、君ヲ弒スルノ心ナキモノトナスカ、ソレナラバ、輕卒ニ弒逆ト云フ大惡ノ名目ヲ以テ之ニ加フベキデナイ、ヨシンバ盾ガ君ヲ弒スルノ賊ヲ討ツコトヲセヌヲ以テ、ソノ心情ヲ惡ムベシトナシ、之ニ大惡ノ名ヲ加フベシトナスカ、サテ其後頑固ニシテ嘗テ賊ヲ討ツコトヲナサズ

過ヲ改メ賊ヲ討チ、功ヲ立テ以テ自ラ其罪ヲ贖フコトヲナサヌ、ドウシテ無罪ノ人ト同一視スルコトガ出來ヤウゾ、其進退所置ニ於ル斷シテ皆不可ナリ、コレハ孔子春秋ノ意ニ合ハヌ。

此節、三子春秋ヲ説ク、輕易ナルヲ再説シ、春秋ノ意ヲ失スルヲ以テ之ヲ斷ズ。

趙穿弒君。大惡也。盾不討賊。不能爲君復讎。而失刑於下。二者輕重。不較可知。就使盾爲可責。然穿焉得免也。今免首罪爲善人。使無辜者受大惡。此決知其不然也。春秋之法。使爲惡者不得幸免。疑似者有所辨明。此所謂是非之公也。

三子ノ説ニ由リテ見ルト、趙盾ノ一族タル趙穿ハ、現在ソノ君ヲ弒スルノ大惡人ナリ、而ルニ盾ハソノ國ノ卿タル執政ナリ、ソレニ賊ノ趙穿ヲ討ツコトヲナサズ、君ノ爲ニ讐ヲ報フルコトヲモナス能ハズ、刑罰ヲ下ニ失フテ、刑スベキモノヲ刑スルコトヲセナイ、故ニ職責ヲ盡サルノ罪ハ免レザルモ、一方ハ手下シテ、ソノ主君ヲ殺シタル極惡非道ノ大罪人デアアルカラ、二者ノ罪ノ輕重ハ比較セザルモ知ル可キデアアル、ヨシンバ、盾ガ賊ヲ討セザルノ罪ヲ責ムベシトナ

スモ、然レドモ穿ニ於テハ、弑逆ノ大罪ヲ免ル、一ハ出来ナイ、今三子ノ説ノ如キハ、罪ノ發頭人タル趙穿ヲ放免シテ、善人トナシ、辜ナキ趙盾ヲシテ大惡人ノ名ヲ受ケシメテ居ル、孔子春秋ノ意ハ、決シテカ、ルコノアロー答ガナイニ由リテ、三子ノ説ノ如ク、決シテソノ然ラザルヲ知ルベシダ、元來春秋ノ筆法トシテハ、惡事ヲナシタルモノハ、幸ニ免ル、一ヲ得ズ、罪ノ疑ハシキ者ハ何處迄モ之ヲ辨明スルノ道アラシメ、冤罪ヲ受ケシムルヤウナコトハ、決シテナイ、コレ所謂ル是非ヲ分別スル上ニ於テ尤モ公平ニノ一點ノ私ナキ審判デアリ

又法 此節、又傳ノ信ズ可ラザルヲ説ク。

據三子之説、初靈公欲殺盾、盾走而免。穿盾族也。遂弑公而盾不討。其迹涉於與弑矣。此疑似難明之事。聖人尤當求情責實而明白之。

講義 三子ノ説ニ據リテ見ルト、初ニ、晉ノ君靈公ガ盾ヲ殺サントシタルニ、盾ハ走リテ之ヲ免レタ、趙穿ハ盾ノ一族デアアルガ、遂ニ靈公ヲ弑シ殺シタ、而ルニ盾之ヲ討ツコトヲセズ、不問ノ中ニ打テ棄テ、置イタ、ソコデソノ事情ヲ湊合シテ見ルト、其ノ形迹ガ、趙盾モ弑逆ノコトニ關係シテ居ルヤウデアルト、此ガ乃疑似明メ難キノコトデアアル、聖人ヲシテ此間ニ處セシメタナラバ、其情ヲ求メ

靈公、盾ヲ殺サント欲ス、盾走リ、免ル、穿ハ盾ノ族ナリ、遂ニ公ヲ弑ス、而シテ盾討セズ、其迹弑ニ與ルニ涉ルト、此疑似難明メ難ノ事、聖人尤モ當ニ情ヲ求メ、實ヲ責メ、之ヲ明白ニスベシ。

其實ヲ責メ、之ヲ明白ニスベク、曖昧ノ中ニ打去テ置クコトハナイ。

又法 此節疑似ノコト、必ス辨明スルヲ曰ヒ、三子ノ説、聖人ノ意ニ非ラザルヲ説ク。

使盾果有弑心乎。則自然罪在盾矣。不得曰爲法受惡。而稱其賢也。使果無弑心乎。則當爲之辨明。必先正穿之惡。使罪有所歸。然後責盾。縱賊則穿之大惡。不可幸而免。盾疑似之迹獲辨而不討之責亦不得辭。如此則是非善惡明矣。今爲惡者獲免。而疑似之人陷於大惡。此決知其不然也。

趙盾ニ果シテ弑心有ラシメンカ、則自然ニ罪盾ニ在リ矣。法ノ爲ニ惡ヲ受クト曰フテ其賢ヲ稱スルヲ得ザルナリ、果シテ弑心ナカラシメンカ、則當ニ之ガ爲ニ辨明シ、必ズ先穿ノ惡ヲ正シ、罪ニ歸スル所アラシメ然ル後ニ盾ガ賊ヲ縱スルヲ責ムベシ、則穿ノ大惡幸ニ免ル可ラズ、盾疑似ノ迹辨スルヲ獲テ討セザルノ責亦辭スルヲ得ズ、此ノ如クンバ則是非善惡明カナリ、今惡ナナス者、免ル、ヲ獲テ、而シテ疑似ノ人、大惡ニ陷ル、此決シテ其然ラザルヲ知レナリ。

講義 趙盾ヲシテ、實際ニ其君靈公ヲ弑セントスルノ心アラシメンカ、コレハ論ヲ待タズ、自然ニ弑逆ノ罪ハ、趙盾ニアルベシダ、國法ノ爲ニ弑逆ノ惡名ヲ受ケタリトテ、盾ノ賢ナルコトヲ賞賛スルコトハ出来ヌ、果シテ君ヲ弑スルノ心ノナキモノトスルカ、則當ニ其是非ヲ辨明シ、穿ハ現在ノ下手人ナレバ、必ズ先第一ニ趙穿ノ大要ヲ正シタ上、罪ノ歸シ定マル所アリテ、其ノ裁判モ確定シ、然ル後ニ趙盾ガ賊ヲ縱シ、ソノ職責ヲ怠慢ニシタルノ罪ヲ責ムベキデアル、是ノ如クシタランニハ、則穿ガ弑逆ノ大惡モ幸ニシテ逃ル、ニ途ナク、盾ガ罪ノ疑

ノ爲ニ惡ヲ受ク、境ヲ出ヅレバ、則免ルト、故ニ云フ

ハシキ形迹モ辨明スルヲ得ル、而シテ賊ヲ討タナカッタタル、怠慢ノ罪ハ何ントモ言譯ヲナスコトガ出來ズ、ソノ罪ニ服セザルヲ得ザル次第トナル、是ノ如クシテコソ、事ノ是非善惡モ明白デアアル、コレ春秋ノ意デアアル、而ルニ、今惡ヲナシタル下手人ノ穿ハ其罪ヲ免カレ、疑似ノ盾ハ大惡人ノ名ヲ蒙ルト云フコトハ、春秋ノ法トシテ、決シテ左様ナルコトハナイノデアアル。

又法 使有弑心乎、使無弑心乎、左右ヨリ之ヲ攻撃シ、三子ノ妄ヲ辨ズ、事理明白、恰モ老吏獄ヲ斷ズルノ概アリ。

若曰盾不討賊有幸弑之心與自弑同故寧捨穿而罪盾此乃逆詐用情之吏矯激之爲爾非孔子忠恕春秋以王道治人之法也

論語若シ盾賊ヲ討セズ、弑ヲ幸トスルノ心アリ、自ヲ弑スルト同シ、故ニ寧穿ヲ捨テ、盾ヲ罪スト曰ハ、乃詐ナ逆情ヲ用井ルノ吏、矯激ノ爲ノミ、孔子ノ忠恕春秋王道ヲ以テ人ヲ治ルノ法ニ非ラザルナリ。

田逆詐 論語ニ詐ヲ逆ヘズトアリ、先方ノ詐ヲ我ヨリ逆ヘテ之ヲ信ズルナリ。

取ラレタル春秋ノ法デハナイ。
又法 忠恕ノ字、コレ春秋ノ骨子ナリ、故ニ之ヲ提出シ、三子ノ說、此旨ニ反スルヲ斷ス、コレ眞ニ誅心ノ法ナリ。

孔子患舊史是非錯亂而善惡不明所以修春秋就令舊史如此其肯從而不正之乎其肯從而稱美又教人以越境逃惡乎此可知其謬傳也

又法 孔子ガ、春秋ヲ作ラレシ主意ヲ考フルニ、孔子ニ於テハ、コレ迄ノ舊史ノ是非善惡ガ雜亂レ明白ヲ欠デ居ルヲ憂フルアリ、魯ノ史記ニ由リ、春秋ヲ修明セラレタル所以デアアルカラ、モシソノ當時ニ於テ、カ、ル曖昧ナルコトガ書テアツタトスレバ、決シテ之ヲ修正サレズニハ置レヌ、ソレニドウシテカ、ソノ儘ニ從ヒ、良太夫ナリトテ之ヲ稱賛シ、境ヲ越ヘタナレバ惡名ヲ逃レタデアツタローニト云フヤウナ口氣ヲ以テ人ニ惡ヲ逃ル、如キコトヲ教ヘラリヨウゾ、三子ノ傳説ハソノアヤマリ間違デアツテ、信用スルノ價値ハナイ。

又法 此節、孔子春秋ヲ作ルノ主意ヲ明ニシ、三子ノ說、夫子ノ意ヲ失スルヲ辨ズ。
問者曰然則夷臯執弑之曰孔子所書是矣趙盾弑其君

論語問者曰ク、然ラバ則夷臯ハ執カ之ヲ弑スル、曰ク、

義ナリ、無理ニ木ノ枝ヲタムルノ類ニテ、無理ニ道理ヲ付ケルナリ、激ハ、ヒドイコトヲスルノ意ト見ルベシ
田逆詐 論語ニ出ヅ、忠ハ己ヲ懲スノ意、恕ハ己ヲ推シテ人ニ及ボスノ意、
田逆詐 孔子、舊史ノ是非錯亂シ善惡不明ナラザルヲ患ヒ春秋ヲ修ムル所以、就ヒ舊史ニ是ノ如クナラシムルモノレ肯テ從フテ之ヲ正サランヤ、ソレ肯テ從フテ稱美シ、又人ニ教フルニ境ヲ越ヘ惡ヲ逃ル、ヲ以テセンヤ、此レ其ノ謬傳ナルヲ知ルベキナリ。

孔子書スル所、是ナリ、趙盾其君ヲ弑スルナリ。

也。

我ニ問フモノ、言フニ、然ラバ則夷臯ハ何人ガ之ヲ弑シタルゾト、曰ク、孔子ノ書シテ居ラル、ノガ、信實デアリテ、趙盾ガ實際其君ヲ弑セシ下手人デアル。

此節、更ニ一問ヲ設ケ、主意ヲ發露ス、趙盾弑其君也。コレ前一段ノ主意ナリ。

今有二人焉。父病、躬進藥而不嘗。又有二人焉。父病而不躬進藥。而二父皆死。又有一人焉。操刃以殺其父。使吏治之。是三人者其罪同乎。曰。雖庸吏猶知其不可同也。

禮記今一人有ラン焉、父病ムトキ、躬藥ヲ進メテ嘗メズ、又一人有ラン焉、父病ンテ躬藥ヲ進メズ、而メ二父皆死ス、又一人有ラン焉、刃ヲ以テ其父ヲ殺ス、吏ニ之ヲ治メシメバ、庸吏ト雖モ、猶其同クスベカラザルヲ知ルナリ。

今茲ニ一人アラン、其ノ父ガ病氣シタルニ、自分デ、湯藥ニ侍シ、藥ヲ父ニ進メテ毒味ヲシナカッタ、又一人アラン、父ガ病氣シタルニ、躬藥ヲ進ムルヲセズ、看病モシナカッタ、ソレ命數デアツタカ、是非モナイコトデ、二人ノ父ハ皆死シタ、又一人アラン、コレハ慘酷ニモ非道ニモ、刃ヲ取リ、其父ヲ刺シ殺シタ、他日吏ヲシテ、此三人ノ者ノ罪ヲ判決スルニ、之ヲ同罪ニスベキカ、如何ニ凡庸ナル吏ト雖モ、決シテソノ同ジクスベカラザルヲ知ルコトデアル。

コレ世子止、藥ヲ嘗メザルニアラザルヲ辨ズルノ地ヲナス、假設ノ辭ナリ。躬藥而不嘗者、有愛父之心而不習於禮。是可哀也、無罪之人爾。不躬進藥者、誠不孝矣。雖無愛親之心、然未有弑父之意、使善治獄者蔽之、猶當與操刃殊科。況以躬藥之孝、反與操刃者同其罪乎。此庸吏之所不爲也。然則許世子止實不嘗藥、則孔子決不書曰弑君。孔子書爲弑君、則止決非不嘗藥。

禮記躬藥ヲ嘗メザルモノハ、父子愛スルノ心アリ、禮ニ習ハズ、是哀ム可キナリ、無罪ノ人ノミ、躬藥ヲ進メザル者ハ、誠ニ不孝ナリ、親ヲ愛スルノ心ナシト雖モ、然レドモ、未ダ父子弑スルノ意アラズ、善ク獄ヲ治ムルモノニ之ヲ蔽メシメバ、猶當ニ刃ヲ殊ルモノト科ヲ殊ニスベシ。況ヤ躬藥スルノ孝ヲ以テ反テ刃ヲ操ル者ト其罪ヲ同クセンヤ、此庸吏ノ爲サマル所ナリ、然ラバ則許ノ世子、止實ニ藥ヲ嘗メザレバ、則孔子決シテ書シテ君ヲ弑スルト曰ハズ、孔子書シテ君ヲ弑スト爲ス、則止決シテ藥ヲ嘗メザルニアラズ、則孔子決シテ書シテ君ヲ弑スルコトハ、論語ニ片言獄ヲ折ムベキモノトアリ。

躬父ニ藥ヲ進メ、毒味ヲシナカッタモノハ、固ヨリ父ヲ愛スルノ心ハアルケレドモ、禮法ニ習ハザル者デアツテ是ハ寧哀ムベク、法ノ上ヨリ見レバ無罪ノ人デアアル、躬藥ヲ進メザルモノハ誠ニ不孝者デアアルガ、實際親ヲ愛スルノ心ハナイケレドモ、然レドモ、父ヲ刺シ殺スト迄ノ意志ハ決シテナイ、善ク獄ヲ治ル裁判官ニ之ヲ決斷サセタナラバ、猶當ニ刃ヲ操リテ、其父ヲ刺殺シタルモノトハ、ソノ罪科ヲ殊ニスベキデアアル、マシテ躬藥ヲ進メタル孝行息子ヲ以テ、反テ刃ヲ操リ、其父ヲ刺殺シタルモノト、同罪ニスルコトハナイ、コレハ、凡庸ナル役人ト雖モ、シナイコトデアアル、シテ見ルト、孔子ガ春秋ヲ修セラル、ニ當リ、許ノ世子止ガ、實際藥ノ毒味ヲ致サナカッタコトデ、三子ノ説

問 蔽。蔽ハ斷ナリ、斷定ナリ、書經ニ兩造具ハザレバ、獄ヲ蔽ム可ラズトアリ、注ニ蔽ハ斷ナリト、コレソノ出處。

難者曰ク、聖人止テ借リ以テ教ヲ垂ルノミ、對テ曰ク然ラズ、夫レ所謂止テ借リ教ヲ垂ル、者ハ、人ノ藥ヲ嘗ムルヲ知ルヲ欲スルニ過ギザルノミ、聖人ノ一言、明ニ以テ人ニ告グルハ則萬世ノ法ナリ、何ゾ必シモ孝子ニ加フルニ大惡ノ名ヲ以テセンヤ、又藥ヲ嘗ムルノ事、卒ニ文ニ見エズ、後世ニ但止ガ君ヲ弑スレテ爲スヲ知ラシメ、藥ノ當ニ嘗ムベキヲ知ル莫キナリ、已テ教未ダ垂ル可ラズ、而シテ二人ヲ大惡ニ陷ル、聖人教ヲ垂レ、是ノ如ク迂ナラザルナリ。

難者曰ク、曷爲盾復見ニ于經。許悼公曷爲書葬日弑君之臣不見經。此自三子說爾。果聖人法乎。悼公之葬且安知其不討賊而書葬也。自止以弑見經。後四年吳敗許師。又十有八年魯定公四年。當

ノ如ク、毒味ヲセズシテ進メタノミナレバ、孔子ガ君ヲ弑スルト書セラル、筈ガナイ、孔子ガ明ニ書シテ、君ヲ弑ストナシテムル所ヲ以テスルト、コレ止ハ決シテ藥ノ毒味ヲシナカツタト云フ譯デナクテ、實ニ其君ヲ毒殺シタ下手人ニシテ、コレ亦大惡黨タルコト、相違ナキコトデアアル。

又法 此一節、世子止、實弑ノコトヲ説ク。難者曰、聖人借止以垂教爾。對曰、不然。夫所謂借止垂教者、不過欲人知嘗藥爾。聖人一言、明以告人、則萬世法也。何必加孝子以大惡之名。又嘗藥之事、卒不見於文、使後世但知止爲弑君、而莫知藥之當嘗也。教未可垂而已。陷人於大惡矣。聖人垂教、不如是之迂也。果曰罪止、不如是之刻也。

難問ヲスルモノガアリテ曰フニ、是ノ如ク致サレタハ、畢竟聖人ガ、許世子止ヲ借リ、藥ヲ進ムルニハ、嘗メテ進ムベキデアルト曰フ教訓ヲ垂ラレシノミト、ワレ對テ曰ヘルニ、ソレ止ヲ借リ教ヲ垂ル、トシテ見レバ、ソノ目的タル、人ガ藥ハ嘗メテ進ムベキモノデアルト云フコトヲ知リタレバヨイデアアルソレニ聖人ノ一言以テ天下ノ人ニ告ゲ、書シテ君ヲ弑ストナサレタル已上ハ、萬世不易ノ法デアアル、左レバ必ズ孝子ニ加フルニ、弑逆ノ大罪ヲ以テサルベキデナイ、ソレシテ又、藥ヲ嘗ムルト云フコトハ、卒ニ經文ニ見當ラナイ、スルト後世ノ者ヲシテ、但止ガ實際ニ其君ヲ弑シタルヲ知ラシメ、藥ノ當ニ嘗ムベキモノデアルト云フ本來ノ主意ヲ知ルコトガ出來ヌコトナリ、教ハ未ダ垂ル、コト能ハザル矢先ニ、已ニ人ヲ大惡ニ陷ルコトナル、聖人ガ教訓ヲ垂ララル、ニカ、ル迂遠ナル手段ヲ取ラル、筈ノモノデナイ、難者ノ論ノ如ク、藥ヲ嘗メザルガ爲ニ、止ヲ罪シタニシタ所デ、是ノ如ク弑逆ノ名ヲ蒙ラシムル迄ニ酷シクナサレヤウ筈ハナイ。

又法 難者ノ言ヲ借リ、一層世子止、實弑ノ事ヲ明ニス。

難者曰、曷爲盾復見于經。許悼公曷爲書葬日弑君之臣不見經。此自三子說爾。果聖人法乎。悼公之葬且安知其不討賊而書葬也。自止以弑見經。後四年吳敗許師。又十有八年魯定公四年。當於經者、略矣。止之事跡、不可得而知也。

又難問ヲスルモノ、曰ヘルニ、ドウシテカ、盾復ビ經文ニ見エ、許ノ悼公ハ何故ニ葬ヲ書スルカ、對ヘテ曰ク、君ヲ弑スルノ臣ハ、復ビ經文ニ見エズト

許男始テ經ニ見エ、名ハス、許ノ經ニ書スルモノ略セリ、止ノ事跡得テ知ル可ヲザルナリ。

三子ノ説、君子弑スルノ臣復ビ經ニ見エズ、賊ヲ討セザルノ君ハ、葬ヲ書セズト、故ニ茲ニ之ヲ發スルナリ。

ハ、コレ自ラ三子ノ説デ、三子一家ノ見解デアツテ、聖人ノ法デハナイ、經ニ悼公ヲ葬ルト書シタルハ、賊ヲ討シタニ由リテ葬ヲ書シタノデアロー、止ガ君ヲ弑セシヲ以テ經文ニ見エテヨリ、後四年ニ吳ノ師ガ許ノ師ヲ敗リタルヲ書シ又十有八年、魯ノ定公ノ四年ニ於テ、許ノ君、男爵ノモノガ經文ニ見エテ居ルガ但男トノミ爵ヲ書シ、名ヲ書シテナイ、元來許ハ附庸ノ小國デアルカラ、多ク春秋ニ略シテアルニ由リ、世子止ノ事ノ跡モ明細ニ知ルコトハ難イ。

難者曰、三子之説非其臆出也。其得於所傳如此。然則所傳者皆不可信乎。曰、傳聞何可盡信。公羊穀梁以尹氏卒爲正卿。左氏以尹氏卒爲隱母。一以爲男子。一以爲婦人。得於所傳者蓋如此。是可盡信乎。

又難者ノ曰ヘルニ、三子ノ説ハ決シテソノ臆測ノ説デハナイ、ソレノ孔子ノ傳説ヲ根據トシテ書イタノデアアル、然ラバ則三子ノ傳フル所ハ盡ク信用ガ出來ナイカ、曰ク、三子ノ傳聞スル所ドウシテ盡ク信ズルコトガ出來ヨウゾ、其證據ニハ、公羊穀梁ハ、尹氏卒セシヲ以テ正卿トナシ、左氏ハ尹氏ノ卒セシヲ

以テ魯ノ隱公ノ母トナセリ、一ハ以テ男子トナシ、一ハ以テ婦人トナスト云フ次第デ、一人ノコトヲ書スルニモ、カ、ル衝突ガアル、其傳フル所ニ得ルコト是ノ如クトスレバ、コレ盡ク信ズ可ラザル、類例デハナイカ。

正々堂々ノ論、茲ニ至リ結處却テ滑稽ノ筆法ヲ以テ揶揄一番シタル所面白シト云フベシ。

王 字 集 畢

將 字 集

小心文

議論精明而斷制。文勢圓活而婉曲。有抑揚。有頓挫。有擒縱。場屋程文論。當用此樣文法。先暗記侯王兩集。下筆無滯礙。便當讀此。

小心ノ解ハ已ニ先ニ解説シタリ、コレヨリ小心文デアル、サテ此集ニ載スル所ノ文章ハ、議論尤モ事理精シク、明ニシテ、ハツキリトキマリヨク、角立ツト云フコナク、其中ニ活氣アリ、ソノ言ヒコナシガ、放膽文ノ如ク思ヒ切ツテ言ヒ放ツト云フコナク、如何ニモ甘クシテ障ラヌヤウニ鋒鏘ヲカクシテアル抑ル所アリ、揚グル所アリ又勢ヨク論ジ來ルカト思フト、頓ニ其ノ論鋒ヲ挫折シテ、又更ニ勢ヲツケ、ソーシテ文章ノ調子ヲ取り、擒ニスル所アリ、縦ス所アリ、如何ニモ、面白ク自在ニ書キ下シテアル、試験場ニ於テ作ル科程ノ文論ナドハ此様ナル文法ヲ用ルガ肝要デアル、先放膽ノ侯王兩集ヲ暗記シ、筆ヲ下シテ、トバコウリ、サ、ハルト云フコナク、サラ〜ト書ケルヤウニナリタレバ、便此集ヲ讀ムベキデアル、コレハ例ニヨリ、謝氏ガ讀者ノ注意ヲ引キタル文ナリ。

議論精明ニ斷制、文勢圓活ニ婉曲、抑揚アリ、頓挫アリ、擒縱アリ、場屋ノ程文論當ニ此様ノ文法ヲ用フベシ、先侯王兩集ヲ暗記シ、筆ヲ下ダシ、滯礙ナクンバ、便當ニ此ヲ讀ムベシ。

管仲論

管仲威公ニ相トシ、諸侯ニ覇トシ、戎狄ヲ攘ヒ、其身ヲ終ルマテ齊國富彊、諸侯敢テ叛カズ、管仲死シ、豎刁、易牙、開方用非ラレ、威公亂ニ墜ズ、五公子立テ争フ、其禍蔓延、簡公ニ訖ルマテ、齊寧歲ナシ。

威公ノ事ナリ、威ト書シタルハ、宋欽宗ノ名ヲ辟ケタルナリ。

管仲論

蘇老泉

管仲相威公。霸諸侯。攘戎狄。終其身。齊國富彊。諸侯不敢叛。管仲死。豎刁易牙開方用。威公薨於亂。五公子爭立。其禍蔓延。訖簡公。齊無寧歲。

蘇老泉ハ宋人、名ハ洵、字ハ明允、老泉ハンノ號ナリ、眉山ノ人ナリ、年二十七ニシテ發憤書ヲ讀ミ、經史百家ニ通ジ、筆ヲ下シ、數千言立ドコロニ成ル、尤モ論策ニ長ズ、彼ノ審勢、審敵二篇ノ如キ、尤得意ノ策ナリ、文集二十卷、論法三卷アリ、サテ管仲論ノ主意トスル所ハ、管仲ガ死スル時ニ臨ミ、自分ノ名代トナル丈ノ賢才ヲ引擧テ置カザリシハ、古大臣ノ道ニアラザルヲ論ジタルナリ。

管仲ガ威公ニ宰相トナリ、威公ヲ輔佐シ、諸侯ノ中ニ於テ、威公ヲ以テ五霸ノ長トナシ、夷狄ヲ撃チ攘ヒ、其一身ヲ終ルマデ、齊國ハ國富ミ兵強ク、諸侯ニ於テモ、其勢力ニ恐レテ、敢テ叛キ反抗スルモノモナカッタガ、管仲ガ死スルヤ否ヤ、豎刁、易牙、開方ト云フ三人ノ小人ガ採用サレ、齊國大ニ亂レ、威公ハ遂ニ國亂ノ中ニ於テ薨セラレタガサテ威公ニハ内寵ノ夫人多ク、ソレノ子ガアルカラ、五人ノ公子共ガ、各自君位ニ立ツコトヲ争フタル結果、其禍

ハ大ニ蔓ヒビコリ延ノビテ大ソ一ナルトナリ、其ノ底止スル所ヲ知ラズ、簡公ノ世ニ至ルマデ、亂ノ打續ウチツヅキ通トホテアツテ、殆安ホトシ心ナル年ハナカツタ。

文法 以上コレ叙事、以下議論ニ入ルナリ。

夫功之成、非成於成之日。蓋必有所由起。禍之作、不作於作之日。亦必有所由兆。故齊之治也。吾不曰管仲。而曰鮑叔。及其亂也。吾不曰豎刁易牙開方。而曰管仲。

禍夫功ノ成ル、成ルノ日ニ成ルニ非ラズ、蓋シ必ズ由リテ起ル所アリ、禍ノ作ル、作ルノ日ニ作ルニアラズ、亦必ズ由リテ兆スル所アリ、故ニ齊ノ治ルヤ、吾管仲ト曰ハズシテ、鮑叔ト曰フ、其亂ル、ニ及ビテヤ、吾豎刁易牙開方ト曰ハズシテ、管仲ト曰フ。

ソレ功ノ成ルト曰フモノハ、決シテ成ルノ日ニ成ルノデナク、サテ必ズ由リテ起ル所ノ本ト云フモノガアル、禍亂ノ作ルト云フモノ、決シテ作ルノ日ニ作ルノデナク、必ズ由リテ兆スル所ノ原因ト云フモノガアル、故ニ齊國ノ治マリタルモ、畢竟鮑叔ガ管仲ヲ引上ゲタルニ由ルモノナレバ、人ハ管仲ノ功ノヤウニ言フカモ知レヌガ、我ハ獨鮑叔ト曰フナリ、又ソノ亂ル、ニ及ビテヤ、人ハ豎刁、易牙、開方ノ三子デアルト曰フケレド、吾ハ獨管仲ガ亂シタノデアルト云フ。

文法 コレ議論ニ入ル、功過ヲ述べ、功ハ鮑叔ニ歸セシメ、獨禍ヲ以テ管仲ヲ責ム、ソノ見最奇ナリト云フベシ。

何則豎刁易牙開方三子彼固亂人國者顧其用之者威

禍何トナレバ則豎刁、易牙開方三子彼固ヨリ人國ヲ

公也。夫有舜而後知放四凶。有仲尼而後知去少正卯。彼威公何人也。顧其使威公得用三子者。管仲也。

亂ル者、顧フニ其ノ之ヲ用井ル者ハ威公ナリ、夫舜有リテ後ニ四凶ヲ放ツチ知リ仲尼アリテ少正卯ヲ去ルコトヲ知ル、彼ノ威公ハ何人ゾヤ、顧フニ其ノ威公ニ三子ヲ用井ルチ得セシムル者ハ管仲ナリ。

ソレハ何故デアルト曰ヘバ、豎刁、易牙、開方ノ三小人ハ、固ヨリ人ノ國ヲ亂スノ佞物デアアルガ、思フニソレ此三人ヲ用キタルモノハ威公デアルトハ曰ヘ、コレヲ用キシムルヤウニシタルモノハ管仲ト曰ハネバナラス、ソレハ又ナゼデアアルカト曰フニ、昔時舜ガ堯ニ代リテ政ヲ取ルヤ一番ニ四凶トテ四人ノ惡人ヲ放逐シ誅殺シタリ、孔子ノ魯ノ大司寇トナラレタル時ニ、第一ニ政事ヲ亂ダシ居タル、大夫ノ少正卯ト云フモノヲ除キ去リタリ、スベテ一國ノ大臣タルモノハ、コノ心得ガ肝要デアアル、思フニ威公ヲシテ、彼ノ三人ヲ用キシメタル者ハ管仲デアアル、管仲ニシテ、舜ナリ、孔子ナリノ心得ガアツタナレバ、三子ノ者ハ決シテ威公ニ用キラル、コトハナイ。

舜及孔子ヲ引キ、亂原、管仲ニ由ルヲ説ク。
仲之疾也。公問之。當是時也。吾意以仲且舉天下之賢者。以對而其言乃不過曰豎刁易牙開方三子非人情。不可近而已。嗚呼仲以爲威公果能不用一子矣乎。

禍仲ノ疾スルヤ、公之ニ相ヲ問フ、是ノ時ニ當リテヤ、吾意ニ以テラク仲且天下ノ賢者ヲ舉ゲテ以テ對シント、而ルニ其言豎刁易牙開方ノ三子人情ニア

ラズ、近ク可ラズト曰フニ
過ギザルノミ、嗚呼仲威公
果シテ能三子ヲ用ヒズトナ
スカ。

爾爾仲、威公ト處ル幾年ナ
リ矣亦威公ノ人トナリヲ知
ル矣、威公聲耳ニ絶ズ色目
ニ絶タズ、而シテ三子者ニ
非ラザレバ、以テ其欲ヲ遂
グルナシ、彼其初ノ用井ラ
レザル所以ノ者ハ徒ニ仲有
ルヲ以テノミ、一日モ仲ナ
ケレバ則三子者ハ以テ冠ヲ
彈シ而相慶スベシ矣。
爾爾亦知威公之爲人矣乎
矣乎ノ乎ハ衍字ナリアヤマ
リナリ、矣乎トシテハ疑問

トナル、此處ハ決詞ナリ、
乎ノ字省キ去ルヲヨシトス

爾爾彈冠 コレハ前漢ニ、
王陽ト云フ人が、益州ノ刺
史トナリタル時、貢禹が、
王陽ノ友ナルユヘ、必ズ王
陽ガ自分ヲ推選スルヲ思ヒ
冠ヲ彈シテ待ツテ居タガ、
果シテ王陽ハ貢禹ヲ引上ゲタ
リ、故ニ言フナリ。
爾爾仲、將ニ死セントスル
ノ言、以テ威公ノ手足ヲ繫
カ可シト以爲ヘルカ、ソレ
齊國三子有ルヲ患ヘズ、而
モ仲無キヲ患フ、仲有レバ
則三子者ハ三匹夫ノミ、然
ラザレバ天下豈三子ノ徒少
ナカラシヤ、威公幸ニ仲
ニ聽キ此三人ヲ誅スト雖モ
其餘ナシ者、仲悉ク數ヘテ
之ヲ去ランヤ、嗚呼仲ハ本
チ知ラザル者ト謂フベシ矣

文章軌範講義
仲ノ病氣トナリ、連モ癒ル見込ナシトテ、一日、威公ガ疾ヲ問ヒ、且之ニ死
後何人ヲ相トシヤウカトノ御下問アリシ、サテ此時ニ當リ、吾ノ意ニ思フニハ、
管仲ハ己ノ名代トシテ耻ヂザル一角ノ人物ヲ推選シ以テ答エルデアロト、而
ルニソウデナクテ、惟豎刁易牙開方ノ三子ハ人情デナイカラ、お近付ニナラス
方ガ宜シイト、曰フノミニハケハ過ギナイ、サテモ、仲ニ於テハコレ丈ノ
ヲ注意ラシテ居ケバ、威公ハ果シテヨク、三子ヲ用キラレストナスノデアルカ、
何タルナサケナキ次第ゾ。

又法 コレ管仲ガ賢ヲ舉ゲ自代ラザルノ罪ヲ責ム。

仲與威公處幾年矣。亦知威公之爲人矣乎。威公聲不絶
乎耳。色不絶於目。而非三子者。則無以遂其欲。彼其初之
所以不用者。徒以有仲焉耳。一日無仲。則三子者可以彈
冠而相慶矣。

管仲ハ威公ニ宰相トナリ、威公ト同ク居ル、ハヤ何年モ久シキコトデア
ル、サテ威公ノ性格ハ、音樂ヲ耳ニ絶タズシテ、絶間ナク聞カントシ、女好
ニテ、目ニ絶間ナク見テ居ヨト云フヤウナ聲色ノ嗜欲深ク試ニ厄介千萬ナル

人デア
採用スル
ソノ情欲
所以ノモノ
ルカラデア
テ、彼三子
フタルヲ喜
威公ノ性格必ズ三子ヲ用キルヲ説キ、管仲早ク此ガ防ヲナサルヲ責ム。
仲以爲將死之言。可以繫威公之手足耶。夫齊國不患有
三子而患無仲。有仲則三子者三匹夫耳。不然天下豈少
三子之徒哉。雖威公幸而聽仲誅此三人。其餘者仲能悉
數而去之耶。嗚呼仲可謂不知本者矣。

仲ニ於テハ、自分ガ威公ニ對シテ言ヒ置キタル臨終ノ一言ニテ、以テ威公
ノ手足ヲ束縛シ、威公ヲシテ三子ヲ採用セシメザルノ鑑戒トナスニ足ルトナス
カ、ソトハユカス、ソレ齊國ニ於テハ、三子アルヲ心配スルニハ及バヌ、ヒト
リ管仲ノナキヲ心配スル、管仲サヘアレバ、三子者ハ到底勢力ヲ得ルコトナク、